

江南市戦略計画

みんなの郷土 みんなで築くプラン

前期計画期間 平成20年度～平成22年度

達成状況報告書



江南市

目 次

第1章 江南市戦略計画達成状況報告書の基本的な考え方	1
1. 江南市戦略計画達成状況報告書とは	1
2. 江南市戦略計画の進行管理	1
3. 行政評価システムの機能	2
4. PDCAのマネジメントサイクル	2
5. 江南市まちづくり会議の役割	2
第2章 前期計画期間の重点戦略	4
1. 市民協働の推進	4
2. 子育て支援・次世代を担う人材の育成	5
3. 市民生活に直結する都市基盤の整備	6
第3章 前期計画期間の達成状況	7
1. 全体の目標達成状況	7
2. 各分野の目標達成状況	11
I 生活環境、産業分野	11
II 健康、福祉分野	53
III 都市生活基盤分野	91
IV 教育分野	123
V 経営、企画分野	149
巻末資料	179
1 成果目標一覧	180
2 江南市まちづくり会議の開催経緯	191
3 江南市まちづくり会議設置要綱	193
4 江南市まちづくり会議の構成（委員名簿）	195
5 まちづくり評価シートの見方	196
6 達成率及び達成状況の算出方法	199
おわりに	200

第1章 江南市戦略計画達成状況報告書の基本的な考え方

1. 江南市戦略計画達成状況報告書とは

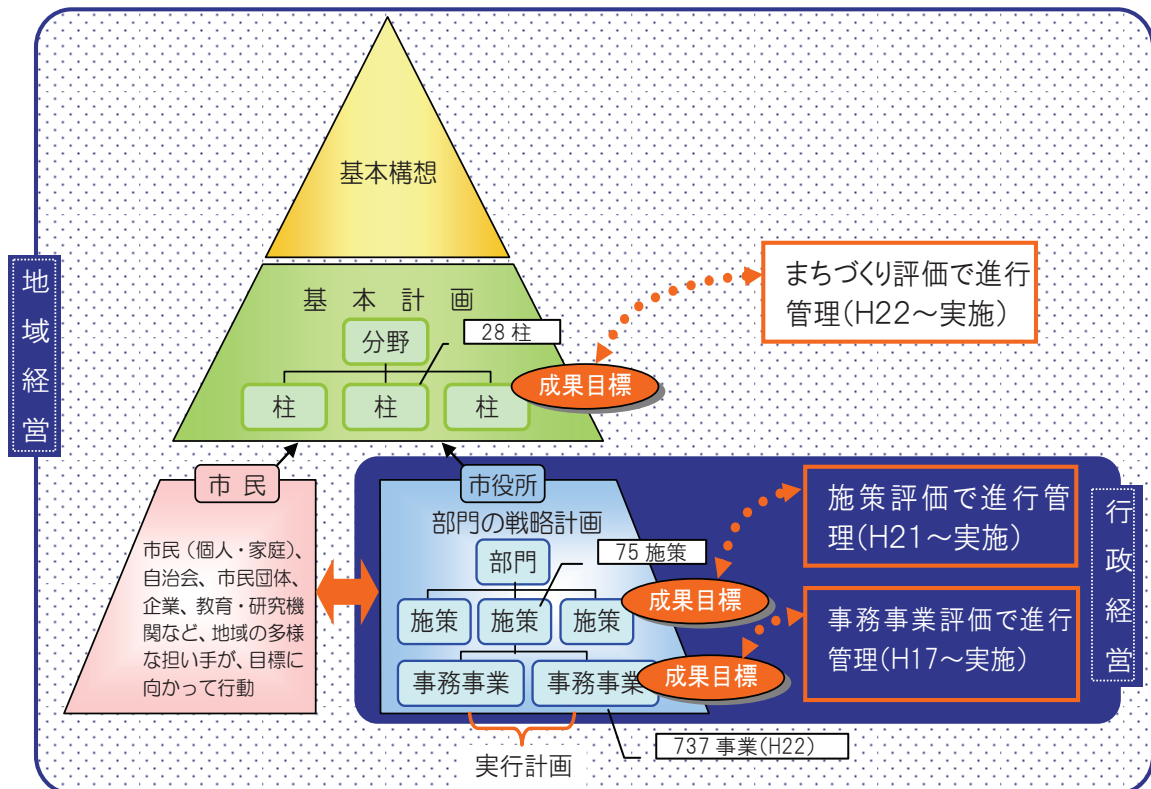
「江南市戦略計画」の進行管理は、基本計画に掲げられた各分野の成果目標について、その達成度を明らかにすることにより実施することとしており、成果目標の達成度は、「まちづくり評価」を活用して測定し、今後の改善方策を検討することとしています。

基本計画の成果目標は、市民と市役所が協働でめざす目標であることから、「江南市まちづくり会議」を設置し、その達成状況についても協働で確認を行い、その結果については、短期的にはそれぞれの行動へ、中期的には次の基本計画の見直しへと反映させることとしています。

こうした進行管理の結果について、広く地域の構成員が共有できるよう、とりまとめたものが「江南市戦略計画達成状況報告書」です。

2. 江南市戦略計画の進行管理

江南市戦略計画の進行管理は、まちづくり評価・施策評価・事務事業評価の3つの行政評価システムを活用して実施しています。



【行政評価システムによる進行管理のイメージ】

3. 行政評価システムの機能

①まちづくり評価

基本計画に掲げられた各分野の「成果目標」について、その達成度を測定し、より良いまちづくりに向けての今後の取り組みの方向性を明らかにします。まちづくり全体の進捗状況（市民生活や地域社会の状態）を市民と市役所が協働で把握し、基本計画の見直しに活かすことを目的とします。

②施策評価

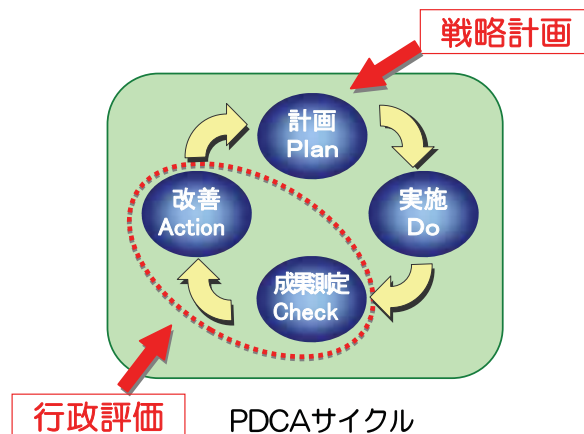
事務事業より上位のレベルで成果を把握し、行政活動の大きな方向性を明らかにするとともに、手段となる事務事業の重点化について分析し、資源配分へと反映させます。施策の分析と、事務事業評価から得られる事務事業の情報を連携させ、施策の方向づけと事務事業の相対的な方向づけ（重点化や改革改善）を一体的に行います。

③事務事業評価

事務事業について、個々の成果を把握し、改善方策を検討するものになります。事務事業の成果を検証することにより、職員の業務改善やコストに対する意識を醸成しながら、提供する行政サービスの質的向上をめざします。

4. PDCA のマネジメントサイクル

江南市戦略計画は計画の策定[PLAN]、実施[DO]、成果測定(評価)[CHECK]、改善[ACTION]というPDCAのマネジメントサイクルを確立することにより適切に運用します。



5. 江南市まちづくり会議の役割

各分野のまちづくり評価、市民の役割に関する意見交換を行い、基本計画の見直しの検討を行い、江南市戦略計画達成状況報告書を作成することが目的です。

①江南市まちづくり会議の委員

任期：委嘱の日（平成 20 年 7 月 16 日）から 4 年以内

人数：70 名

【内訳】

分野別会議 68 名：各分野に市民公募 4 名、各種団体代表 4 名、担当課長及び統括幹
全体会議 17 名：学識経験者 2 名、分野別会議の正副会長、分野の代表課長

②市民代表の委員の役割

- ・ 市民の立場から各分野の達成状況の検証と達成状況に応じた改善方策について、意見を述べること
- ・ 市民の立場から市民の取り組みについての情報提供や意見を述べること
- ・ 市民の立場から各分野の基本計画の見直しについて、意見を述べること
- ・ 戦略計画を推進するための方法についてアイデアを出し、また、そのための活動を可能な範囲内で実践すること

③市職員の委員の役割

- ・ 各分野の計画の達成状況について、説明と検証を行うこと
- ・ 市役所の立場から各分野の計画の達成状況に応じた改善方策について、意見を述べること
- ・ 市役所の立場から各分野の基本計画の見直しに向けた意見を述べること
- ・ 市民の取り組みについての情報提供や意見を述べること

④江南市まちづくり会議の取り組み

≪平成 20 年度≫

江南市まちづくり会議及び戦略計画の内容
について説明

（分野別会議 1 回、全体会議 1 回開催）

≪平成 21 年度≫

施策評価結果について意見交換

（分野別会議 12 回、全体会議 1 回開催）

≪平成 22 年度≫

まちづくり評価、中期基本計画の見直し
（分野別会議 12 回、全体会議 1 回開催）

≪平成 23 年度≫

江南市戦略計画達成状況報告書の作成
（分野別会議 11 回、全体会議 1 回開催）



江南市まちづくり会議の様子

⑤結果の公表

江南市まちづくり会議での評価結果については、市民への説明責任を果たすという観点から、広く地域の構成員が共有できるよう、「江南市戦略計画達成状況報告書」としてとりまとめ、広報、ホームページ等で公表していきます。

第2章 前期計画期間の重点戦略

前期計画期間においては「市民協働の推進」「子育て支援・次世代を担う人材の育成」「市民生活に直結する都市基盤整備」を重点戦略と位置づけ、施策を進めてきました。その内容は次のとおりです。

1. 市民協働の推進

これからのまちづくりを進めるうえで、この3年間は、戦略計画の最初の3ヵ年であると同時に地域経営を進めていく重要な第一歩であり、戦略計画において本市がめざす地域社会のしくみである「だれもが主役、みんなで築く、みんなの郷土」を実現するための土台となる「協働による新しい地域社会」を構築するため、市民と市役所が協働するルールを定めるとともに、協働のパートナーづくりを進めました。

〔具体的取り組み内容〕

市民と市役所のそれぞれの立場や役割、責任を明確にする協働ガイドラインの策定

● 市民協働推進事業 (H20)

「市民協働のまちづくりガイドブック」を策定



市民協働のまちづくりガイドブック

市民協働のグループ立ち上げや活動の支援

● 公募型協働支援補助事業 (H20・21・22)

市民活動団体が行う公共性や創造性に富む事業を支援

〈採択事業数〉

H20 3件

H21 5件

H22 4件



「忠平猿尾」周辺の自然保護と散策路整備

市民活動センターなどボランティア・NPOの活動拠点の整備、参画・協働が必要な分野、業務の情報提供

● 市民活動の情報ステーション整備事業 (H20)

地域情報センター2階を市民協働によるまちづくりの拠点として整備



市民・協働ステーション

新たな地域自治のしくみについて、市民とともに研究・検討

● (仮称)自治基本条例検討事業 (H20・21・22)

「江南市市民自治によるまちづくり基本条例」を制定



自治基本条例検討委員会

2. 子育て支援・次世代を担う人材の育成

少子化が進む中、次世代を担う子どもたちの健全な成長は、未来への希望あふれる都市づくりの根本であると考え、ライフスタイルが多様化する中で、誰もが暮らしやすく、子どもたちがのびのび育つまちを実現していくためには、子どもが成長する喜びを社会全体で共有し、見守っていくことが重要です。こうしたことから、子育てに関する不安を取り除き、地域全体の連携により安心して子どもを産み育てられる環境を整備するとともに、次世代を担う人材を育成するため、教育体制を充実させ、教育環境を整備しました。

〔具体的取り組み内容〕

子どもが安心して医療を受けられるよう、乳幼児医療助成の拡充

● 子ども医療費助成事業 (H20・21・22)

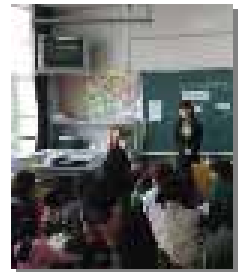
通院医療費の助成を平成 20 年 4 月診療分から小学 1 年生までに拡大
平成 22 年 7 月診療分からは小学 3 年生までに拡大



少人数指導などきめ細かい指導ができるよう、教育体制の充実

● 特別支援学級等支援職員配置事業 (H20・21・22)

特別な支援が必要な児童・生徒のため、10 名の支援職員を配置(平成 22 年から 4 名増員)



● 学校補助教員配置事業 (H20・21・22)

市内 15 小中学校に 17 名の学校補助教員を配置

市の保育サービス全体の活性化を図り、長時間の延長保育・休日保育等の新たな保育ニーズへの対応

● 子育て支援センター整備事業 (H20)

平成 21 年 7 月から宮田保育園 2 階に第 2 子育て支援センターを新設



第 2 子育て支援センター

● 保育園・児童館指定管理者制度導入事業 (H20・21・22)

平成 21 年 4 月から布袋北保育園、古知野児童館、藤ヶ丘児童館の管理運営を指定管理者に委託

● 次世代育成支援行動計画策定事業 (H20・21)

平成 22 年 3 月に「わくわく子育て夢プラン」(後期計画)を策定



わくわく子育て夢プラン

子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりの推進

● 放課後子どもプラン事業 (H20・21・22)

「放課後子ども教室」を平成 20 年 7 月から布袋小学校・宮田小学校に、平成 21 年 9 月から古知野南小学校に開設



放課後子ども教室の様子

3. 市民生活に直結する都市基盤の整備

高齢社会や人口減少社会の中、市民の日常生活を支える上で重要な役割を果たす社会資本については、狭隘な道路が多く、駅舎の老朽化対策やバリアフリー化が課題となっているなど、質量とも十分とは言えない状況です。また、長きに渡り市民病院の役割を果たしてきた2つの厚生連病院の統合による新病院(江南厚生病院)の誕生が地域に及ぼす影響は大きいと考え、こうしたことから、ライフスタイルや地域の特性に応じた住環境の中で生活し、身近な地域で様々な活動ができるよう市街地の整備、下水道整備など、市民生活に直結する都市生活基盤を重点的に整備しました。

〔具体的取り組み内容〕

名鉄江南駅のバリアフリー化と併せ、江南駅及び布袋駅周辺の整備、魅力的で快適な市街地形成の推進

- 江南駅バリアフリー化対策事業 (H20)
駅東口エレベーターの設置費を補助



江南駅エレベーター

- 都市計画道路整備事業(江南通線) (H20)
江南通線の交差点を改良

- 江南駅周辺交通環境改善事業 (H21)
駅周辺の交通量調査を実施

- 布袋地区都市再生整備計画策定事業 (H20)
平成21年度から25年度までの整備計画を策定



布袋駅周辺の様子

- 布袋南部土地区画整理事業 (H20・21・22)
布袋南部土地区画整理事業を推進

- 布袋保育園周辺整備事業 (H20・21・22)
布袋保育園周辺を整備

- 布袋駅付近鉄道高架化整備事業(H20・21・22)
鉄道高架化及び周辺地域の基盤を整備

- 都市計画道路整備事業(布袋本町通線) (H20・21・22)
鉄道高架化後の布袋駅へのアクセス道路整備のため用地を取得

地域再生計画の着実な推進、環境と市民生活が調和した豊かな生活の場の創造

- 曼陀羅寺公園整備事業 (H20)
藤の育成専門家に測量設計等を委託し、藤棚等を整備



曼陀羅寺公園の藤棚

- 遊歩道・サイクリングロード整備事業 (H20・21・22)
木曽川沿いに遊歩道・サイクリングロードを整備

- 花の広場整備事業 (H20・21・22)
草井町に花の広場を整備

- 緑化施設整備事業 (H20・21・22)
緑化施設を整備

- 江南厚生病院周辺基盤整備事業 (H20・21・22)
病院の建設事業や高度医療機器の購入に対し補助



江南厚生病院

市民と共有できるビジョンや方策を盛り込んだ都市計画を定め、実現性の高い都市計画の推進

- 都市計画マスタープラン策定事業 (H20)
都市計画の総合的な指針を策定



都市計画マスタープラン

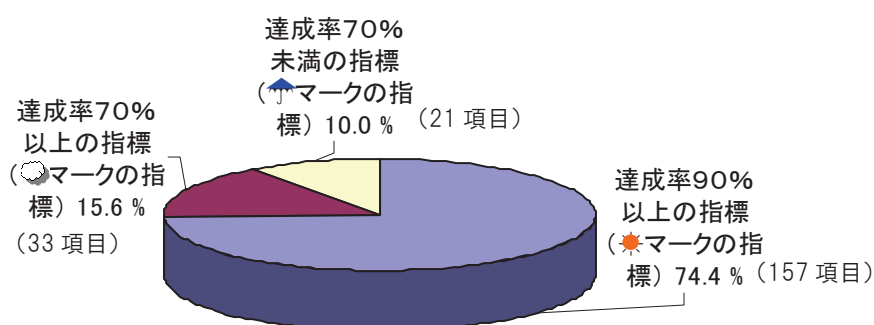
- 緑の基本計画策定事業 (H21・22)
公園緑地の創出、保全及び都市緑化を推進する計画を策定

第3章 前期計画期間の達成状況

1. 全体の目標達成状況

「江南市戦略計画」の全指標の平均目標達成率は 102.6%となっています。また、達成率 90%以上の指標は、74.4%で、概ね目標を達成している状況といえます。

平均目標達成率（全体目標＋個別目標）	102.6%
--------------------	--------



《目標達成状況》

全体目標の平均目標達成率	115.3%
個別目標の平均目標達成率	100.5%
I 生活環境、産業分野	109.7%
II 健康、福祉分野	99.1%
III 都市生活基盤分野	99.6%
IV 教育分野	105.6%
V 経営、企画分野	95.1%

※ 分野別の平均達成率は全体目標及び個別目標のすべての指標を集計

全体目標の平均目標達成率は 115.3%、個別目標の平均目標達成率は 100.5%で概ね目標達成している状況といえます。分野別の平均達成率では「I 生活環境、産業分野」関係が 109.7%、「II 健康、福祉分野」関係が 99.1%、「III 都市生活基盤分野」関係が 99.6%、「IV 教育分野」関係が 105.6%、「V 経営、企画分野」関係が 95.1%でした。

ごみ減量や消防・救急体制の充実に向けた取り組みにより生活環境、産業分野では高い達成率にあるものの、地域協働の推進や公平かつ適正な課税・収納など経営・企画分野での達成状況は相対的に低く、市民や市役所の今後の取り組みが必要です。

◆主な成果

〔Ⅰ 生活環境、産業分野〕

- ・ごみ減量57運動の取り組みにより、可燃ごみの排出量が年々減少傾向にあること。
- ・消防・救急体制の充実強化が図られ、市民と共に講習会や訓練を実施することにより、災害活動に迅速、的確な対応ができるようになったこと。

〔Ⅱ 健康、福祉分野〕

- ・民生委員、江南市社会福祉協議会などの関係機関が連携し、生活困窮者などの自立に向けて支援を行ったこと。

〔Ⅲ 都市生活基盤分野〕

- ・国営木曾三川公園フラワーパーク江南(江南花卉園芸公園)の開園区域拡大により、市民一人当たりの都市公園面積が増えたこと。

〔Ⅳ 教育分野〕

- ・国際交流協会を中心に多くのボランティアによって、多文化共生や支援の取り組みを行ったこと。

〔Ⅴ 経営、企画分野〕

- ・市広報やインターネットを通じて議会に関しての情報発信を積極的に行ったことにより、議会活動が分かりやすく説明されていると感じる市民の割合が大きく向上したこと。

◆主な今後の課題

〔Ⅰ 生活環境、産業分野〕

- ・自然と調和した快適な生活環境を確保するためには、市民一人ひとりの生活環境に対する意識の向上が必要であり、また事業所においても周辺の生活環境に対する配慮が必要であるため、啓発活動を強化する必要があること。

〔Ⅱ 健康、福祉分野〕

- ・障害のある人が、必要な時に必要な障害福祉サービスを受けることができるための支援体制の充実を図る必要があること。

〔Ⅲ 都市生活基盤分野〕

- ・第3次江南市総合治水計画の目標を実現する手法を具体的に考える必要があること。
- ・雨水抑制に対する補助の対象が雨水浸透桝のみから、雨水貯留槽、透水性舗装、浸透トレンチと補助の種類が増えたことを広報やホームページなどを通して、広く市民にPRし、浸透貯留施設と浸水防止施設の普及に努める必要があること。

〔Ⅳ 教育分野〕

- ・学校訪問や学校状況視察、他都市との意見交換に積極的に参加し、教育現場の現状や課題を的確に把握すること。
- ・いじめ不登校問題に関しては、学校・家庭・地域住民が連携して取り組む必要性が求められていること。

〔Ⅴ 経営、企画分野〕

- ・公募型協働支援補助事業の採択数を伸ばすため、事業のPR方法や活動団体間の連携について考慮する必要があること。
- ・納税意識向上のための市民への啓発、及び滞納処分の手法の調査・研究などにより、収納率向上を図る必要があること。

《市民満足度の変化の状況》

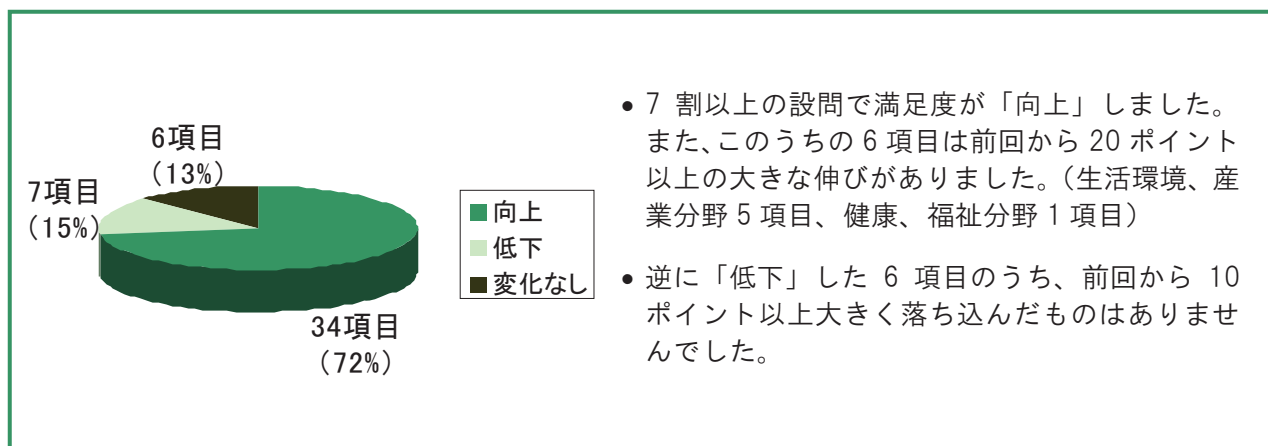
市民満足度がどのように変化したかをあきらかにするため、「江南市戦略計画における目標達成状況把握のための市民調査」(アンケート)を実施しました。基本計画掲載の指標のうち、市民の満足度や行動の実践度を示す指標 47 項目について、それぞれ前回調査からの満足度の変化を確認しました。

前回調査とは

「江南市市民意向調査」(平成 18 年 4 月実施)、または、「江南市市民満足度調査」(平成 19 年 5 月実施)をいいます。

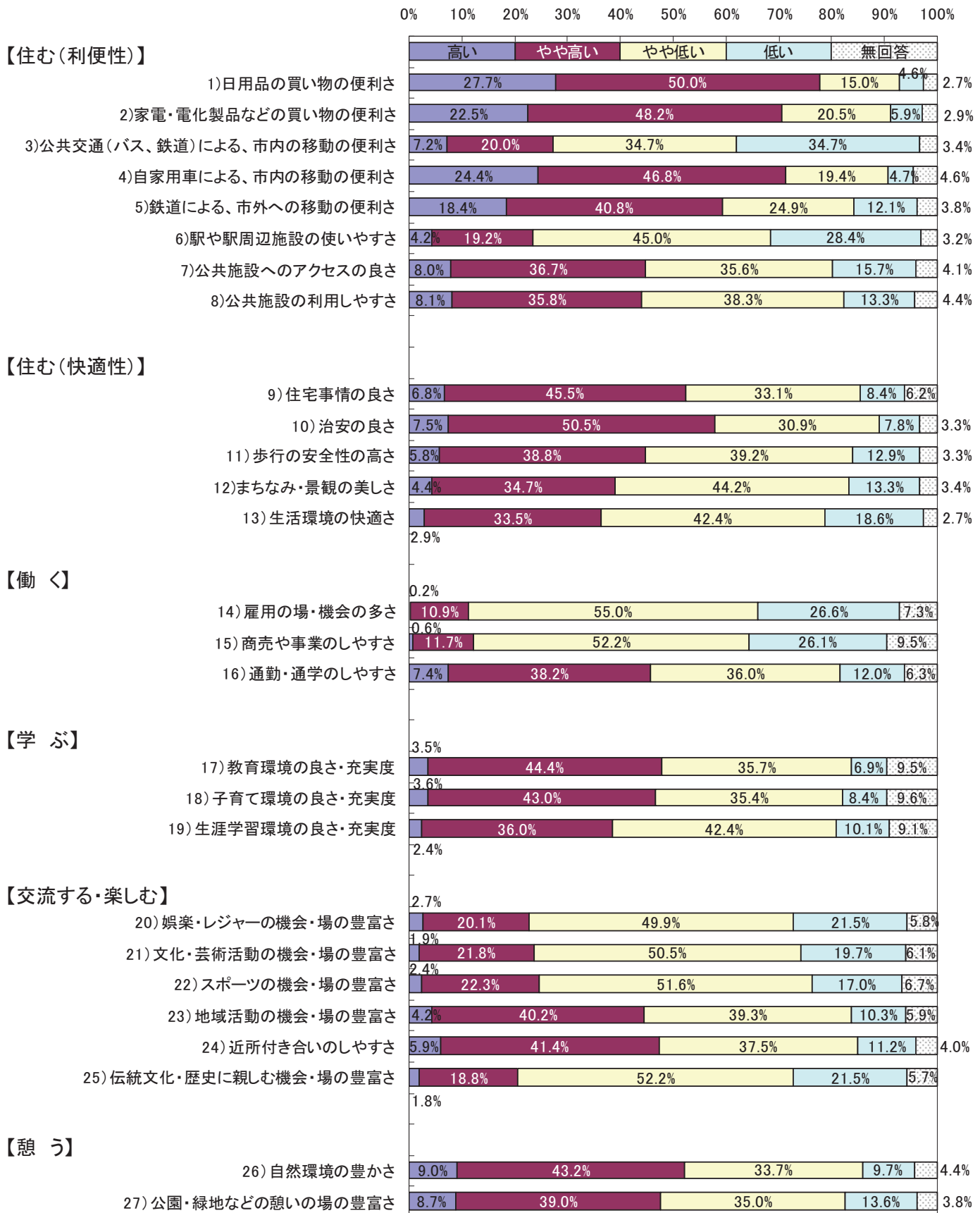
満足度とは

各設問について、5 つの選択肢のうち上位の 2 つ(「満足」、「どちらかといえば満足」という趣旨の回答)を選択した人の割合を満足度としています。



《生活都市の実現状況について》

平成 22 年 4 月実施 江南市戦略計画における目標達成状況把握のための市民調査結果



2. 各分野の目標達成状況

I 生活環境、産業分野

《目標達成状況》

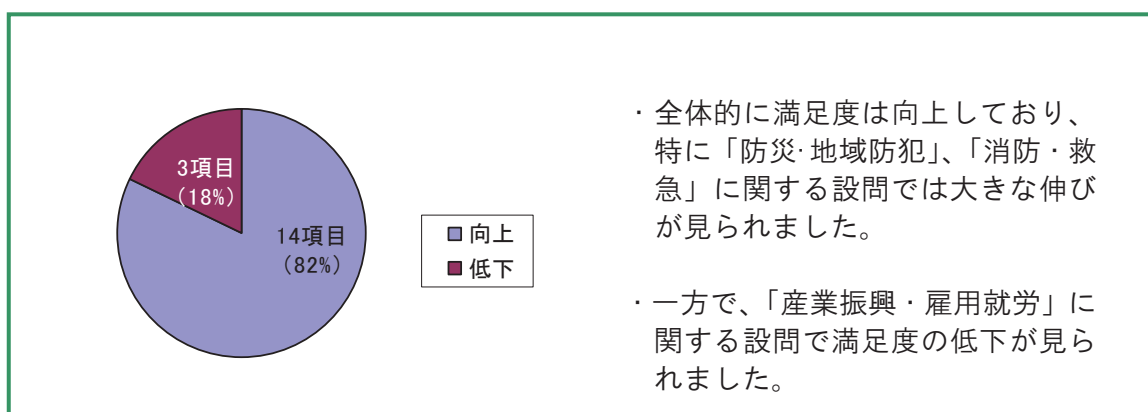
全体目標の平均目標達成率	117.7%
個別目標の平均目標達成率	108.4%
柱1 防災・地域防犯・交通安全	109.2%
柱2 消防・救急	114.7%
柱3 市民生活	108.5%
柱4 産業振興・雇用就労	102.6%
柱5 環境保全	85.2%
柱6 ごみ減量・処理	137.3%

※ 柱別の平均達成率は個別目標のみ集計

全体目標の平均目標達成率は、117.7%で概ね目標達成している状況といえます。個別目標の平均目標達成率は108.4%で、その内訳は「柱1 防災・地域防犯・交通安全」関係が109.2%、「柱2 消防・救急」関係が114.7%、「柱3 市民生活」関係が108.5%、「柱4 産業振興・雇用就労」関係が102.6%、「柱5 環境保全」関係が85.2%、「柱6 ごみ減量・処理」関係が137.3%でした。

犯罪や災害への不安が少なく、消防・救急体制が整い、また、ごみ減量やりサイクルを取り入れた生活環境により、市民は安心・安全に暮らしている状態にあるものの、環境保全関係の柱は、90%に満たない達成状況であり、市民や市役所の今後の取り組みが必要です。

《市民満足度の変化の状況》



柱1 安心・安全な地域づくり

◆主な取り組み

[個別目標①] 災害への備えが行われている

(市 民)

- ・災害発生時に効果的な対応ができるよう、自主防災会が主体となって、地域の実情に合った防災訓練を行いました。
- ・防災意識の高まりから各家庭で、避難の際の非常持ち出し品や食料などを準備し、災害の備えを行いました。

(市役所)

- ・自主防災会の資機材等購入に対する助成と災害時要援護者用資機材として車椅子に対応できる仮設トイレなどの整備を図りました。
- ・備蓄用食料として食物アレルギーのある方にも対応したアルファ米を購入し、災害時の対応の充実を図りました。

[個別目標②] 地域の防犯体制が整い、犯罪が減っている

(市 民)

- ・地域安全パトロール隊として定期的に地域のパトロールに参加しました。

(市役所)

- ・地域安全パトロール隊へ支援を行い、未結成地区にパトロール隊の設立を促進しました。

[個別目標③] 交通事故が減っている

(市 民)

- ・江南市女性交通安全クラブ員として交通安全キャンペーン、広報活動に参加しました。
- ・江南市交通安全推進協議会の委員として街頭監視活動に参加しました。

(市役所)

- ・交通安全県民運動に併せ街頭啓発・広報を実施しました。
- ・交通事故死ゼロの日に街頭監視活動を実施しました。

◆主な成果

- ・自主防災訓練、地域防犯パトロール活動により、地域の防災・防犯意識が高まってきたこと。

◆主な今後の課題

- ・地域の防犯・防災機能が低下しないよう、地域力を向上させる必要があること。

柱2 消防・救急体制の充実

◆主な取り組み

[個別目標①] 消防・救急体制が充実している

(市 民)

- ・消防団車庫、事業所等のポスター、江南市のホームページ、回覧板、分団員の家庭訪問などにより、消防団員の募集を知り、団員を確保できるよう積極的に協力しました。

(市役所)

- ・消防団車庫、事業所等へのポスターの掲示、江南市のホームページへの掲載、区長・町内会長へのお願い文書、各家庭への回覧板により、消防団員募集に努めました。
- ・耐震性貯水槽・消火栓を設置するにあたり、消防水利の包括されていない地域を選定することにより、消防水利の充足率に努めました。
- ・高規格救急自動車に同乗する救急救命士を増員することにより、市民の安心・安全の向上に努めました。

[個別目標②] 防火対象物や危険物施設などの安全対策指導が徹底されている

(市 民)

- ・防火管理者が必要な事業所にあつては、防火管理者を選任し、消防計画を作成することにより、その計画に沿った防火管理ができ、火災の発生を未然に防ぐことができました。
- ・危険物施設等の立入検査を受け、危険物の貯蔵・取扱いの不備を知り、その改善を図ることにより、危険物に起因する火災・漏洩事故などの災害を未然に防ぐことができました。
- ・住宅の寝室及び台所に住宅用火災警報器を設置することにより、火災の発生を初期に知ることができ、安心して生活を送ることができました。

(市役所)

- ・防火管理講習会を開催し、防火管理者の資格を取得していただき、消防法違反となる防火管理者未選任の事業所を少なくすることに努めました。
- ・危険物施設等の立入検査を実施し、危険物の貯蔵・取扱状況の不備改善を指示し、危険物に起因する火災や漏洩事故などの災害を防ぐことに努めました。
- ・住宅用火災警報器の必要性を、広報誌・懸垂幕・のぼり、車両広報・街頭啓発・立入検査等で、幅広く市民へ周知し、住宅用火災警報器の設置率向上に努めました。

[個別目標③] 救急・救助や消火活動において、迅速・的確に対応している

(市 民)

- ・救命講習を受講し、応急手当の重要性を理解することにより、救急現場において、心肺停止状態の傷病者へ、積極的に心臓マッサージを施すことができました。

(市役所)

- ・市民に対して、応急手当の普及啓発を行うため、普通救命講習や基礎救命講習を実施し、心肺停止状態の傷病者への心臓マッサージなどの重要性を訴えることに努めました。
- ・薬剤投与の認定を受けた救急救命士を多数育成することにより、救急現場にて薬剤投与を施し、救命率を向上させることに努めました。

◆主な成果

- ・消防・救急体制の充実強化が図られ、市民と共に講習会や訓練を実施することにより、災害活動に迅速、的確な対応ができるようになったこと。

◆主な今後の課題

- ・消防の広域化やデジタル無線化など、さらなる消防体制の充実を図る必要があること。

柱3 快適で便利な日常生活の確保

◆主な取り組み

[個別目標①] 専門家による相談を受け安心して暮らしている

(市民)

- ・消費生活講座に積極的に参加しました。
- ・専門的な知識をもった相談員に相談しました。

(市役所)

- ・自立した消費者を育成するため、消費生活講座を開催しました。
- ・地域情報センターで幅広い相談コーナーを開設しました。
- ・広報、ホームページを始め、本庁と情報センターに設置した消費生活情報掲示板などで啓発を行いました。

[個別目標②] 身分等が正確に記録・管理され、市民は窓口サービスを迅速に受けている

(市民)

- ・証明書等の交付を請求したが、迅速な対応で早く受けることができました。
- ・日曜市役所及び電話予約により執務時間外でも証明書等の交付を受けることができました。

(市役所)

- ・窓口では異動届の処理及び証明書の交付について正確に事務処理を行いました。
- ・日曜市役所を月2回開設、電話予約では住民票及び戸籍附票を交付し、休日・夜間でも証明書等の交付ができる体制を整えました。
- ・通訳を配置し、外国人登録を正確に行うと共に、各種行政サービスについて案内をしました。

[個別目標③] 市民の足が確保できている

(市民)

- ・路線バスを出来る限り利用しました。
- ・いこまいCAR(定期便・予約便)を積極的に利用しました。

(市役所)

- ・路線バス存続のための利用促進を図りました。
- ・いこまいCAR(定期便・予約便)の利用促進を図りました。

◆主な成果

- ・戸籍の電算化により、窓口の待ち時間が短縮したこと。
- ・いこまいCAR予約便により、交通空白地域の解消に向け前進したこと。

◆主な今後の課題

- ・市民が安心して窓口サービスを受けられるような体制を整える必要があること。
- ・いこまいCAR予約便の利用者増による市負担額の増について対応方法等を検討する必要があること。

柱4 生活産業の活性化・雇用就労と商工農業の振興

◆主な取り組み

[個別目標①] 魅力ある商工業の成長により、活気のある地域社会になっている

(市民)

- ・商工会議所と連携して開催している経営等講習会に参加するなど、活力ある事業所づくりに努めました。

(市役所)

- ・県と協調して商工業振興資金融資制度を設けるとともに、信用保証料等の助成を行い、中小事業者の資金繰りや経営安定に向けた支援を行いました。

[個別目標②] コミュニティビジネスが活発に起業され、地域のニーズに合ったサービスが地域で供給されている

(市民)

- ・講座に参加し、コミュニティビジネスへの理解を深めるとともに、コミュニティビジネスの事業所を訪問し、起業への意識を高めました。

(市役所)

- ・市民にコミュニティビジネスへの理解を深めてもらうとともに、起業をイメージしていただくため、コミュニティビジネスの事業所訪問を含めた講座を開催しました。

[個別目標③] 地域に雇用の場が確保され、いきいきと働いている

(市民)

- ・江南市地域職業相談室は犬山公共職業安定所と同様な求職情報や相談機能を有するなど利用環境が整っており、多くの市民が利用しました。
- ・就職フェアにおける合同企業説明会、セミナーなどの開催により、求職活動中の若者などが参加しました。また、地域における就業支援への関心が高まりました。

(市役所)

- ・江南市地域職業相談室に嘱託員1名を配置するなど年齢に関係なく求職者に対する職業相談、職業紹介業務の効率的な運営を支援しました。
- ・県、近隣市町、商工会議所などとの共催による若者就職支援「就職フェア」を開催しました。また、「若者就職相談」臨時窓口を開設し、就職活動に関する悩みなどの相談に応じました。

[個別目標④] 農業用施設が常時利用でき、農業従事者が安心して農業に従事している

(市民)

- ・地域ごとに、水路等農業用施設の清掃、草刈等を実施しました。
- ・遊休農地の管理を実施しました。市民菜園において野菜づくりを体験しました。
- ・地産地消への取り組みを実施するとともに、農畜産物をJA愛知北を通じて市場へ出荷しました。

(市役所)

- ・稲作・畑作のための農業用水の通水や施設の維持管理を実施しました。
- ・JA愛知北と連携を図り、担い手のある農家へ農地の集積を促進しました。
- ・遊休農地の有効利用を図るため、市民菜園を拡大しました。また、新しい担い手の発掘と後継者の育成を図るため、農業体験実践講座を開催しました。
- ・市民農産物秋の収穫祭を開催し、農産物の品評会や江南産農産物を使った料理の試食を行い、江南産農産物をPRし地産地消を推進しました。

[個別目標⑤] 市民は地域の観光資源に親しみ、多くの観光客が訪れて、地域が活性化している

(市民)

- ・運営協議会などの構成員やボランティアとして、また、一市民としてイベントに参画することにより、観光施設で観光客と接する機会を得ました。
- ・観光案内ボランティア、清掃ボランティアなどで観光施設との関わりを持つとともに江南市の観光PRにも努めました。
- ・イベントボランティア会員の募集を行った。また、市から要請により催事へ参加しました。

(市役所)

- ・報道機関、旅行社などへ観光キャンペーンで訪問し、藤まつりと江南の観光を紹介するなど観光客の誘客に努めた。また、おもてなしの心で観光客を迎えられるよう市民にも協力を求めました。
- ・ホームページ、報道機関、各種情報誌、愛知県観光協会などを通じての観光情報発信により、観光客の誘客に努めた。また、観光ガイドブック、観光チラシを配布するなど観光をPRしました。
- ・市が主催または共催する催事への参加協力をイベントボランティア協会へ要請するとともに協会事業の運営を支援しました。

◆主な成果

- ・景気の落ち込みに伴い、中小事業者支援や失業者支援を行ったこと。

◆主な今後の課題

- ・産業の活性化と観光客の誘客を図る必要があること。

柱5 自然と調和した快適な生活環境の確保

◆主な取り組み

[個別目標①] 環境保全の意識が高まり、環境負荷の少ない生活・活動を営んでいる

(市民)

- ・循環型社会の形成を目指し、限りある資源の有効活用を図るよう日常生活を見直すとともに、省エネルギー行動などの実践に取り組みました。
- ・住宅用太陽光発電システムなどによる自然エネルギーの有効利用、自動車の利用を控え、自転車や公共交通機関の利用、省エネルギー型商品の利用に努めました。
- ・公共下水道が整備されている区域は、速やかに接続し、未整備の区域については、合併処理浄化槽への転換を図り、適正な維持管理に努め、河川等の水質汚濁の防止に努めました。

(市役所)

- ・限りある資源の有効活用を図るため、ごみを資源として活用し、資源の循環利用として活用する手順や省エネルギーに関する情報を広く市民に提供するなど、環境啓発に努めるとともに、環境教育にも力点を置き事業を推進しました。
- ・省エネルギーを推進し、温室効果ガスの削減に努めました。また、住宅用太陽光発電システムの設置費用の一部を補助しました。
- ・公共下水道整備の推進及び速やかな接続の推進を図り、下水道の認可区域以外には合併処理浄化槽設置の推進を図るため、新たに設置する市民に対し、設置費用の一部を補助することにより、河川等の水質汚濁の防止に努めました。

[個別目標②] 公害苦情等が少なく、生活環境が保全され快適な生活を送っている

(市民)

- ・日常生活を営むうえにおいて、近隣の生活環境を損ねることのないよう、お互いが近隣の生活に配慮した生活を送るよう心がけました。

(市役所)

- ・生活環境の向上に関する積極的な啓発、パトロールを実施しました。

◆主な成果

- ・地球温暖化防止や環境問題に対する取り組みを市民に啓発し、市民の環境保全に対する意識が向上したこと。

◆主な今後の課題

- ・自然と調和した快適な生活環境を確保するためには、市民一人ひとりの生活環境に対する意識の向上が必要であり、また事業所においても周辺の生活環境に対する配慮が必要であるため、啓発活動を強化する必要があること。

柱6 ごみ減量と適切な処理の推進

◆主な取り組み

[個別目標①] リサイクルが進み、市民が出す可燃ごみ量が減っている

(市民)

- ・ごみ減量「57運動」に協力し、市民一人ひとりがごみ減量を目標に、買い物にはマイバックを持参し、ごみを分別することにより、ごみの削減に努めました。
- ・市が開催するボランティア分別指導員養成講座を受講し、地域の資源ごみ収集場所における分別指導に協力しました。

(市役所)

- ・廃棄物減量等推進協議会及び廃棄物減量等推進員と連携し、ごみ減量「57運動」、4R活動の推進を図りました。
- ・市に登録されたボランティア分別指導員に対して、分別収集についての意見交換を行い、意識の高揚を図りました。

[個別目標②] ごみ、し尿、火葬が適正に処理され、市民の生活環境が保全されている

(市民)

- ・クリーン運動に積極的に参加し、散乱ごみの収集を行い、ごみのないまちづくりに取り組みました。
- ・ごみ出しのルールを正しく理解するとともに、地区の集積場所の管理を責任をもって実施しました。

(市役所)

- ・広く市民参加を呼びかけてクリーン運動を実施し、各地域でのボランティア団体やアダプトの清掃活動を支援した。また、不法投棄防止のためのパトロールや看板貸与を実施しました。
- ・出されたごみをその日のうちに速やかに回収し、処理することで、ごみの無い衛生的な環境の保持に努めました。

◆主な成果

- ・ごみ減量57運動により可燃ごみの量が減ってきたこと。

◆主な今後の課題

- ・環境に配慮したライフスタイル、ごみのさらなる減量・リサイクルを推進するため、市民一人ひとりの意識づくりをする必要があること。


まちづくり評価シート

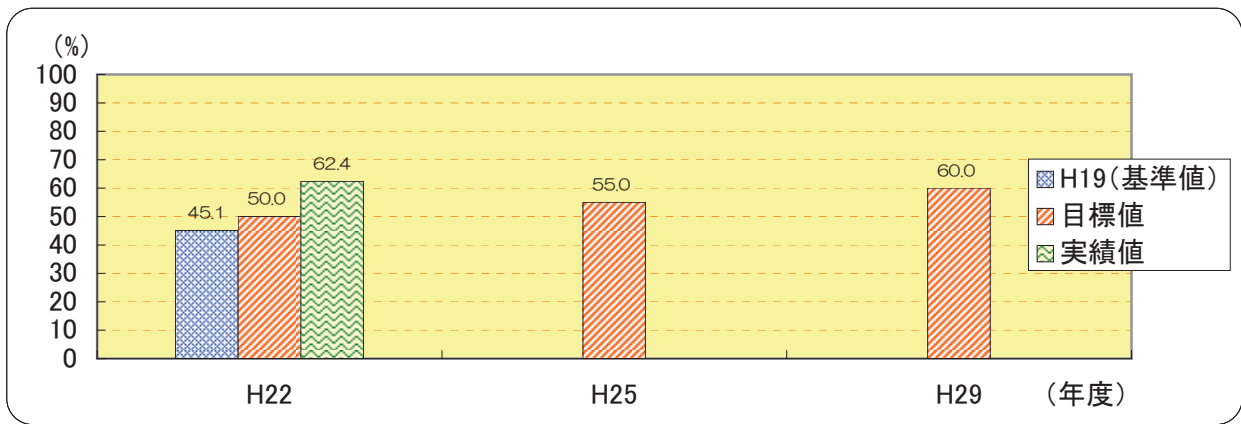
生活産業部【担う分野: I 生活環境、産業分野】

防災安全課(危機管理担当)【担う柱:1 安心・安全な地域づくり】

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 犯罪や災害への不安が少なく、市民が安心・安全に暮らしている。


指標名	犯罪や災害への不安が少ないと感じる市民の割合			実績値の分析
	単位	H19 (基準値)	H22	
目標値	%	—	50.0	平成29年度の目標値60.0%をすでに達成しているが、これは校下別自主防災訓練の実施、防災資機材の助成、地域安全パトロール隊の活動、交通安全啓発等の継続によることも大きいと思われる。また市民調査時点では、社会的影響の大きい犯罪や大きな災害が発生していなかったこともその一因でこのような結果となった。
実績値	%	45.1	62.4	
達成率	%	—	124.8	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価




すでに平成29年度目標値に達成しているが、校下別自主防災訓練の実施、防災資機材の助成などは地域の防災力の向上につながると考えられます。また、犯罪や交通事故にあわないためには市民一人ひとりの意識・行動が大切であるが、地域安全パトロール活動や防犯・交通安全啓発などは、市民・地域の意識が高まることにつながると考えられるので、引き続き更なる支援をお願いしたい。


個別目標① 災害への備えが行われている

指標名	非常持ち出し品や食料などを準備している市民の割合					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	18.0	25.0	30.0	・自主防災組織運営事業 ・総合防災訓練事業
実績値	%	14.4	—	—	41.4	
達成率	%	—	—	—	138.0	
達成状況	—	—	—	—		

取り組みの状況

市民	総合防災訓練や自主防災訓練に継続的に取り組んだ。 5市町防災カレッジや各種研修会、講習会に参加し、災害は発生してからではなく、発生する前の予防、準備や心構えが大切であることを学んだ。
市役所	自主防災会主催による防災訓練、総合防災訓練の準備、会場設営、運営等を支援した。 自主防災会会長会議を開催した。 愛知県や周辺自治体で開催された講習会、研修に参加した。

指標名	防災用資機材助成の申請率					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	84.0	88.0	90.0	・自主防災組織運営事業
実績値	%	83.8	83.8	86.8	77.9	
達成率	%	—	99.8	98.6	86.6	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	自分たちの地域は自分たちで守るという意志のもと、各地区が所有する資機材の保守、充実を図った。					
市役所	自主防災会長会議の中で資機材助成金の申請方法について説明するとともに、災害時における初動体制の充実を図った。					

指標名	危機管理体制が整い、安心して暮らしていると感じる市民の割合					
	単位	H19 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	25.0	28.0	30.0	・防災行政無線更新事業 ・有事関連事業 ・危機管理事業
実績値	%	25.4	—	—	36.7	
達成率	%	—	—	—	122.3	
達成状況	—	—	—	—		
取り組みの状況						
市民	愛知県が主催する国民保護に関する講演会に参加し、知識の向上を図るとともに、周辺自治体との情報共有を行った。					
市役所	新たな防災行政無線システムの構築(平成23年度完成)をめざし、主に移動系防災行政無線の工事を行った。 従来から使用していた移動系防災行政無線を撤去した。 市民の安全を確保するため、国民保護計画、地域防災計画を適切に運用するとともに、緊急事態等対処計画の策定に向けて取り組んだ。					

目標達成のための今後の展開方針
自主防災会の運営、地域の指導者の育成等を支援するとともに、自分の命は自分で守る、自分たちの地域は自分たちで守るといった自助、共助の精神と地域の自主性を育てていく必要がある。 同報系防災行政無線及び戸別受信機、あんしん・安全ネットメールを活用し、今まで以上に情報伝達に要する時間を短縮することにより、被害を最小限に抑える。

個別目標に対するまちづくり評価
東日本大震災での報道等を見聞きして、災害予測の難しさ、災害復旧の大変さがあらためて痛感することができた。 この地域でも過去の経緯からみて、近い将来必ず大きな地震が発生するのは確かなことから、予測可能な範囲で、できる対策(マンパワー、モノ、財源など)は立てていただきたい。

個別目標② 地域の防犯体制が整い、犯罪が減っている

指標名		犯罪発生件数				主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	件	—	1,800	1,700	1,600	・防犯対策事業
実績値	件	1,850	1,854	1,934	1,621	
達成率	%	—	97.1	87.9	98.7	
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	地域安全パトロール隊として定期的に地域のパトロールに参加した。 防犯ボランティア講座、防犯教室に参加した。 江南駅、街頭で防犯啓発活動を確認した。
市役所	安全なまちづくり県民運動に併せ広報啓発活動を実施した。 多発犯罪地域の古知野町地内を古知野区地域安全パトロール隊と一緒に合同パトロールを実施した。 県主催の防犯ボランティア講座、園児・高齢者を対象とした防犯教室を開催した。 江南警察署管内の犯罪発生状況をパトロール隊に、また、犯罪マップを作成しパトロール隊、保育園・小中学校に配布した。

指標名		地域安全パトロール実施率				主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	70.0	75.0	80.0	・防犯対策事業
実績値	%	59.2	79.4	89.7	91.1	
達成率	%	—	113.4	119.6	113.9	
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	地区に結成されたパトロール隊に所属した。
市役所	未結成地区にパトロール隊の設立を促進した。 結成されたパトロール隊に資材の助成を行った。

目標達成のための今後の展開方針
地域安全パトロール隊の結成の成果は上がっているが、他地区の地域安全パトロール隊との情報交換ができるコミュニケーションの場を設置するように検討する。

個別目標に対するまちづくり評価
犯罪発生件数について目標値の達成は、防犯啓発、意識の向上などソフト面の業務だけではなかなか困難であると思うが、犯罪の多発している地域、犯罪形態などを市民に情報提供できる方法を検討してほしい。

個別目標③ 交通事故が減っている

指標名 交通事故発生件数(人身事故)						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	件	—	680	660	640	・交通安全事業 ・交通安全対策事業 ・交通安全施設設置事業 ・交通安全施設管理事業
実績値	件	698	644	673	670	
達成率	%	—	105.6	98.1	95.5	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	江南市女性交通安全クラブ員として交通安全キャンペーン、広報活動に参加した。 江南市交通安全推進協議会の委員として街頭監視活動に参加した。 江南駅、街頭で交通安全キャンペーンを確認した。					
市役所	交通安全県民運動に併せ街頭啓発・広報を実施した。 交通事故死ゼロの日に街頭監視活動を実施した。 園児・児童・高齢者を対象にした交通安全教室、高齢者自転車教室を実施した。					

目標達成のための今後の展開方針

江南警察署から交通事故の状況など詳細に情報収集し、その内容を交通安全啓発や交通安全施設の設置箇所などの資料として利用する。

個別目標に対するまちづくり評価

交通事故は市民一人ひとりが注意し事故防止に努めることが第一であるが、幼児・児童・高齢者の交通安全教室の開催や交通安全啓発の評価はできる。また、交通安全の確保のために今後とも道路照明灯、道路反射鏡など交通安全施設の充実に向け設置をお願いしたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

総合防災訓練及び校下別自主防災訓練の実施、防災資機材の助成などを継続的に実施したことにより、市民の防災意識、地域の防災力をある程度高めることができた。
 防災行政無線(移動系)を整備することにより、市役所、各施設、関係機関との災害、非常時の連絡体制を確保することができた。
 地域安全パトロール隊の活動、交通安全啓発等を通して、社会的影響の大きい犯罪や交通事故の減少・防止に寄与することができた。

◆柱全体の今後の課題

今後も事業を継続していく上で、コミュニティの高齢化・弱体化により地域の防犯・防災機能が徐々に低下していくことが考えられるため、市役所がいかに地域の自主的活動を支援していくかが大きな課題となる。市役所としてもマンパワー、財源という点で、今後大幅な増強は困難であると考えられるため、解決していかなければならない課題に、優先順位をつけて取り組んでいく必要が求められる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

犯罪や災害から市民を守り、安心・安全な市民生活を確保するため、市民と市役所が協力して地域の防犯・防災力を強化する。
 コミュニティの中でのまとめ役、市役所とのパイプ役を担い、かつ、継続して活動することができるリーダーを養成する。
 防災行政無線システムやあんしん・安全ネットメールを活用し、市民にいち早く情報を伝達、共有することにより、災害・犯罪を最小限にとどめる。


まちづくり評価シート

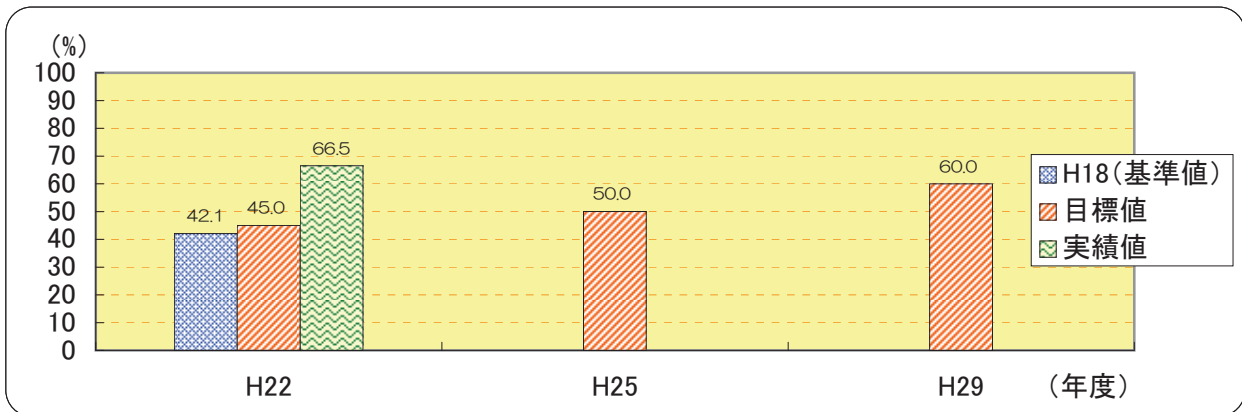
消防本部【担う分野: I 生活環境、産業分野】

総務予防課・消防署【担う柱: 2 消防・救急体制の充実】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 消防・救急体制が整い、市民が安心・安全に暮らしている




指標名	火事や事故などの災害発生時には、迅速に消火・救急・救助活動が行われ、安心して暮らしていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H22	実績値の分析
目標値	%	—	45.0	平成22年4月に実施した市民満足度調査結果により、目標値の達成率が147.8%という結果になり、平成29年度の目標値をすでに達成している。これは、災害に対する迅速・的確な対応はもちろんのこと、常備消防の普通救命講習や住宅用火災警報器の普及啓発、消防団員による市行事等の警備や地元住民に対する訓練指導等によるところが大きいと思われる。
実績値	%	42.1	66.5	
達成率	%	—	147.8	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価

平成29年度の目標値60.0%をすでに達成しているが、今後においても、常備消防と消防団(非常備消防)の連携を深め、災害活動においての迅速、的確な対応はもちろんのこと、市民に対しての普通救命講習や住宅用火災警報器の普及啓発、消防団員による地元住民への訓練指導等を引き続き行い、市民満足度上昇を目指していただきたい。

個別目標① 消防・救急体制が充実している

指標名	消防団員(水防団員)の充足率					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	・消防団運営事業
実績値	%	100.0	100.0	100.0	100.0	
達成率	%	—	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	消防団車庫、事業所等へのポスターの掲示、江南市のホームページへの掲載、全家庭への回覧板、分団員が家庭訪問等により、消防団員募集を確認し、消防団員を確保できるよう積極的に協力した。
市役所	消防団車庫、事業所等へのポスターの掲示、江南市のホームページへの掲載、区長・町内会長へのお願い文書、各家庭への回覧により、消防団員募集に努めた。

指標名 消防水利の充足率						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	83.1	83.6	84.1	・施設等整備事業
実績値	%	82.2	82.0	82.6	83.1	
達成率	%	—	98.7	98.8	98.8	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	消防水利(耐震性貯水槽・消火栓)設置地区の住民が、設置工事についてのお知らせにより、消防水利の設置を確認した。 標識等により、消防水利の場所を確認した。					
市役所	消防水利の含まれていない区域を考慮しながら、耐震性貯水槽・消火栓の設置場所を選定し、充足率の向上に努めた。					

指標名 救急救命士有資格者数						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	16	16	16	・救急救命士養成事業
実績値	人	13	15	16	18	
達成率	%	—	93.8	100.0	112.5	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	高規格救急車に救急救命士が常時同乗することにより、円滑かつ的確な救急処置を受けることができた。 現場経験豊富な救急救命士から応急手当講習を受講したことにより、専門的な知識・技術を学ぶことができた。					
市役所	4台の高規格救急車を運用するにあたり、毎年、救急救命士1名を養成して、本署3台:4名×3グループ 分署1台:2名×3グループ 検証担当官1名、合計19名の救急救命士で救急事案に対応していく。					




目標達成のための今後の展開方針						
<p>消火栓は、毎年新設して消防水利の充足率向上を目指す。老朽化した防火水槽にあっては、震災が叫ばれている中、耐震性貯水槽に変更することも考慮に入れて検討を図る。</p> <p>消防車両にあっては、排出ガス規制(NOx・PM法)の車両を含めて、戦略プロジェクト事業に計上し、計画的に更新を図る。</p> <p>救急救命士の運用(同乗)は、現在16人であるが、4台の高規格救急自動車の運用を図るため、3人増員の19人体制により救命率の向上を図る。</p>						

個別目標に対するまちづくり評価						
<p>消防団員の充足率は100.0%で、他市町に比べて秀でており、団員募集の努力は評価できる。今後も消防団員の定数を満たすようお願いしたい。</p> <p>東海・東南海地震の緊迫性が叫ばれている中、耐震性貯水槽は必要不可欠であり、今後においても、老朽化した防火水槽から耐震性貯水槽への更新も含めて、消防水利の充足率向上をお願いしたい。</p>						


個別目標② 防火対象物や危険物施設などの安全対策指導が徹底されている

指標名 防火管理者の選任率						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	68.0	71.0	73.1	・防火管理事業
実績値	%	66.4	79.3	83.6	84.7	
達成率	%	—	116.6	117.7	115.9	
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	防火管理者が必要な事業所にあつては、管理権原者がその職にいるものに、講習を受講させ選任することができ、また、それに伴って、その事業所に合った消防計画を作成届出をすることで、その計画書に沿った防火管理ができた。
市役所	講習会を実施することで、消防法違反となる防火管理者未選任の事業所がなくなった。

指標名	危険物施設の立入検査改善施設指示率					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	24.0	22.0	20.0	・危険物立入検査事業
実績値	%	24.9	25.2	16.4	14.3	
達成率	%	—	95.2	134.1	139.9	
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	危険物施設等への立入検査を受けることにより、危険物の貯蔵・取扱の不備事項を知ることができ、改善する事によって危険物事故等を未然に防ぐことができた。
市役所	危険物施設等の状況を把握するために、立入検査を行い、危険物の貯蔵・取扱等の改善を指示することによって、危険物火災・漏洩等の災害を防ぐことができた。

指標名	住宅用火災警報器の設置率					主な事務事業
	単位	H19 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	30.0	40.0	50.0	・住宅防火推進事業
実績値	%	20.9	—	—	59.6	
達成率	%	—	—	—	119.2	
達成状況	—	—	—	—		

取り組みの状況	
市民	住宅の寝室及び台所に住宅用火災警報器を設置することで、火災発生を初期に知ることができ、安心して生活を送ることができた。
市役所	広報誌、懸垂幕、のぼり、車両広報、街頭啓発、立入検査等で、幅広く市民へ周知させ、住宅用火災警報器の設置率を向上させることができた。

目標達成のための今後の展開方針
各事業所の消防用設備の維持管理状況を把握するため、防火査察の実施件数を増やしていく必要がある。危険物施設の特異性から判断して、立入検査を継続して実施していく必要がある。広報誌、懸垂幕、のぼり、車両広報、街頭啓発、立入検査、防火訓練等において、火災予防を幅広く市民へ周知する必要がある。

個別目標に対するまちづくり評価
防火管理講習会の開催、防火査察の実施により、防火管理者の選任・届出が増えたと思われ、目標値を上まわる成果をこのまま続けていただきたい。 危険物施設への立入検査を計画的に行うことによって、目標どおり改善施設指示率の数値は下がってきている。今後も継続して立入検査を実施して、引き続き無災害の危険物施設を目指して欲しい。 住宅用火災警報器の目標値を上まわる設置率向上は、市民への粘り強い広報・周知の結果であり、引き続き、幅広く広報をお願いしたい。

個別目標③ 救急・救助や消火活動において、迅速・的確に対応している

指標名 応急手当講習の受講者数						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	5,000	5,100	5,300	・応急手当普及啓発事業
実績値	人	4,817	5,123	5,446	5,577	
達成率	%	—	102.5	106.8	105.2	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	救命講習に理解を示し、積極的に参加されるようになってきたと思われる。					
市役所	地域市民に対し、69回の普通救命講習、115回の基礎救命講習を実施して、応急手当の普及啓発を行った。					

指標名 薬剤投与救急救命士運用者数						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	4	7	11	<ul style="list-style-type: none"> ・救急救助計画校正事業 ・救急救助資機材点検検査事業 ・救急救命士等病院実習事業 ・救急業務高度化推進事業 ・救命処置トレーニングシミュレータ購入事業 ・救急救助訓練事業
実績値	人	1	7	11	12	
達成率	%	—	175.0	157.1	109.1	
達成状況	—	—				




取り組みの状況

市民	救急現場にて市民が胸骨圧迫等の応急手当を実施し薬剤認定救命士が薬剤投与をすることにより救命に繋げていく。					
市役所	救急救命士の内12人が薬剤投与の認定を受けた。平成22年の薬剤投与は11件あり、その内8件が心拍が再開している。					

指標名 心拍再開率						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	15.0	16.0	17.0	<ul style="list-style-type: none"> ・救急救助計画校正事業 ・救急・救助出動事業 ・救急救助資機材点検検査事業 ・救急救命士等病院実習事業 ・救急業務高度化推進事業 ・救命処置トレーニングシミュレータ購入事業 ・救急救助訓練事業 ・消防車両・機械器具点検事業
実績値	%	13.0	29.1	38.0	24.6	
達成率	%	—	194.0	237.5	144.7	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	救急現場にて市民が胸骨圧迫等の応急手当を実施している場合が以前よりかなり多くなってきており、救急救命士等の実施する救命処置も市民に浸透してきたと思われる。					
市役所	応急手当の普及活動、3人の薬剤投与のできる救急救命士の育成、病院実習により救急救命士の資質向上を図り、救命率向上に努めた。					

指標名	火災現場到着所要時間					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	分	—	7.8	7.7	7.7	・警備事業 ・消防車両・機械器具点検事業 ・地水利調査事業 ・消防訓練事業 ・救助調査事業 ・救急救助訓練事業
実績値	分	7.9	9.0	8.4	7.6	
達成率	%	—	86.7	91.7	101.3	
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	市民に災害場所、内容を的確に消防に通報をしてもらう。
市役所	火災現場到着所要時間は、現場の遠近で到着時間が変わるので、「119」覚知から出動までの、出動時間の短縮に努めて行く。

目標達成のための今後の展開方針
<p>AEDの必要性を市民に理解してもらい各事業所等にAEDの設置の必要性を訴える。</p> <p>各事業所等に応急手当普及員を養成し普及啓発活動の強化に努める。</p> <p>救急救命士による気管挿管、薬剤投与などの高度救命処置の実施件数を増やし、救急支援出動にマンパワーを投入することにより病院到着時間の短縮により救命率の向上に努める。</p> <p>災害覚知から出動までの時間短縮に努め、災害現場に迅速かつ安全に到着できるようにする。</p>

個別目標に対するまちづくり評価
<p>応急手当の必要性を市民に広くPRして、応急手当講習受講者を増大させて、AEDの活用、傷病者に胸骨圧迫等がすばやく実施できるようにし、救命率向上、社会復帰者の増加を目指してもらいたい。</p> <p>「119」覚知から出動までの時間の短縮に努めてもらいたい。</p>

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果
<p>消防分団本部車庫を詰所機能を有する頑強とした建物への建替え、消防水利(耐震性貯水槽、消火栓)の増設、最新の消防車両への更新等、消防施設・設備の充実強化を図ることができた。</p> <p>複雑多様化する災害に対応できるよう、各種災害を想定し、計画的に個別・合同訓練を実施することにより、迅速、的確な災害対応を図ることができた。</p> <p>普通救命講習会を開催することにより、救命率向上を図ることができた。</p> <p>防火対象物、危険物施設への立入検査を実施することにより、火災予防の徹底を図ることができた。</p> <p>市総合防災訓練、校区別自主防災訓練等を通して、応急手当指導や住宅用火災警報器の普及啓発、消防団員による訓練指導等を行うことにより、市民に対する消防への理解、協力、認識を深めることができた。</p>

◆柱全体の今後の課題
<p>救急自動車4台すべてを高規格救急自動車で運用しているため、救急救命士の増員を検討する必要がある。</p> <p>老朽化した消防緊急指令システムの更新時期が迫る中、通信機器の修繕に多額の経費を費やす必要があり、また、平成28年6月からのデジタル無線化に伴い、消防救急デジタル無線システムの整備と併せ、消防救急無線の広域化・共同化及び消防指令業務の共同運用についても検討を図っていく必要がある。</p> <p>多様化・大規模化する災害・事故に的確に対応するため、平成18年に消防組織法が改正されたことに伴い、全国的に消防広域化が進められているところであり、大規模な消防体制の構築に積極的に取り組む必要がある。</p>

◆柱全体の今後の取り組みの方向性
<p>高規格救急自動車を4台にしたことにより、3人増員の19人体制の構築を図り、更なる救命率の向上を目指す。</p> <p>消防指令業務の共同運用については、尾張中・北部圏域(小牧市、岩倉市、犬山市、江南市、丹羽広域事務組合、西春日井広域事務組合)において検討されている。なお、老朽化した消防緊急指令システム更新については、消防指令業務の共同運用開始まで、コンピュータ本体等の部分更新を図るべく、戦略プロジェクトへ計上し対応する。</p> <p>消防広域化については、尾張中・北部圏域(小牧市、岩倉市、犬山市、江南市、丹羽広域事務組合、西春日井広域事務組合)で、広域消防組織の設立を目指して協議する。</p>


まちづくり評価シート

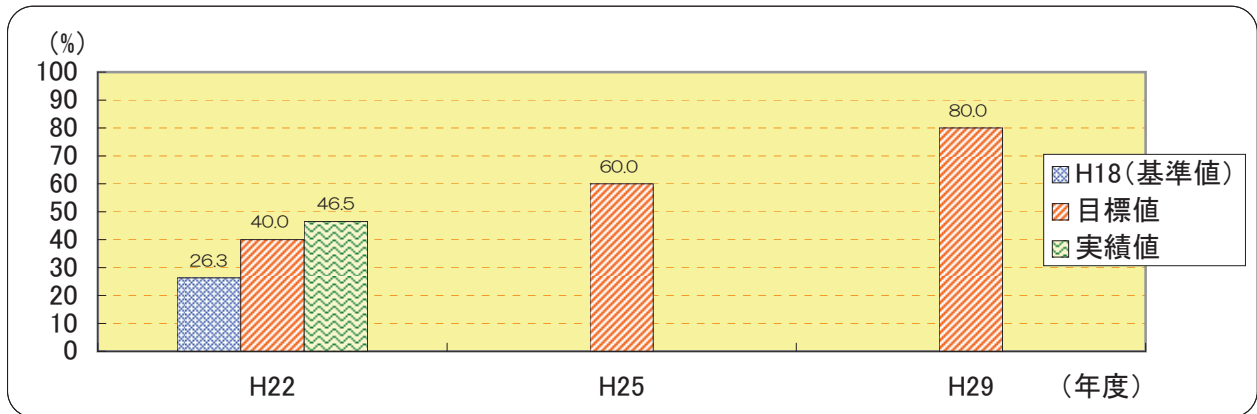
生活産業部【担う分野: I 生活環境、産業分野】

市民サービス課【担う柱: 3 快適で便利な日常生活の確保】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 市民が日常生活に困ることなく便利に暮らしている




指標名	迅速かつ適切に行政サービスを受けていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H22	実績値の分析
目標値	%	—	40.0	戸籍の電算化により、窓口の処理が迅速となったこと、各種悩みごと相談においても的確な助言により一定の方向付けがされたこと、いこまいCAR(予約便)等の充実が図られたことによるものと思われる。
実績値	%	26.3	46.5	
達成率	%	—	116.3	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価



戸籍の電算化により、戸籍の証明を請求する際の待ち時間が短縮され、窓口サービスの向上につながったと思われる。
 各種相談については、各相談員からの的確な助言により一定の方向付けがされ、ある程度の悩みごとが解消したと思われる。
 いこまいCAR(予約便)の導入や、一部バス路線の充実が図られたことによるものと思われる。



個別目標① 専門家による相談を受け安心して暮らしている




指標名	消費生活講座の受講者数					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	170	180	200	・消費生活事業
実績値	人	166	155	220	198	
達成率	%	—	91.2	122.2	99.0	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	5回の消費生活講座の内1回が震災で中止になったが、延べ198人が受講し、生活に役立つ知識を習得した。
市役所	賢い消費者を育成するため、一般市民向けに3回、消費生活モニター向けに1回開催した。

指標名 相談を受けて、悩みごとが解消した割合(消費者相談)						
	単位	H19 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業 ・市民相談事業
目標値	%	—	76.0	77.0	80.0	
実績値	%	75.0	75.0	70.0	—	
達成率	%	—	98.7	90.9	—	
達成状況	—	—			—	
取り組みの状況						
市民						
市役所						

指標名 相談を受けて、悩みごとが解消した割合(弁護士などの専門家による相談)						
	単位	H19 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業 ・市民相談事業
目標値	%	—	68.0	69.0	70.0	
実績値	%	66.7	66.7	63.2	—	
達成率	%	—	98.1	91.6	—	
達成状況	—	—			—	
取り組みの状況						
市民						
市役所						



指標名 消費生活相談の件数						
	単位	H19 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業 ・市民相談事業
目標値	件	—	70	70	75	
実績値	件	67	61	76	75	
達成率	%	—	87.1	108.6	100.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	消費生活に関する専門的な知識をもつ相談員に相談した。					
市役所	消費生活相談を第5週目も含め、毎週水曜日に開催した。					

指標名	弁護士など専門家による相談の件数					
	単位	H19 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	件	—	580	580	600	・市民相談事業
実績値	件	576	659	578	587	
達成率	%	—	113.6	99.7	97.8	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	弁護士、司法書士等専門家に相談した。					
市役所	法律相談を第5週目も含め毎週木曜日に開催し、その他各種相談も定期的に開催した。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>相談者の悩みごと等にできる限り対応できるよう、多種多様な相談を増やすよう検討する。 消費生活事業については、国の活性化事業を取り組み、悪質商法等の未然防止や消費生活に関する様々な問題についても啓発する。これらの問題や被害を解決するため、今後も引き続き、各種相談において市民の利便を図る。</p>	
個別目標に対するまちづくり評価	
<p>近年、市民生活の利便性は向上しているが、悪質商法等消費生活に関する問題が発生している。これらの問題や被害を解決するため、今後も引き続き、専門知識を持った各種の相談員による相談を実施したり、消費生活講座を開催し、正しい知識の普及を図ってほしい。</p>	


個別目標② 身分等が正確に記録・管理され、市民は窓口サービスを迅速に受けている




指標名	戸籍訂正の件数					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	件	—	85	83	80	・戸籍事務事業
実績値	件	87	85	80	63	
達成率	%	—	100.0	103.8	127.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	各種戸籍届出書は、所定用紙に正確に記載し、また、届出期間の厳守や添付書類の確認を行い提出した。					
市役所	各種戸籍届出書は、法令等に従い審査し、受理した。 戸籍システムの導入により、データが正確に入力ができ、戸籍証明の発行は、届出後概ね3日間で発行できることとなった。					




指標名	正確で早くて便利な窓口サービスを受けていると感じる市民の割合					
	単位	H19 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	95.0	95.0	95.0	・住民基本台帳事業 ・窓口事務(パート化) ・戸籍等窓口事業 ・通常窓口外対応事業 ・印鑑登録事業 ・埋火葬関係事業 ・臨時運行許可事業 ・住民基本台帳窓口事業【支所】 ・戸籍等窓口事業【支所】 ・印鑑登録事務【支所】 ・埋火葬関係事業【支所】
実績値	%	94.5	—	91.3	91.1	
達成率	%	—	—	96.1	95.9	
達成状況	—	—	—			
取り組みの状況						
市民	証明書等の交付を請求したが、迅速な対応で早く受けることができた。また、日曜市役所及び電話予約により執務時間外でも証明書等の交付を受けることができた。					
市役所	届出書等に記載された、身分関係、住居関係を正確に登録し、各種証明書を交付した。日曜市役所を月2回(第2・4日曜日午前中)開設した。電話予約により、住民票及び戸籍附票を夜間(宿直室)交付した。					

目標達成のための今後の展開方針	
市民が不安なく各種申請等の手続きが行うことができるように、フロアマネージャーの設置を検討する。	
個別目標に対するまちづくり評価	
来庁した市民が、安心してスムーズに各種申請の手続きを行うことができるようにさらに配慮していただきたい。	

個別目標③ 市民の足が確保できている

指標名	誰もが公共交通により市内の必要な場所に行くことができ、便利に暮らしていると感じる市民の割合					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	25.0	25.0	25.0	・いこまいCAR(定期便)運行事業 ・いこまいCAR(予約便)運行事業 ・バス関連事業
実績値	%	19.5	—	—	24.6	
達成率	%	—	—	—	98.4	
達成状況	—	—	—	—		
取り組みの状況						
市民	目的地への移動手段として、いこまいCAR(定期便・予約便)や路線バスを利用した。					
市役所	いこまいCAR(定期便・予約便)や路線バスをより多くの人に利用してもらうため、利用促進の啓発に努めた。また、いこまいCAR(定期便・予約便)の利用方法の改善等も検討しながら、路線バス会社等にもダイヤの改正等の要望を続けた。					

指標名 いこまいCAR定期便の利用率						
	単位	H20 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業 ・いこまいCAR(定期便)運行事業
目標値	人	—	1.00	1.00	1.00	
実績値	人	0.73	0.73	0.68	0.69	
達成率	%	—	73.0	68.0	69.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	路線沿線の住民は目的地への移動手段として、定期便を利用した。					
市役所	すいとぴあ江南コース沿線住民に対し、利用促進の回覧を行った。					

指標名 いこまいCAR予約便の利用便数						
	単位	H20 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業 ・いこまいCAR(予約便)運行事業
目標値	便	—	1,850	1,850	1,850	
実績値	便	1,120	1,120	2,325	3,350	
達成率	%	—	60.5	125.7	181.1	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	交通手段を持たない住民は、予約便の利用者登録を行い、目的地への移動手段として利用した。					
市役所	市広報等で周知し、利用促進を図った。					

目標達成のための今後の展開方針	
既存バス路線、いこまいCAR(定期便・予約便)の利用促進を図りながら、市全体の公共交通を検討する。	

個別目標に対するまちづくり評価	
市民の足を確保するため、引き続き既存バス路線の存続を始め、市が実施するいこまいCAR(定期便・予約便)の利用促進を図ってほしい。	

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

いこまいCAR(予約便)により、交通空白地域の解消は、前進した。
各種相談については、的確な助言により一定の方向付けをもらうので、ある程度の悩みが解決した。
戸籍の電算化をしたことにより、戸籍の証明を請求する際の待ち時間が短縮となったことが、窓口サービスの向上に結びついた。

◆柱全体の今後の課題

市民が気軽に相談できる体制を確立する。
公共交通の充実には、経費がかかるため、費用対効果の検証をふまえて、市内公共交通のあり方を検討をする。
各種届出書の届出や各種証明書の交付を受ける際に、市民にわかりやすく、利用しやすい窓口体制を確立する。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

相談したい時に気軽に相談ができる体制をさらに検討する。
既存のバス路線、いこまいCAR(定期便・予約便)の利用促進を図りながら、市全体の公共交通のあり方について検討する。
市民が窓口で、不安なく手続きができるよう、フロアマネージャーの配置を検討する。


まちづくり評価シート

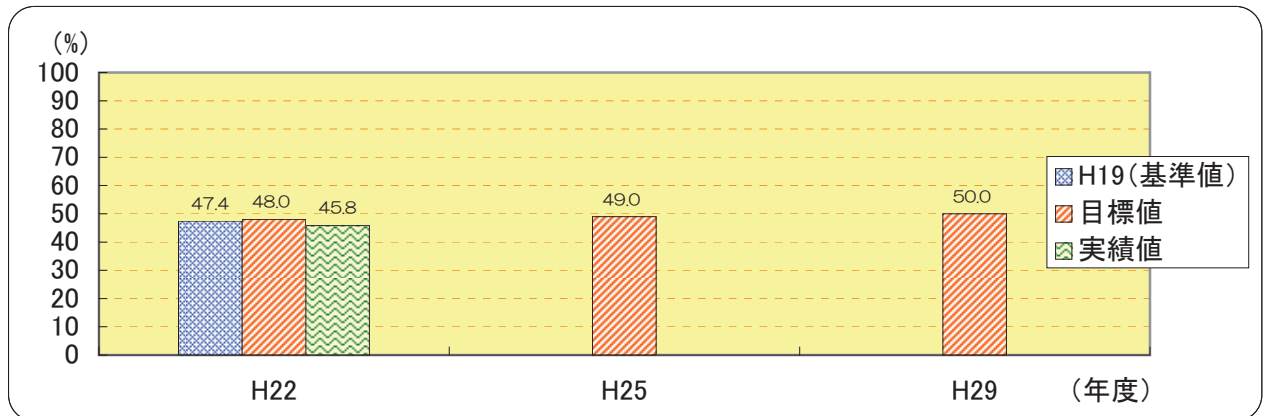
生活産業部【担う分野：I 生活環境、産業分野】


産業振興課【担う柱：4 生活産業の活性化・雇用就労と商工農業の振興】

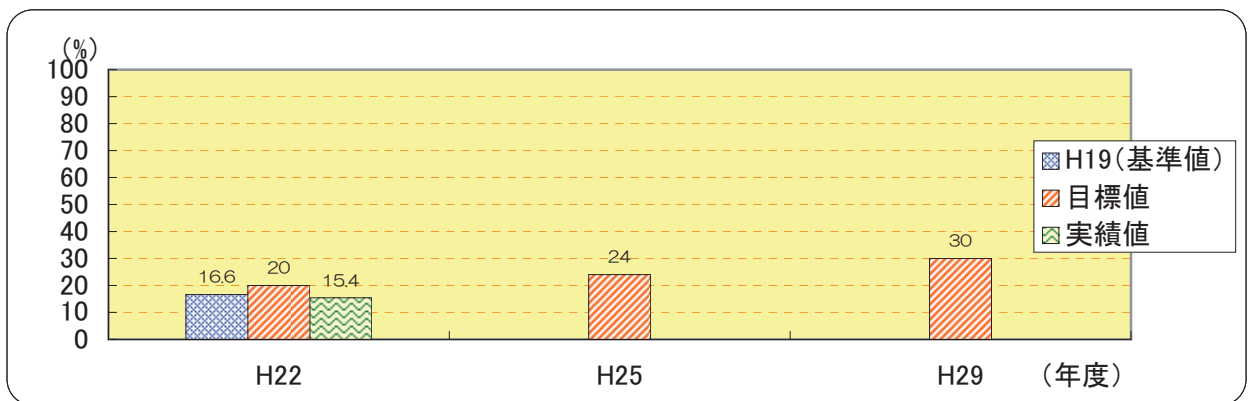
◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 生活産業などが活性化し、地域に雇用の場が確保され、活力あふれる、住みよいまちとなっている

指標名	生活産業が活性化し、住みよいまちであると感じる市民の割合			
	単位	H19 (基準値)	H22	実績値の分析 中心市街地の商店街は機能向上していないが、郊外型の大型店に加え、中心市街地周辺の食品スーパーなども充実しており、一定の満足感は得られている。
目標値	%	—	48.0	
実績値	%	47.4	45.8	
達成率	%	—	95.4	
達成状況	—	—		




指標名	市内に雇用の場があり、活力あふれるまちであると感じる市民の割合			
	単位	H19 (基準値)	H22	実績値の分析 企業誘致の進展もなく、雇用環境も低迷が続く中で、雇用の場が広がる状況にはないが、新たな失業者が増加していないことがこの結果となっているが、満足度を得るためのハードルは高い。
目標値	%	—	20.0	
実績値	%	16.6	15.4	
達成率	%	—	77.0	
達成状況	—	—		





全体目標に対するまちづくり評価

商店街にかつての賑わいを取り戻すことは困難かもしれないが、商工業振興のためには既存の事業者や個店のがんばりが必要であることから、中小事業者に対する融資助成施策などきめ細かな支援が必要と考える。就業支援対策は、国や県主導による施策により推進されているが、就職フェア開催など地域主導による取組みも重要な施策となってくる。江南市地域職業相談室の運営事業を始めとして、国、県、関係機関と連携した支援事業が必要である。また、地域資源や観光資源などを活用したまちづくりも求められている。農業用施設の適正な維持管理や耕作放棄地の解消が求められている。

個別目標① 魅力ある商工業の成長により、活気のある地域社会になっている

指標名	魅力ある商店街が形成されており、便利に買い物できると感じる市民の割合					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	21.0	22.0	23.0	<ul style="list-style-type: none"> ・地場産業活力向上事業 ・商工業・流通業補助事業
実績値	%	21.8	—	—	23.8	
達成率	%	—	—	—	103.5	
達成状況	—	—	—	—		
取り組みの状況						
市民	市民まつり運営協議会や七夕まつり・市民サマーフェスタ運営委員会に参加して、商工業、商店街の活性化のためのイベントを行った。商店街の魅力アップのため、街路灯の建替えを行った。商業活性化推進協議会に参加して、江南駅周辺のまちづくりについて市役所と意見交換を行った。					
市役所	市民まつりや七夕まつり・市民サマーフェスタを商工会議所及び商店街連合会と協働して委託開催、開催補助を行った。商店街の魅力アップのため、街路灯の建替えや空き店舗を活用したコミュニティ施設の運営等に対して補助を行った。商業活性化推進協議会に参加して、江南駅周辺のまちづくりについて商店街関係者等と意見交換を行った。					

指標名	商品販売額					
	単位	H16 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	億円	—	1,802	1,802	1,802	<ul style="list-style-type: none"> ・企業等対応事務 ・商工業・流通業補助事業 ・商業統計調査事業
実績値	億円	1,802	—	—	—	
達成率	%	—	—	—	—	
達成状況	—	—	—	—	—	
取り組みの状況						
市民	市民まつり、江南七夕まつり・市民サマーフェスタなどにおいて、商品販売促進のための事業を行った。大規模小売店舗立地法に基づき、市内に出店を希望する事業者が、周辺住民に対して出店計画の説明会を行い、店舗営業の円滑化に努めた。					
市役所	商店街連合会や江南織物卸商協同組合が行う商品販売促進のための事業に対して補助を行った。大規模小売店舗立地法に基づき、市内に出店を希望する事業者の出店計画を確認し、周辺交通等市民生活に支障が出ないよう県に意見を提出した。					

指標名	製造品出荷額					
	単位	H17 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	億円	—	1,602	1,602	1,602	<ul style="list-style-type: none"> ・地場産業活力向上事業 ・企業等対応事務 ・企業誘致推進事業 ・工業統計調査事業
実績値	億円	1,602	1,780	1,180	—	
達成率	%	—	111.1	73.7	—	
達成状況	—	—			—	
取り組みの状況						
市民	インテリア織物産業の活性化を図るために商工会議所が中心となり設置した委員会に参加し、新商品の開発等を行い、新商品の販路拡大を図るため東京でのインテリア織物展示会に参加した。					
市役所	工場立地動向調査基礎調査を行い、新規の企業立地動向を把握した。インテリア織物産業の活性化を図るために商工会議所が中心となり設置した委員会に参加し、新商品の開発等について検討し、新商品の販路拡大を図るためインテリア織物展示会参加への補助を行った。県の産業立地セミナー及び県産業立地推進協議会に参加し情報収集に努めた。					

指標名	売上DI値					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	△ 18.0	△ 17.0	△ 16.0	・中小企業経営力強化事業 ・中小企業金融円滑化事業
実績値	%	△ 19.4	△ 53.3	△ 78.9	△ 49.1	
達成率	%	—	33.8	21.5	32.6	
達成状況	—	—	↑	↑	↑	
取り組みの状況						
市民	商工会議所と連携して実施している経営等講習会に参加するなど、活力ある事業所づくりに努めている。商工業振興資金等融資を活用し健全な事業運営に努めている。					
市役所	県と協調して商工業振興資金融資制度を設けるとともに、信用保証料等の助成を行い、中小事業者の資金繰りや経営安定に向けた支援を行った。また、緊急保証制度等融資についても信用保証料の助成を行った。市内1,000事業所に対して景況調査を行い、事業所の業況の把握を行った。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>商店街に対する補助金、商店街を中心としたイベントの内容について商工会議所や商店街連合会などと連携して検討する。</p> <p>商業活性化推進協議会の事業を一層支援するとともに、商工会議所の取組に引き続き参画しながら活性化策について調査研究する。</p> <p>工業振興対策協議会の事業を一層支援するとともに、商工会議所等と連携して新たな製造品の普及PR等の方策について検討する。</p> <p>融資に係る助成制度など、小規模事業者の資金調達を支援する方策を検討する。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>郊外型大型店、中心市街地周辺の食品スーパーを中心とした生活産業は充実しているが、中心市街地の商店街は、身近な消費生活の場としての機能を回復することはできず、高齢者等生活弱者にとっては住みやすさ感は低いのではないかと考えられる。商店街にかつての賑わいを取り戻すことは困難かもしれないが、商工業振興のためには個店のがんばりが必要であることから、小規模事業者に対する融資助成施策などきめ細かな支援が必要と考える。</p>	

個別目標② コミュニティビジネスが活発に起業され、地域のニーズに合ったサービスが地域で供給されている

指標名	コミュニティビジネスを展開している事業所数					
	単位	H19 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	所	—	↑	↑	↑	・コミュニティビジネス支援事業
実績値	所	不明	—	—	—	
達成率	%	—	—	—	—	
達成状況	—	—	—	—	—	
取り組みの状況						
市民	NPOとして活動している市民を中心に講座に参加し、コミュニティビジネスへの理解を深めるとともに、コミュニティビジネスの事業所を訪問し、起業について意識を高めた。					
市役所	市民にコミュニティビジネスへの理解を深めてもらうとともに、起業をイメージしていただくため、コミュニティビジネスの事業所訪問を含めた講座を開催した。コミュニティビジネスの起業の相談に対応した。					


指標名	起業家からの相談件数					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	件	—	0	3	10	・コミュニティビジネス支援事業
実績値	件	0	0	2	2	
達成率	%	—	—	66.7	20.0	
達成状況	—	—	—	↑	↑	
取り組みの状況						
市民	NPOとして活動している市民を中心に講座に参加し、コミュニティビジネスへの理解を深めるとともに、コミュニティビジネスの事業所を訪問し、起業について意識を高めた。					
市役所	市民にコミュニティビジネスへの理解を深めてもらうとともに、起業をイメージしていただくため、コミュニティビジネスの事業所訪問を含めた講座を開催した。コミュニティビジネスの起業の相談に対応した。					




目標達成のための今後の展開方針	
<p>NPOなど市民活動団体の活動の実態等はある程度把握しており、講座開催の個別の案内や支援策に関するニーズ把握もできるが、中小企業等のコミュニティビジネスに対する関心等を把握することができていないため、商工会議所などと連携して情報提供等を行っていく。また、具体的に起業をイメージしてもらえるような講座を開催する。</p> <p>コミュニティビジネスへの理解を深めてもらう講座を開催していく。また、起業支援のNPOなどに協力を得ながら起業相談への対応方法等の調査、研究等を行う。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>利益の最大化ではなく、地域の実情にあった、また、地域課題の解決に向けた事業への取組のニーズは高まっており、その事業の主体としてNPO活動が中心に考えられていたが、NPO以外の中小企業等の事業者による取組も支援する方策が必要である。</p>	

個別目標③ 地域に雇用の場が確保され、いきいきと働いている

指標名	職業紹介による就職者数					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	290	320	350	・就業相談等運営事業
実績値	人	258	438	712	870	
達成率	%	—	151.0	222.5	248.6	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	
取り組みの状況						
市民	犬山公共職業安定所の出先機関として、同様な求職情報や相談機能を有するなど利用環境が整っており、多くの市民が利用している。					
市役所	江南市地域職業相談室に嘱託員1名を配置して、年齢に関係なく求職者に対する職業相談、職業紹介業務を支援するとともに相談業務の効率化のために電話回線を増設した。また、「若者就職相談」臨時窓口を開設し、就職活動に関する悩みなどの相談に応じた。					




指標名	地域に雇用の場が確保され、十分な状態であると感じる市民の割合					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	8.0	9.0	10.0	・就業相談等運営事業 ・雇用促進事業
実績値	%	7.2	—	—	8.3	
達成率	%	—	—	—	83.0	
達成状況	—	—	—	—		
取り組みの状況						
市民	雇用に関する講演会、研修会、セミナーなどに参加し、就業支援への関心を高める。					
市役所	若者就職支援のための就職フェアを県、近隣市町、商工会議所などとの共催により開催し、就職支援セミナー、個別相談、職業適性診断、近隣4市2町の企業が参加した合同企業説明会には多くの若者が参加した。					




指標名	すいとびあ江南利用者数					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	150,000	155,000	160,000	・すいとびあ江南管理運営事業
実績値	人	146,263	160,080	159,808	144,117	
達成率	%	—	106.7	103.1	90.1	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	宿泊施設など施設利用やすいとびあ江南指定管理者が企画する各種事業に参加したり、市主催又は共催にて開催される行催事にボランティアで参加するなど、多目的な利用形態により市民の多くが利用している。					
市役所	ふるさと文化育成事業や自主企画事業を開催するなど、市民に憩いとうるおい、ふれあいの場を提供している。また、安価でサービス提供の充実をめざし、市民や勤労者の利用促進を図るとともに安全、安心な施設維持管理運営にも努めている。					


目標達成のための今後の展開方針	
<p>市単独での就職支援は難しいことから、引続き県、公共職業安定所、商工会議所などの関係機関と連携しながら、事業を推進する。事業内容は、関係団体と協議しながら、成果が期待できる就職支援を計画する。</p> <p>江南市地域職業相談室への支援は継続する。</p> <p>勤労者の生活の安定と福祉増進のための支援は継続する。</p> <p>すいとびあ江南運営委員会の開催や指定管理者に対するモニタリング評価は継続する。</p>	




個別目標に対するまちづくり評価	
<p>若者就職支援は、連携して地域で取組まれている点で評価できる。地域に雇用が確保され、すべての勤労者の生活が安定と福祉の向上が図られるよう支援をお願いしたい。</p>	

個別目標④ 農業用施設が常時利用でき、農業従事者が安心して農業に従事している

指標名 畑地かんがい用水などの修理件数						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	件	—	240	240	240	・江南市土地改良区支援事業 ・江南市土地改良区施設維持管理補助事業 ・丹羽用排水土地改良区支援事業 ・昭和用排水土地改良区支援事業
実績値	件	255	210	196	138	
達成率	%	—	114.3	122.4	173.9	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	地域ごとに、水路等農業用施設の清掃、草刈等を実施した。					
市役所	稲作・畑作のための農業用水の通水や施設の維持管理を実施した。					

指標名 認定農業者数						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	48	49	50	・担い手育成総合支援事務
実績値	人	45	40	41	42	
達成率	%	—	83.3	83.7	84.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	農業所得や労働時間等の農業経営改善計画認定申請書を市へ提出した。					
市役所	農業経営改善計画が提出された農家を認定農家として認定した。愛知県やJA愛知北と連携し、安定的な農業経営のための相談業務を行った。					


指標名 耕作放棄地の面積						
	単位	H17 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	ha	—	200	195	190	・遊休農地対策事業 ・市民菜園事業
実績値	ha	208	—	—	217	
達成率	%	—	—	—	87.6	
達成状況	—	—	—	—		
取り組みの状況						
市民	遊休農地の適正管理を実施した。市民菜園において野菜づくりを体験した。					
市役所	農業従事者の高齢化等により耕作放棄地が増加しており、江南市空き地等の雑草の除去に関する条例により、雑草等の除去について指導した。また、耕作放棄地対策として市民菜園を開設して野菜づくりを体験することにより、農業に対する理解と遊休農地の有効利用ができた。					




指標名	JA出荷額					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	千円	—	312,000	312,000	312,000	・農業振興事業 ・農業団体等育成事業
実績値	千円	312,000	285,000	246,000	263,000	
達成率	%	—	91.3	78.8	84.3	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	農畜産物をJA愛知北を通じて市場へ出荷した。					
市役所	JA愛知北や愛知県との連携により農業従事者への技術指導を行い、農業の近代化や農業生産性の向上を図った。					




目標達成のための今後の展開方針	
<p>当面畑かん等農業用施設は、修繕で対応していくが、布設替等更新工事も視野に入れて検討を進める。野菜づくりを体験することで農業への関心を高め、新規就農者として育成する。耕作放棄地対策として、市民菜園の拡大や利用権設定による農地の有効利用を図る。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>農業用施設が耐用年数を経過していて老朽化による維持管理費の増加が心配されます。また、農業従事者の高齢化等により、農地の適正な管理が出来なくなり耕作放棄地が増加しています。今後は野菜づくりを体験することで農業への関心を高め、新規就農者として育成したり、市民菜園を拡大して農地の利用の促進を要望します。</p>	

個別目標⑤ 市民は地域の観光資源に親しみ、多くの観光客が訪れて、地域が活性化している

指標名	多くの観光客で賑わい、観光の振興が十分な状態であると感じる市民の割合					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	27.5	27.7	28.0	・藤まつり開催事業 ・菊まつり開催事業 ・江南市民花火大会事業 ・観光協会事業
実績値	%	27.3	—	—	32.3	
達成率	%	—	—	—	115.4	
達成状況	—	—	—	—		
取り組みの状況						
市民	運営協議会などの構成員やボランティアとして、また、一市民として参画することにより、観光施設で観光客と接する機会を得ている。					
市役所	報道機関、旅行社などへ観光キャンペーンで訪問し、藤まつりと江南の観光を紹介するなど観光客の誘客に努めた。また、おもてなしの心で観光客を迎えられるよう市民にも協力を求めた。					

指標名	観光客数					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	933,000	935,000	937,000	・藤まつり開催事業 ・菊まつり開催事業 ・江南市民花火大会事業 ・観光協会事業
実績値	人	931,000	1,257,000	1,382,419	1,331,861	
達成率	%	—	134.7	147.9	142.1	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	観光案内ボランティア、清掃ボランティアなどで観光施設との関わりを持つとともに江南市の観光PRにも努めた。					
市役所	ホームページ、報道機関、各種情報誌、愛知県観光協会などを通じての観光情報発信により、観光客の誘客に努めた。また、観光ガイドブック、観光チラシを配布するなど観光をPRした。					

指標名	イベントボランティア参画者数					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	450	465	480	・江南市イベントボランティア協会事業
実績値	人	440	424	481	330	
達成率	%	—	94.2	103.4	68.8	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	イベントボランティア会員の募集を行った。また、市から催事への参加要請により、会員へ参加を要請した。					
市役所	市が主催または共催する催事への参加協力をイベントボランティア協会へ要請するとともに協会事業運営を支援した。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>曼陀羅寺公園整備と藤の再生工事が完了したので、藤まつりへの観光客誘客の方策について強化を推進する。シャトルバスによる周辺観光地への誘導などで観光資源をPRしているが、他の観光施設への観光客誘客についても検討する。</p> <p>ボランティア組織が主体性を生かした行催事へ参画について検討が必要である。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価
<p>花をテーマとしたイベントや国営公園フラワーパーク江南など花の名所への誘客を市民と協働で進めることも観光振興の1つと考えられます。「花をキーワード」とした事業展開によるまちづくりを推進し、観光客が誘致できるよう願いたい。</p>

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

新たな産業立地が難しい状況にある中、商工業振興資金や緊急保証制度等融資制度の円滑な運用を図るとともに、融資に係る信用保証料助成や利子補給補助により、資金調達コスト等を軽減することにより、既存産業の経営安定、経営拡大に向けた支援を行うなど商工業の活性化を図った。

江南市地域職業相談室は年齢を問わず職業相談や職業紹介をし、多くの失業者に対して支援した。また、県、近隣市町、商工会議所が共催して就職フェアを開催し、若者の就職支援をすることで地域における活動の輪が広がってきた。

JA愛知北や農業団体と連携して、市内で収穫された農産物を秋の収穫祭で展示することにより、市の農産物に対する理解を深める。

◆柱全体の今後の課題

地場産業であるインテリア織物産業における新しいニーズへの対応や販路拡大など活性化に向けた取組への支援と、地域の既存産業や個店の安定的経営を支援するための施策の検討が課題である。

地域における就職支援に関するフォローアップ機能を充実することによる継続性のある支援が求められる。また、観光資源、観光イベント等の紹介を積極的に行い、観光客の誘客を図る必要がある。

農業従事者の高齢化等により耕作放棄地が増加してきており適正な管理が必要である。また、老朽化している農業用施設についても適正な維持管理が必要である。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

商工業振興のためには企業の新規進出を促すことも必要であるが、インテリア織物産業や地域の既存産業、個店の経営安定、経営拡大が必要であることから、中小事業者に対する融資助成施策などきめ細かな支援を行う。

国、県、関係団体等との連携を深め、就職フェアの継続開催や就職に関する個別相談の開催など就職支援の充実に取り組む。

耕作放棄地対策として市民菜園の拡大や利用権設定による農地の有効利用を図る。

市民、企業とも連携して、観光資源等の活用を図るなどにより魅力ある観光まちづくりに取り組む。


まちづくり評価シート

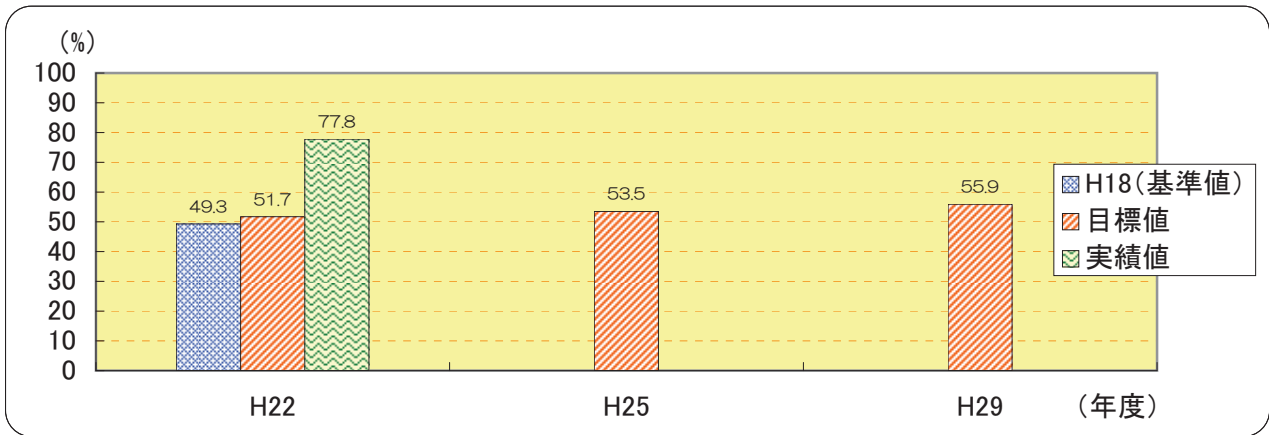
生活産業部【担う分野：I 生活環境、産業分野】


環境課【担う柱：5 自然と調和した快適な生活環境の確保】

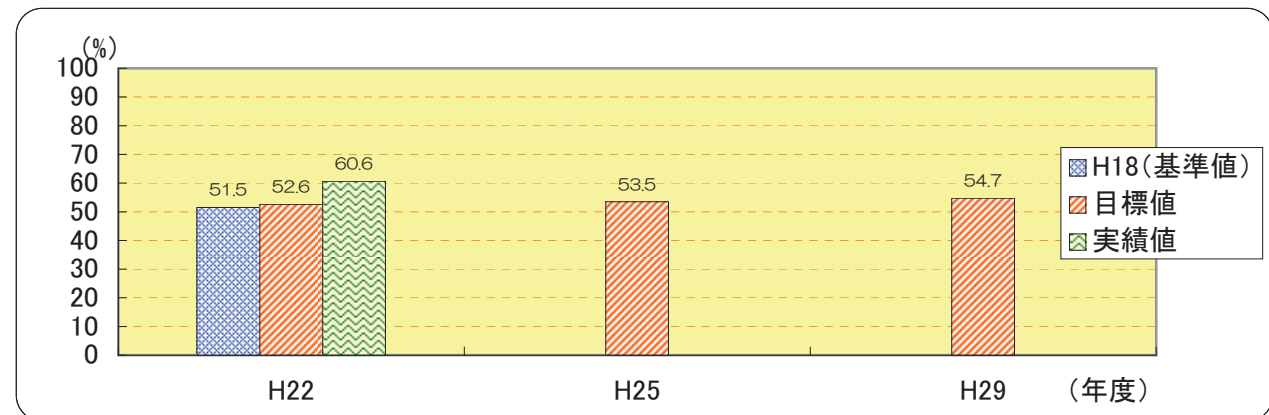
◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 自然と調和した快適で、環境負荷の少ない生活環境が保全され安心して生活している

指標名	日ごろから省エネや省資源など環境に配慮して生活している市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H22	実績値の分析 広報やホームページ等による定期的な啓発、及び環境保全活動に対する補助を活用することにより、市民は環境に配慮して生活することができている。
目標値	%	—	51.7	
実績値	%	49.3	77.8	
達成率	%	—	150.5	
達成状況	—	—		




指標名	水質汚濁・騒音・悪臭など公害のない快適な環境で生活していると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H22	実績値の分析 定期的な広報等による啓発、及び事業所等への立ち入り調査等により、公害防止に努めてきたことから公害の発生件数が減少し、快適な環境で生活できている。
目標値	%	—	52.6	
実績値	%	51.5	60.6	
達成率	%	—	115.2	
達成状況	—	—		









全体目標に対するまちづくり評価

国や地方が行う環境保全活動に対する補助金(エコポイント、太陽光発電、エコカーの導入等)等いろいろなメニューが整備されるなか、各家庭へのさらなる導入・促進が必要である。また、騒音・振動・悪臭等の公害に対する相談件数は、平成22年度は若干増加したものの、減少傾向にある。今後も、事業所等が公害の防止に向けさらに積極的に取り組む必要がある。

個別目標① 環境保全の意識が高まり、環境負荷の少ない生活・活動を営んでいる

指標名 環境保全活動を行っている市民の割合						
	単位	H19 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	64.7	65.3	66.0	・環境啓発事業 ・環境基本計画推進事業 ・環境教育事業
実績値	%	64.1	—	—	54.4	
達成率	%	—	—	—	82.4	
達成状況	—	—	—	—		
取り組みの状況						
市民	日常生活における利便性を追求することにより、大量生産、大量消費、大量廃棄の経済社会を構築してきたが、循環型社会の形成を目指し、限りある資源の有効活用を図るよう日常生活を見直すとともに、省エネルギー行動などの実践に取り組んだ。					
市役所	限りある資源の有効活用を図るため、ごみを資源として活用し、資源の循環利用として活用する手順や省エネルギーに関する情報を広く市民に提供するなど環境啓発に努めるとともに、環境教育にも力点を置き事業を推進した。					

指標名 市民1人当たりの二酸化炭素排出量(炭素換算)						
	単位	H17 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	t.c/ 人・年	—	1.50	1.40	1.32	・温暖化防止事業
実績値	t.c/ 人・年	1.60	1.50	1.49	1.51	
達成率	%	—	100.0	94.0	87.4	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	日常生活が便利になるにつれ、エネルギー使用量が増加し、温室効果ガスの排出量も増加していることから、自然エネルギーの有効利用、自動車の利用を控え自転車や公共交通機関の利用、省エネルギー型商品の利用に努めた。					
市役所	平成20年3月に策定された「江南市地球温暖化対策実行計画」に従い、自然エネルギーの有効利用として公共施設に太陽光発電システムを設置すると共に、省エネルギーを推進することにより、行政事務から発生する温室効果ガスの削減に努める。また、太陽光発電システムを住宅に設置しようとする市民に対し、設置費用の一部を補助した。					

指標名 合併処理浄化槽設置数						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	基	—	4,650	5,100	5,600	・環境啓発事業
実績値	基	4,200	4,843	5,224	5,590	
達成率	%	—	104.2	102.4	99.8	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	都市化の進展に伴い、生活排水が河川等に流入することにより、水質汚濁が進んでいるため、公共下水道が整備されている区域は、速やかに接続し、未整備の区域については、合併処理浄化槽への転換を図り適正な維持管理に努め、河川等の水質汚濁の防止に努めた。					
市役所	河川等水質の環境基準達成を目指し、公共下水道整備の推進及び速やかな接続の推進を図り、下水道の認可区域以外には合併処理浄化槽設置の推進を図るため、新たに設置する市民に対し、設置費用の一部を補助することにより、河川等の水質汚濁の防止に努めた。					




目標達成のための今後の展開方針




限りある資源を有効活用するため、資源の循環利用、省エネルギーなどの環境啓発や環境教育を強化する。温暖化防止事業としてクリーンエネルギーの導入やLEDなどの省エネルギー製品の導入を図る。河川等の水質汚濁防止を図るため、浄化槽設置整備事業を推進する。




個別目標に対するまちづくり評価




環境保全活動を行っている市民の割合が約55.0%程度であるため、多くの人が環境問題に関心を持ち、環境問題への理解を深めることができるよう、環境に配慮した行動の実践に向けた環境教育の充実を図りたい。

個別目標② 公害苦情等が少なく、生活環境が保全され快適な生活を送っている

指標名		公害苦情件数				主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	件	—	294	278	263	・環境公害対策事業
実績値	件	310	402	521	489	
達成率	%	—	73.1	53.4	53.8	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	日常生活を営むうえにおいて、近隣の生活環境を損ねることのないよう、お互いが近隣の生活に配慮した生活を送るよう心がけた。					
市役所	日常生活を営むうえにおいて、近隣の生活環境を損ねることのないよう啓発すると共に、発生した場合速やかに解決に努めた。					

指標名		河川水質の環境基準達成項目数<PH(水素イオン濃度)、BOD(生物化学的酸素要求量)、SS(浮遊物質)、DO(溶存酸素量)>【木曽川】				主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	項目	—	4	4	4	・環境監視事業
実績値	項目	4	4	4	4	
達成率	%	—	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	河川等の水質汚濁の主な原因は、各家庭からの生活排水が大きな要因とされている。水質汚濁を防止するため、各家庭において生活排水対策を実践し水環境の保全に心がけた。					
市役所	市内主要河川14地点において、生活環境の保全に関する4項目を年4回、人の健康の保護に関する9項目を年2回水質調査している。また、年1回7地点にて人の健康の保護に関する15項目の水質調査し、河川等の水質を調査することにより、河川等の水質監視に努めた。					

指標名 河川水質の環境基準達成項目数<PH(水素イオン濃度)、BOD(生物化学的酸素要求量)、SS(浮遊物質)、DO(溶存酸素量)>【日光川】						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業 ・環境監視事業
目標値	項目	—	4	4	4	
実績値	項目	3	3	3	3	
達成率	%	—	75.0	75.0	75.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	河川等の水質汚濁の主な原因は、各家庭からの生活排水が大きな要因とされている。水質汚濁を防止するため、各家庭において生活排水対策を実践し水環境の保全に心がけた。					
市役所	市内主要河川14地点において、生活環境の保全に関する4項目を年4回、人の健康の保護に関する9項目を年2回水質調査している。また、年1回7地点にて人の健康の保護に関する15項目の水質を調査することにより、河川等の水質監視に努めた。					

指標名 大気中の窒素酸化物の量【二酸化窒素】						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業 ・環境監視事業
目標値	ppm	—	→	→	→	
実績値	ppm	0.027	0.028	0.020	0.027	
達成率	%	—	96.4	135.0	100.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	大気中の窒素酸化物は、光化学スモッグや酸性雨を引き起こす大気汚染物質であり、主な発生源は、自動車の排気ガスであるため、自動車の使用を控えることにより、大気汚染の防止に努めた。					
市役所	大気汚染状況を常に監視し、汚染状況が著しい場合には光化学スモッグ予報、注意報等を発令し、健康被害の防止に努める。また、大気汚染の防止についてアイドリングストップ等を定期的に啓発し、大気環境の保全を図った。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>公害苦情件数の増加は、生活環境問題への関心の高まりによるものであり、必ずしも公害苦情の発生増によるものではないと考えているが、引き続き、市民の生活環境を損ねることのないよう、啓発活動の強化を図る。</p> <p>河川等の水質については、各家庭からの排水が水質を悪化させる大きな要因であるため、引き続き生活排水対策や環境監視事業に取り組む。</p> <p>二酸化窒素の排出を抑制する取り組みとして、アイドリングストップなどの啓発活動に取り組む。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>各家庭における苦情が年々増加しており、特にごみの焼却・雑草苦情だけでも373件あるため、生活環境を保全するための意識の高揚が望まれる。また、河川等の水質については各家庭における排水が大きな要因であるため、河川・用水等における冬季の通水及び下水道の整備が望まれる。</p>	

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

広報こうなん、ホームページ等で、地球温暖化防止・環境負荷の低減等、環境問題に対する取り組みを市民に広く啓発したことにより、市民の環境保全に対する意識が向上してきていること及び、騒音・振動・悪臭を発生させる事業所等に立入り調査等を実施し、公害の発生を防止してきたことにより、市民の満足度も高まってきた。

◆柱全体の今後の課題

自然と調和した快適な生活環境を確保するためには、市民一人ひとりの生活環境に対する意識の向上が必要であり、また事業所においても周辺的生活環境に対する配慮が必要であるため、啓発活動を強化する。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

省資源・省エネルギーは、市民一人ひとりの日常生活における心がけや事業活動における環境への配慮が大切であるため、もう一度生活スタイルを見直し、環境負荷を低減させるライフスタイルが確立できるよう啓発に努める。


まちづくり評価シート

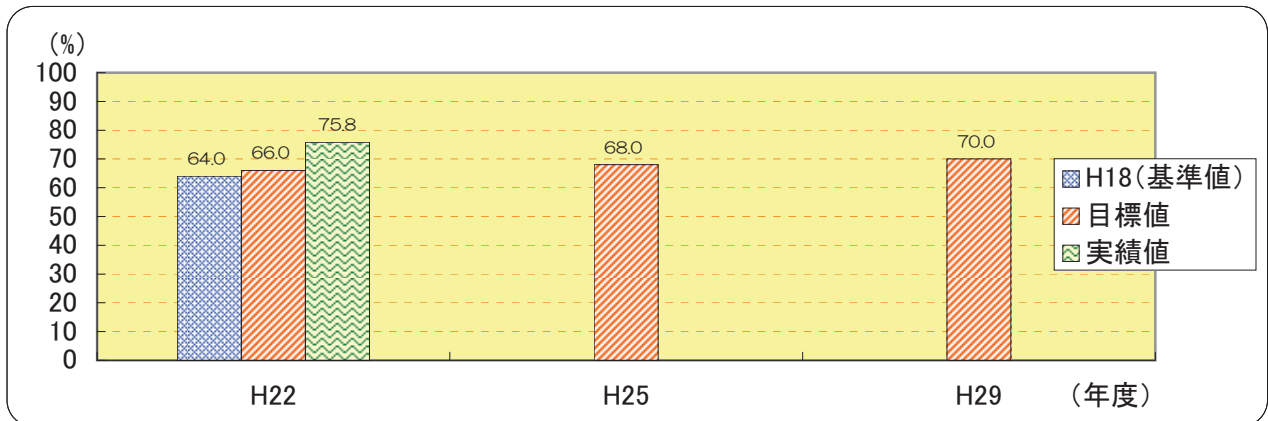
生活産業部【担う分野：I 生活環境、産業分野】

環境課【担う柱：6 ごみ減量と適切な処理の推進】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 ごみ減量やリサイクルを取り入れた生活環境が実現し、市民が安心して暮らしている




指標名	ごみの減量やリサイクルに取り組んでいる市民の割合			実績値の分析 ごみ減量・リサイクルについては、事業所・市民に対し広報・チラシ・HPによる啓発や環境フェスタ・ごみ減量懇談会・施設見学等による意識向上を図ったことが向上の要因と思われる。
	単位	H18 (基準値)	H22	
目標値	%	—	66.0	
実績値	%	64.0	75.8	
達成率	%	—	114.8	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価




ごみの減量の推進については、平成10年より始まったごみ減量「57運動」が市民等の理解・協力により出されるごみが減少傾向にあり、この運動の関心が高まった結果と思われる。
また、資源ごみ集積場所での分別方法やリサイクル処理の必要性等に対する住民の理解が次第に浸透し、地域で当番制が確立され、多くの住民の協力により資源ごみの分別がされている。



個別目標① リサイクルが進み、市民が出す可燃ごみ量が減っている




指標名	市民1人1日当たりの家庭系可燃ごみ排出量					主な事務事業 ・ごみ減量対策・ごみ減量作戦「57運動」事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	g	—	399	398	396	
実績値	g	419	413	410	402	
達成率	%	—	96.6	97.1	98.5	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	ごみ減量「57運動」に協力し、市民1人ひとりが、ごみの減量に努めた。
市役所	廃棄物減量等推進協議会委員を始め、廃棄物減量等推進員と連携しごみ減量「57運動」、4R推進活動を行った。

指標名 1事業所1年当たりの事業系可燃ごみ排出量						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	t	—	7.6	7.5	7.5	・ごみ減量対策・ごみ減量作戦「57運動」 事業
実績値	t	9.4	8.1	8.1	8.4	
達成率	%	—	93.8	92.6	89.3	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	事業所から出るごみの実態を把握し、減量計画を作成した。また、ごみ減量やリサイクルについて社内調査を実施した。					
市役所	事業所に対して商工会議所が発行している会報にごみの減量・リサイクル推進のチラシを折込み、啓発を行った。					

指標名 リサイクル率						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	35.0	35.0	35.0	・ごみ減量対策・ごみ減量作戦「57運動」 事業 実績値は翌年度3月に確定
実績値	%	33.6	34.4	32.4	—	
達成率	%	—	98.3	92.6	—	
達成状況	—	—			—	
取り組みの状況						
市民	ごみを分別して排出することで市の分別収集に協力し、資源ごみのリサイクル率が向上し、ごみの減量化を図った。					
市役所	ごみ分別の早朝指導、ごみ減量懇談会、施設見学等の実施により、ごみの減量化・資源化の啓発を図った。					

指標名 ボランティア分別指導員の数						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	186	216	246	・ごみ減量対策・ごみ減量作戦「57運動」 事業
実績値	人	136	183	215	215	
達成率	%	—	98.4	99.5	87.4	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	毎年2回開催されるボランティア分別指導員養成講座の受講により、ごみ分別・減量の知識を修得し、資源ごみ集積場所に出されるごみの分別指導に協力した。					
市役所	ボランティア指導員養成講座受講により登録された指導員に対して、現状における分別収集についての意見交換を行った。					




目標達成のための今後の展開方針


環境フェスタ、説明会等で啓発活動を行うなど、ごみ減量の啓発を引き続き実践する。
 企業にごみ分別及び減量の啓発を行うとともに、取り組む企業には情報提供等の支援を行う。
 リサイクル率の向上に向けて、ごみ減量懇談会、環境フェスタ等において啓発活動を行う。
 ボランティア分別指導員養成講座への参加人員の増加を図り、指導員の指導統一のための意見交換会を開催する。

個別目標に対するまちづくり評価

ごみ減量「57運動」の推進による地元説明会、施設見学など市民の意識向上を図る事業は、ごみ減量に効果が出ている。今後もより一層、市民、企業、市役所の協働による地域全体での取り組みを図りたい。

個別目標② ごみ、し尿、火葬が適正に処理され、市民の生活環境が保全されている

指標名	特定家庭用機器などの不法投棄台数					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	台	—	58	57	56	・地域環境美化事業
実績値	台	60	75	35	18	
達成率	%	—	77.3	162.9	311.1	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	クリーン運動に積極的に参加し、散乱ごみの収集を行い、ごみのないまちづくりに取り組んだ。					
市役所	広く市民参加を呼びかけてクリーン運動を実施し、また各地域でのボランティア団体やアダプトの清掃活動を支援した。また、不法投棄防止のためのパトロールや看板貸与を実施した。					

指標名	ごみ・し尿を速やかに収集、処理することで、衛生的に暮らしていると感じる市民の割合					
	単位	H19 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	82.6	83.0	83.3	・可燃ごみ収集運搬事業 ・分別ごみ収集運搬事業 ・し尿等収集運搬事業
実績値	%	82.2	—	—	83.4	
達成率	%	—	—	—	100.1	
達成状況	—	—	—	—		
取り組みの状況						
市民	ごみ出しのルールを正しく理解するとともに、地区の集積場所の管理を責任をもって実施した。					
市役所	出されたゴミをその日のうちに速やかに回収し、処理することで、ごみの無い衛生的な環境の保持に努めた。					

目標達成のための今後の展開方針

不法投棄防止対策として、広報掲載やパトロール・防止看板など、啓発活動を強化する。衛生的な生活環境をつくるため、ごみの出し方など、市民への周知徹底に努めるとともに、迅速で適正な収集・処理を図る。

個別目標に対するまちづくり評価

市民の環境美化意識の向上により、ごみ出しのルール理解促進や不法投棄に対する啓発・防止活動の充実が求められる。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

ごみ減量等の取組みは、ごみ減量「57運動」の推進を図るため、廃棄物減量等推進協議会での検討、地元説明会、施設見学、環境フェスタによるごみの減量に対する啓発活動を行なったことにより、意識向上を図ることができた。

◆柱全体の今後の課題

ごみの減量化・資源化の意識改革向上を図るためにも、環境フェスタ等をとおして意識の高揚、啓発、情報発信、活動支援を行い、ごみ減量に対して一層の推進を図る。
今後のリサイクル事業を進めるうえで、ボランティア分別指導員をさらに育成する必要がある。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

循環型社会形成に向けた意識改革を進めるための情報提供を積極的に行い、ごみの減量とリサイクル率の向上を目標に、住民・事業者・行政の協働推進に努める。

<分野別会議 第1分科会>



Ⅱ 健康、福祉分野

《目標達成状況》

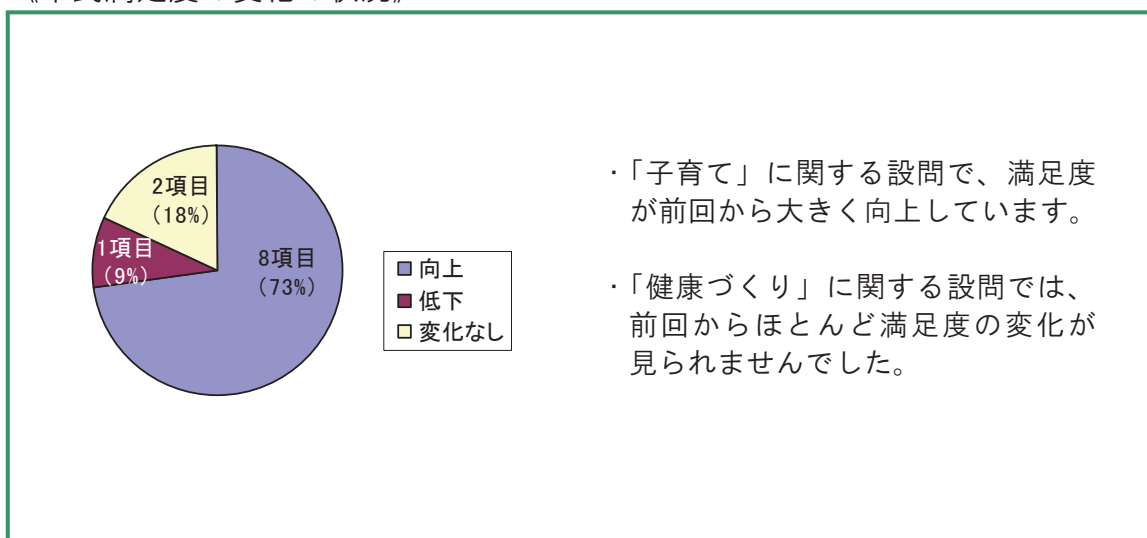
全体目標の平均目標達成率	119.4%
個別目標の平均目標達成率	96.0%
柱1 高齢者福祉	93.0%
柱2 子育て	84.4%
柱3 障害者福祉	80.3%
柱4 健康づくり	105.3%
柱5 保険年金	97.4%
柱6 生活支援・福祉活動	113.9%

※ 柱別の平均達成率は個別目標のみ集計

全体目標の平均目標達成率は、119.4%で目標達成している状況といえます。個別目標の平均目標達成率は96.0%で、その内訳は「柱1 高齢者福祉」関係が93.0%、「柱2 子育て」関係が84.4%、「柱3 障害者福祉」関係が80.3%、「柱4 健康づくり」関係が105.3%、「柱5 保険年金」関係が97.4%、「柱6 生活支援・福祉活動」関係が113.9%でした。

地域での生活支援や支え合う体制が充実し、健康づくりに取り組んで暮らしている状態にあるものの、子育てや障害者福祉での柱は、90%に満たない達成状況であり、市民や市役所の今後の取り組みが必要です。

《市民満足度の変化の状況》



柱1 高齢者の住み慣れた地域での生活の確保

◆主な取り組み

[個別目標①] 高齢者が介護予防に取り組み、介護が必要になっても地域で安心して暮らしている

(市民)

- ・地域包括支援センターが介護予防事業対象者宅を訪問し、事業への参加を促し、介護予防事業に参加しました。
- ・市や地域包括支援センターに設けられた相談窓口で、介護サービスの利用について相談しました。

(市役所)

- ・地域包括支援センターの訪問をスムーズにするため訪問前に介護予防対象者へ文書を発送し事業のPRをしました。
- ・介護サービスの利用促進を図り、ガイドブックの送付や広報に利用案内を掲載しました。

[個別目標②] 高齢者が在宅で安心して暮らしている

(市民)

- ・生活支援・ヘルパー派遣等、介護支援・訪問理髪等、独居老人の支援・給食サービスから、市民が必要なサービスを申請し、安心して在宅生活ができました。
- ・緊急通報装置等を設置することにより、急病、事故等の緊急時に円滑な救助又は援助を受け、日常生活の安全確保と不安の解消ができました。

(市役所)

- ・生活支援・ヘルパー派遣等、介護支援・訪問理髪等、独居老人の支援・給食サービスを実施しました。
- ・緊急通報装置、給食サービス等で見守りを行い、独居老人の緊急時に消防本部、地域包括支援センター等と連携して対処しました。

[個別目標③] 老後も高齢者は生きがいをもって充実した生活を送っている

(市民)

- ・高齢者が親睦を深めたり地域活動を行ったりして生きがいのある充実した生活を送れるように各種事業に参加しました。
- ・生きがいをもって働きたいと思う高齢者は、シルバー人材センターの会員登録ができるようになっており、諸事業に就労する機会が得られました。

(市役所)

- ・高齢者が親睦を深めたり地域活動に積極的に参加したり生きがいのある充実した生活を送ってもらうために老人クラブ事業を支援し補助金を交付しました。
- ・高齢者が生きがいをもって働きたいと思える事業を展開するために、シルバー人材センターへの補助金を交付しました。
- ・会員一人一人が、働く意欲のある高齢者にチラシ等による勧誘活動や、機関紙、広報等でPRに努めましたが、シルバー人材センターの登録者数は目標を下回りました。

◆主な成果

- ・地域包括支援センターなどの関係機関と連携し、介護予防事業などの実施及び相談窓口の充実を図ることができたこと。

◆主な今後の課題

- ・高齢者が生きがいのある充実した生活を送れるよう、時代に即した活動支援を行う必要があること。

柱2 地域で安心して子育てできる環境づくり

◆主な取り組み

[個別目標①] 働きながら子育てする家庭が、安心して育児ができています

(市民)

- ・家庭で保育できない保護者は、保育園の入園申請をしました。
- ・家庭で保育できない保護者は、学童保育の利用申請をしました。

(市役所)

- ・保育園の入園希望に添って、保育士の雇用、保育環境の整備を図りました。
- ・学童保育の待機児童解消のため、施設整備を行い、実施定員を増やしました。
- ・指定管理者制度を導入し、効率的な運営と保育サービスの充実を図りました。

[個別目標②] 家庭での子育て不安が解消でき、育児が楽しくできています

(市民)

- ・子育て中の保護者は、子育て支援センターの育児相談を利用したり、子育て教室に積極的に参加するなど知識の習得に努めました。
- ・地域等で児童虐待やネグレクトと思われるような案件を見聞きした場合に、市役所または児童相談センターまで通報しました。

(市役所)

- ・平成21年度に宮田地区に子育て支援センターを1か所新設し、利用者の利便性を図りました。
- ・市民等より通報があった場合、速やかに訪問し、その状況を確認するとともに、児童相談センターへ報告し、対応の方法を協議しました。その後引き続き見守りが必要な場合は、江南市要保護児童地域対策協議会の実務者会議で関係機関と情報を共有しました。
- ・児童虐待防止のため、啓発や見守り等を強化しましたが、世間の虐待への関心の高まりとともに通報件数も増え、結果的に虐待件数を減少させることができませんでした。

[個別目標③] 異年齢児との交流や親子での遊びを通じ、子どもが健全に育っています

(市民)

- ・身近な遊び場である児童館などを利用しました。
- ・各地区で活動するボランティア団体や子ども会活動に積極的に参加しました。

(市役所)

- ・児童館などで安全に遊ぶことができるよう施設整備をし、遊び場の拠点として充実させました。
- ・児童館合同行事の内容を見直し、多くの児童が参加できるようにしました。
- ・指定管理者制度を導入し、効率的な運営と児童館サービスの充実を図りました。

[個別目標④] 支援が必要な子育て家庭が自立して子育てができています

(市民)

- ・児童扶養手当の受給者は、手当の意義が自立するまでの一時的な支援であることを自覚し、早く自立した生活を送ることができるよう努力しました。
- ・母子家庭として自立して生活できるよう努力しなければならないことを自覚し、より安定した就職先を得るために、資格が取得できるよう努力しました。

(市役所)

- ・より安定した就職先を得るために、資格を取得するための就労教育訓練を案内し、母子家庭の自立を促すため相談業務を行うとともに、就労教育訓練を受けた市民に対し、自立支援教育訓練給付金を支給しました。
- ・母子家庭が自立するための資格取得に係る就労教育訓練に対する自立支援教育訓練給付金事業を広報・啓発したが、事業に対する問合せは多いものの、申請は少人数でした。

[個別目標⑤] 障害児は療育支援や統合保育での発達支援を受けています

(市民)

- ・健康診査で指摘された障害児や発達に遅れがある幼児を持つ保護者は、積極的に施設を利用し療育指導を受けました。
- ・保育園での統合保育を希望する保護者は、保育園の入園申請をしました。
(市役所)
- ・わかくさ園の施設を整備し、受入定員を増やすとともに、療育支援回数を増やしました。
- ・関係機関とも連携し、集団療育訓練、日常生活自立訓練等を行い、健全な育成を援助しました。
- ・保育園の障害児保育指定園を増やし、保護者の入園希望に添って統合保育しました。

◆主な成果

- ・第2子育て支援センターを開設し、利用者増加への対応及び利便性の向上を図ることができたこと。

◆主な今後の課題

- ・親が子どもを育てやすい環境整備を図り、子育て家庭に対する積極的な支援を行う必要があること。

柱3 障害者の生きがいと安心した生活の確保

◆主な取り組み

[個別目標①] 障害者が生活しやすい社会環境が整備され、能力にあった就労・社会参加をしている

(市 民)

- ・犬山公共職業安定所や市役所内の江南市地域職業相談室などで職業相談を受けました。
- ・市内の障害者福祉サービス事業所で利用者が製品化した授産品を市役所で販売しました。

(市役所)

- ・犬山公共職業安定所等と連携し障害者雇用の促進・周知に努めました。
- ・企業に対して知的障害者に係る職親委託制度の採用を勧めました。
- ・就労継続支援及び就労移行支援サービスを提供する施設を就労の場として支援しました。

[個別目標②] 障害者は日常生活の支援を受け、安定した生活をしている

(市 民)

- ・地域での自立を目指し自立訓練や、グループホームなどの支援を受けました。
- ・地域での自立した生活を送るために、居宅介護(ホームヘルプ)や重度訪問介護等の支援を受けました。

(市役所)

- ・個々の状況に応じた居宅介護(ホームヘルプ)や重度訪問介護等の訪問系サービスを提供しました。
- ・生活介護、自立訓練などの日中活動系サービスを利用し、グループホーム等に移行し施設入所者数の削減に努めました。

◆主な成果

- ・聞き取りにより障害状況に応じた障害者福祉サービスの提供ができたこと。

◆主な今後の課題

- ・障害のある人が、必要な時に必要な障害福祉サービスを受けることができるための支援体制の充実を図る必要があること。

柱4 健康な生活の確保

◆主な取り組み

[個別目標①] 自らが疾病予防に取り組んでいる

(市 民)

- ・健康診査・がん検診・歯科健康診査等を受診しました。
- ・体を普段から動かすように意識しました。
- ・健康に関する講座やイベント等に参加しました。

(市役所)

- ・健康診査・がん検診・歯科健康診査等を実施しました。
- ・生活習慣病予防に関する健康講座を開催しました。
- ・市民健康フェスティバルを開催しました。
- ・健康づくりのためのボランティア活動を展開していただくため「食生活改善グループ養成講座」を開催しました。

[個別目標②] 必要な予防接種を受け、感染症にかかることなく健康を維持している

(市 民)

- ・健康維持のため予防接種(三種混合・BCG等)を医療機関等で受けました。
- ・犬の飼い主は動物病院等に出向き狂犬病予防注射を受けさせました。
- ・感染症予防に関する知識を得ることができました。

(市役所)

- ・予防接種を受ける必要性や効果・副反応等を説明しました。定期、任意予防接種対象者に予診票を送付し接種勧奨をしました。また、MR予防接種をされていない方には、再度の接種勧奨をしました。
- ・犬の飼い主(登録済者)に個別通知し狂犬病予防注射の勧奨をしました。
- ・感染症に関する知識の普及に努めました。

[個別目標③] 母子が健康保持に積極的に取り組み、母子共に健康に暮らしている

(市 民)

- ・妊婦健診、産婦健診を医療機関等で受け妊娠期の健康管理に努めました。
- ・広報、ホームページで健診日を確認し、保健センターで実施している乳幼児健診を受けました。

(市役所)

- ・母子健康手帳交付時に、妊婦健康診査受診の大切さや制度の内容を周知するとともに健診費用の助成をすることで経済的支援に努めました。
- ・乳幼児健診の対象ごとに広報やホームページに受診日を知らせるとともに、健診案内を送付し、受診の勧奨をしました。

[個別目標④] 市民が安心して医療を受けている

(市民)

- ・病気やけがの程度により、軽度であれば、かかりつけ医や休日急病診療所を受診し、重度の場合は、第2次救急医療機関の江南厚生病院を受診しました。

(市役所)

- ・休日急病診療所を開設するとともに、市ホームページで尾北医師会及び尾北歯科医師会ホームページにリンクし各医療機関の診療科目、診療時間等の情報を提供しました。
また、第2次救急医療対策費補助金・小児救急医療対策費補助金及び江南厚生病院建設費補助金等を交付し、医療機関等への支援を実施することで、医療体制の確保に努めました。
- ・休日急病診療所の診療時間を午後7時までに延長し、市民の休日診療の利便性を図りました。

◆主な成果

- ・三種混合、BCGなどの予防接種、妊婦健康診査が、高い接種率・受診率を確保できたこと。

◆主な今後の課題

- ・健康診査、各種がん検診の受診率の向上を図る必要があること。

柱5 保険年金制度の健全な運営

◆主な取り組み

[個別目標①] 医療保険制度が健全に運営され、市民が安心して医療を受けている

(市民)

- ・国民健康保険被保険者は、国民健康保険税を納付しました。
- ・国民健康保険被保険者は、国民健康保険の資格取得などの届出を行いました。
- ・40歳以上の国民健康保険被保険者は、特定健康診査及び特定保健指導を受診しました。
- ・福祉医療受給者は、福祉医療の助成に関する届出を行いました。
- ・後期高齢者医療の被保険者は、制度運営に必要な保険料を納付しました。
- ・後期高齢者医療の被保険者は、資格取得や医療費等の支給に関する届出を行いました。

(市役所)

- ・国民健康保険を健全に運営し、被保険者に対し療養の給付などを行いました。
- ・40歳以上の国民健康保険被保険者に対し、特定健康診査及び特定保健指導を行いました。
- ・福祉医療の対象者に対し、医療費の助成を行いました。
- ・平成22年7月診療分から、子ども医療費の通院医療費助成対象を小学3年生までに拡大しました。また、精神障害者医療費の助成対象を拡大し、精神障害者保健福祉手帳1・2級所持者に対し、精神疾患以外の入通院医療費のうち2分の1を助成しました。
- ・後期高齢者医療被保険者の方の資格取得等の受付を行い、後期高齢者医療広域連合と連絡調整を行いました。
- ・医療保険の制度、届出、給付などに関する広報を行いました。

[個別目標②] 国民年金制度への理解が深まり、届出や保険料の納付が適正に行われている

(市民)

- ・国民年金の資格取得などの届出、免除などの申請、給付に関する請求手続きなどを行いました。
- ・国民年金の保険料を納付しました。

(市役所)

- ・国民年金の届出、納付その他制度に関する広報を行いました。
- ・国民年金の資格取得などの届出、免除などの申請、給付に関する請求書などを受理し、日本年金機構に報告しました。
- ・国民年金の業務や制度に関する相談を行いました。

◆主な成果

- ・国民健康保険、後期高齢者医療などの福祉医療について、的確な給付の実施により、市民生活の不安軽減ができたこと。

◆主な今後の課題

- ・国民健康保険制度などの健全で安定した運営を維持するため、保険税の確保及び医療費の抑制を図る必要があること。

柱6 地域での生活支援の充実と地域で支え合う体制の確保

◆主な取り組み

[個別目標①] 生活困窮者や被災者が支援を受け、自立している

(市民)

- ・自治会、自主防災会などの自治組織に参加し共助活動をしました。
- ・生活保護受給者が自立に向け、犬山公共職業安定所での就労活動等を行いました。
- ・民生委員は、地域における生活困窮者の状況を常に把握しました。

(市役所)

- ・貸付・見舞金など経済的支援や就労相談など生活の安定に向けて支援制度を整備しました。
- ・生活保護者の自立を促すため、家庭訪問し、生活環境や就労等のアドバイスを行いました。
- ・生活保護世帯の自立に向けての支援を犬山公共職業安定所など関係機関との連携により行いました。
- ・離職者で住居を喪失する者又は喪失するおそれのある者に対して、住宅手当を支給し安心して就労活動が図れるようにしました。

[個別目標②] 社会福祉関係団体などが地域の福祉活動を積極的に行っている

(市民)

- ・スポーツ大会、作品展など団体が行う事業に参加しました。
- ・ボランティア団体、NPOなどの社会福祉団体がリーダーなど専門的人材を育成しました。
- ・ボランティア団体、NPOなどの社会福祉団体が活動内容をPRしました。

(市役所)

- ・各団体への財政的支援及び会議や活動の場に赴き、支援や助言を行いました。
- ・スポーツ大会などを行うための障害者(児)連絡協議会や社会福祉協議会を通じてボランティアセンターへの支援を行いました。

[個別目標③] 生活困窮者や高齢者などは、民生委員等の支援を受け、問題を解決し、安定した生活をしている

(市民)

- ・日常生活における困りごとについて、民生委員に相談しました。
- ・地域福祉活動に積極的に参加しました。

(市役所)

- ・研修会等を通じ民生委員の知識の向上を図りました。
- ・民生委員活動がより効果的な活動になるよう支援しました。

[個別目標④] 地域住民が地域福祉活動や学習活動を積極的に行っている

(市民)

- ・学習等供用施設を積極的に利用しました。

(市役所)

- ・施設の効率的及び効果的な運営を図りました。

◆主な成果

- ・民生委員、江南市社会福祉協議会などの関係機関と連携し、生活困窮者などの自立に向けての支援を行うことができたこと。
- ・市民ニーズが的確に把握でき、必要な福祉サービスを受けることができたこと。

◆主な今後の課題

- ・生活困窮者などの自立に向けて、経済的支援や生活支援等を充実させ、関係機関との一層の連携を図る必要があること。
- ・「福祉から就労へ」をスローガンとし、積極的に関係機関と連携を図り自立に向けて支援すること。

まちづくり評価シート

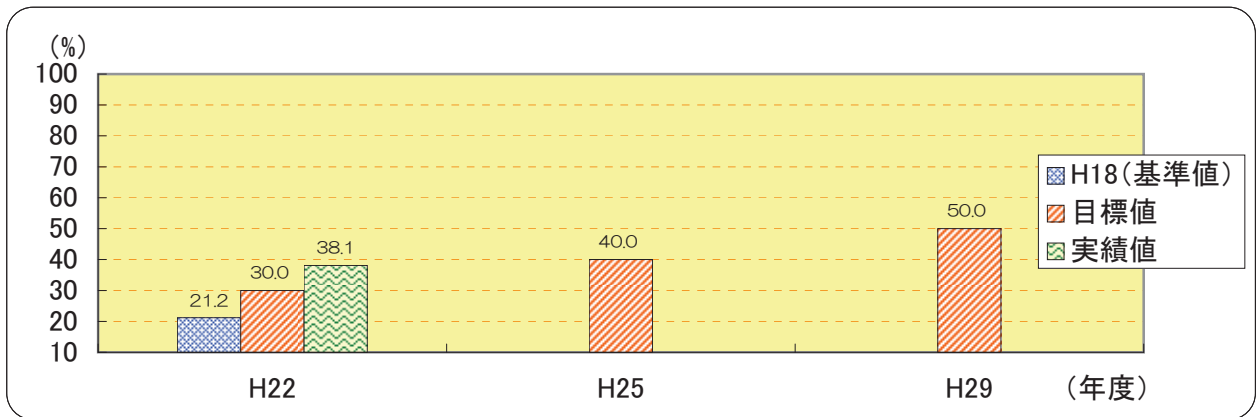
健康福祉部【担う分野：Ⅱ 健康、福祉分野】

高齢者生きがい課【担う柱：1 高齢者の住み慣れた地域での生活の確保】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 高齢者が生きがいをもって安心して暮らしている

指標名	高齢者が、生きがいをもち、自立して暮らしていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H22	実績値の分析 高齢者が生きがいをもって暮らしていけるよう、高齢者福祉事業の推進に努めた。
目標値	%	—	30.0	
実績値	%	21.2	38.1	
達成率	%	—	127.0	
達成状況	—	—	☀️	



全体目標に対するまちづくり評価

地域包括支援センターなどの関係機関と連携し、介護予防事業の実施及び相談窓口を充実していただきたい。また、シルバー人材センター、老人クラブの活動を支援しているが、高齢者が住み慣れた地域で、積極的に活動できるような組織づくりや場所の提供を行うなど、今後も引き続き高齢者福祉事業の推進に努めていただきたい。

個別目標① 高齢者が介護予防に取り組み、介護が必要になっても地域で安心して暮らしている

指標名	高齢者人口に占める要介護者の割合					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業 ・介護認定支援事業 ・地域支援事業
目標値	%	—	14.0	14.5	15.0	
実績値	%	13.0	12.4	12.3	12.6	
達成率	%	—	112.9	117.9	119.0	
達成状況	—	—	☀️	☀️	☀️	

取り組みの状況

市民	地域包括支援センターの職員が、直接、特定高齢者宅を訪問し介護予防事業の目的を説明し参加を促した。
市役所	公平・適正な介護認定を行うため、審査委員や調査員の研修を行った。 介護予防事業参加のため特定高齢者に事業参加を促す文書を発送し、その後包括支援センターが直接アプローチした。

指標名	介護保険サービスを利用している割合					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	78.0	79.0	80.0	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険居宅サービス等給付事業 ・介護保険施設サービス給付事業 ・介護サービス負担軽減事業 ・住宅改修・福祉用具支給決定事業
実績値	%	77.2	77.8	77.2	80.3	
達成率	%	—	99.7	97.7	100.4	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	介護サービスなどの利用について、市の窓口や地域包括支援センターなど複数の相談窓口が設けられている。					
市役所	介護サービスの利用促進を図り、介護保険ガイドブックを送付し、広報にサービス利用の案内を掲載しその利用に努めた。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>現在の方針通り、地域で安心・安全に暮らすため、要介護等の状態になるのを防ぐため、介護予防事業のPRを行わない参加を募り、実施参加人数の増加を目指す。</p> <p>また、介護状態になっても地域で安全・安心に暮せるように介護サービスの選択肢を増やし、安定したサービスの供給を目指す。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>超高齢社会が到来している中で、要介護認定者になるのを防ぎ、介護に係る給付費を抑える一方、介護状態になっても必要な介護サービスが安心して受けられるよう、サービスの充実を目指していただきたい。</p>	

個別目標② 高齢者が在宅で安心して暮らしている

指標名	高齢者の在宅生活のための福祉サービスが充実していると感じる市民の割合					
	単位	H19 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	29.0	29.5	30.0	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉電話設置事業 ・緊急通報装置設置事業 ・高齢者住宅改善助成事業 ・寝具洗濯事業 ・老人日常生活用具給付事業 ・シルバーガイドブック作成事業 ・給食サービス事業 ・高齢者タクシー基本料金助成事業 ・外国人高齢者福祉手当支給事業 ・訪問理髪等事業 ・高齢者虐待防止ネットワーク運営事業 ・生活支援訪問事業 ・生活支援通所事業 ・生活支援短期宿泊事業 ・高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業 ・在宅ねたきり老人等紙おむつ支給事業 ・在宅ねたきり老人等介護慰労事業 ・福祉有償運送運営事業 ・老人保護措置事業
実績値	%	28.5	—	—	34.5	
達成率	%	—	—	—	115.0	
達成状況	—	—	—	—		

取り組みの状況	
市民	高齢者の在宅生活のための福祉サービスがなされている。
市役所	高齢者の在宅生活に必要な福祉サービスに関する各種事業を展開している。

目標達成のための今後の展開方針
高齢者の生活における諸問題(虐待・独居老人の健康管理)等で対応が、地域包括支援センターを中心に解決に向けて活動しているが、市の関係課担当職員との連携が必要であり今後においても従来どおり支援、連携を図ることが必要である。

個別目標に対するまちづくり評価
高齢者の生活における諸問題(虐待・独居老人の健康管理)等で対応が、地域包括支援センターを中心に解決に向けて活動しているが、市の関係課担当職員との連携が必要であり今後においても従来どおり支援、連携を図ることが必要である。

個別目標③ 老後も高齢者は生きがいをもって充実した生活を送っている

指標名	シルバー人材センターの登録者数					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	人	—	561	596	631	・高齢者生きがい活動事業
実績値	人	491	477	429	372	
達成率	%	—	85.0	72.0	59.0	
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	高齢者が生きがいをもって働きたいと思うように、シルバー人材センターの会員登録ができるようになっており、諸事業を広報掲載で情報が得られている。
市役所	高齢者が生きがいをもって働きたいと思える事業を展開するためにシルバー人材センターへの補助金を交付している。また、シルバー人材センターの諸事業や会員登録について、広報などでPRしている。

指標名	老人クラブの会員数					主な事務事業
	単位	H19 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	人	—	7,344	7,822	8,302	・老人クラブ事業
実績値	人	6,866	6,612	6,538	5,938	
達成率	%	—	90.0	83.6	71.5	
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	高齢者が親睦を深めたり地域活動を行ったりして、生きがいのある充実した生活を送れるように、老人クラブ事業が展開されている。
市役所	高齢者が親睦を深めたり地域活動を行ったりして、生きがいのある充実した生活を送ってもらうように、老人クラブ事業を支援し、補助金を交付している。

目標達成のための今後の展開方針

高齢者が生きがいのある充実した生活を送ってもらえるように、シルバー人材センター、老人クラブへの補助金を交付し、全員が生きがいを持って参加できる事業を展開できるよう支援する。

個別目標に対するまちづくり評価

高齢者が生きがいのある充実した生活を送ってもらえるように、今後もシルバー人材センター、老人クラブへの支援をしていただきたい。また、高齢者の社会経験を生かした事業、子どもとふれあいができる事業などの展開について、働きかけていただきたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

地域包括支援センターなどの関係機関と連携し、介護予防事業の実施及び相談窓口の充実が図れたこと及び、地域密着型サービス事業を実施したことにより、介護保険サービスの選択肢が増えた。また、高齢者が生きがいをもって暮らすことができるよう、シルバー人材センター、老人クラブの活動を支援した。

◆柱全体の今後の課題

平成22年4月に実施した市民満足度調査結果では、高齢者が生きがいを持ち、自立して暮しているとの思いについて、「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」と感じている市民が約40.0%あるため、高齢者が生きがいのある充実した生活が送れるように時代に即した活動支援が必要である。また、急速な高齢化に伴い、独居高齢者や介護を必要とする高齢者の増加が予測されることから、高齢者の孤立化を防ぐ取り組みや介護が必要とならないための支援が必要である。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

高齢者が住み慣れた自宅や地域で生きがいを持って活動的に暮らしていくことができるように、地域での見守り体制の整備や、民生委員や社会福祉協議会、シルバー人材センター等の関係機関と協働して、高齢者をこれからの地域を担う重要なマンパワーとして位置づけ、その地域活動を支援する。また、高齢者が健康で豊かな生活を送ることができるよう、高齢者の介護予防に対する意識を高めるとともに、地域や関係機関と協働して介護予防事業を推進する。

まちづくり評価シート

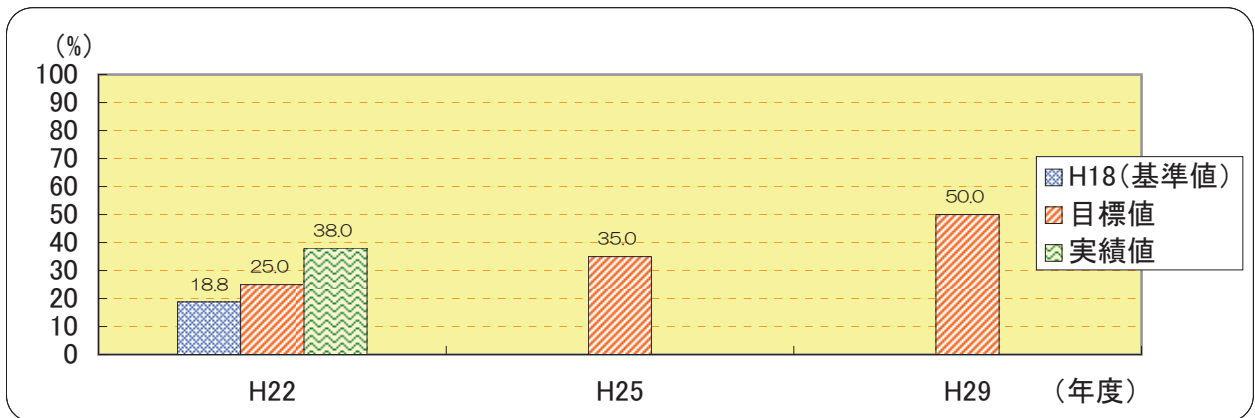
健康福祉部【担う分野：Ⅱ 健康、福祉分野】

子育て支援課【担う柱：2 地域で安心して子育てできる環境づくり】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

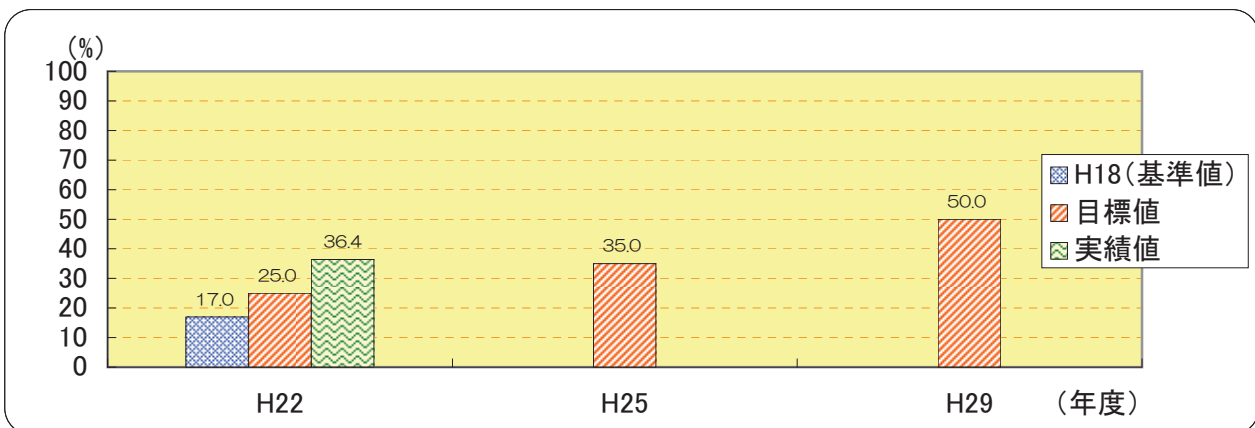
全体目標 安心して子育てしている

指標名	延長保育などの保育サービスを受け、安心して子育てしていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H22	実績値の分析 平成22年4月に実施した、市民満足度調査結果では、目標値を達成することができた。保護者の希望にそった保育環境を整備し、入園待機児童はいなかった。また、指定管理者制度を導入し、保育サービスの充実を図った。
目標値	%	—	25.0	
実績値	%	18.8	38.0	
達成率	%	—	152.0	
達成状況	—	—	☀	



指標名 学童保育や子育て相談・育児教室などの子育て支援を受け、楽しく子育てしていると感じる市民の割合

	単位	H18 (基準値)	H22	実績値の分析 平成22年4月に実施した、市民満足度調査結果では、目標値を達成することができた。子育て支援センターを1センター増設するとともに、基盤施設として、保育園、保健センター等と連携し子育て支援の充実を図った。
目標値	%	—	25.0	
実績値	%	17.0	36.4	
達成率	%	—	145.6	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

近年の急激な社会変化の中で、子どもたちの豊かな心と健やかな育ちを育むために、きめ細かな子育て支援サービスが求められているが、行政だけでなく地域全体で子育て支援・子どもの健全育成に取り組む必要がある。そのためには、地域全体で子育てを応援するという意識啓発を行い、家庭、地域でできることから積極的に取り組み、市民と行政、団体、そして地域が連携して、よりよい子育て環境づくりをすすめる必要がある。

個別目標① 働きながら子育てする家庭が、安心して育児ができている

指標名	保育園入園待機児童数					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	0	0	0	・保育実施事業 ・保育実施事業(保育園)
実績値	人	0	0	0	0	
達成率	%	—	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	家庭で保育できない保護者は、保育園への入園申請をした。
市役所	入園希望数に添って施設の整備を図った。

指標名	ファミリー・サポート・センター援助員数					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	90	95	100	・ファミリー・サポート・センター事業
実績値	人	85	100	106	108	
達成率	%	—	111.1	111.6	108.0	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	子育てを地域で支えあう組織に積極的に参加した。
市役所	アドバイザーやサブリーダーが中心になって、制度の周知を図るとともに、依頼者、援助者の連絡調整をした。

指標名	学童保育受入待機児童数					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	0	0	0	・放課後児童健全育成事業
実績値	人	0	7	0	0	
達成率	%	—	0.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	家庭で保育できない保護者は、学童保育の申請をした。
市役所	待機児童解消のため、申し込み期間内の申し込みについては、全申込み者を入所させた。




目標達成のための今後の展開方針

保育園については、効率的な運営に努めるとともに、夫婦共働きの勤労世帯の増加や就労時間の多様化などから、低年齢児保育、一時保育、休日保育、病児・病後児保育など、多様な保育サービスの充実が求められており、子育て支援の基盤整備を推進する。
学童保育利用者が今後も増加することが予想されるため、施設の確保に努めるとともに、利用者から要望もある開設時間の延長等についても検討を進める。

個別目標に対するまちづくり評価




保育園については、待機児童も無く、18園で利用者にとって比較的住居の近くにあり利便性がある面では評価できるが、施設の老朽化、狭い園庭、送迎用の駐車場が無いなど幾多の課題がある。

個別目標② 家庭での子育て不安が解消でき、育児が楽しくできている

指標名		子育て支援センター(子育てサロン)の利用者数				
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	8,000	8,400	8,700	・子育て支援センター事業
実績値	人	7,632	7,297	9,921	11,927	
達成率	%	—	91.2	118.1	137.1	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	子育て中の家庭の保護者が、育児不安などがある場合には気軽に利用した。また、子育て教室や講座に積極的に参加し、知識の習得に努めた。
市役所	子育て家庭などに対して、育児不安などに対する相談、助言、子育てサークルの育成、ほほえみ広場の開催、父親の育児参加を推進・啓発し、ニーズに応じた教室・講座を開催した。また、施設の増設を図り、利用しやすい環境の整備に努めた。

指標名		児童虐待発生件数				
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	件	—	↓	↓	↓	・児童委員事業 ・育児支援家庭訪問事業 ・家庭児童相談事業 ・要保護児童対策地域事業
実績値	件	6	19	4	27	
達成率	%	—	31.6	150.0	22.2	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	地域等で、身体的虐待やネグレクトなどの児童虐待と思われるような案件を見聞きした場合に、市役所または児童相談センターまで通報した。
市役所	市民等より通報があった場合、速やかに訪問し、その状況を確認するとともに、児童相談センターへ報告し、対応の方法を協議した。その後引き続き見守りが必要な場合は、江南市要保護児童対策地域協議会の実務者会議で関係機関と情報を共有した。




目標達成のための今後の展開方針

子育て支援センターについては、子育て不安の早期発見を図るため、保健センターとも連携するとともに、市内2施設で子育て中の家族や子育てサークルを支援して行く。
児童虐待については、限りなくゼロに近づけることが最終目的である。いかに情報を提供してもらうかが課題なので、機会をとらえて関係機関及び地域に対し、引き続き啓蒙に努める。

個別目標に対するまちづくり評価

子育て支援センターについては、平成21年度において北部地区に1か所新設されたことにより、利用者の利便性が図られ評価できる。
児童虐待については、子どもの安全を第1に考え、通報後のフォローに対する事務の進め方は評価できる。匿名での通報を除き、通報者に対して事後の経過を報告していただきたい。

個別目標③ 異年齢児との交流や親子での遊びを通じ、子どもが健全に育っている

指標名		児童館活動への延べ参加利用者数				
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	134,000	137,000	140,000	・児童館活動事業
実績値	人	132,393	115,786	113,594	112,944	
達成率	%	—	86.4	82.9	80.7	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	市民が積極的に児童館活動に参加した。
市役所	地域に密着した、子どもが親しみやすく気軽に遊びに来る児童館にした。

指標名	子どもフェスティバル来場者数					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	人	—	23,000	26,000	30,000	・子どもフェスティバル事業
実績値	人	20,000	18,000	50,000	23,000	
達成率	%	—	78.3	192.3	76.7	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	親子そろって、こどもフェスティバルに参加した。
市役所	多くの催し物を企画し、親と子の交流、子ども同士の交流を深めるとともに、市民参加型のイベントとして企画実行した。

目標達成のための今後の展開方針

児童館活動については、企画内容や遊び方など、児童館の本来あるべき姿を再度検討する必要がある。子どもフェスティバルの催し物の形態が定着しているが、マンネリ化しないためにも運営協議会等で新たな催し物を企画する。

個別目標に対するまちづくり評価

達成率は天候に大きく左右されることになるが、今後更なる顧客増加に向け、努力してほしい。

個別目標④ 支援が必要な子育て家庭が自立して子育てができている

指標名	ひとり親家庭の自立人数					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	人	—	90	90	90	・児童・遺児手当等事業
実績値	人	83	87	82	89	
達成率	%	—	96.7	91.1	98.9	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	児童扶養手当の受給者は、手当の意義が自立するまでの支援であることを自覚し、1日も早く自立した生活を送ることができるよう努力した。
市役所	より安定した就職先を得るために、資格を取得するための就労教育訓練を案内し、母子家庭の自立を促すため、相談業務を行った。

指標名	母子家庭が自立するための就労への教育支援件数					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	件	—	10	15	20	・母子家庭自立支援給付事業
実績値	件	6	2	1	1	
達成率	%	—	20.0	6.7	5.0	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	母子家庭として自立して生活できるよう努力しなければならないことを自覚し、より安定した就職先を得るために、資格が取得できるよう努力した。
市役所	より安定した就職先を得るために、資格を取得するための就労教育訓練を案内し、該当者に自立支援教育訓練給付金を支給した。

目標達成のための今後の展開方針

ひとり親家庭の自立人数は、行政努力よりも本人の自覚による影響が大きく左右していると考えられるが、本人がより安定した就職先を得ることができるよう、的確にアドバイスしていきたい。就労への教育支援件数は目標値に比べ実績が伴っていないが、母子相談の件数をみると、平成20年度実績323件、平成21年度実績が357件、平成22年度実績が307件と相変わらず多い。母子相談への的確な対応に努める。

個別目標に対するまちづくり評価

ひとり親家庭における親の就労により、子どものみで過ごしている家庭が見受けられ、子どもの安全が心配される。このような家庭に対する手厚い支援をお願いしたい。

個別目標⑤ 障害児は療育支援や統合保育での発達支援を受けている

指標名	市の母子通園施設への受入待機児童数				
-----	-------------------	--	--	--	--

	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	0	0	0	・障害児デイサービス事業
実績値	人	0	0	0	0	
達成率	%	—	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	健康検査で指摘された障害児や発達に遅れがある子どもを持つ保護者は、積極的に施設を利用し療育指導を受けた。
市役所	関係機関と連携を図りながら、集団療育訓練、日常生活自立訓練、その他の訓練を行い、子どもの健全な育成を援助した。

指標名	保育園の障害児受入待機児童数				
-----	----------------	--	--	--	--

	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	0	0	0	・保育実施事業(保育園)
実績値	人	0	0	0	0	
達成率	%	—	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	保育園での健常児との統合保育を希望する保護者は、積極的に入園申請をした。
市役所	集団保育が必要な障害児のために、健常児との統合保育により、成長発達の促進を支援した。

目標達成のための今後の展開方針

関係機関との連携を密にし早期発見、療育指導による発達支援を行うとともに、民間の事業者が行っている事業の活用を図って行く。

個別目標に対するまちづくり評価

幼児期における障害児への対応は、わかきさ園での療育指導、保育園での健常児との統合保育が実施されており評価できる。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

平成21年4月から、布袋北保育園、古知野児童館及び藤ヶ丘児童館に指定管理者制度を導入し、運営の効率化を図った。子育て支援センターについては、利用者の増加及び利便性を考慮し、平成21年7月に第2子育て支援センターを開設した。

◆柱全体の今後の課題

近年、夫婦共働きの勤労世帯の増加、就労形態の多様化・複雑化、核家族化の進展や地域での人と人のつながりやきずなが希薄化する中、子どもたちや親を取り巻く環境は大きく変化してきており、保育サービスの充実を望む声や子育て家庭の孤立化などで親の育児不安や負担も増加傾向にあります。このため、親が子どもを育てやすい環境整備を図ることが求められており、積極的に支援することが必要である。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

保育園については、現在のところ待機児童はいないが、特に3歳未満児の入園希望者は増加傾向にあり、低年齢児保育の対応が必要となってきた。また、多様化する保育サービスへのきめ細かな対応に努める。学童保育の利用者が年々増加することが予想されるため、小学校の余裕教室の活用に努めるとともに、開設時間を延長することにより就労時間の多様化への対応に努める。子育てに関する相談が気軽にでき、多様な相談内容に対応できるよう、各相談窓口の連携に努める。

まちづくり評価シート

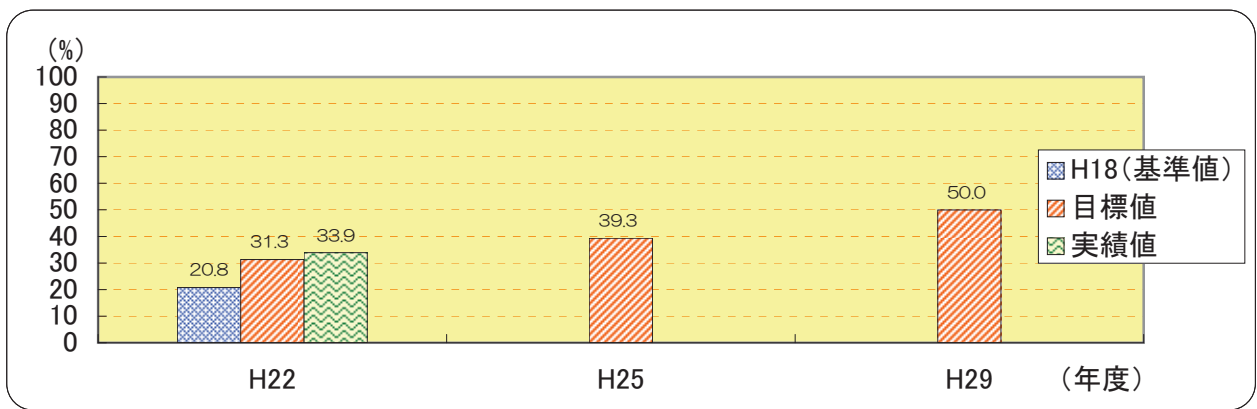
健康福祉部【担う分野：Ⅱ 健康、福祉分野】

福祉課【担う柱：3 障害者の生きがいと安心した生活の確保】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 障害者が自立し、住み慣れた地域で生きがいをもって安心して暮らしている

指標名	福祉サービスが整っており、障害のある人が、作業所への通所やホームヘルパー、デイサービスなどの利用により、地域でいきいきと生活していると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H22	実績値の分析 平成22年4月に実施した、市民満足度調査結果により目標値の平均達成率が108.3%という結果になった。これは、障害者自立支援法が制定され、一元的にサービスを提供できるようになったため
目標値	%	—	31.3	
実績値	%	20.8	33.9	
達成率	%	—	108.3	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

障害者個々の状況や必要とする障害者福祉サービスは違うので、聞き取りにより障害の状況に応じた障害福祉サービスが提供されている。障害福祉サービスの提供体制を確保するため、障害福祉サービス提供事業所に対し、事業参入の働きかけを行い利用増に繋がっているが、今後も、さらなるサービス提供事業所の拡大に努めていきたい。

個別目標① 障害者が生活しやすい社会環境が整備され、能力にあった就労・社会参加をしている

指標名	障害者の雇用率					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業 ・心身障害者小規模授産施設管理運営事業 ・職親委託事業
目標値	%	—	1.80	1.80	1.80	
実績値	%	1.46	1.50	1.51	1.56	
達成率	%	—	83.3	83.9	86.7	
達成状況	—	—	☁	☁	☁	

取り組みの状況

市民	犬山公共職業安定所、市役所内の地域職業相談室などで職業相談を受けた。
市役所	犬山公共職業安定所等と連携し障害者雇用の促進・周知に努めた。 心身障害者小規模授産施設への通所利用を図った。

指標名	公共施設のバリアフリー化率					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	↑	↑	↑	・障害者計画及び障害福祉計画策定事業
実績値	%	60.1	69.8	69.8	69.8	
達成率	%	—	116.1	116.1	116.1	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	複数階における公共施設に、エレベーターの整備や視覚障害者誘導用ブロックの敷設などの要望をした。					
市役所	平成20年度に、名鉄江南駅東口へエレベーターを設置した。					

指標名	就労継続支援及び就労移行支援サービスの利用人数					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	49	61	73	・障害者計画及び障害福祉計画策定事業
実績値	人	不明	12	13	21	
達成率	%	—	24.5	21.3	28.8	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市内の障害者福祉サービス事業所で、利用者がかかわり製品化した授産製品を市役所で販売した。					
市役所	就労継続支援及び就労移行支援サービスを提供する施設を支援した。					




目標達成のための今後の展開方針	
障害者の就労に対する相談体制の充実や福祉的就労の場を確保する。	

個別目標に対するまちづくり評価	
障害者自立支援法に基づき、就労に向けた就労移行支援や就労継続支援のサービスを実施する事業所の参入の働きかけをお願いしたい。	

個別目標② 障害者は日常生活の支援を受け、安定した生活をしている

指標名	施設入所支援サービスの利用人数					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	87	87	87	・障害者施設訓練等支援事業
実績値	人	94	94	90	92	
達成率	%	—	92.6	96.7	94.6	
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	地域での自立を目指し自立訓練や、グループホームなどの支援を受けた。
市役所	生活介護、自立訓練などの日中活動系サービスを利用し、グループホーム等に移行し施設入所者数の削減に努めた。

指標名	訪問系サービス(ホームヘルプ等)の利用人数					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	人	—	89	89	89	・障害者居宅生活支援事業
実績値	人	77	92	78	67	
達成率	%	—	103.4	87.6	75.3	
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	地域での自立した生活を送るために、居宅介護(ホームヘルプ)や重度訪問介護等の支援を受けた。
市役所	個々の状況に応じた居宅介護(ホームヘルプ)や重度訪問介護等の訪問系サービスを提供した。

目標達成のための今後の展開方針
利用者、保護者、事業所と連携を取りながら個々の状況を踏まえ支援に取り組む。

個別目標に対するまちづくり評価
障害者が安定した生活を送るため何を求めているかのニーズ把握をお願いしたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果
障害者個々の状況や必要とする障害者福祉サービスは違うので、聞き取りにより障害状況に応じた障害者福祉サービスを提供することができた。 障害者福祉サービスの提供体制を確保するため、障害福祉サービス提供事業所に対し、事業参入の働きかけを行ったことにより、利用増に繋がった。

◆柱全体の今後の課題
障害のある人が安心して生活していくために、障害のある人やその家族が相談できる身近な相談場所の確保や必要な時に必要な障害福祉サービスを受けることができるための支援体制の充実が求められている。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性
相談窓口として地域サービスセンター及び精神障害者地域活動支援センター「希楽里」の利用促進のため周知と啓発に努めるとともに、障害者が地域で生活していくうえで必要となる障害福祉サービスを実施するサービス事業所の参入を働きかけ、施設整備の支援に努める。

まちづくり評価シート

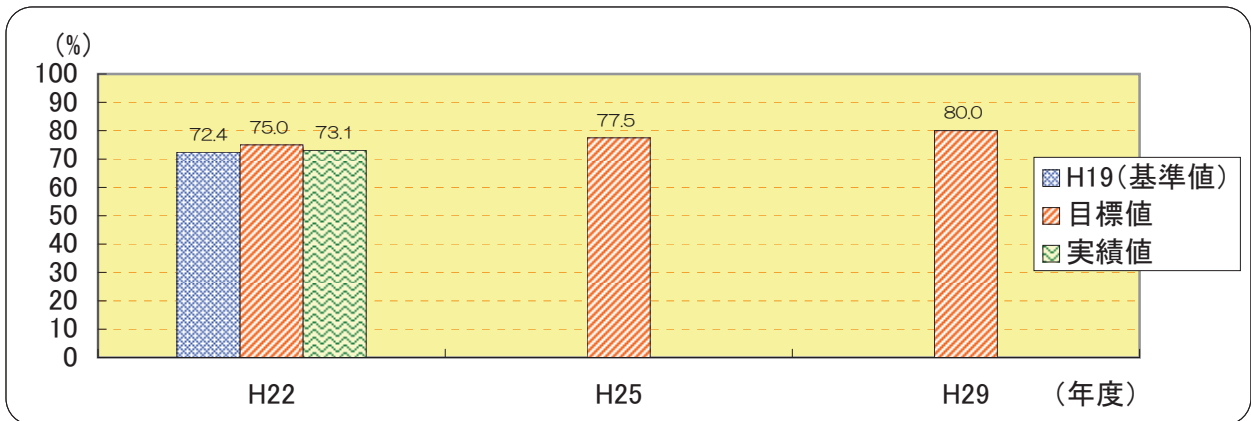
健康福祉部【担う分野：Ⅱ 健康、福祉分野】

健康づくり課【担う柱：4 健康な生活の確保】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 自ら健康づくりに取り組み、健康に暮らしている

指標名	健康づくりに取り組み、健康に暮らしていると感じる市民の割合			
	単位	H19 (基準値)	H22	実績値の分析 前回調査より0.7ポイント上回った。 市が実施している生活習慣病予防の各種健診や健康教育、健康相談等の取り組みが評価されつつある。
目標値	%	—	75.0	
実績値	%	72.4	73.1	
達成率	%	—	97.5	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

市民満足度調査で、73.1%の市民が、「健康づくりに取り組み、健康に暮らしていると感じており」目標値は達成していないが、市が実施している健康増進事業や疾病予防事業などの取り組みが徐々にではあるが評価されつつある。

一方、がん検診を始めとする検(健)診の受診率が低いという現実もあり、疾病の早期発見、早期治療のためにも、健康診査の啓発を広くPRするとともに、食と運動を中心とした健康教育により、健康保持、増進を推進することで、市民の健康意識の醸成を図っていく必要がある。

個別目標① 自らが疾病予防に取り組んでいる




指標名	健康診査受診率					主な事務事業
	単位	H19 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	70.0	70.0	70.0	・健康管理事業 ・後期高齢者等健康診査事業 ・節目年齢歯科健康診査事業
実績値	%	67.7	—	—	65.5	
達成率	%	—	—	—	93.6	
達成状況	—	—	—	—	☀	

取り組みの状況

市民	健康診査・がん検診・節目年齢歯科健康診査等を受診した。
市役所	広報・ホームページに掲載するとともにポスター及び回覧により市民に周知した。 後期高齢者等健診と節目年齢歯科健康診査については、対象者への個別通知をした。 また、女性特有のがん検診(子宮・乳がん)の節目対象者へ無料クーポン券を交付した。

指標名 運動習慣のある市民の割合【男】						
	単位	H14 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	19.9	23.4	27.0	・成人保健事業 ・介護予防事業
実績値	%	16.4	—	—	—	
達成率	%	—	—	—	—	
達成状況	—	—	—	—	—	
取り組みの状況						
市民	市が実施する事業へ積極的に参加するとともに、体を普段から動かすように意識した。					
市役所	生活習慣病予防の教室に運動の内容を組み入れて実施した。あらゆる機会を通じて健康体操等の普及に努めた。					

指標名 運動習慣のある市民の割合【女】						
	単位	H14 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	17.3	20.6	24.0	・成人保健事業 ・介護予防事業
実績値	%	14.0	—	—	—	
達成率	%	—	—	—	—	
達成状況	—	—	—	—	—	
取り組みの状況						
市民	市が実施する事業へ積極的に参加するとともに、体を普段から動かすように意識した。					
市役所	生活習慣病予防の教室に運動の内容を組み入れて実施した。あらゆる機会を通じて健康体操等の普及に努めた。					

指標名 健康フェスティバル参加者数						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	2,000	2,000	2,000	・健康推進事業
実績値	人	1,600	3,838	2,204	3,332	
達成率	%	—	191.9	110.2	166.6	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	健康フェスティバルに参加した。					
市役所	生活習慣の見直しをテーマとして健康フェスティバルを実施した。					




目標達成のための今後の展開方針




広報や通知案内等の内容を市民により分かりやすく伝える視点で作成し、健康コラム等で広く正しい知識を伝えていくことで受診行動につなげる。




個別目標に対するまちづくり評価

健康日本21こうなん計画に沿って、運動習慣のある市民が増加する取り組みをあらゆる機会に取り入れて実施できている。運動や食生活などの健康習慣は継続が必要なため、今後も引き続き実施していただきたい。

個別目標② 必要な予防接種を受け、感染症にかかることなく健康を維持している

指標名 予防接種(三種混合)接種率						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	・予防接種事業
実績値	%	89.4	93.5	95.0	100.0	
達成率	%	—	93.5	95.0	100.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	三種混合予防接種の必要性を理解し予防接種(医療機関)を受けた。					
市役所	三種混合予防接種の必要性や副反応を説明し予防接種を受けることを勧奨した。					

指標名 予防接種(BCG)接種率						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	・予防接種事業
実績値	%	98.1	99.9	99.5	99.6	
達成率	%	—	99.9	99.5	99.6	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	BCGの必要性を理解し予防接種(集団)を受けた。					
市役所	予防接種の予診票や説明書を送付し予防接種を受けることを勧奨した。					

指標名 狂犬病予防注射接種率						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	・動物管理事業
実績値	%	83.6	84.5	84.5	84.4	
達成率	%	—	84.5	84.5	84.4	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	狂犬病の予防注射を集団接種会場又は動物病院で受け、注射したことを届け出た。					
市役所	狂犬病の予防注射の勧奨と注射済であることを届け出る必要性を周知した。					

目標達成のための今後の展開方針

尾張北部圏域広域予防接種の推進。
 予防接種の必要性や副反応についての説明及び個別通知を実施する。
 集団で実施しているMR3期を個別接種へ移行する。
 ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がん予防ワクチン接種の助成の継続。
 高齢者用肺炎球菌ワクチン接種した方へ助成を実施。

個別目標に対するまちづくり評価

市民は、感染症予防の基本である手洗い、うがい等を実践し感染症予防に努めた。希望するワクチン接種については受けられやすい体制をお願いしたい。また、ヒブ、小児肺炎球菌、子宮頸がん予防ワクチン接種費用の助成の継続と、高齢者用肺炎球菌ワクチン接種者への費用の助成を要望する。

個別目標③ 母子が健康保持に積極的に取り組み、母子共に健康に暮らしている

指標名	妊婦健康診査の受診率					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	・母子健康管理事業
実績値	%	95.3	94.3	97.0	95.4	
達成率	%	—	94.3	97.0	95.4	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	医療機関で妊婦健康診査を定期的に受診した。					
市役所	母子健康手帳交付時に、安心安全な妊娠の継続と出産のための健診の必要性を知らせ、14回分の妊婦健康診査受診票を交付し、受診に伴う健診費用を助成した。					

指標名	乳幼児健康診査(4か月児健康診査)の受診率					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	・母子健康管理事業
実績値	%	98.5	97.8	97.7	97.8	
達成率	%	—	97.8	97.7	97.8	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	広報や案内通知で健診日を確認し、健康診査を受けた。					
市役所	健診対象ごとの受診日を広報とホームページに掲載するとともに、健診案内通知と予防接種の予診表を対象者へ送付し、受診を勧奨した。					


目標達成のための今後の展開方針

母子健康手帳交付時に妊婦健康診査の必要性を知らせ、受診を勧奨する。また、乳幼児健康診査未受診者に対し、はがき、電話により受診勧奨をする。

個別目標に対するまちづくり評価

妊婦の健康管理の充実及び経済的負担の軽減のための助成制度を継続してほしい。また、妊産婦を対象にした各種教室の内容を充実していただき、出産・子育てへの不安を少しでも解消できるように手助けしてもらいたい。


個別目標④ 市民が安心して医療を受けている

指標名 かかりつけ医をもっている市民の割合						
	単位	H19 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	57.0	58.0	60.0	・地域医療推進支援事業
実績値	%	56.2	—	—	56.8	
達成率	%	—	—	—	94.7	
達成状況	—	—	—	—		

取り組みの状況

市民	市から提供される情報により、病状やケガの程度により医療機関を選んでいる。					
市役所	市ホームページ及び広報で、休日急病診療所の診療情報を提供するとともに、市ホームページ内の保健のセンターページで、尾北医師会、尾北歯科医師会のホームページにリンクし、各医療機関の診療科目、診療時間、所在等の情報を提供した。					




指標名 病院等の医療体制が整い、安心して暮らしていると感じる市民の割合						
-------------------------------------	--	--	--	--	--	--

	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	50.0	51.0	53.0	・休日急病診療所管理・運営事業 ・地域医療推進支援事業 ・江南厚生病院建設費補助事業
実績値	%	49.3	—	—	71.7	
達成率	%	—	—	—	135.3	
達成状況	—	—	—	—		

取り組みの状況

市民	医療機関の診療時間外の急な病気やケガの場合は、軽度であれば休日急病診療所を受診し、重度の場合は第2次救急医療機関を受診している。					
市役所	休日急病診療所の開設、第2次救急医療対策費補助金・小児救急医療対策費補助金の医療機関等への交付及び江南厚生病院建設費補助金の交付により、医療機関等への支援を実施し、医療体制の確保に努めた。					




指標名 休日急病診療所の受診者数						
------------------	--	--	--	--	--	--

	単位	H20 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	2,138	2,200	2,200	・休日急病診療所管理・運営事業
実績値	人	2,138	2,138	2,538	2,197	
達成率	%	—	100.0	115.4	99.9	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	休日等の急な病気やケガは休日急病診療所を受診している。					
市役所	休日急病診療所を69日開設し、内科・小児科・外科・歯科の診療を実施した。医薬分業等の医療環境の変化に対応するため、在宅当番医制を廃止し、休日急病診療所の診療時間を2時間延長し午後7時までとすることで、第1次救急医療体制の一本化を図った。					

指標名 救急搬送件数						
------------	--	--	--	--	--	--

	単位	H20 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	件	—	4,000	4,000	4,000	・地域医療推進支援事業
実績値	件	4,000	3,977	3,868	4,399	
達成率	%	—	100.6	103.4	90.9	
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	重篤な病気や大きなケガの場合は、高度で専門的な医療を受けることができる第2次救急医療機関を受診している。
市役所	第2次救急医療対策費補助金を交付し、第2次救急医療機関の運営を支援した。

目標達成のための今後の展開方針
市民にかかりつけ医の必要性をPRし、病気やケガの程度により、軽度であれば地域の診療所や休日急病診療所を受診し、重度の場合第2次救急医療機関を受診する。医療機関別の受診方法を確立する。 また、第2次救急医療対策費補助金、小児救急医療対策補助金及び江南厚生病院建設費補助金等の交付により、医療機関等への支援を行い、医療体制の確保に努める。

個別目標に対するまちづくり評価
休日等の第1次救急医療体制を確保するため江南市休日急病診療所を開設する。また、小児の第1次救急医療体制や第2次救急医療体制の確保を目的に補助金を交付するとともに、江南厚生病院建設費補助金、尾北看護専門学校(全日制)運営費補助金を交付し、医療体制の充実を図っていただきたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果
健康診査、がん検診などの検(健)診の実施内容を、市広報及びホームページへの掲載、地区回覧で周知するとともに、啓発ポスターを作成し市施設及び医療機関等でPRを行ったが、受診率の向上にはつながらなかった。三種混合、BCGなどの予防接種、妊婦健康診査、乳幼児健康診査は、ともに高い接種率・受診率を確保することができた。 休日急病診療所の診療時間を2時間延長し、午後7時までとすることで、医薬分業への対応や市民の利便性向上を図ることができた。

◆柱全体の今後の課題
生活スタイルの変化により生活習慣病が増加し、当市でも、がん・循環器病・糖尿病などの生活習慣病による死因が上位を占めている。その一因として、健康診査や各種がん検診の受診率が低いという現実があり、疾病の早期発見、早期治療のためにも、健康診査等の受診率の向上が必要となる。 国で差し控えられていた、日本脳炎の予防接種が開始されたことから接種体制の確保と、接種の機会を逃がした者への救済が課題となる。 また、こころの健康は、いきいきと自分らしく生きるための重要な要件である。現在、出産や育児不安に対する相談体制はできているが、その他のメンタル面のフォローについては、身体状況、居住や職場の環境、対人関係など多くの要素が影響するため、今後の課題である。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性
がん検診などの検(健)診の受診PRを重点的に実施し、受診率等の向上を目指す。各種の予防接種や妊婦健康診査、乳幼児健康診査は、ともに高い接種率、受診率となっているが、さらなる向上を目指し、引き続き勸奨等に努める。 こころの健康については、現在、保健センターで実施している休養・こころの健康づくりの領域の中で、うつ病予防も含めた取り組みについて検討する。

まちづくり評価シート

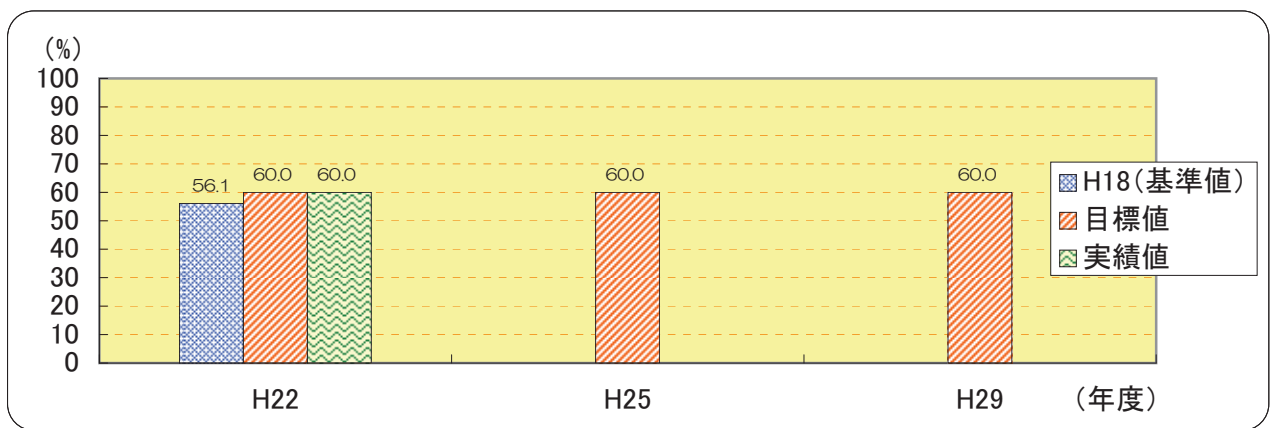
健康福祉部【担う分野：Ⅱ 健康、福祉分野】

保険年金課【担う柱：5 保険年金制度の健全な運営】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 保険年金制度が健全に運営され、もしもの場合の生活の不安が軽減され、安心して暮らしている

指標名	保険年金制度により安心して暮らしていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H22	実績値の分析
目標値	%	—	60.0	60.0%の市民が保険年金制度により安心して暮らしていると感じており、前回調査の56.1%を上回り、目標を達成することができた。これは、窓口において親切、丁寧な対応を心掛けたこと、「国保のしおり」などを通じて医療制度のPRを図ったことなどが評価されたものと思われる。
実績値	%	56.1	60.0	
達成率	%	—	100.0	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

目標は達成できているが、経済不況の今日においては、国民健康保険および後期高齢者医療制度の社会保障としての役割がこれまで以上に重要となるため、今後も健全で安定した運営に努めてほしい。

個別目標① 医療保険制度が健全に運営され、市民が安心して医療を受けている

指標名	国民健康保険給付実施率					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	・保険給付事業
実績値	%	100.0	100.0	100.0	100.0	
達成率	%	—	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	

取り組みの状況

市民	高額療養費や療養費などの必要な給付について申請を行った。
市役所	被保険者に必要な医療給付等を実施した。

指標名 特定健康診査実施率						
	単位	(基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	41.0	47.0	50.0	・特定健康診査・特定保健指導事業
実績値	%	—	44.0	45.5	46.2	
達成率	%	—	107.3	96.8	92.4	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	40歳以上の被保険者は、特定健康診査・特定保健指導を受診し、健康維持に努めた。					
市役所	受診率の向上をめざし、広報等でのPRに努めた。					

指標名 福祉医療費助成実施率						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	・福祉医療費助成事業
実績値	%	100.0	100.0	100.0	100.0	
達成率	%	—	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	福祉医療受給者は、福祉医療の助成に関する届出を行った。					
市役所	医療費受給者証を交付し、医療費助成を実施した。					

指標名 後期高齢者医療給付実施率						
	単位	(基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	・後期高齢者医療支援事業
実績値	%	—	100.0	100.0	100.0	
達成率	%	—	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	容易に保養所を利用することができ、健康保持・増進を図ることができた。					
市役所	協定保養所助成事業及びジェネリック医薬品について、広報等により周知した。					

指標名 国民健康保険税収納率(現年分)						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	↑	↑	↑	・収納対策事業 ・コンビニ収納事務処理事業
実績値	%	91.7	89.9	89.3	90.1	
達成率	%	—	98.0	97.4	98.3	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	国民健康保険税を納付した。					
市役所	戸別訪問徴収を実施した。 多重債務者に対する納税相談を実施した。 口座振替勧奨を窓口で行った。					

指標名	後期高齢者医療保険料納付率					主な事務事業
	単位	H20 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	↑	↑	↑	・後期高齢者医療支援事業
実績値	%	98.9	98.9	99.0	99.1	
達成率	%	—	100.0	100.1	100.2	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	滞納することなく、計画的に安心して保険料を納めることができた。
市役所	徴収員(再任用職員)を1人増員し、保険料の徴収や納付相談等、被保険者へきめ細かな対応を行った。

目標達成のための今後の展開方針

国民健康保険の給付については、新たな制度改正に対し、的確に対応する。
 特定健康診査については、引き続き実施期間、実施方法などの見直しを順次行い、受診率の向上を目指す。
 県制度の補助対象の見直しに併せた子ども医療など受給対象者の拡大を検討する。
 国民健康保険税の収納については、制度理解への啓発、口座振替の勧奨などにより、引き続き収納率の向上を図る。
 高齢者の方々の医療を確保するため、後期高齢者医療制度の啓発及びきめ細かな納付相談を行う。

個別目標に対するまちづくり評価

国民健康保険、後期高齢者医療、福祉医療の各保険医療の給付については実施できている。
 国民健康保険及び後期高齢者医療については、健全な運営ができるよう保険税(料)の収納率の向上をめざして各種事業に取り組んでほしい。

個別目標② 国民年金制度への理解が深まり、届出や保険料の納付が適正に行われている

指標名	国民年金保険料納付率					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	↑	↑	↑	・年金異動処理事業 ・年金保険料納付事業 ・年金給付事業 ・年金推進事業 ・年金相談事業
実績値	%	69.4	66.0	64.0	62.9	
達成率	%	—	95.1	92.2	90.6	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	国民年金の資格取得などの届出、免除などの申請、給付に関する請求手続きなどを行なった。 国民年金の保険料を納付した。
市役所	国民年金の届出、納付その他制度に関する広報を行なった。 国民年金の資格取得などの届出、免除などの申請、給付に関する請求書などを受理し、日本年金機構に報告した。 国民年金の業務や制度に関する相談を行った。

目標達成のための今後の展開方針

保険料納付督促や制度の周知に関する広報活動や免除申請の受付等の事務を継続して実施し、年金事務所と協力連携して保険料納付率の向上に継続して取り組む。

個別目標に対するまちづくり評価

年金記録問題による国民年金制度への信頼低下、経済不況による家計への悪影響などの問題が深刻なため、国民年金保険料納付率は低下する傾向にあると考えるが、保険料納付督促や制度の周知に関する広報活動や免除申請の受付等の事務を継続して実施し、年金事務所と協力連携して保険料納付率の向上に継続して取り組んでほしい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

国民健康保険、後期高齢者医療、障害者など福祉医療などについては適確に給付を実施し、市民の生活の不安を軽減することができた。

国民年金の資格異動や免除申請、給付に関する請求手続について受付をし、日本年金機構へ報告を行うなど、国民年金事務を円滑に進めることができた。

◆柱全体の今後の課題

国民健康保険及び高齢者医療制度の健全で安定した運営を維持するためには、保険税(料)の確保及び医療費の抑制が課題となる。

国民年金制度が、今後も安定した制度の運営を持続できるようにするためには、制度のPRと保険料の納付督促の推進が課題となる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

医療制度については、広報やパンフレットを利用した納税や口座振替の勧奨、医療費についての情報などについて広く周知を図る。

国民年金保険料の納付率の向上をめざし、年金事務所との協力体制を強化する。また、国民の年金制度に対する関心を高めるため、制度のPRなどを広く行う。


まちづくり評価シート

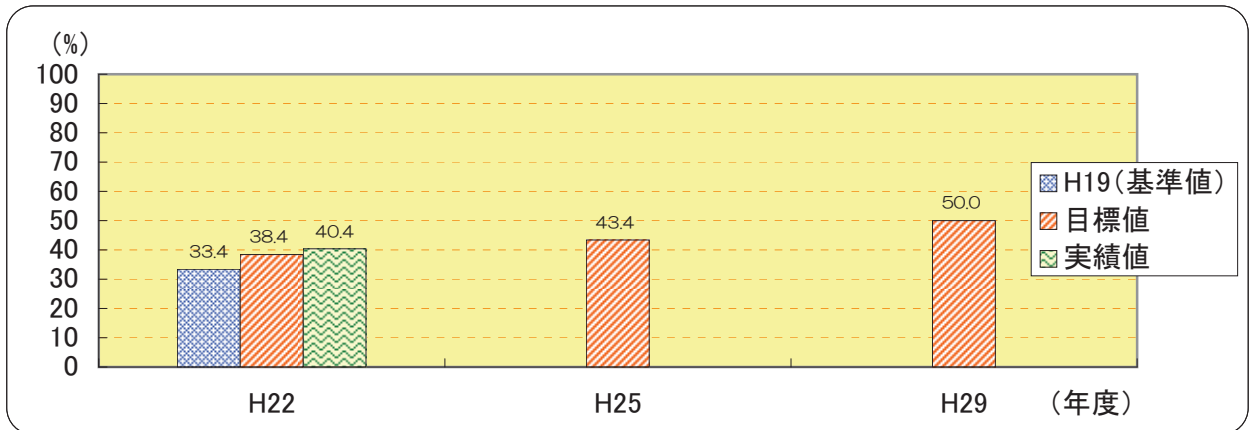
健康福祉部【担う分野：Ⅱ 健康、福祉分野】

福祉課【担う柱：6 地域での生活支援の充実と地域で支え合う体制の確保】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 生活困窮者や高齢者などへの生活支援が充実し地域で支え合い、誰もが地域で安心して暮らしている




指標名	必要なときに地域で支えあう体制が整っていると感じる市民の割合			
	単位	H19 (基準値)	H22	実績値の分析
目標値	%	—	38.4	犬山公共職業安定所など関係機関との連携による支援を行ったことにより、平成22年4月に実施した、市民満足度調査結果により目標値の達成率が105.2%という結果になった。
実績値	%	33.4	40.4	
達成率	%	—	105.2	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価

生活困窮者などの自立支援に向け、犬山公共職業安定所、江南市社会福祉協議会と連携し、就労等の相談や経済的支援体制の整備を図るとともに、民生委員や福祉ボランティア等地域で支え合う体制の整備を図っていただきたい。

個別目標① 生活困窮者や被災者が支援を受け、自立している

指標名	生活保護世帯の自立した割合					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	→	→	→	・生活保護事業 ・住宅手当緊急特別措置事業
実績値	%	13.5	19.4	24.6	19.2	
達成率	%	—	143.7	182.2	142.2	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	生活保護受給者が自立に向け、犬山公共職業安定所での就労活動等を行った。
市役所	生活保護者の自立を促すため、随時面談等を実施して、生活環境や就労等のアドバイスをを行った。離職者で住居を喪失する者又は喪失するおそれのある者に対して、住宅手当を支給し安心して就職活動が図れるようにした。

目標達成のための今後の展開方針

生活困窮者が、年々増大することが予想される。そうしたニーズに対応できる相談体制が必要である。

個別目標に対するまちづくり評価

派遣切り等の経済情勢の変化により生活困窮者が、年々増大することが予想される。そうしたニーズに対応できる相談体制の整備をお願いしたい。

個別目標② 社会福祉関係団体などが地域の福祉活動を積極的に行っている

指標名 社会福祉関係の団体数、参加人数【団体数】						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	団体	—	19	20	21	・社会福祉関係団体育成事業 ・障害者団体育成事業
実績値	団体	19	23	23	23	
達成率	%	—	121.1	115.0	109.5	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	色々な行事に団体が参加し、団体の活動についてのPR等を行った。					
市役所	各団体への財政支援及び会議や活動の場へ赴き、支援や助言を行った。					

指標名 社会福祉関係の団体数、参加人数【参加人数】						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	760	775	790	・社会福祉関係団体育成事業 ・障害者団体育成事業
実績値	人	760	750	770	826	
達成率	%	—	98.7	99.4	104.6	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	スポーツ大会、作品展など団体が行う事業に参加した。					
市役所	スポーツ大会などを行うための障害者(児)連絡協議会や社会福祉協議会を通じてボランティアセンターへの支援を行った。					

指標名 市内の福祉関係のNPO団体数						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	団体	—	3	4	5	・社会福祉関係団体育成事業
実績値	団体	3	3	5	6	
達成率	%	—	100.0	125.0	120.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	各団体が行っている福祉活動を通して、ボランティア活動に参加した。					
市役所	各団体へ各種関係情報を提供した。					

目標達成のための今後の展開方針

地域社会の担い手となるべき各団体の会員を増やすため、活動内容等をPRする。

個別目標に対するまちづくり評価

各団体の会員の構成が高齢化している。また、地域社会の担い手となるべき各団体の会員を増やす必要がある。

個別目標③ 生活困窮者や高齢者などは、民生委員等の支援を受け、問題を解決し、安定した生活をしている

指標名	民生委員の相談支援件数				
-----	-------------	--	--	--	--

	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業 ・民生委員事業
目標値	件	—	↑	↑	↑	
実績値	件	2,103	2,126	2,178	2,193	
達成率	%	—	101.1	103.6	104.3	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	生活面や経済面などの困りごとについて、身近な地区の民生委員に相談した。
市役所	地域住民のからのニーズに対応するために、研修会の開催等民生委員の知識向上を図った。

目標達成のための今後の展開方針

古知野第2地区の地区割りが大きいため、平成25年度改選時において見直しを行う。

個別目標に対するまちづくり評価

地域で身近な相談ができる方として民生委員は重要である。今後も研修会等を行い、民生委員の知識向上を図ってもらいたい。

個別目標④ 地域住民が地域福祉活動や学習活動を積極的に行っている

指標名	市の学習等供用施設の利用者数				
-----	----------------	--	--	--	--

	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業 ・学習等供用施設管理運営事業
目標値	人	—	123,000	124,000	125,000	
実績値	人	121,286	133,338	129,458	128,762	
達成率	%	—	108.4	104.4	103.0	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	学習等供用施設を積極的に利用した。 施設予約システムにより施設の空き状況を確認した。
市役所	施設の効率的及び効果的な運営ができた。

目標達成のための今後の展開方針

市民が利用しやすい環境を図る。

個別目標に対するまちづくり評価

年末年始を除き全日開館したこと、施設予約システムでの運用は評価できる。市民ニーズを把握し、さらに利用しやすい環境をお願いしたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

犬山公共職業安定所、民生委員、江南市社会福祉協議会などの関係機関と連携し、生活困窮者などの自立に向けての支援を行うことができた。また、身体障害者福祉会、赤十字奉仕団など社会福祉関係団体の活動を支援した。

◆柱全体の今後の課題

社会経済情勢の悪化等により生活困窮者や高齢者などが増え続けている中、これらの方の自立に向けての経済的支援や生活支援等を充実させ、より一層関係機関との連携を求められる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

生活困窮者などの自立支援に向け、犬山公共職業安定所、江南市社会福祉協議会と連携し、就労等の相談や経済的支援体制の整備を図るとともに、民生委員や福祉ボランティア等地域で支え合う体制の整備を図る。

<分野別会議 第2分科会>



Ⅲ 都市生活基盤分野

《目標達成状況》

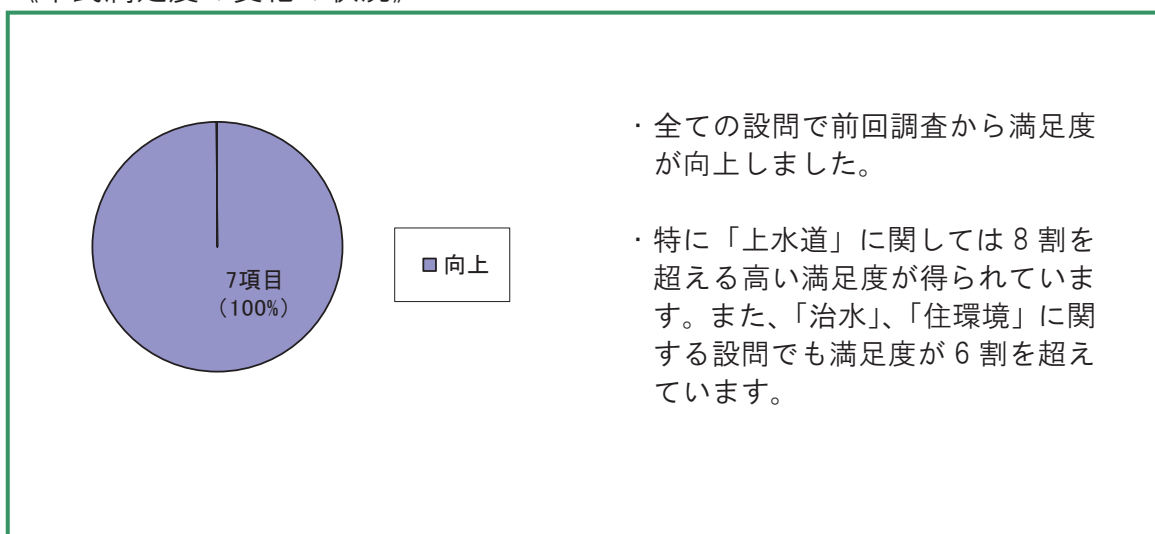
全体目標の平均目標達成率	115.1%
個別目標の平均目標達成率	95.6%
柱1 市街地整備	102.7%
柱2 道路	82.5%
柱3 公園緑地	114.2%
柱4 下水道	99.4%
柱5 治水	53.8%
柱6 住環境	96.6%
柱7 上水道	100.9%

※ 柱別の平均達成率は個別目標のみ集計

全体目標の平均目標達成率は、115.1%で目標達成している状況といえます。個別目標の平均目標達成率は95.6%で、その内訳は「柱1 市街地整備」関係が102.7%、「柱2 道路」関係が82.5%、「柱3 公園緑地」関係が114.2%、「柱4 下水道」関係が99.4%、「柱5 治水」関係が53.8%、「柱6 住環境」関係が96.6%、「柱7 上水道」関係が100.9%でした。

市街地整備や公園、水道施設などが整備され、安心して暮らしている状態にあるものの、治水、道路関係の柱は、90%に満たない達成状況であり、市民や市役所の今後の取り組みが必要です。

《市民満足度の変化の状況》



柱1 秩序と賑わいのある快適なまちづくり

◆主な取り組み

[個別目標①] 適正な都市計画により、秩序があり美しく、快適なまちづくりが行われている

(市民)

- ・建築など開発行為を行うときは地域の快適な環境を考えました。
- ・快適な景観を守るため違法広告をしませんでした。
- ・用地協力など都市計画道路の整備に協力しました。

(市役所)

- ・都市計画のしくみや制度について市民にわかりやすく説明し、理解を得ました。
- ・定めた都市計画に沿った適切な規制・指導を行いました。
- ・地域環境に配慮した質の高い都市計画道路を計画的に整備しました。
- ・都市計画道路などの整備について情報を提供しました。
- ・屋外広告物県条例に沿って許可、指導、規制を行いました。

[個別目標②] 魅力的で快適な市街地が整備され、多くの市民で賑わっている

(市民)

- ・環境美化活動など協働で実施するまちおこしに対して取り組みました。
- ・朝夕の交通混雑緩和のため自転車、バスなどの公共交通機関を利用しました。
- ・駅前広場やその周辺に不法駐車をしませんでした。
- ・駅周辺整備、活性化のあり方について、市役所と協力しました。

(市役所)

- ・朝夕の交通混雑を緩和するために駅前広場やその周辺道路の改善を図りました。
- ・朝夕の交通混雑緩和のため交通規制を公安委員会と協議しました。
- ・駅周辺のユニバーサルデザイン・バリアフリー化を推進しました。
- ・まちづくりについての情報公開やPR、住民活動支援のための啓発活動を実施しました。
- ・駅周辺の利便性を高める施策の検討を行い、その整備に努めるとともに、求められる中心市街地の活性化施策に取り組みました。
- ・中心市街地の活性化に取り組めるような体制づくりを各機関と連携しながら行いました。

[個別目標③] 土地区画整理事業などが行われ、快適な住環境で生活を送っている

(市民)

- ・土地区画整理事業について理解し、協力しました。
- ・建物移転に協力しました。

(市役所)

- ・土地区画整理事業の事業内容を積極的に公開しました。
- ・土地区画整理事業についての情報を公開しました。
- ・土地区画整理事業の進捗を図りました。

◆主な成果

- ・江南駅付近の交差点改良工事や交通規制の変更により、江南駅前広場を通過する車両が減少し、交通混雑が緩和されたこと。

◆主な今後の課題

- ・中心市街地の基盤整備を進め、商店街等の活性化につながる施策を進める必要があること。

柱2 人にやさしいみちづくり

◆主な取り組み

[個別目標①] 道路などの財産が適切に管理され、快適に利用している

(市 民)

- ・道路・河川に愛着をもち、積極的にアダプト活動に参加しました。
- ・目的地へスムーズに到達するために必要となる案内標識設置箇所を要望しました。

(市役所)

- ・広報でアダプト活動の紹介を行うことにより、道路・河川に愛着をもたせ、道路施設に対する意識の高揚を図りました。また、アダプトプログラム懇談会に出席し、参加者との交流を図るとともに、活動に係る課題や提案等について意見交換を行いました。
- ・目的地へ安全にスムーズに誘導するために必要となる案内標識設置箇所の洗い出しを行いました。

[個別目標②] 道路、橋りょう、排水施設が整備され、円滑な通行が確保されている

(市 民)

- ・区長等が主要市道及び道路の舗装を整備するように要望しました。

(市役所)

- ・主要市道上奈良千秋線及び小杣山尻線を整備しました。
- ・主要市道整備に係る道路用地を取得しました。
- ・区長等の要望に基づき舗装工事を実施しました。

◆主な成果

- ・より必要性の高い整備路線を選定することにより、効率的な道路整備を行うことができたこと。

◆主な今後の課題

- ・限られた財源において、計画的・効率的な道路整備を行う必要があること。

柱3 花と緑あふれる公園づくり

◆主な取り組み

[個別目標①] 都市公園等が整備され、日ごろから公園に歩いて行き、うるおいのある生活をしている

(市民)

- ・公園などの公共空間を快適に利用できるよう心がけました。

(市役所)

- ・国営木曾三川公園フラワーパーク江南(江南花卉園芸公園)の整備を進めるよう国に働きかけ、市民1人当たりの公園面積を増やすよう取り組みました。

[個別目標②] 都市緑化が推進され、うるおいとゆとりのある生活を送っている

(市民)

- ・国営木曾三川公園フラワーパーク江南(江南花卉園芸公園)などの活動を通じて、緑化意識を向上しました。
- ・自然に触れ合うことにより、緑化意識の向上を図りました。

(市役所)

- ・緑化施設整備や花いっぱい運動を推進しました。
- ・花いっぱいコンクールなどを実施し、市民の緑化意識向上を図りました。

[個別目標③] 地域で維持管理される公園・緑地等が増え、適切に利用されている

(市民)

- ・公園や緑地の維持管理に積極的に参加しました。
- ・公園施設の異常箇所などの情報を提供しました。

(市役所)

- ・地域住民の協力を得て、愛される施設となるよう区長や町総代などと協議を進めました。

◆主な成果

- ・国営木曾三川公園フラワーパーク江南(江南花卉園芸公園)の開園区域拡大により、市民1人当たりの都市公園面積が増えたこと。

◆主な今後の課題

- ・花いっぱい運動や花のコンクールを、より多くの人に参加出来る魅力あるものにする必要があること。
- ・今後の都市公園の整備については厳しい状況にある中、江南市緑の基本計画において定める基本方針に沿って整備進めると共に、国営木曾三川公園フラワーパーク江南(江南花卉園芸公園)の用地交渉の協力と整備について要望活動を行う。

柱4 公共下水道の普及促進

◆主な取り組み

[個別目標①] 下水道使用料、受益者負担金の収納率が向上し、健全で安定した下水道事業が運営されている

(市民)

- ・供用開始説明会に参加しました。
- ・下水道使用料、受益者負担金の期限内納付に努めました。

(市役所)

- ・下水道使用料、受益者負担金を理解していただくため供用開始説明会を開催しました。
- ・下水道事業の健全で安定した経営に努めました。

[個別目標②] 下水道が整備され、生活環境が向上している

(市民)

- ・自然環境への効果など、下水道の役割、必要性の理解を深めました。
- ・下水道工事の説明会に参加しました。
- ・下水道の埋設工事に理解し協力しました。
- ・下水道が整備されたら速やかに接続をしました。

(市役所)

- ・下水道接続の啓発を行いました。
- ・市民の理解を得るため、工事説明会を開催しました。
- ・下水道工事期間の短縮に努めるなど、沿線住民への配慮に努めました。

◆主な成果

- ・新たに15.2haの区域を整備し、下水道を使える区域にしたこと。

◆主な今後の課題

- ・全国平均と比べると依然として大きく遅れている下水道普及率を向上させる必要があること。

柱5 浸水被害のないまちづくり

◆主な取り組み

[個別目標①] 河川等の改修整備と雨水抑制機能が強化され、浸水被害が軽減している

(市民)

- ・一定の開発行為に対して、雨水貯留浸透施設を設置しました。

(市役所)

- ・準用河川般若川を般若川調節池まで改修しました。
- ・雨水浸透枿の設置率が低いため、補助制度を見直し、新たに雨水貯留浸透施設設置費補助制度をスタートしました。

◆主な成果

- ・効率的、効果的な治水対策の推進を図るため、第3次江南市総合治水計画を策定したこと。

◆主な今後の課題

- ・第3次江南市総合治水計画の目標を実現する手法を具体的に考える必要があること。
- ・雨水抑制に対する補助の対象が雨水浸透枿のみから、雨水貯留槽、透水性舗装、浸透トレンチと補助の種類が増えたことを広報やホームページなどを通して、広く市民にPRし、浸透貯留施設と浸水防止施設の普及に努める必要があること。

柱6 安心・安全な住環境の確保

◆主な取り組み

[個別目標①] 建築指導及び開発指導の民間組織との協働での取り組みは、安心・安全への住民意識を高揚させている

(市 民)

- ・地震防災に関心を持ち、地震防災の知識習得に努めました。
- ・各家庭で、地域社会の安心・安全な環境づくりに貢献できる人づくりを行いました。

(市役所)

- ・専門的知識を有する技術者による開発指導、建築指導を行いました。
- ・耐震診断の実施について、市民や専門家との協働により、耐震に関する情報提供、耐震化の啓発を行いました。

[個別目標②] 市営住宅は、住民による施設運営への参加により、安心・安全な生活環境が確保されている

(市 民)

- ・入居者は積極的に施設の共用部分の清掃など維持管理を行いました。
- ・入居者、管理人は修繕すべき箇所の報告等を行いました。

(市役所)

- ・施設点検や入居者、管理人からの連絡により適切な維持修繕を行い安心・安全な住環境を提供しました。
- ・市営住宅の安全・安心な提供を行うため、計画的な設備修繕を行いました。

◆主な成果

- ・民間組織と協働して建築確認を行ったこと。

◆主な今後の課題

- ・耐震化の必要な木造住宅について、耐震化に向けて更なる意識啓発に努める必要があること。

柱 7 健全な水道事業経営と安全な水の安定供給

◆主な取り組み

[個別目標①] 水道事業が適正に運営され、健全な経営が行われている

(市 民)

- ・水道料金を速やかに支払いました。

(市役所)

- ・市民のライフスタイルの多様化に伴い、時間や曜日に関係なく払い込みのできるコンビニ収納を実施し、収納機会の拡大を図りました。

[個別目標②] 水道施設が整備され、安定した水道水が供給されている

(市 民)

- ・配水管路の水圧、水量不足等の情報を提供しました。
- ・限りある資源を有効活用するため、速やかに宅内の漏水を修理しました。

(市役所)

- ・水道水を安定供給するため、老朽化した水道施設を計画的に整備しました。
- ・建物や配水池等の耐震診断、耐震補強工事設計を実施しました。

◆主な成果

- ・給水収益は減少傾向にあるものの、事務の合理化・効率化を図り、健全で安定した水道事業の経営を行ったこと。

◆主な今後の課題

- ・社会情勢の変化や住民ニーズの高度化・多様化に伴い、引き続き健全で安定した水道事業の経営を行なう必要があること。

まちづくり評価シート

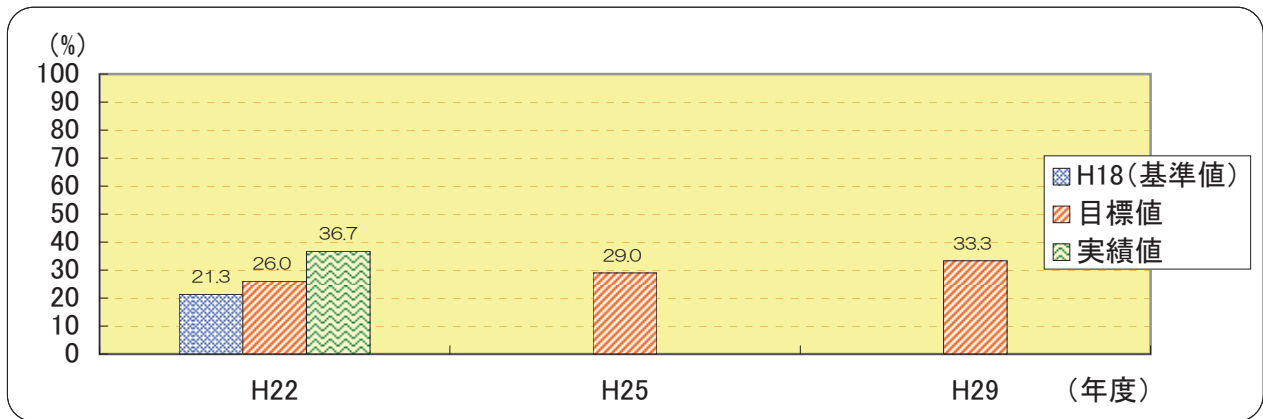
都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

まちづくり課【担う柱:1 秩序と賑わいのある快適なまちづくり】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 秩序ある都市計画により、美しく賑わいのあるまちで生活している

指標名	秩序ある、美しいまちなみが形成されていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H22	実績値の分析
目標値	%	—	26.0	江南駅のバリアフリー化、交通環境改善事業実施や、布袋駅の鉄道高架及び土地区画整理の進捗率が上がったため。
実績値	%	21.3	36.7	
達成率	%	—	141.2	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

市民のニーズを把握し施策を遂行することで、市民満足度が上がると思われるため、積極的に地元関係者との意見交換の場を持つことが必要である。

個別目標① 適正な都市計画により、秩序があり美しく、快適なまちづくりが行われている

指標名	都市計画道路の整備率					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	64.9	65.1	65.1	・都市計画道路整備事業(江南岩倉線)
実績値	%	64.5	64.9	65.4	65.8	
達成率	%	—	100.0	100.5	101.1	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	

取り組みの状況

市民	地元住民への周知や工事協力を依頼し、問題点について協議した。
市役所	工事中の安全確保や、工事の速やかな完了を検討し整備を行った。

目標達成のための今後の展開方針


生産緑地指定された土地所有者に対して、適切な管理を促す。
 宅地開発申請等の事前協議において、適切な指導を行う。
 市民に理解されるような、計画的な都市計画道路の整備を進める。
 地元説明を十分に行ない都市計画道路の整備計画をたてる。

個別目標に対するまちづくり評価

時代のニーズに合った街づくりを進めるため、地元組織との調整を心がけてほしい。
 街づくりは目先の計画ではなく、将来を見据えた計画で進めてほしい。

個別目標② 魅力的で快適な市街地が整備され、多くの市民で賑わっている




指標名 駅前や市街地が整備され、人々が集い賑わっていると感じる市民の割合

	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	—	—	13.0	・交通結節点整備事業 ・江南駅バリアフリー化対策事業 ・江南駅周辺交通環境改善事業 ・バリアフリー施設整備事業 ・布袋駅付近鉄道高架化整備事業
実績値	%	8.8	—	—	15.0	
達成率	%	—	—	—	115.4	
達成状況	—	—	—	—		

取り組みの状況


市民	駅前広場等の交通結節機能が整備され利便性が向上し、これらが利用された。
市役所	駅前広場等の交通結節機能の整備を行い、利用者の利便性を向上させた。

指標名 江南駅・布袋駅の1日乗降客数

	単位	H17 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	33,800	33,800	33,800	・交通結節点整備事業 ・江南駅バリアフリー化対策事業 ・江南駅周辺交通環境改善事業 ・バリアフリー施設整備事業 ・布袋駅付近鉄道高架化整備事業
実績値	人	33,800	33,446	32,449	32,566	
達成率	%	—	99.0	96.0	96.3	
達成状況	—	—				

取り組みの状況




市民	公共交通機関を積極的に利用した。
市役所	江南駅のバリアフリー化の促進について、地元の理解を得ながら、整備を進めた。また、布袋駅の高架化を地元と協議をしながら整備を進めた。

指標名	江南駅前広場を通過する車両の台数					
	単位	H17 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	台	—	8,800	7,400	6,000	・交通結節点整備事業 ・江南駅周辺交通環境改善事業
実績値	台	8,800	—	6,544	—	
達成率	%	—	—	113.1	—	
達成状況	—	—	—		—	
取り組みの状況						
市民	駅利用と関係ない車両は、駅前広場に流入しない道路を利用することにより駅前広場へ進入しなくなった。					
市役所	駅利用と関係ない車両は、駅前広場に流入しないための周辺道路を整備することにより駅前広場への進入を減少させた。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>交通結節機能整備による即効的な効果も考慮し、段階的な整備を検討する。 面的な開発が推進されるよう市街地開発事業を促進する。 地元住民によるまちづくり活動が活性化されるよう必要な支援を検討する。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>高齢社会にも対応できるよう、特に鉄道駅付近については、引き続き駅前広場等の交通結節機能整備を続けていただくとともに、面的な整備が推進されるような施策を検討いただくことで、市民にとって利便性の高い地区にすることが街の活性化につながっていくと思われまます。 基盤整備等の完成には長い時間を要するので、速効性のある整備を検討し進めていただきたい。</p>	

個別目標③ 土地区画整理事業などが行われ、快適な住環境で生活を送っている

指標名	土地区画整理事業の移転件数					
	単位	H19 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	件	—	155	180	183	・物件移転補償事業 ・道路・排水路等整備事業
実績値	件	126	161	174	179	
達成率	%	—	103.9	96.7	97.8	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	土地区画整理事業を理解し、物件移転及び道路築造工事等に協力をした。					
市役所	土地区画整理事業の情報を提供し、物件移転及び道路築造工事等を推進した。					

目標達成のための今後の展開方針

事業の完了に向け、物件移転等に対して関係者により一層の理解と協力を得ながら事業を進める。

個別目標に対するまちづくり評価

事業の推進には関係者の理解と協力が不可欠であるので、行政からのより積極的な事業の説明、情報の提供に心がけてほしい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

快適で便利な市街地整備を進めるために、都市計画道路の安心安全な交通を目指し整備を行っているが、限られた財源の中で国の補助を受け行うことができた。

駅前交通混雑を緩和するために、平成20年度に行った駅周辺の道路整備を受け、平成21年度に調査結果として交通渋滞の緩和に結びつく結果がでた。

◆柱全体の今後の課題

駅前や市街地に人々が集い賑わっていると感じる市民の割合については、市民満足度調査によれば目標値には近いものの、今後も中心市街地の基盤整備を始め、商店街等の活性化に繋がる施策を進めることが必要である。

都市計画道路の整備率については、全国レベルからすると遅れている現状であるため、今後も計画的に進める必要がある。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

街の賑わいを取り戻す全体目標が達成されるよう、関係課及び市民団体等との調整を行い効率的な施策の検討を行う。

まちづくり評価シート

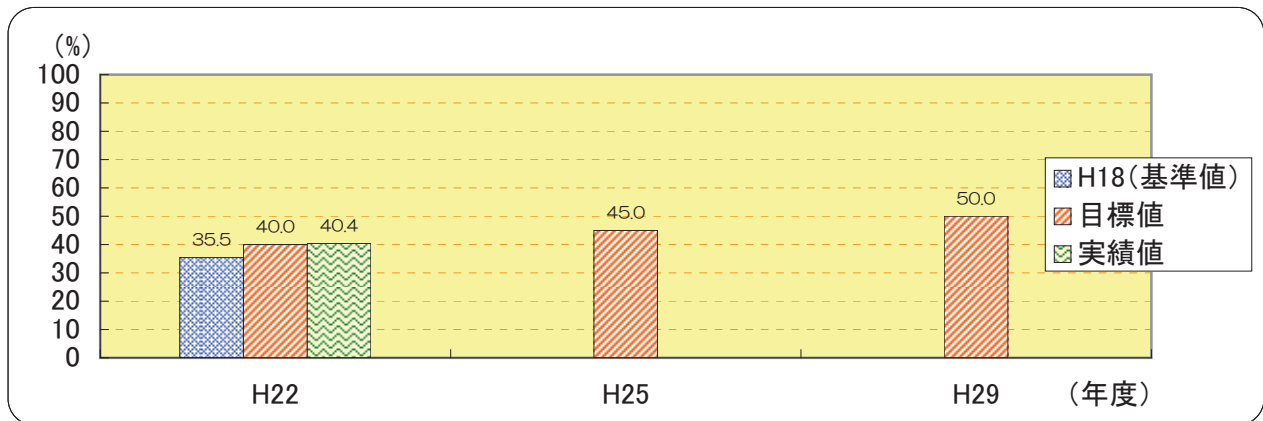
都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

土木建築課【担う柱:2 人にやさしいまちづくり】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 道路が整備され、人や車が安全・快適に通行している

指標名	道路が整備され人や車が安全・快適に通行していると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H22	実績値の分析
目標値	%	—	40.0	市民が日常的に利用する生活道路を地元等の要望を基に整備したことにより、市民の満足度が得られたと考えられる。
実績値	%	35.5	40.4	
達成率	%	—	101.0	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価




道路が整備され、人や車が安全・快適に通行していると感じる市民の割合が、平成22年度の目標値40.0%と同値の40.4%の実績値を得たことは評価できる。今後は、更に実績値を上回るように施策を進めることをお願いしたい。

個別目標① 道路などの財産が適切に管理され、快適に利用している

指標名	市道のアダプト制度の登録者数					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	256	420	583	・アダプト・プログラム事業
実績値	人	175	410	409	329	
達成率	%	—	160.2	97.4	56.4	
達成状況	—	—	☀	☀	↑	

取り組みの状況




市民	道路・河川に愛着をもち、積極的にアダプト活動に参加した。
市役所	広報でアダプト活動の紹介を行うことにより、道路・河川に愛着をもたせ、道路施設に対する意識の高揚を図った。アダプトプログラム懇談会に出席し、参加者との交流を図るとともに、活動に係る課題や提案等について意見交換を行った。




指標名	道路案内標識設置数					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	基	—	59	61	75	・道路側溝・舗装工事等事業
実績値	基	55	55	55	57	
達成率	%	—	93.2	90.2	76.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	目的地へスムーズに到達するために必要となる案内標識設置箇所を要望した。					
市役所	目的地へ安全にスムーズに誘導するために必要となる案内標識設置箇所の洗い出しを行った。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>広報こうなん等でPRを行い、アダプトプログラムの登録者数の増員を図っていくとともに、懇談会でいただいた課題や提案等を関係各課と情報を共有し、今後の運営に活かしていく。</p> <p>道路案内標識の設置数については、平成18年度から平成21年度はその期間に新たな道路及び公共施設の建設が無く、案内標識を設置する必要がなかったことから55箇所のままであるが、平成22年度については、都市計画道路木賀線が開通したことにより、2箇所設置した。今後は市内の交通量も増える状況のなか、道路が分かりにくいと言う声もあるため、道路案内標識の整備を進めるとともに、交差点名の表示の設置にも努めてまいります。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>道路美化に対する認識は高まってきたと思われる。より認識を高めるために、引き続きアダプト制度のPRをお願いしたい。また、登録者の提案等を十分把握し、より活動しやすい環境づくりに努めていただきたい。</p> <p>施設名称の変更に伴う案内標識の整備は行われたと思われる。今後は目的地にスムーズに辿り着けるように道路案内標識の設置をお願いしたい。</p>	

個別目標② 道路、橋りょう、排水施設が整備され、円滑な通行が確保されている

指標名	主要市道の歩道整備率					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	67.0	68.0	69.0	・道路新設改良事業(市道上奈良千秋線) ・道路新設改良事業(市道後飛保和田線)
実績値	%	65.1	65.9	66.2	66.7	
達成率	%	—	98.4	97.4	96.7	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	区長等が歩道を整備するように要望した。 地権者が用地買収に応じた。					
市役所	市道上奈良千秋線を延長159m整備した。 市道後飛保和田線の用地取得のため、用地交渉を行い道路用地を取得した。					

指標名	舗装整備率					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	89.5	90.0	91.0	・道路側溝・舗装工事等事業
実績値	%	89.1	89.2	89.1	91.7	
達成率	%	—	99.7	99.0	100.8	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	区長等が舗装を整備するように要望した。					
市役所	区長等の要望に基づき舗装工事を実施した。					

目標達成のための今後の展開方針	
早急に整備が必要な路線を選定し、計画的に整備する。	

個別目標に対するまちづくり評価	
主要市道の歩道整備・舗装整備については、一定の成果がでているので評価できる。住民説明会等を開催するなどして、市民の声を取り入れた計画を実施していただきたい。	

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果
アダプトへの参加を市民にPRすることにより、地域の道路・河川などに愛着をもたせ、環境美化に対する認識は高まってきたと思われる。 限られた財源の中で、より必要性の高い整備路線を選定することにより、計画的、効率的な道路整備を行うことができました。

◆柱全体の今後の課題
道路が整備され人や車が安全・快適に通行していると感じる市民の割合は、市民満足度調査によれば半分にも満たない約40.0%という結果である。 市民が日常的に利用する生活道路の安全性、利便性の向上に対するニーズが高まっていることを踏まえ、限られた財源において、より計画的、効率的な道路整備を行うことが大きな課題となる。そのためにも、職員の意識の向上が求められるとともに、より質の高いサービスを提供するためにも、財源などの確保が必要になる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性
人にやさしいみちづくりの早期実現を目指し、限られた資源により最大限の効果が得られるよう常に心がけて取り組む。 そのためにも、市民がみちづくりに積極的に参加してもらえるよう関係課との調整を行い、また市民の声を聞く機会を充実させ、その声を効率的に反映するように日常的なパトロールの強化に努める。

まちづくり評価シート

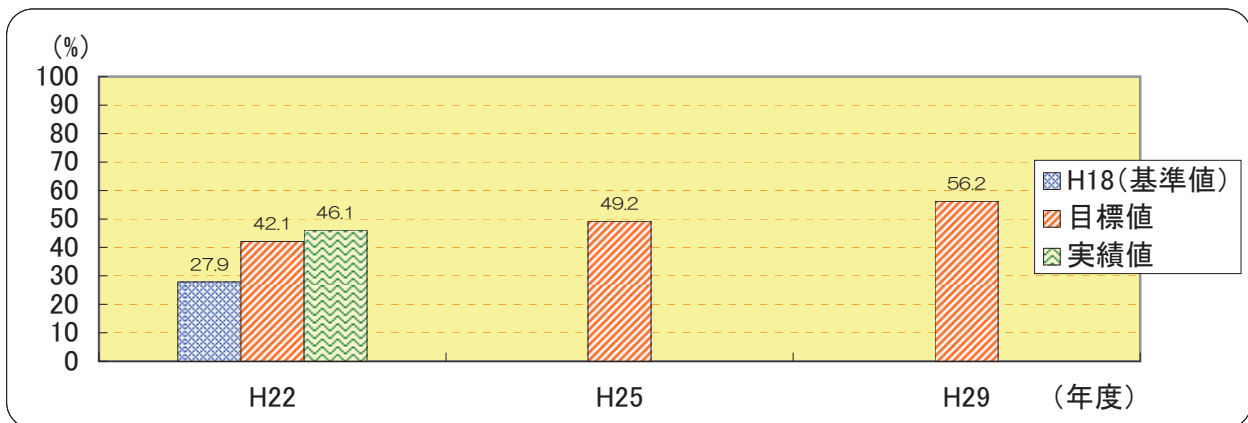
都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

まちづくり課【担う柱:3 花と緑あふれる公園づくり】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 公園などが整備され、ゆとりとうるおいのある生活を送っている

指標名	ゆとりとうるおいのある生活を送っていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H22	実績値の分析
目標値	%	—	42.1	国営木曾三川公園フラワーパーク江南(江南花卉園芸公園)が平成19年10月に開園したことが、実績値に大きく影響したと考えられる。
実績値	%	27.9	46.1	
達成率	%	—	109.5	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価

平成18年以降、曼陀羅寺公園整備や高屋西町公園整備、市営住宅跡地を利用した広場整備などを実施してきたが、国営木曾三川公園フラワーパーク江南(江南花卉園芸公園)の開園が実績値に大きく影響していると思われる。国営木曾三川公園フラワーパーク江南(江南花卉園芸公園)は平成19年10月に開園して以来、平成22年4月までに3回、開園区域が拡大されてきたが、今後については2期エリアの用地取得や国の厳しい事業予算の状況などから、早期の継続的な開園区域拡大が難しい中、国への用地交渉の協力や整備要望を行ってほしい。また、市の公園整備計画においても用地確保や財源の確保等課題のある中、江南市緑の基本計画に沿った地域格差の解消に向けた公園整備に取り組んでいただきたい。

個別目標① 都市公園等が整備され、日ごろから公園に歩いて行き、うるおいのある生活をしている

指標名	市民1人当たりの都市公園面積					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	m ²	—	2.75	2.97	3.20	・花の広場整備事業 ・木曾川上流域整備促進事業
実績値	m ²	2.52	3.43	3.46	3.65	
達成率	%	—	124.7	116.5	114.1	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	花の広場の維持管理の一部を地元が行なった。
市役所	広場の整備でバリアフリー化に努めた。 国営木曾三川公園フラワーパーク江南(江南花卉園芸公園)の整備を進めるよう国に働きかけた。




目標達成のための今後の展開方針

江南市緑の基本計画に沿った計画的な都市公園の整備を進めると共に、国営木曾三川公園フラワーパーク江南(江南花卉園芸公園)の用地交渉の協力と整備について要望活動を行なう。

個別目標に対するまちづくり評価

公園は子供たちの遊びの場の提供ばかりでなく、大人の憩いの場としても大変有効であるので、限られた資源を活用しながらではあるが計画的な都市公園の面積の拡大をお願いしたい。

個別目標② 都市緑化が推進され、うるおいとゆとりのある生活を送っている

指標名	花いっぱい運動実施箇所数					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	箇所	—	25	26	27	・緑化推進事業
実績値	箇所	25	27	32	32	
達成率	%	—	108.0	123.1	118.5	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	花いっぱい運動に協力して花の苗の植栽、水やり、雑草の除去などを行なった。					
市役所	花の苗と必要に応じて培養土や肥料を配付した。					




目標達成のための今後の展開方針

花いっぱい運動については、配付する花の苗の種類を検討して活性化を図る。
花のコンクールについては、より多くの人に応募できるような魅力あるものにするよう検討する。
国営木曾三川公園フラワーパーク江南(江南花卉園芸公園)については、開園区域の拡大に伴い、より多くの人に参加できるようなイベントが開催できるよう努力する。

個別目標に対するまちづくり評価

花いっぱい運動については目標以上の運動実施箇所が維持されており、ある程度評価はするが、毎年決まった花の配付が続いているため、花の苗の種類を検討して活性化を図るべきである。
花のコンクールについては、より多くの人に応募できるような魅力あるものにするよう検討していただきたい。
国営木曾三川公園フラワーパーク江南(江南花卉園芸公園)については、開園区域の拡大に伴い、より多くの人に参加できるようなイベントが開催できるよう努力する必要がある。

個別目標③ 地域で維持管理される公園・緑地等が増え、適切に利用されている

指標名	地域で管理されている公園緑地などの数					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	箇所	—	28	29	30	・公園等維持管理事業
実績値	箇所	28	32	33	33	
達成率	%	—	114.3	113.8	110.0	
状況	—	—				

取り組みの状況

市民	地元で整備される公園や既に供用開始している公園などの清掃が区民でできないか検討した。
市役所	整備される公園や既に供用開始している公園などの清掃が地元区でできないか協議した。

目標達成のための今後の展開方針

新規に設置する公園等については、地元で清掃委託できるよう地元区と協議を進めながら整備をする。既存で地元で清掃委託できるよう地元の意向を確認しながらお願いする。

個別目標に対するまちづくり評価

地域で管理されている公園緑地の数は目標を大きく超えている結果であるが、今後ともコスト面からも努力されたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

国営木曾三川公園フラワーパーク江南(江南花卉園芸公園)の開園区域拡大に伴って、市民一人当たりの都市公園面積が増大した。都市公園面積には影響しないが、身近な広場として市営住宅跡地を広場として整備した。また、高屋地区に流れる排水路の改築に合わせ、その上部を緑化施設として整備した。広場整備する際や地元で清掃等を委託している公園などに花壇を設け、地元で花いっぱい運動の協力を得ることによって花いっぱい運動実施箇所を増やすことが出来た。整備した広場の清掃等を地元で委託できた。

◆柱全体の今後の課題

今後の都市公園の整備については厳しい状況にある中、平成22年度に策定した江南市緑の基本計画において定める基本方針に沿って整備を進める必要がある。花いっぱい運動については、魅力ある花の苗を選定して運動の活性化を図る必要がある。花のコンクールについては、より多くの人々が参加できるものにしていく必要がある。新規に設置する公園等については、地元で清掃委託できるよう地元区と協議を進めながら整備していく必要がある。既に供用開始している公園等についても地元で清掃委託できるよう地元の意向を確認しながらお願いする。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

今後の都市公園の整備については、江南市緑の基本計画において定める基本方針に沿って整備を進めると共に、国営木曾三川公園フラワーパーク江南(江南花卉園芸公園)の用地交渉の協力と整備について要望活動を行なう。花いっぱい運動については、魅力ある花の苗を選定して運動の活性化を図る。花のコンクールについては、より多くの人々が参加できるものにする。新規に設置する公園等については、地元で清掃委託できるよう地元区と協議を進めながら整備する。既に供用開始している公園等についても地元で清掃委託できるよう地元の意向を確認しながらお願いする。

まちづくり評価シート

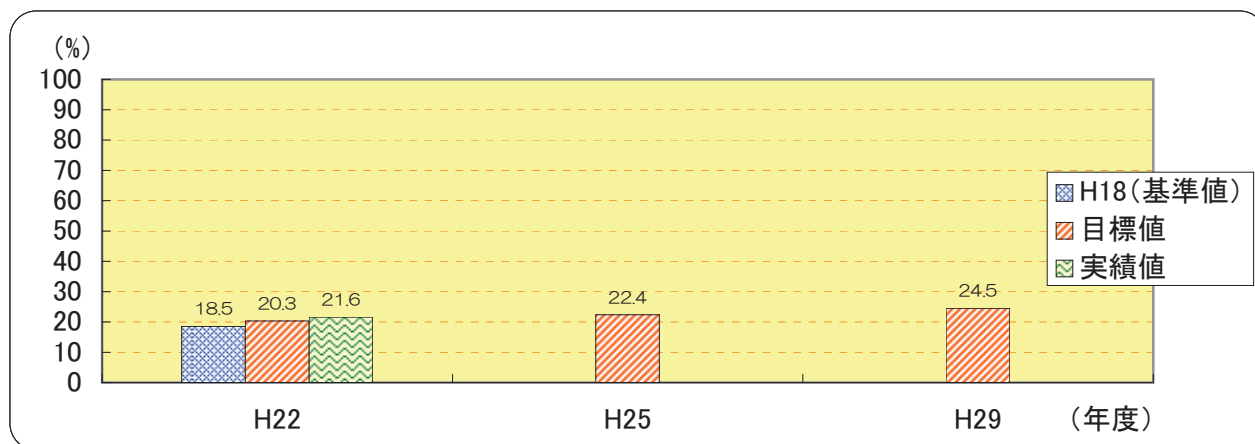
都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

下水道課【担う柱:4 公共下水道の普及促進】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 下水道が整備され、快適な水環境の下で生活している

指標名	下水道普及率			実績値の分析
	単位	H18 (基準値)	H22	
目標値	%	—	20.3	市民の清潔で快適な生活環境の向上のため下水道整備促進に努めた。
実績値	%	18.5	21.6	
達成率	%	—	106.4	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

下水道普及率は21.6%で目標値を達成することができているが、県下水道普及率72.0%に比べると大きく遅れており、下水道普及率を向上してもらいたい。

個別目標① 下水道使用料、受益者負担金の収納率が向上し、健全で安定した下水道事業が運営されている

指標名	下水道使用料の収納率(現年度)					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	↑	↑	↑	・下水道使用料賦課徴収事業
実績値	%	98.9	98.5	98.8	99.0	
達成率	%	—	99.6	99.9	100.1	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	

取り組みの状況




市民	下水道使用料を納付した。
市役所	下水道使用料のコンビニ収納を導入し、納付機会の拡大により納付者の利便性を高めながら納期内納付を推進し収納率の向上を図った。

指標名		受益者負担金の収納率(現年度)				
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	↑	↑	↑	・受益者負担金賦課徴収事業
実績値	%	98.8	98.8	98.6	97.8	
達成率	%	—	100.0	99.8	99.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	下水道受益者負担金を納付した。					
市役所	受益者負担金の徴収及び啓発活動に努めた。					

目標達成のための今後の展開方針	
水道課と調整を図りつつ給水停止実施の強化の体制をとる等、収納率の向上を図る。	
個別目標に対するまちづくり評価	
下水道使用料、受益者負担金の適切な徴収は、事業の健全な経営及び住民間の公平性の確保につながる。今後もさらなる取り組みをお願いしたい。	

個別目標② 下水道が整備され、生活環境が向上している

指標名		認可区域内の整備率				
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	73.2	76.5	79.0	・管きよ布設事業
実績値	%	66.3	73.2	76.5	80.2	
達成率	%	—	100.0	100.0	101.5	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	下水道工事説明会に参加し、埋設工事に対し理解した。					
市役所	整備地区の全世帯を対象に工事説明会を開催し、説明用資料をプロジェクターを用いてスクリーンに映像として映し出し、視覚的にも解りやすく説明を行った。 期間の短縮、工事の施工時期の分散による集中化を回避する等、沿線住民に配慮して工事を施工した。					

指標名	供用開始区域内の接続率					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	75.2	79.1	83.0	・排水設備関連事業
実績値	%	67.3	75.4	78.2	80.4	
達成率	%	—	100.3	98.9	96.9	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	自然環境への効果等下水道の役割、必要性の理解を深めた。 排水設備等計画確認申請を行った。					
市役所	職員が未接続宅を個別訪問し、下水道の必要性を説明し、早期の接続依頼を行った。 排水設備の書類審査と完了検査を行い、補助金を交付した。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>上位計画等の変更に併せて基本計画の見直しを図り、未普及地域の早期解消のため費用対効果の高い整備手法を重点に整備を進める。</p> <p>今後もお一層、供用開始後未接続宅の早期接続を促すため、早期戸別訪問を実施する。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>江南市下水道は、五条川右岸流域下水道事業として進められ、他の構成市町の事業進捗も考慮し、事業を進めていく必要があります。厳しい財政状況下ではありますが、下水道事業には特別な配慮が必要と考えます。</p> <p>下水道事業は、都市基盤施設のひとつであり、河川環境の保全を第一の目標としています。環境問題が高まる中、市民の環境への意識も高まりつつあり、早期に事業を進める必要があると考えます。</p>	

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果
<p>平成22年度においては、15.2haの区域を整備し、平成23年4月1日現在346.4haが下水道を使える区域となっております。</p>

◆柱全体の今後の課題
<p>下水道普及率の達成率が106.4%で目標を若干超えることができたが、依然、江南市下水道普及率21.6%は、県下の供用開始市町において下位となっており愛知県の平成22年度末の普及率72.0%(名古屋市を除くと60.4%)や、全国平均の75.1%(平成22年度末)と比べると大きく遅れております。</p>

◆柱全体の今後の取り組みの方向性
<p>平成22年度末江南市下水道普及率21.6%は、県下の供用開始市町において下位となっており、愛知県の平成22年度末の普及率72.0%(名古屋市を除くと60.4%)や、全国平均の75.1%(平成22年度末)と比べると大きく遅れております。こうした中事業の進捗を図るため、平成21年度に行った基本計画の変更により図ることができたコスト削減効果を活用し、費用対効果の高い整備手法を用いた整備を推進し、下水道普及率を向上したい。</p>


まちづくり評価シート

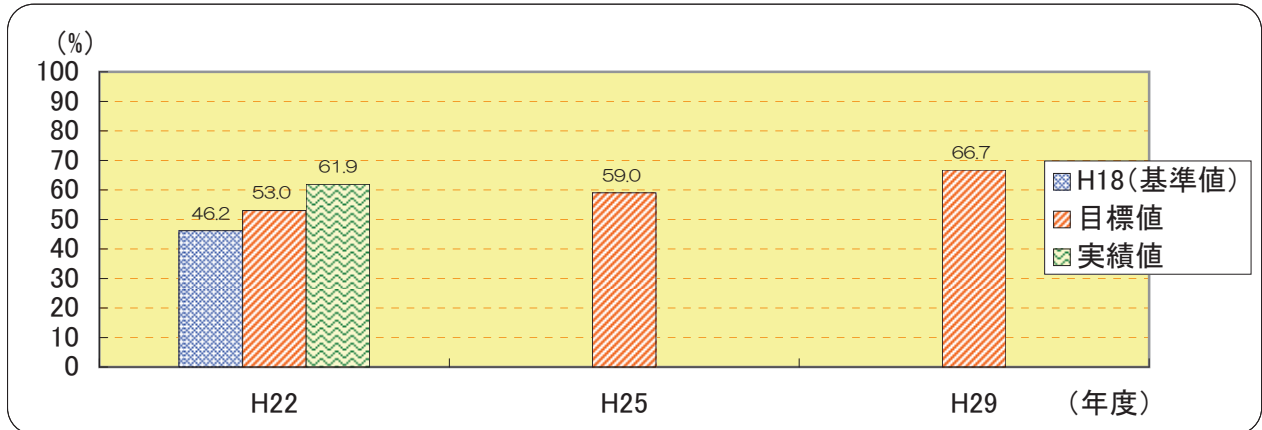
都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

土木建築課【担う柱:5 浸水被害のないまちづくり】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 河川等が整備され浸水被害に遭うことがなく、安心して暮らしている


指標名	河川が整備され、安心して暮らしていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H22	実績値の分析
目標値	%	—	53.0	大きな水路改修はしていないが、市民に対する浸水対策や、雨水浸透施設設置補助を見直したこと、総合治水計画を改訂したことなどが、評価され、目標値を上回ったと考える。
実績値	%	46.2	61.9	
達成率	%	—	116.8	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価

平成22年3月に江南市における今後の効率・効果的な治水対策の推進を図るため、河川・排水路対策・流域対策及び浸水被害軽減対策等を含めた総合的な第3次江南市総合治水計画を策定したことで、これから具体的にどのように計画を実行していくのかが、この先の評価に現れると考える。また、新たな項目を加えて、見直した雨水浸透施設設置補助制度を市民の方に周知してもらいたい。


個別目標① 河川等の改修整備と雨水抑制機能が強化され、浸水被害が軽減している

指標名	準用河川般若川改修率					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	92.0	92.0	92.0	・準用河川般若川改修事業
実績値	%	86.0	92.0	—	—	
達成率	%	—	100.0	—	—	
達成状況	—	—		—	—	

取り組みの状況

市民	
市役所	市道江南岩倉線下流部が尾張農林事務所が施工する区間となっているが、ここを改修しないと市の部分だけを改修しても効果がないので、尾張農林事務所に施工要望をした結果、工事实施設計が行われた。

指標名		雨水浸透柵設置率				
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	17.0	19.0	21.0	・雨水抑制事業
実績値	%	12.2	8.0	9.0	7.0	
達成率	%	—	47.1	47.4	33.3	
達成状況	—	—	↑	↑	↑	
取り組みの状況						
市民	補助金制度を利用して雨水浸透柵を設置した。					
市役所	広報を通じて広く啓発を促したり、建築確認の段階で雨水浸透柵を設置していない建築主に、設置のお願い文書を出した。					

指標名		雨水浸透施設設置補助金申請件数				
	単位	H21 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	件	—	—	—	70	・雨水抑制事業
実績値	件	45	—	—	52	
達成率	%	—	—	—	74.3	
達成状況	—	—	—	—		
取り組みの状況						
市民	雨水浸透柵103個、浸透トレンチ管30m、雨水貯留槽9基、透水性舗装485㎡、浸水防止施設5mを設置した。					
市役所	雨水浸透施設(雨水浸透柵、透水性舗装、雨水貯留槽、浸透トレンチ)を設置するお願いを江南市水道工事店協同組合、江南市災害協力会、行政士会、建築士会、江南市建設業協会等へ行った。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>準用河川般若川改修率をあげるため、未改修区間を実施できるよう関係機関等と協議してさらに検討していく。雨水浸透施設の中でも特に、家の新築、改築に影響を受けない雨水貯留槽の設置に力を注いでいく。具体的には、市が広報、ホームページに掲載することは従来どおりであるが、品物(雨水タンク)を販売する量販店(ホームセンター、農協等)にも協力を求め、市民の設置率を上げる。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>引き続き関係機関に強く要望し、準用河川般若川改修率を92.0%から100.0%になるよう努力していただきたい。</p> <p>雨水流出抑制において、新たな制度において、スタートしたばかりとはいふものの、雨水浸透柵以外の設置者が少数なので、今後周知を徹底させ、設置者が増加するよう努力されたい。</p>	

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

一定の期間内で効率・効果的な浸水被害の軽減を図るため、市域全体から重点的な施設整備が必要と考えられる地区(重点地区)を選定し、重点地区における目標設定を行い、目標を実現するために、「第3次江南市総合治水計画」を策定した。また、雨水浸透施設設置費補助金交付要綱を改正し、対象施設を増やし、より市民が利用しやすい補助金制度とした。

◆柱全体の今後の課題

第3次江南市総合治水計画を軸にどのような手法で治水対策を具体的に実現していくかが、課題となっていく。雨水抑制に対する補助の対象が雨水浸透柵のみから、雨水貯留槽、透水性舗装、浸透トレンチと補助の種類が増えたことを広報やホームページなどを通して、広く市民にPRし、浸透貯留施設と浸水防止施設の普及に努めなければならない。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

第3次江南市総合治水計画で示している重点地区のなかで、緊急度の高い地区から順に雨水貯留施設を施工して、浸水被害の軽減に努めていくとともに、市民が担う治水対策も指導や啓発を行う。

まちづくり評価シート

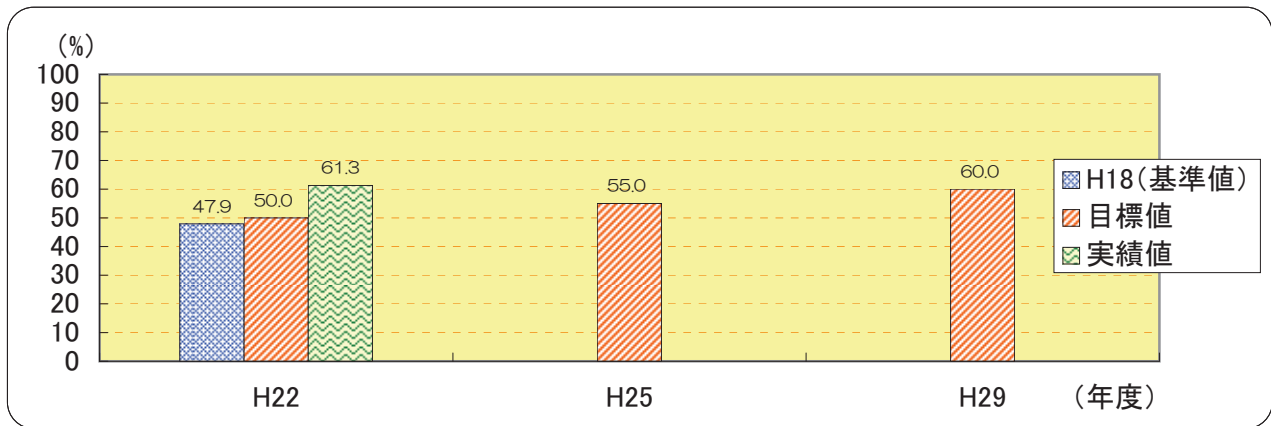
都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

土木建築課【担う柱:6 安心・安全な住環境の確保】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 住環境が整備され、安心・安全な生活環境が確保されている

指標名	住環境が整備され、安心・安全な生活環境が確保されていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H22	実績値の分析
目標値	%	—	50.0	建築士などと協働により建築パトロールを行ったことや、適切な開発指導を行うことにより、民間開発区域内に適正な道路・緑地及び公園が整備され、周辺的生活環境が保たれたことが評価されたと考える。
実績値	%	47.9	61.3	
達成率	%	—	122.6	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価




住環境が整備され、安心・安全な生活環境が確保されていると感じる市民の割合は、平成22年度の目標値50.0%を上回る実績値61.3%を得たことは評価できる。今後、更に民間の建築開発等指導員との協働により違反建築パトロールを実施するなど、施策の推進をお願いしたい。




個別目標① 建築指導及び開発指導の民間組織との協働での取り組みは、安心・安全への住民意識を高揚させている

指標名	開発許可や建築許可に対する指導件数					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	件	—	260	260	260	・開発行為指導事業
実績値	件	265	236	218	259	
達成率	%	—	110.2	119.3	100.4	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	

取り組みの状況

市民	審査会基準により、地域にあった健全な街づくりに協力している。
市役所	宅地開発等に関する指導要綱の見直しにより、民間活力による安心で安全な街づくりの指導に努めた。




指標名 民間での建築確認割合						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	85.0	88.0	90.0	・建築確認審査等事業
実績値	%	84.4	82.8	90.2	94.9	
達成率	%	—	97.4	102.5	105.4	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	愛知県と愛知県から委嘱された建築開発等指導員(市内建築士)と協働で違反建築物防止のため、建築現場をパトロールした。					
市役所	民間組織での建築確認をチェックし、定期的に建築現場をパトロールした。					

指標名 耐震診断の診断実施済棟数						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	棟	—	1,800	2,100	2,500	・民間木造住宅耐震診断事業 ・耐震改修促進計画事業
実績値	棟	798	1,820	1,920	2,018	
達成率	%	—	101.1	91.4	80.7	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	ダイレクトメール及び町内会代表の方、愛知県耐震診断員と協働による耐震診断ローラー作戦などにより耐震診断を受診した。					
市役所	啓発パンフレットを作成し、ダイレクトメール、耐震診断ローラー作戦を実施するなど、耐震化の意識啓発を行った。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>開発許可や建築許可については、これまでどおりの相談が予想されるため、担当職員の知識向上を図り適切な指導を行なう。</p> <p>建築確認に対する相談への対応や民間組織への指導を継続して行い、安全・安心な住環境を確保する。</p> <p>「江南市耐震改修促進計画」の目標達成に向けた耐震診断の受診について、市民や専門家との協働により、耐震化のさらなる情報提供、啓発、普及に係る事業を推進する。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>建築指導及び開発指導並びに木造住宅耐震化の促進に対する民間組織との協働での取り組みにより、住民の安全・安心への意識啓発を図る努力は評価できる。更に安全・安心な住環境を確保できるよう、民間組織と連携を図り、効果的な建築・開発指導等をお願いしたい。</p>	

個別目標② 市営住宅は、住民による施設運営への参加により、安心・安全な生活環境が確保されている

指標名	適切に整備・維持管理がなされている市営住宅の住宅戸数					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	戸	—	153	153	153	・住宅維持・管理事務 ・住宅賃貸事務 ・地上デジタル放送移行対策事業
実績値	戸	153	153	153	153	
達成率	%	—	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	施設維持管理(共用部分の清掃、低木の剪定・消毒、草刈り)を自治会で行った。 自治会等で市営住宅の注意事項を確認した。
市役所	住宅設備の保守点検や維持管理及び各種必要な修繕を行った。 地上デジタル放送移行に伴う障害調査を行った。 広報などで空家募集を行い住宅供給を行った。 入居者の異動等を把握し、家賃の決定・減免を行った。 入居者へ文書等により注意事項の周知を図った。

目標達成のための今後の展開方針
市営山王住宅の当初建設住棟は築19年を経過しているため、平成23年度よりプロジェクト事業として改修計画を行っていく。 市営住宅の入居に際しての注意事項を市から入居者へ文書等により周知を図っていくとともに、自治会との協働により徹底していく。

個別目標に対するまちづくり評価
入居者が健康で文化的な生活を送るために、施設の維持管理に努めていることは評価できる。今後、ますます公営住宅の入居希望者は増加すると思われるため、市民への市営住宅を含めた公営住宅の募集案内などの情報提供をお願いしたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

開発指導では宅地開発等審査会設置要綱を改正し、審査会諮問案件を軽減することにより、事務量の軽減を図った。また、民間組織との協働により、耐震診断ローラー作戦を実施し、耐震化の意識啓発ができた。市営住宅は地上デジタル放送移行に伴う支障がなく、保守点検・修繕を行い適切な住宅の維持管理を行うことができた。

◆柱全体の今後の課題

安心・安全な住環境を確保するため、耐震化の必要な木造住宅について、耐震化に向けての更なる意識啓発に努める必要がある。また、市営住宅については、建物の老朽化に伴う大規模修繕が必要であり、市営住宅の適切な運営のために入居者が契約内容・注意事項を遵守するよう努める。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

安心・安全な住環境を確保するため、市民や専門家との協働により、開発・建築指導及び耐震化の啓発活動を行う。また、住宅施策については、市営山王住宅から平成23年度よりプロジェクト事業として改修計画を行い、市営住宅の適切な運営を推進していくために自治会等との協働の方法も検討する。

まちづくり評価シート

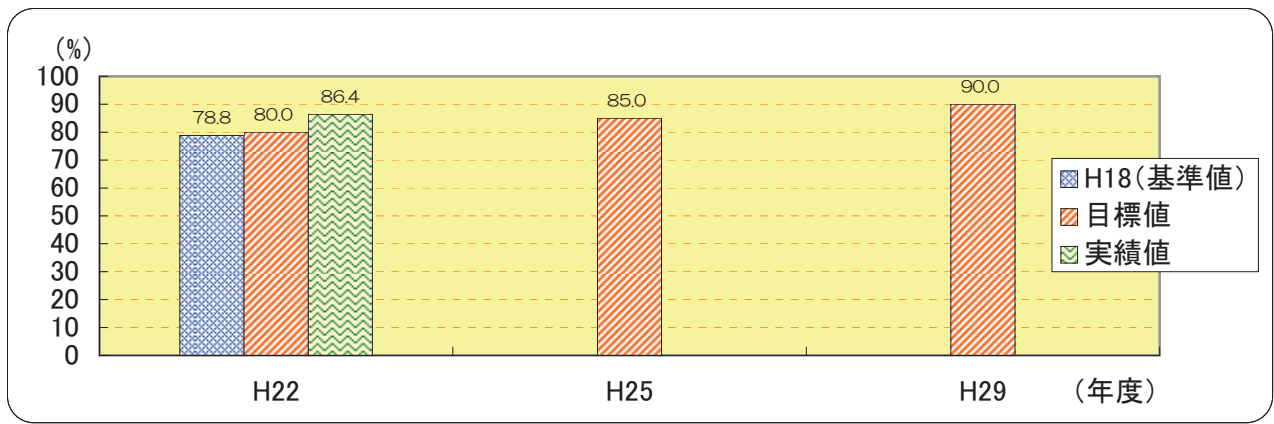
都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

水道課【担う柱:7 健全な水道事業経営と安全な水の安定供給】

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 健全な経営と水道施設の整備が行われ安全な水道水が安定的に供給され、市民は安心して利用している

指標名	安全な水が安定して供給されていると感じる市民の割合			実績値の分析
	単位	H18 (基準値)	H22	
目標値	%	—	80.0	給水栓水に問題はなく、大規模な断水事故も発生せず、安定して水道を供給出来ている。このことにより市民が安心して水道を利用出来ていることから、市民満足度調査結果も目標値を上回り、達成率は108.0%となり達成状況としては晴れマークとなった。
実績値	%	78.8	86.4	
達成率	%	—	108.0	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

市民満足度調査結果からも「安全な水の安定供給」に対して8割以上の市民が満足している。今後は、水道施設の耐震化の必要性が高まると思われる。施設の更新及び耐震化を計画的に進めてもらいたい。

個別目標① 水道事業が適正に運営され、健全な経営が行われている

指標名	水道料金の収納率(現年度)					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	↑	↑	↑	・水道料金賦課等事業 ・水道料金賦課等事業(コンビニ収納)
実績値	%	98.4	98.4	98.7	99.1	
達成率	%	—	100.0	100.3	100.7	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	

取り組みの状況

市民	水道料金を速やかに支払った。
市役所	市民のライフスタイルの多様化に伴い、時間や曜日に関係なく払い込みのできるコンビニ収納を実施するため料金システム・歳入システムの改修及び周辺機器のリース契約を行う等し、収納機会の拡大を図った。




指標名		総収支比率				
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	106.9	106.5	106.2	・企業会計管理事業 ・職員給与管理事業
実績値	%	109.7	113.0	113.0	116.0	
達成率	%	—	105.7	106.1	109.2	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	収納コストの安い口座振替を利用して水道料金を支払った。					
市役所	江南市経営健全化計画・財政推計を策定し、計画的に事業を執行した。給水収益の増加が見込めないなかで、人件費の削減等を図り利益を確保した。					

指標名		水道普及率				
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	89.0	89.1	89.2	・簡易水道事業
実績値	%	88.8	88.9	89.2	89.5	
達成率	%	—	99.9	100.1	100.3	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市の水道事業への統合に向けた話し合いに応じ、市の認可区域への編入に同意した。					
市役所	簡易水道組合との統合に向け協議を行い、事業費の試算やスケジュールなどの検討を図った。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>今後一層の口座振替の利用促進に努める。またコンビニ収納の利便性を生かし早期収納を図る。施設の更新に向けた財源の確保、サービス水準の向上など様々な課題を抱えているなかで今後の安定的・効率的な事業を継続していくため、適正な定員管理や積極的な情報開示、的確な需要予測に基づく計画性・透明性の高い企業経営を推進する。</p> <p>簡易水道組合については、円滑な事業統合に取り組む。</p>	




個別目標に対するまちづくり評価	
<p>安定的・効率的な事業を継続していくため、施設の更新に向けた財源の確保は重要な課題である。公平・公正な水道料金の徴収が、水道事業の健全運営には欠かせないので、今後とも収納率の向上に努めてもらいたい。また、簡易水道組合の統合については、残る3箇所の簡易水道組合が同時に統合できるように努めてもらいたい。</p>	

個別目標② 水道施設が整備され、安定した水道水が供給されている

指標名		配水管改良整備率				
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	75.0	76.4	77.8	
実績値	%	72.1	74.9	76.3	77.7	
達成率	%	—	99.9	99.9	99.9	
達成状況	—	—				




取り組みの状況

市民	配水管路の水圧・水量不足や濁水の発生などの情報を提供した。
市役所	配水管路の状況を把握し、第二次配水管改良計画に従い計画的に配水管布設・改良工事を実施した。

指標名		地下水の許可揚水量活用率				
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	94.8	98.0	98.0	
実績値	%	93.8	91.2	90.0	91.5	
達成率	%	—	96.2	91.8	93.4	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	地下水の水質を悪化しないよう環境に配慮した。
市役所	低下した揚水能力の回復を図るため、井戸の浚渫を実施した。

指標名		有収率				
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	91.9	92.2	92.5	
実績値	%	91.4	91.5	92.8	94.1	
達成率	%	—	99.6	100.7	101.7	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	宅内漏水を発見し、速やかに修繕を行った。
市役所	早期に漏水調査を実施し、発見した漏水箇所を修理した。 検針時に、宅内漏水の有無を確認し、漏水している場合には市民にお知らせした。

目標達成のための今後の展開方針

想定される地震に備えるため、平成23年度から耐震性のある材料を使用する。
地下水の有効利用について、低下率は少なくなってきたが依然として低下傾向であるため、平成23年度より薬品洗浄による浚渫の方法を加える。
有収率の向上のため、有効な手段である漏水調査委託を平成23年度まで実施する。

個別目標に対するまちづくり評価

安全な水道水の安定供給は最も重要な課題である。
配水管を含む水道施設の耐震化を計画的に進められたい。
揚水能力の維持と改善を図り、地下水の有効利用に努められたい。
有収率向上に有効と思われる漏水調査を引き続き計画的に実施されたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

江南市水道事業経営健全化計画に基づき職員数の削減を図れた。給水収益は減少傾向にあるが、職員給与費を削減できたことにより、利益は確保できており経営状況は安定している。
コンビニ収納を実施し、収納機会の拡大を図り利用者の利便性が高まっている。
配水管改良計画どおり実施し、漏水調査により有収率が改善できた。また、揚水能力は、依然として低下傾向であるが、緩やかになった。
簡易水道組合の統合に関しては、協議を続けた結果、市の上水道事業の認可区域への編入については同意が得られた。

◆柱全体の今後の課題

社会情勢の変化、住民ニーズも高度化・多様化している中にあるには引き続き健全な財政運営ができるような事業計画が求められる。
水道施設の老朽化と地震に対応するため、計画的な水道施設の更新と耐震化が求められている。
簡易水道組合の統合に向け、事業計画の策定や厚生労働省への変更認可手続きが必要とされる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

景気の後退や節水型社会への移行に伴う有収水量の減少、施設の更新に向けた財源の確保、簡易水道組合の統合、サービス水準の向上など様々な課題を抱えている。今後、安定的・効率的な事業を継続していくために、適正な定員管理や積極的な情報開示、的確な需要予測に基づく計画性・透明性の高い企業経営を推進する。

<分野別会議 第3分科会>



IV 教育分野

《目標達成状況》

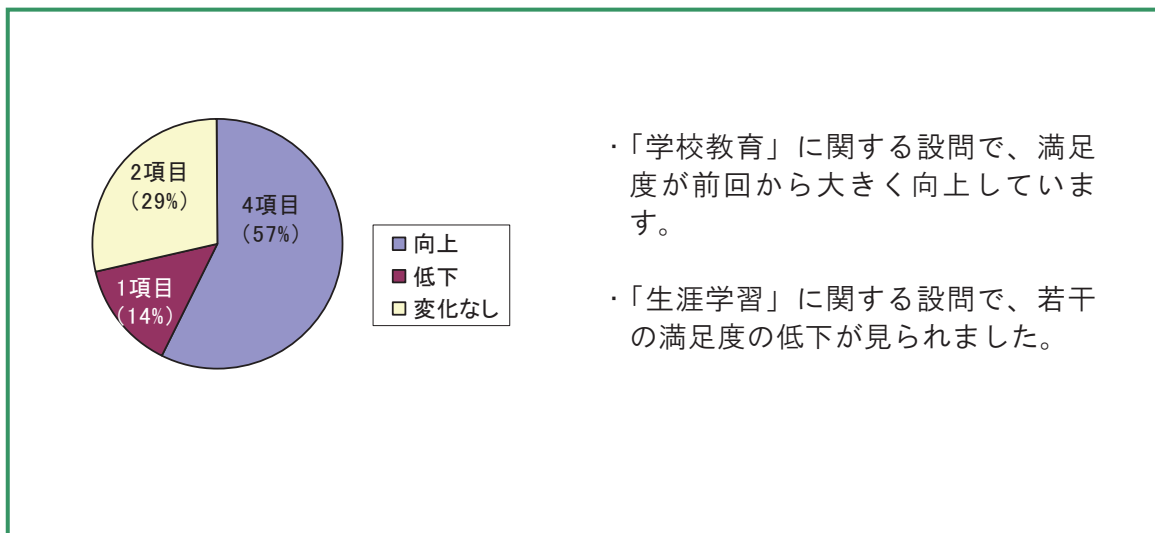
全体目標の平均目標達成率	118.0%
個別目標の平均目標達成率	104.1%
柱1 学校教育	88.3%
柱2 教育環境	81.3%
柱3 生涯学習	100.5%
柱4 文化・交流	135.0%

※ 柱別の平均達成率は個別目標のみ集計

全体目標の平均目標達成率は、118.0%で概ね目標達成している状況といえます。個別目標の平均目標達成率は104.1%で、その内訳は「柱1 学校教育」関係が88.3%、「柱2 教育環境」関係が81.3%、「柱3 生涯学習」関係が100.5%、「柱4 文化、交流」関係が135.0%でした。

生涯にわたって学習し、文化・交流活動が活発に行われている状態にあるものの、学校教育、教育環境の柱は、90%には満たない達成状況であり、市民や市役所の今後の取り組みが必要です。

《市民満足度の変化の状況》



柱1 地域に開かれた快適で安全な学校づくり

◆主な取り組み

[個別目標①] 児童・生徒が心身共に健康な状態で、適切な教育を受けている

(市 民)

- ・児童生徒が個々の学習状況にあった指導や支援を受けました。
- ・発達障害のある児童生徒が家庭での学習や正しい生活習慣を身に付けました。

(市役所)

- ・児童生徒の学習状況にあった指導や支援を行うため、少人数指導やチームティーチング等に必要な学校補助教員を配置しました。
- ・特別な支援が必要な児童生徒の教育支援を行うため、特別支援学級等支援職員を増員し、適正に配置しました。

[個別目標②] 学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの社会性、人間性がはぐくまれている

(市 民)

- ・地域の子どもたちが非行に走らないように声かけをし、あいさつを交わしたりしながら、互いの信頼関係を築きました。
- ・地域の事業所は職場体験学習の生徒を積極的に受け入れました。また、生徒は地域の職場で働くことの職場体験学習を通じ、働く大切さ、責任感、協調性などの社会性を身に付けました。
- ・学校評議員や地域の人々が気軽に訪問し、必要な情報等を提供するための学校づくりを支援しました。

(市役所)

- ・生徒が進路を主体的に考え、選択する能力を育成するため、市内5中学校が地域の事業所等で職場体験学習を行いました。
- ・学校運営にあたり、学校の教育目標、地域との連携の進め方等に関して、学校評議員の意見を聞くとともに、その理解や協力を得て、特色ある教育活動を積極的に展開しました。

[個別目標③] バランスのとれた給食や食育の実施により、子どもたちが正しい食習慣を身につけ健康に育っている

(市 民)

- ・小中学校の保護者、PTAなどの給食の試食会を通し食生活への関心を深めました。
- ・毎月の給食献立表でバランスの良い食事のとり方、小中学校のホームページの閲覧により学校給食への理解を深めました。

(市役所)

- ・小中学校の給食の時間を利用し児童生徒へ食育について指導をしました。
- ・食育について個人差を少なくするためチームティーチング授業を実施しました。
- ・食育指導の中で朝食を食べる大切さを伝えましたが、朝食を食べない児童・生徒の割合の減少にはつながりませんでした。

[個別目標④] 教育を受ける環境が整備され、快適で安全な状態で児童・生徒が学習活動に取り組んでいる

(市民)

- ・児童、生徒及びPTA並びに地域住民で、学校施設及び周辺の美化環境が保たれるよう清掃活動に取り組みました。
- ・耐震補強工事及び改築工事の実施にあたり、学校行事等に不都合が生じたが、工事が順調に進むよう協力しました。

(市役所)

- ・学校設備の保守点検を行い、その結果で判明した不良箇所について、随時修繕を行いました。また、普通教室不足に対応して臨時校舎の借り上げを行ないました。
- ・耐震診断の結果に基づき、耐震不足が判明した各小中学校の校舎及び体育館について、耐震補強工事及び改築工事を実施しました。

◆主な成果

- ・中学校区を単位とした小中学校により、地域ボランティア活動やあいさつ運動などの啓発・情報交換・実践活動等を行ううえで学校、家庭、地域の連携を図ることができたこと。
- ・事業所の協力による職場体験学習において、生徒が自分自身で進路を選択する能力の育成を図ることができたこと。
- ・学校の耐震化を実施したことにより、児童・生徒が快適で安全な学習活動に取り組む環境が確保できたこと。

◆主な今後の課題

- ・学校評議員制度などの充実や地域との連携を深め、情報公開を推進し、更に開かれた学校づくりの推進が求められていること。
- ・食育や望ましい食生活について、児童・生徒に指導するのみでなく、地域へのPRも必要であること。

柱2 将来にわたって活躍できる人づくり

◆主な取り組み

[個別目標①] 地域社会が教育に関心を持ち、望む教育を受ける環境が整っている

(市 民)

- ・教育委員会から発信される情報を得て、その活動に参加するなどして、文化的教養及び教育的効果の向上に効果のある取り組みを行いました。

(市役所)

- ・教育委員会において教育現場を訪問するなどして、教育の場を構築し、教育課題等諸問題について、迅速に対応しました。また、文化的教養の向上又は教育的効果が認められたものに、栄誉を称え広く知らせました。

[個別目標②] 子どもが健やかに育つ環境が整い、人間性豊かな子どもたちが育っている

(市 民)

- ・心の悩みなど自分ひとりで抱え込まず、専門の相談員に相談しました。また、いじめ・不登校問題をいじめ不登校対策協議会にて、総合的、根本的に研究しました。
- ・青少年の健全育成のために、街頭啓発を行ったり、後援会に参加しました。また、布袋・宮田・古知野南小学校の放課後子ども教室に参加しました。

(市役所)

- ・児童の悩みなどの相談や不登校児童のために、心の教室相談員の配置と、適応指導教室を開設し、指導・支援を行いました。また、いじめ・不登校対策協議会での研究結果を実践に活かしました。
- ・青少年の指導・育成等に関する調査・審議を行いました。また、小学校の余裕教室等を利用して、放課後子ども教室を実施しました。

◆主な成果

- ・教育現場の意見に基づいた議論を行うために、学校訪問や学校状況視察、他都市との意見交換をしたこと。
- ・心の相談員の配置と適応指導教室の開設により、いじめ不登校問題に対応したこと。

◆主な今後の課題

- ・学校訪問や学校状況視察、他都市との意見交換に積極的に参加し、教育現場の現状や課題を的確に把握すること。
- ・いじめ不登校問題に関しては、学校・家庭・地域住民が連携して取り組む必要性が求められていること。

柱3 生涯を通して能力を伸ばし、活かせる機会づくり

◆主な取り組み

[個別目標①] 市民が、自発的な学習活動を展開し、生きがいをもった生活を送っている

(市民)

- ・PTA活動、子ども会活動などの行事において、生涯学習人材バンクを利用し、講師の依頼をしました。

(市役所)

- ・広報こうなん、ホームページによる啓発活動や公民館サークルへの登録依頼に努めましたが、生涯学習講師人材バンク登録者数の向上には繋がりませんでした。
- ・愛知江南短期大学と連携し、公開講座、公開講演会、オープンカレッジを開催しましたが、講座の受講者数の向上には繋がりませんでした。

[個別目標②] 市民が身近にスポーツを楽しみ、なれ親しんでいる

(市民)

- ・土曜日・日曜日に、体育協会加盟競技団体が各種の大会を実施しました。
- ・コミュニティ・スポーツ祭に参加し、近隣の方との交流ができました。

(市役所)

- ・施設の利用について、体育協会加盟競技団体等と年間施設利用調整会議を開催し、効率的な施設の利用に努めました。
- ・魅力あるコミュニティ・スポーツ祭の開催を、実行委員会に働きかけました。

[個別目標③] 男女が社会のあらゆる分野で対等なパートナーとして参画し、共にその責任を分かち合っている

(市民)

- ・男女共同参画について、理解を深める講演会等に参加し、男女共同参画都市宣言の唱和をしました。

(市役所)

- ・広報こうなん、ホームページに男女共同参画についての記事を掲載し啓発に努めました。
- ・新しい男女共同参画基本計画を策定するため、2,000人の市民にアンケート調査を実施しました。

◆主な成果

- ・市民が身近に参加できるスポーツ大会であるコミュニティ・スポーツ祭に多くの市民が参加し、地域の交流ができたこと。
- ・男女共同参画都市宣言を軸として、広く市民に男女共同参画社会の推進を啓発していくことができたこと。

◆主な今後の課題

- ・価値観や生活スタイルの多様化に伴い住民参加型の生涯学習活動が求められており、社会教育指導者の育成と活用が必要であること。
- ・すべての世代に対し、生涯学習活動へ参加できるような講座、講演会を実施する必要があること。

柱4 豊かな、創造性ある文化・交流活動の充実

◆主な取り組み

〔個別目標①〕市民が文化芸術活動を積極的に行っている

(市民)

- ・市が主催する「文化講演会」、「武功夜話セミナー」、「民踊講習会」、「教養講座」、「美術展」への出品又は参観、文化協会主催の「文化祭」に参加しました。また、文化芸術活動を行うため、市民文化会館の会議室や大・小ホールを利用しました。
- ・公民館サークルや公民館フェスティバルに参加しました。

(市役所)

- ・市民文化講演会を大ホールで、「日本を変えた織田信長」として作家の井沢元彦氏を講師に迎え開催しました。また、民踊講習会や美術展等を開催し文化芸術にふれあう場を提供しましたが、文化芸術活動を行っている市民の割合の向上には繋がりませんでした。
- ・市民が安心して市民文化会館を利用するため、市民アンケートをとり、意見や要望を把握しました。また、運営委員会を開催し、指定管理者と事業内容などについて協議するとともに、モニタリングを実施して自己評価を行い市民サービスの向上と市民文化会館の稼働率向上に努めました。

〔個別目標②〕郷土の歴史・文化が正しく理解され、郷土に対する愛着や誇りをもっている

(市民)

- ・国の登録有形文化財への登録に報光寺本堂を申請し、登録されました。
- ・市が主催する歴史民俗資料館の企画展などに参加しました。また、常設展示している歴史民俗資料館を参観しました。

(市役所)

- ・多くの市民に歴史民俗資料館の展示物や文化財に関心を持っていただくため、各種企画展を開催しました。また、中学生歴史教室を開催し、中学生に江南の歴史や文化財に対する関心を深めました。

〔個別目標③〕世界平和の重要性が認識され、在住外国人も安心して暮らしている

(市民)

- ・市及び江南市国際交流協会が主催する国際交流事業「国際交流フェスティバル」に参加しました。

(市役所)

- ・様々な国籍の市民が共存する多文化共生社会を構築するため、国際交流フェスティバルや、国際理解講座、外国の料理教室などを市と江南市国際交流協会が連携して開催しました。
- ・平和の尊さ、原爆の悲惨さを広く市民に啓発するために、すいとびあ江南、市民文化会館、市役所ロビーにおいてパネル展を開催するとともに、市立全中学校で原爆パネル展や平和朗読劇を開催しましたが、「世界平和を願うパネル展」の来場者数の向上を図ることができませんでした。

◆主な成果

- ・市民文化の向上を図ることを目的として芸術、文化の鑑賞、作品の発表など活動の拠点である市民文化会館を中心に事業ができたこと。
- ・国際交流事業については、緊急雇用創出事業を活用し、雇用相談員を雇用したことや、日本語ができない外国人に対し日本語教室を開設し、雇用を促進することができたこと。

◆主な今後の課題

- ・江南市国際交流協会の活動拠点「ふくらの家」が、相談などで多くの外国人が出入りし、施設自体手狭となっている。また、各種事業に対応できる支援員や相談員等の人材育成が急務となっていること。
- ・戦争の悲惨さや世界平和の重要性を若者に教え伝えるために、今後も全中学校での開催を実施するとともに、メディアを活用したPR活動を積極的に行う必要があること。


まちづくり評価シート

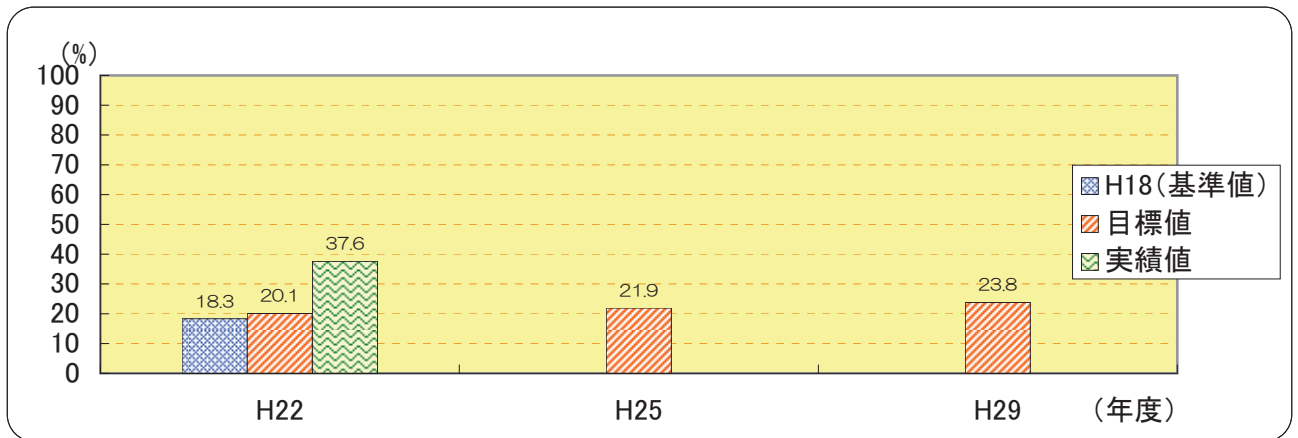
教育部【担う分野:Ⅳ 教育分野】

教育課【担う柱:1 地域に開かれた快適で安全な学校づくり】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 学校・家庭・地域との関わりの中で、児童・生徒が自ら学ぶ力を持ち、心豊かにいきいきと育っている




指標名	学校・家庭・地域の協力により、子ども一人ひとりに学力、体力、社会性、人間性が身についていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H22	実績値の分析
目標値	%	—	20.1	学校補助教員や特別支援学級等支援職員を配置し、少人数指導やチームティーチングを実施することにより、児童・生徒が個々の学習状況にあった、きめ細かな指導や支援を行うことができた。また、学校施設や設備の整備、学校の耐震化を前倒して実施したことにより、快適で安全な状態で児童・生徒が学習活動に取り組むことができた。このため、平成22年4月に実施した、市民満足度調査結果は37.6%となり、達成状況としては、晴れマークが表示され、目標値を上回ることができた。一方、地域の人にあいさつする児童・生徒の割合は微増ながらも、目標値を達成できなかった。また、朝食を食べない児童・生徒の割合は依然として高く、正しい食習慣を身につけ健康に育つように、食育指導にもいっそう力を入れ、今後も達成率を向上できるように努める。
実績値	%	18.3	37.6	
達成率	%	—	187.1	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価

平成22年4月に実施した市民満足度調査結果は37.6%となり、達成状況としては目標値を上回っている。しかし、地域の人にあいさつする児童・生徒の割合や、朝食を食べない児童・生徒の割合は依然として改善が必要であり、今後も学校・地域・家庭が連携し、子どもたちの社会性、人間性を育てていく取り組みをしていただきたい。学校は一般的に閉鎖的でないやすいので、学校評議員の適切な人選と増員を図ることにより広く意見を求め、その見識を活かして学校教育の専門性や客観性の保持と情報公開を図り、より一層の地域に開かれた学校づくりを進めていただきたい。

個別目標① 児童・生徒が心身共に健康な状態で、適切な教育を受けている

指標名	学校が好き、授業が楽しいと感じている児童・生徒の割合					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	87.5	88.8	90.0	<ul style="list-style-type: none"> ・学校補助教員配置事業 ・養護教諭配置事業 ・ALT配置事業 ・就学指導事業
実績値	%	85.0	90.0	88.2	81.5	
達成率	%	—	102.9	99.3	90.6	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	保護者等は、学校からの情報提供や教育相談により、子どもの興味や発達状況に合った教育を受けさせた。
市役所	少人数指導やチームティーチングの実施により、児童生徒は個々の学習状況にあった指導や支援ができる体制をとった。

指標名	特別支援学級等支援職員配置人数					
	単位	H19 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	10	11	12	・特別支援学級等支援職員配置事業
実績値	人	8	10	10	14	
達成率	%	—	100.0	90.9	116.7	
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	一宮児童相談所・一宮東養護学校・子育て支援課などの関係機関との交流や情報を確認しつつ、家庭での学習や正しい生活習慣を身につけた。
市役所	情緒障害、多動性障害等の児童生徒の教育支援を行なったことにより、教育内容を高めることができた。

目標達成のための今後の展開方針
<p>補助教員を配置することについては、各学校の学級数により、適正な職員配置を図る上で、今後も職員の増員を考慮することが必要である。</p> <p>特別支援学級等支援職員については、適正な配置に努めているが、今後、学校の実情を把握することにより、支援職員の配置や時間数を増やすことなどが必要である。</p>

個別目標に対するまちづくり評価
<p>発達障害のある児童生徒の教育ニーズにきめ細かく応え、授業を正常に運営するため支援職員の増員が必要であるので、この点についての検討をさらに進めていただきたい。</p>




個別目標② 学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの社会性、人間性がはぐくまれている

指標名	地域の人にあいさつする児童・生徒の割合					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	83.6	85.3	87.0	・生徒指導推進事業
実績値	%	80.2	73.5	76.0	79.2	
達成率	%	—	87.9	89.1	91.0	
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	地域の子どもたちに目を向け、非行に走らないように声かけをし、あいさつを交わしたりしながら、互いの信頼関係を築いた。
市役所	啓発・情報交換・実践活動等により、中学校区を単位として学校、家庭、地域が連携を図り、非行防止等を啓発した。

指標名	職場体験学習生徒受け入れ延べ事業所数					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	事業所	—	287	293	300	・生徒進路指導事業
実績値	事業所	273	283	324	309	
達成率	%	—	98.6	110.6	103.0	
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	事業所は積極的に職場体験学習の生徒を受け入れた。
市役所	生徒自身の生き方について職場体験、啓発的体験を得ることにより、生徒が進路を主体的に考え、選択する能力の育成を図った。




指標名	地域の行事に積極的に参加している児童・生徒の割合					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	74.3	76.6	79.0	・学校評議員事業 ・総合学習推進事業
実績値	%	69.5	76.0	61.0	82.4	
達成率	%	—	102.3	79.6	104.3	
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	学校評議員や地域の人々が気軽に訪問し、学校に対して情報等を提供するような学校づくりを支援した。
市役所	各学校が、学校評議員から意見を聞き、学校が家庭や地域と連携しながら特色ある教育活動が展開できた。




目標達成のための今後の展開方針
学校、家庭、地域との連携を密にし、学校教育の推進を図る。 職場体験学習においては、公共職業安定所、商工会議所等関係機関とさらに連携を密にして、受け入れ事業所の拡大を図る。 学校評議員の意見を広く求め、さらに開かれた学校づくりを推進する。




個別目標に対するまちづくり評価
学校は一般的に閉鎖的でないやすいので、学校評議員の適切な人選と増員を図ることにより広く意見を求め、その見識を活かして学校教育の専門性や客観性の保持と情報公開を図り、より一層の地域に開かれた学校づくりを進めていただきたい。




個別目標③ バランスのとれた給食や食育の実施により、子どもたちが正しい食習慣を身につけ健康に育っている




指標名	学校給食がおいしいと感じる児童・生徒の割合【小学校】					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	98.0	98.0	98.0	・給食企画事業 ・食育事業
実績値	%	98.3	94.0	86.0	89.1	
達成率	%	—	95.9	87.8	90.9	
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	給食の献立については、学校ホームページや試食会により情報を得た。また、給食用の物資選定においても保護者の代表者が適切な食材選びに参加した。
市役所	小中学校への、給食時間の訪問やチームティーチング授業において食育指導の実施をした。

指標名 学校給食がおいしいと感じる児童・生徒の割合【中学校】						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	98.0	98.0	98.0	・給食企画事業 ・食育事業
実績値	%	95.7	94.1	97.0	77.6	
達成率	%	—	96.0	99.0	79.2	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	給食の献立については、学校ホームページや試食会により情報を得た。また、給食用の物資選定においても保護者の代表者が適切な食材選びに参加した。					
市役所	小中学校への、給食時間の訪問やチームティーチング授業において食育指導の実施をした。					

指標名 朝食を食べない日がある児童・生徒の割合【小学校】						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	0.0	0.0	0.0	・給食企画事業 ・食育事業
実績値	%	7.3	13.0	8.0	9.0	
達成率	%	—	0.0	0.0	0.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	学校からの情報等により、望ましい食生活について理解し、実践に努めた。					
市役所	食生活に関し、児童生徒、保護者への指導のみでなく、学校を中心として発信することにより、肥満などの生活習慣病を地域へPRでき地域交流を図った。					

指標名 朝食を食べない日がある児童・生徒の割合【中学校】						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	8.4	5.7	3.0	・給食企画事業 ・食育事業
実績値	%	13.8	17.4	25.0	15.2	
達成率	%	—	48.3	22.8	19.7	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	学校からの情報等により、望ましい食生活について理解し、実践に努めた。					
市役所	食生活に関し、児童生徒、保護者への指導のみでなく、学校を中心として発信することにより、肥満などの生活習慣病を地域へPRでき地域交流を図った。					


指標名 学校給食における地場産物の割合						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	35.0	35.0	35.0	・給食用物資購入事業 ・給食企画事業 ・食育事業
実績値	%	20.0	27.0	28.5	28.5	
達成率	%	—	77.1	81.4	81.4	
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	献立表などにより地場産物の使用状況を知るとともに、食育における地産地消の重要性を理解した。
市役所	給食センター運営委員会を開催し、年間給食実施計画、物資納入業者の選定を行った。献立作成委員会を開催し、献立に沿って安価で栄養バランスに富んだ地域農産物も含めた物資を、物資選定委員会で協議し選定をした。




目標達成のための今後の展開方針	
安価で良質かつ安全な食材の選定し、栄養教諭・学校栄養職員の献立を基に小中学校の給食担当教諭と協議する。 望ましい食生活について、効果的・効率的に児童生徒に指導し、PTAの試食会を通して偏食による肥満や生活習慣病についての講義を行う。 北部給食センター調理業務の民間委託を調査・研究しているが、現在の調理職員の配置転換やそれに伴う経済性・効率性などについて、他市町の動向を踏まえながら更なる検討が必要となっている。	

個別目標に対するまちづくり評価	
望ましい食生活に関し、児童生徒、保護者への指導のみでなく、学校を発信源として、肥満などの生活習慣病を地域へPR活動をすることで、地域交流が図れるよう努めていただきたい。	

個別目標④ 教育を受ける環境が整備され、快適で安全な状態で児童・生徒が学習活動に取り組んでいる

指標名	学校施設や設備が整備され、快適で安全な教育環境の中で、児童・生徒が学習していると思う市民の割合					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	29.7	30.4	31.1	<ul style="list-style-type: none"> 教材整備事業 学校管理運営事業 学校施設管理事業 学校施設整備事業
実績値	%	28.3	—	—	46.8	
達成率	%	—	—	—	150.5	
達成状況	—	—	—	—		

取り組みの状況	
市民	児童・生徒及びPTA並びに地域住民の清掃活動等により、学校施設及び周辺の美化環境が保持した。
市役所	給水、電気、昇降機を始めとする各種学校設備の保守点検を行うとともに、普通教室数不足により臨時校舎の借り上げをした。

指標名	学校施設の耐震化率					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	61.9	70.9	72.7	校舎等耐震補強事業
実績値	%	61.8	69.6	83.9	96.4	
達成率	%	—	112.4	118.3	132.6	
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	学校施設の大規模工事において発生する学習環境や施設利用での不都合を理解し、円滑な工事の進捗に協力した。
市役所	耐震診断結果に基づき、各小中学校の校舎及び体育館の耐震補強工事を実施した。

目標達成のための今後の展開方針

学校施設の耐震化の完了に引き続き、学校施設整備として、校舎の改造及びプールの改築・改修計画を作成する。

個別目標に対するまちづくり評価

学校施設の耐震化を計画どおり完了した後、校舎の改造及びプールの改築・改修を推進し、建替えも見据えて長期的な計画を立てていただきたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

中学校区を単位として、啓発・情報交換・実践活動等を学校、家庭、地域が連携を図り、非行防止等の活動が実施され、即座の対応が図られた。

職場体験等を実施した結果、その経験により生徒が自分自身で進路の選択する能力の育成を図ることができた。

地域の中の学校として、学校、家庭、地域が一体となった情報の共有が図られた。

食生活に関し、児童生徒、保護者への指導のみでなく、学校を中心として発信することにより、肥満などの生活習慣病などの理解を深めることができた。

◆柱全体の今後の課題

学校だけの対応は困難な状況であるため、地域との連携が不可欠である。

職場体験学習において、関係機関とさらに連携を密にして、受け入れ事業所の拡大を図る必要がある。

学校評議員の意見を広く求め、さらに開かれた学校づくりを推進しなければならない。

安価で良質かつ安全な食材を選定する。また、食育や望ましい食生活について、指導のみでなく、地域へのPRも必要である。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

学校、家庭、地域との連携を密にし、学校教育の推進を図る。

職場体験学習の実施においては、公共職業安定所、商工会議所等関係機関とさらに連携を密にして、受け入れ事業所の拡大を図る。

学校評議員の意見を広く求め、さらに開かれた学校づくりを推進する。

食育や望ましい食生活について、児童生徒に指導するとともに、PTAの試食会等を通して地域へのPRを行う。

まちづくり評価シート

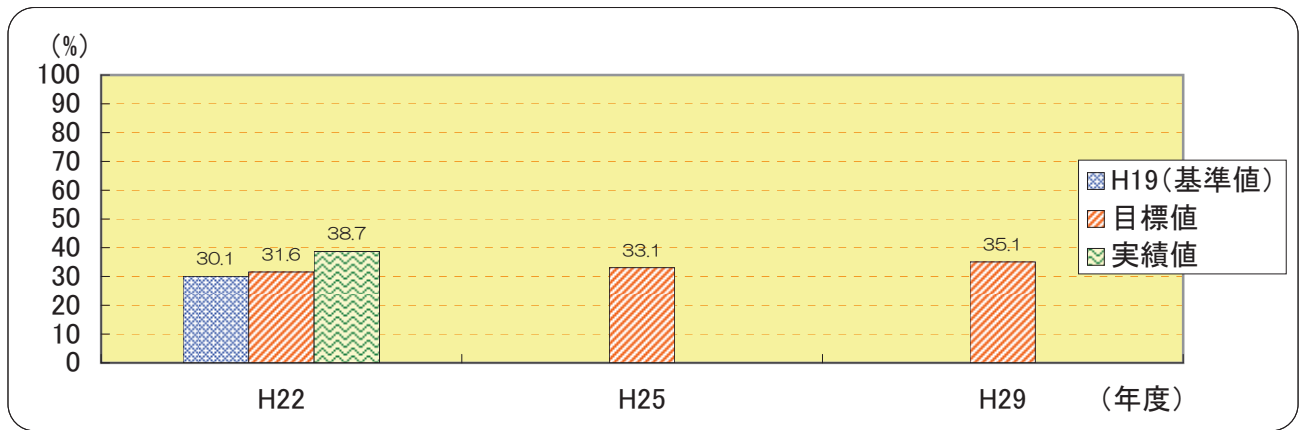
教育部【担う分野:Ⅳ 教育分野】

教育課【担う柱:2 将来にわたって活躍できる人づくり】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 良好な教育環境が構築され、青少年の健全な育成が図られている

指標名	青少年が健全に育成されていると感じる市民の割合			
	単位	H19 (基準値)	H22	実績値の分析
目標値	%	—	31.6	教育委員会会議の定期的な開催、教育現場の訪問、他都市との意見交換などを通じて、情報を収集し、教育課題に迅速に対応したことにより、望む教育を受ける環境が整っていると感じる市民の割合はほぼ目標を達成することができた。このため、平成22年4月に実施した市民満足度調査結果は38.7%となり、達成状況としては晴れマークが表示され、目標値を上回ることができた。一方、不登校の児童・生徒の割合は高く、児童・生徒の心の悩みやいじめ不登校問題は大きな課題となっている。
実績値	%	30.1	38.7	
達成率	%	—	122.5	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

平成22年4月に実施した市民満足度調査結果は38.7%となり、達成状況としては目標値を上回っている。しかし、不登校の児童・生徒の割合は高く、児童・生徒の心の悩みやいじめ不登校問題は大きな課題であるため、学校・家庭・地域が強力して取り組むよう努めていただきたい。

個別目標① 地域社会が教育に関心をもち、望む教育を受ける環境が整っている

指標名	子どもから大人までの教育環境が整っていると感じる市民の割合					
	単位	H19 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	35.5	36.0	36.5	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会運営事業 ・教育調査事業 ・表彰事業 ・横田教育文化振興事業
実績値	%	35.0	—	—	35.9	
達成率	%	—	—	—	98.4	
達成状況	—	—	—	—	☀	

取り組みの状況

市民	教育委員会から発信される情報を得て、その活動に参加するなどして、教育的・文化的な教養の向上に努めた。
市役所	教育委員会会議を年間13回開催し、教育現場を訪問するなどして、教育の場を構築し、教育課題等諸問題について、迅速に対応した。また、文化的教養の向上又は教育的効果が認められたものに、栄誉を称え広く市民に知らせた。




目標達成のための今後の展開方針




教育課題に迅速かつ的確に対応するため、情報収集及び研修等を行う。
また、外部評価員による「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価」を行い、教育実態の把握に努めるとともに、地域住民の要望、意見等を取り入れながら、地域ぐるみで教育行政を推進する。


個別目標に対するまちづくり評価

市民が気軽に学校を訪問できるような環境づくりを進めてほしい。
学校訪問や学校状況視察、他都市との意見交換に積極的に参加してほしい。

個別目標② 子どもが健やかに育つ環境が整い、人間性豊かな子どもたちが育っている

指標名	不登校の児童・生徒数の割合【小学校】					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	0.4	0.4	0.3	<ul style="list-style-type: none"> 心の教室相談員配置事業 適応指導教室事業 いじめ・不登校対策事業
実績値	%	0.5	0.3	0.6	0.5	
達成率	%	—	133.3	66.7	60.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	心の悩みなどを自分ひとりで抱え込まず専門の相談員に相談した。 いじめ不登校対策協議会にて、いじめ・不登校問題を総合的、根本的に研究した。					
市役所	各小学校に心の教室相談員を配置し、児童の悩みなどの相談を受けた。 不登校児童のために、適応指導教室を開設し、指導・支援を行った。 いじめ・不登校問題を総合的、根本的に研究、検討し実践に活かした。					

指標名	不登校の児童・生徒数の割合【中学校】					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	3.6	3.2	2.7	<ul style="list-style-type: none"> 心の教室相談員配置事業 適応指導教室事業 いじめ・不登校対策事業
実績値	%	4.5	4.3	3.7	3.8	
達成率	%	—	83.7	86.5	71.1	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	心の悩みなどを自分ひとりで抱え込まず専門の相談員に相談した。 いじめ不登校対策協議会にて、いじめ・不登校問題を総合的、根本的に研究した。					
市役所	各中学校に心の教室相談員を配置し、生徒の悩みなどの相談を受けた。 不登校生徒のために、適応指導教室を開設し、指導・支援を行った。 いじめ・不登校問題を総合的、根本的に研究、検討し実践に活かした。					

指標名	家庭・学校・地域が協力して子どもたちの健全育成のために取り組んでいると感じる市民の割合					
	単位	H19 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	52.0	52.5	53.0	<ul style="list-style-type: none"> ことばの教室事業 放課後子どもプラン事業 青少年問題協議会事業 少年センター事業 青少年健全育成推進事業
実績値	%	51.5	—	—	50.6	
達成率	%	—	—	—	95.5	
達成状況	—	—	—	—		

取り組みの状況	
市民	布袋小学校、宮田小学校、古知野南小学校の「放課後子ども教室」に参加した。青少年問題協議会で、青少年育成の基本方針を決定した。また青少年健全育成のために、街頭啓発を行ったり、講演会に参加した。
市役所	小学校の余裕教室や体育館を利用して「放課後子ども教室」と「学童保育」を総合的に実施した。青少年の指導・育成等に関する調査・審議を行い、青少年育成の基本方針を決定した。また、少年相談窓口を開設し、街頭補導を実施した。青少年健全育成のために、街頭啓発、講演会を実施した。

目標達成のための今後の展開方針
いじめ不登校対策として、適応指導教室「You・輝」、心の教室相談員、少年センター相談員配置事業の充実を図り、相談を受けやすい体制を整え、学校生活を安心して教育を受けやすくできるようにする。地域でのボランティア活動や体験活動の情報提供を行い、青少年の社会性、人間性の育成に努める。放課後の子どもたちの安全で健やかな活動場所を確保するため、学童保育と放課後子ども教室を一体的、あるいは連携した取り組みに努める。

個別目標に対するまちづくり評価
いじめ不登校対策として、適応指導教室「You・輝」、心の教室相談員、少年センター相談員配置事業の充実を図り、相談を受けやすい体制を整え、安心な学校生活を支援していただきたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

教育現場の意見に基づいた議論を行うために、学校訪問や学校状況視察、他都市との意見交換をした。教育委員会会議においては、教育の課題、施策等について教育委員会委員と積極的に審議、意見交換をした。

◆柱全体の今後の課題

学校訪問や学校状況視察、他都市との意見交換に積極的に参加し、教育現場の現状や課題を的確に把握する。平成20年4月から教育委員会会議の内容をホームページで公開しているが、今後も情報公開を積極的に進めていく必要がある。

心の悩みを抱える児童・生徒やいじめ不登校問題は大きな課題であり、学校評議員を地域の中から広く求め、学校・家庭・地域住民が協力して取り組む必要がある。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

学校評議員を地域の中から広く求め、学校・家庭・地域住民が連携し、地域住民の要望、意見等を取り入れながら、地域ぐるみで教育行政を推進し、社会に貢献できる人材を育む。


まちづくり評価シート

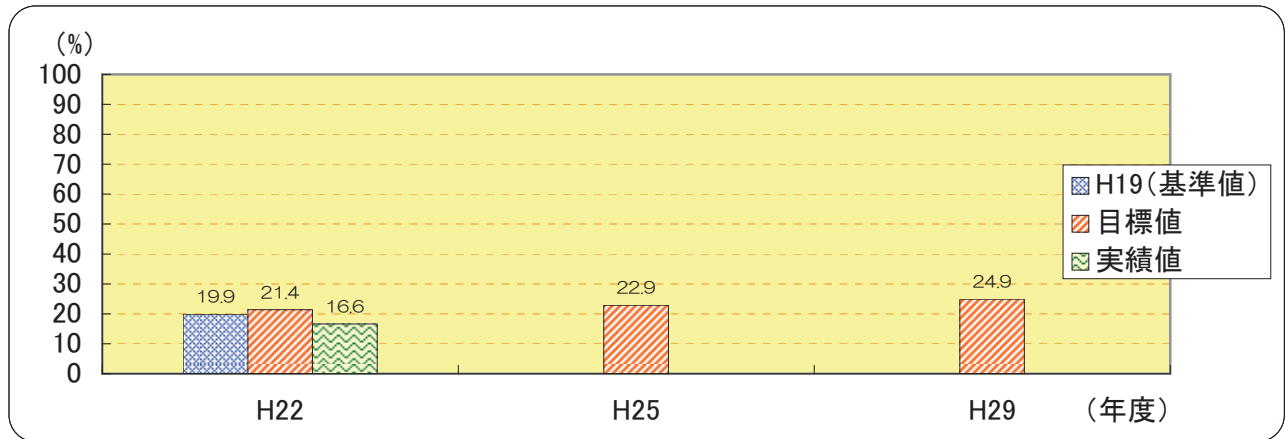
教育部【担う分野:Ⅳ 教育分野】

生涯学習課【担う柱:3 生涯を通して能力を伸ばし、活かせる機会づくり】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況




全体目標 市民が生涯にわたって学習し、その能力を発揮する環境が整っている

指標名	生涯学習活動に参加している市民の割合			
	単位	H19 (基準値)	H22	実績値の分析
目標値	%	—	21.4	平成21年度に実施した公民館講座は271人受講者があり、年齢層は60歳以上が多く、高齢者教室も約900人受講者がいることから、若年層及び勤労者層の生涯学習活動への参加が少ないと思われる。また、安定した仕事に就けない、仕事に追われ健康を害しかねない、仕事と子育てや老親の介護との両立に悩むなど、仕事と生活の間で問題を抱える人が多く見られるような、最近の社会環境の変化が、余暇の時間の過ごし方にも少なからず影響を与えていると思われます。このため、平成22年4月に実施した、市民満足度調査結果では16.6%という結果になり、達成状況としては曇りマークが表示され、目標を達成できていない。
実績値	%	19.9	16.6	
達成率	%	—	77.6	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価
平成22年4月に実施した市民満足度調査結果は16.6%という結果で、目標は達成できていない状況であるため、今後、目標が達成できるよう情報提供やPR方法の工夫をしていただきたい。

個別目標① 市民が、自発的な学習活動を展開し、生きがいをもった生活を送っている

指標名	生涯学習講師人材バンク登録者数					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	138	144	150	企画運営事業
実績値	人	126	140	139	130	
達成率	%	—	101.4	96.5	86.7	
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	PTA活動、子ども会活動などの行事において、生涯学習人材バンクを利用し、講師の依頼をした。
市役所	広報こうなん、ホームページによる啓発活動や公民館サークルへの登録依頼を行った。生涯学習人材バンクの一覧を作成し、学校、公民館、子育て支援センターなどへ配布した。

指標名 愛知江南短期大学と連携した講座の受講者数						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	2,056	2,078	2,100	・成人教育事業
実績値	人	2,011	2,389	1,908	1,561	
達成率	%	—	116.2	91.8	74.3	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市と愛知江南短期大学が連携して実施した公開講座、公開講演会、オープンカレッジに参加した。					
市役所	愛知江南短期大学と連携し、公開講座、公開講演会、オープンカレッジの開催に向けての準備を行い、公開講座等を開催した。					

指標名 1人あたりの図書等の貸出点数						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	冊	—	3.6	3.9	4.2	・図書館管理運営事業
実績値	冊	3.3	3.9	4.1	3.9	
達成率	%	—	108.3	105.1	92.9	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	インターネットや利用者端末を利用し、図書の検索を行い貸し出しを受けた。図書館主催の読み聞かせ会、手作り絵本教室、ウッドバーニング等に参加した。					
市役所	市の施設において配本・返却サービスを実施し、利用者の利便性の向上を図った。					

目標達成のための今後の展開方針

人材バンクの活用をより活発なものにするため、市民だけでなく、学校や団体等にも呼びかけ、幅広い人材を確保し、また利用の促進を図っていくためのPRを行う。
 公開講演会への参加を呼びかけるため、広報や市ホームページだけでなく新聞への掲載や、市の施設以外の多くの市民が集まる場所へのチラシの配布などを行う。
 情報交換により市民サービスの向上を図ることが出来るよう、ボランティア同士が連携する場を設ける。




個別目標に対するまちづくり評価

各種団体に積極的にPRなどを行い、多様なニーズに対応した人材確保に努めていただきたい。
 公開講演会等の参加者を増やすため、愛知江南短期大学との連携を図り、積極的に開催をPRしていただきたい。
 ボランティアによる読み聞かせなどで、多くの集客を得ていることは評価できる。さらに、ボランティア同士の連携を図り、市民ニーズの把握やサービス向上に努めていただきたい。




個別目標② 市民が身近にスポーツを楽しみ、なれ親しんでいる

指標名 屋内のスポーツ施設の稼働率						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	85.0	85.0	85.0	・体育施設等管理運営事業 ・学校体育施設開放事業
実績値	%	84.1	87.7	78.4	90.6	
達成率	%	—	103.2	92.2	106.6	
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	土曜日・日曜日に、体育協会加盟競技団体等が開催する大会に参加した。 月曜から金曜日までは主に加盟競技団体等が使用した。
市役所	土曜・日曜日等の利用について、体育協会加盟団体等と調整会議を開催し、各団体が施設を効率的に利用できるように努めた。

指標名	屋外のスポーツ施設の稼働率					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	30.8	31.9	33.0	・体育施設等管理運営事業 ・学校体育施設開放事業
実績値	%	29.7	33.0	34.5	36.6	
達成率	%	—	107.1	108.2	110.9	
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	土曜日・日曜日に、体育協会加盟競技団体等が開催する大会に参加した。
市役所	土曜・日曜日等の利用について、体育協会加盟団体等と調整会議を開催し、各団体が施設を効率的に利用できるように努めた。

指標名	コミュニティ・スポーツ祭の参加者数					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	人	—	5,400	5,600	5,800	・各種スポーツ大会開催事業
実績値	人	5,289	6,217	6,788	6,363	
達成率	%	—	115.1	121.2	109.7	
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	コミュニティ・スポーツ祭に参加して、近隣の方との交流ができた。
市役所	10小学校区において、魅力あるコミュニティ・スポーツ祭を実施できるよう実行委員会に働きかけた。

目標達成のための今後の展開方針
安全で快適な施設の利用環境を構築するため、施設の老朽化に伴う改修および施設の耐震化などを計画的に整備する。

個別目標に対するまちづくり評価
市民が身近に参加できるスポーツ大会であるコミュニティ・スポーツ祭に多くの市民が参加し、地域の交流ができたことは、評価できます。しかし、屋内施設については平成21年度において稼働率が低下し、平成18年度の基準値を下回っています。体育協会加盟団体等と調整会議を開催し、各団体が施設を効率的に利用できるように努め、稼働率の維持に努力している中、このような結果になった要因の一つには施設の老朽化が、安全で快適な施設の利用環境の構築を阻害し、施設の稼働率の低下につながっているのではないかと考えられます。今後は利用者が、安全で快適に施設を利用できるよう施設の改修および耐震化などを計画的に整備していただきたい。

個別目標③ 男女が社会のあらゆる分野で対等なパートナーとして参画し、共にその責任を分かち合っている

指標名		審議会などにおける女性委員の登用率				
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	21.7	23.4	25.0	・男女共同参画推進事業
実績値	%	18.4	23.4	26.1	24.2	
達成率	%	—	107.8	111.5	96.8	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	市が主催する委員会等の委員に公募した。
市役所	各課に対し、審議会等の委員の改選期には、女性委員の登用率が全体の30.0%以上になるように、積極的な登用を依頼した。 職員の男女共同参画への理解のため、研修会を行政経営課が実施した。

指標名		男女共同参画講演会やセミナーなどへの参加割合				
	単位	H17 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	70.0	70.0	70.0	・男女共同参画推進事業 ・男女共同参画基本計画策定事業
実績値	%	60.5	80.2	67.3	88.3	
達成率	%	—	114.6	96.1	126.1	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	男女共同参画について、理解を深める講演会等に参加した。 講演会参加の折、男女共同参画都市宣言の唱和をした。
市役所	広報、ホームページに男女共同参画についての記事を掲載し啓発に努めた。 新しい男女共同参画基本計画を策定するため、2,000人の市民にアンケート調査を実施した。

目標達成のための今後の展開方針

江南市男女共同参画都市宣言を軸として、子育てなどのあらゆる分野の活動で、男女が対等に参画し、協力しあうまちづくりを推進する。
男女共同参画を広く市民へ理解してもらうため、男女共同参画基本計画を新たに作成し行政の取り組みを総合的、計画的に推進する。
市民の男女共同参画への意識向上を図るため、学習活動の機会としてのセミナーや講座などの内容をより充実させる。

個別目標に対するまちづくり評価

男女共同参画基本計画については、誰にとっても解りやすく、目指す将来像や目標を共有し、活用できる計画書としてほしい。
男女共同参画社会を推進することは、男女が対等なパートナーとして認め合う社会を作ることであり、地域の活性化に繋がると思われます。
これからも、市民に親しみのあるセミナー、講座を開催していただき、啓発に努めてほしい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

江南市男女共同参画都市宣言を軸として、広く市民に男女共同参画社会の推進を啓発していくことができた。広報こうなん、ホームページ、ポスター掲示等による啓発活動や各種団体との連携を図り、生涯学習活動への参加を呼びかけ、前年度並みの参加者を確保することができた。

◆柱全体の今後の課題

価値観や生活スタイルの多様化に伴い住民参加型の生涯学習活動が求められており、社会教育指導者の育成と活用が必要である。また、市民の生涯学習意識を高めるため、様々な広報活動が求められる。すべての世代に対し生涯学習活動へ参加できるような講座、講演会を実施する必要がある。特に若年層及び勤労者層の参加を重点とした講座、講演会を企画することが必要である。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

新たな生涯学習基本計画、男女共同参画基本計画の策定のため、パブリックコメントを実施し、広く市民から意見を求める。

多様化した市民ニーズに対応するため、人材バンクの活用を活発化する。

市民ニーズを的確に把握する必要があり、アンケート調査や各種団体との密接な連携を推進する。

一人ひとりの個性と能力が活かされ、それぞれの生き方が尊重される男女共同参画社会を実現するため啓発に努める。

まちづくり評価シート


教育部【担う分野:Ⅳ 教育分野】

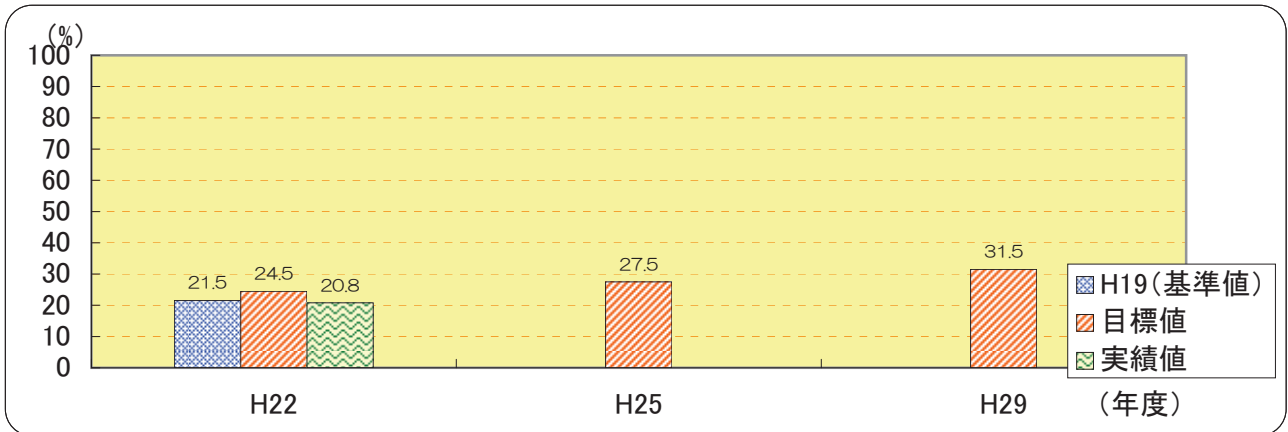
生涯学習課【担う柱:4 豊かな、創造性ある文化・交流活動の充実】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 市民の文化活動や国内外の交流活動が活発に行われ、心豊かな生活を送っている

指標名 文化活動や交流活動により、心豊かな生活を送っていると感じる市民の割合

	単位	H19 (基準値)	H22	実績値の分析
目標値	%	—	24.5	文化芸術活動を行っている市民の割合について、平成22年度の実績値が平成18年度の基準値1.3を下回り1.1に減少しています。これは、江南市文化協会の会員が高齢等により脱会している傾向が要因の一つとして挙げられます。また、安定した仕事に就けない、仕事に追われ健康を害しかねない、仕事と子育てや老親の介護との両立に悩むなど、仕事と生活の間で問題を抱える人が多く見られるような、最近の社会環境の変化が、余暇の時間の過ごし方にも少なからず影響を与えていると思われます。このようなことから、文化芸術活動を行い心豊かな生活を送っていると感じる市民の割合が減少していると思われる。このため、平成22年4月に実施した、市民満足度調査結果では20.8%という結果になり、達成状況としては曇りマークが表示され、目標を達成できていない。
実績値	%	21.5	20.8	
達成率	%	—	84.9	
達成状況	—	—		






全体目標に対するまちづくり評価

文化活動や交流活動により、心豊かな生活を送っていると感じる市民の割合が20.8%で目標を達成できていないので、今後は市民の文化をより一層の向上を図るため、文化活動の拠点である市民文化会館を中心に、市民に親しまれる各種事業を展開する必要がある。そのためには、市民アンケートを実施するなどして、市民の声を聞くことに努めていただきたい。

様々な国籍の市民が共存する多文化共生社会を構築するため、江南市国際交流協会との連携は必要不可欠である。同協会の事務局である生涯学習課は、今後も支援をお願いしたい。また、地域においてボランティアの育成を図っていただきたい。

個別目標① 市民が文化芸術活動を積極的に行っている

指標名 文化芸術活動を行っている市民の割合

	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	1.3	1.3	1.4	・文化振興事業 ・美術展事業 ・文化協会事業
実績値	%	1.3	1.3	1.1	1.1	
達成率	%	—	100.0	84.6	78.6	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	市の主催する、「文化講演会」、「民謡講習会」、「教養講座」へ参加した。また、「美術展」への出品や参観、文化協会主催の「文化祭」に参加した。公民館サークルや公民館フェスティバルに参加した。
市役所	市民文化講演会を大ホールで開催した。また、民謡講習会や美術展等を開催し文化芸術にふれあう場を提供した。

指標名	市民文化会館の稼働率					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	49.3	50.1	50.8	・市民文化会館管理運営事業 ・市民文化会館設備改修事業(第1期) ・市民文化会館設備改修事業(第2期) ・地上デジタル放送調査事業
実績値	%	47.8	48.2	49.5	46.8	
達成率	%	—	97.8	98.8	92.1	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	市民文化会館指定管理者が企画する自主事業に参加した。また、会議や作品展示、芸術活動のため、会議室や大・小ホールを利用した。
市役所	市民が安心して市民文化会館を利用するため、市民アンケートをとり、意見や要望を把握した。また、運営委員会を開催し、指定管理者と事業内容などについて協議を行った。平成21年度よりモニタリングを実施し、自己評価をしつつ、市民サービスの向上を図った。

目標達成のための今後の展開方針

今後、文化会館等を利用しているグループが文化協会に加入するよう啓発する。また、市民文化会館の大・小ホールの利用について、今まで申込ができなかった利用日の前1ヶ月にあたる日から利用する前15日までの間について申し込みを受け付け、その間の利用料金の割引制度が平成21年度からスタートしておりこのメリットを活かし利用促進に色々な機会を通して啓発する。

個別目標に対するまちづくり評価

市民が芸術文化事業に関心をもつためには、市が美術展や講演会、セミナーや教養講座など多種多様のイベントを開催するとともに、PR活動を積極的に実施していただきたい。
また、活動拠点の市民文化会館が市民にとって利用しやすい環境に整えていただきたい。その一環として、市民文化会館大・小ホールの利用方法や文化会館の自主事業のPR活動を積極的に行うなどし、市民サービスの向上を図っていただきたい。

個別目標② 郷土の歴史・文化が正しく理解され、郷土に対する愛着や誇りをもっている

指標名	指定文化財の数【国】					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	件	—	5	5	5	・文化財保護事業
実績値	件	5	5	5	5	
達成率	%	—	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	管理者は国指定文化財を損なうことなく保存及び管理に努めた。
市役所	管理者に対し文化財保護助成金を交付し、文化財の保護、育成に努めた。

指標名	指定文化財の数【県】					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	件	—	9	9	9	・文化財保護事業
実績値	件	9	9	9	9	
達成率	%	—	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	管理者は県指定文化財を損なうことなく保存及び管理に努めた。
市役所	管理者に対し文化財保護助成金を交付し、文化財の保護、育成に努めた。

指標名	指定文化財の数【市】					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	件	—	92	92	92	・文化財保護事業
実績値	件	92	91	91	92	
達成率	%	—	98.9	98.9	100.0	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	管理者は市指定文化財を損なうことなく保存及び管理に努めた。 「東野神社神事よほほい祭り」を市指定無形民俗文化財に申請し、指定された。
市役所	管理者に対し文化財保護助成金を交付し、文化財の保護、育成に努めた。 「東野神社神事よほほい祭り」を市指定無形民俗文化財に指定した。

指標名	登録有形文化財の数【登録】					
-----	---------------	--	--	--	--	--

	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	件	—	2	2	2	・文化財保護事業
実績値	件	2	2	2	3	
達成率	%	—	100.0	100.0	150.0	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	管理者は登録有形文化財を損なうことなく保存及び管理に努めた。 国の登録有形文化財への登録に報光寺本堂を申請し、登録された。
市役所	管理者に対し、登録有形文化財の保存、管理に努めるよう依頼した。 国の登録有形文化財に登録申請された報光寺本堂を関係機関へ進達した。

指標名	文化財普及事業への参加者数					
-----	---------------	--	--	--	--	--

	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	5,723	5,762	5,800	・歴史民俗資料館事業 ・文化財保護事業
実績値	人	5,647	5,495	4,523	10,694	
達成率	%	—	96.0	78.5	184.4	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	市が主催する歴史民俗資料館の企画展の参加や、常設展示している歴史民俗資料館を参観した。 また、郷土の歴史を知る機会の「武功夜話セミナー」を開催し郷土の歴史への愛着と理解をしてもらえた。
市役所	多くの市民が、歴史民俗資料館の展示物や文化財に関心をもっていただくために、各種企画展を開催した。また、中学生歴史教室を開催し、中学生に江南の歴史や文化財に対する関心を深めた。

目標達成のための今後の展開方針

最近の戦国武将ブームにあやかり、市内の歴史ボランティアグループと連携し、生駒屋敷跡や久昌寺、富士塚の碑などの文化財めぐりや、江南市ゆかりの戦国武将をホームページで紹介するなど、江南市の特性を最大限利用し、歴史に関心のある人を増やす。
郷土の歴史では、武功夜話への関心が深まっており、武功夜話セミナーへの参加者増加が見込まれ平成21年度より会場を小ホールで開催する。

個別目標に対するまちづくり評価

江南市は、戦国武将織田信長に関わりのある史跡や寺社など文化財が豊富なまちである。最近の歴史ブームにあやかり、文化財のPRを積極的に行っていただきたい。併せて「文化財めぐり」などの事業を市が企画することも効果的であると思います。
また、歴史民俗資料館にも貴重な文化資料や文化財が展示してありますので、同館に足を運んでいただくよう積極的にPRを行っていただきたい。

個別目標③ 世界平和の重要性が認識され、在住外国人も安心して暮らしている

指標名 江南市国際交流協会の事業(多文化共生事業)に参加する外国人の数						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	250	265	280	・国際交流推進事業 ・多文化共生推進事業
実績値	人	220	260	300	370	
達成率	%	—	104.0	113.2	132.1	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市及び江南市国際交流協会が主催する国際交流事業「国際交流フェスティバル」に参加した。					
市役所	様々な国籍の市民が共存する多文化共生社会を構築するため、国際交流フェスティバルや国際理解講座、外国の料理教室などを市と江南市国際交流協会が連携し開催した。					

指標名 江南市国際交流協会の事業(多文化共生事業)に参加する日本人の数						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	1,900	1,950	2,000	・国際交流推進事業 ・多文化共生推進事業
実績値	人	1,800	1,950	5,500	6,870	
達成率	%	—	102.6	282.1	343.5	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市及び江南市国際交流協会が主催する国際交流事業「国際交流フェスティバル」に参加した。					
市役所	様々な国籍の市民が共存する多文化共生社会を構築するため、国際交流フェスティバルや国際理解講座、外国の料理教室などを市と江南市国際交流協会が連携し開催した。					

指標名 世界平和を願うパネル展の来場者数						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	1,249	1,275	1,300	・世界平和・国際協力推進事業
実績値	人	1,198	808	1,088	903	
達成率	%	—	64.7	85.3	69.5	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市が主催する世界平和を願うパネル展に参加した。					
市役所	8月初旬から中旬にかけ、市民文化会館展示室、すいとぴあ江南、市役所ロビーにおいて「世界平和を願うパネル展」を開催した。					

目標達成のための今後の展開方針

国際交流事業については、今後も江南市と江南市国際交流協会との連携を図っていきます。活動拠点である「ふくらの家」においての相談件数も多くなってきているため、相談に適切に対応できる支援員や相談員等の人材育成について支援する。

「世界平和を願うパネル展」の来場者が伸び悩んでいるため、戦争の悲惨さや世界平和の重要性を若者に教え伝えていくためにも中学校での開催を計画するとともに、メディアを活用したPR活動を積極的に行う。

個別目標に対するまちづくり評価

長引く経済不況のなか、職を失った外国人に対し、市は、江南市国際交流協会と密接に連携し、雇用相談や日本語教室の開設など、定住外国人の目線に沿ったきめ細かい支援活動を行うよう要望します。また、国際平和の実現には国際交流を深め国際協力の推進を図ると共に、戦争の悲惨さや世界平和の重要性を市民に啓発することが必要と思います。今後も、次代を担う市内小中学生が戦争の悲惨さを学び、平和の大切さを理解できるよう、パネル展などを通して平和教育の推進をお願いしたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

市民文化の向上を図ることを目的として芸術、文化の鑑賞、作品の発表など、活動拠点である市民文化会館を中心に事業が実施できた。

国指定名勝・天然記念物の木曾川堤(サクラ)が老朽化により一部枯死状態に陥ったことや枝が道路に覆い被さっているものも見受けられ、道路の通行に支障が起きたこともあり、緊急雇用創出事業基金事業を活用し、サクラの剪定を実施し文化財の保護と道路事情の両立ができた。

国際交流事業については、不況のあおりを受け、職を失った外国人に対し、緊急雇用創出事業を活用し、雇用相談員を雇用したり、日本語ができない外国人に対し日本語教室を開設し、雇用を促進することができた。

◆柱全体の今後の課題

芸術、文化活動の拠点である市民文化会館の利用者に対し、市民アンケートをお願いしているが、「大ホールや小ホールにイベントがあると、利用するにも駐車スペースがない」と、駐車場不足が指摘されているが、市の財政状況等を鑑みると増設は困難であるため、公共交通機関の利用や乗り合わせによる来場の啓発を積極的に行う必要がある。

国際交流事業については、市が江南市国際交流協会に、外国人生活支援員設置業務、外国人雇用相談員設置事業、日本語教室開催事業など多くの業務を委託している。これらの業務を活動拠点「ふくらの家」で行っているが、多くの外国人が出入りし、施設自体手狭となっている。また、これらの事業に対応できる支援員や相談員等人材育成が急務である。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

文化活動の拠点である市民文化会館が市民に愛され、利用者が増加するよう、会館利用者からの意見や要望を聞くと共に、駐車場問題についても市民文化会館運営委員会においてその検討を行う。また、平成21年度から四半期ごとに実施しているモニタリングにおいて、施設側と市側で相互評価を行い、市民サービスの向上並びに施設整備の充実を図る。

国際交流事業については、現在の活動拠点を増やす必要があり、その施設を検討する。また、その専従事務者の確保も必要となる。フレンドシップ国であるミクロネシアとは、今後も相互交流など行い、交流を深める。

<分野別会議 第4分科会>



V 経営、企画分野

《目標達成状況》

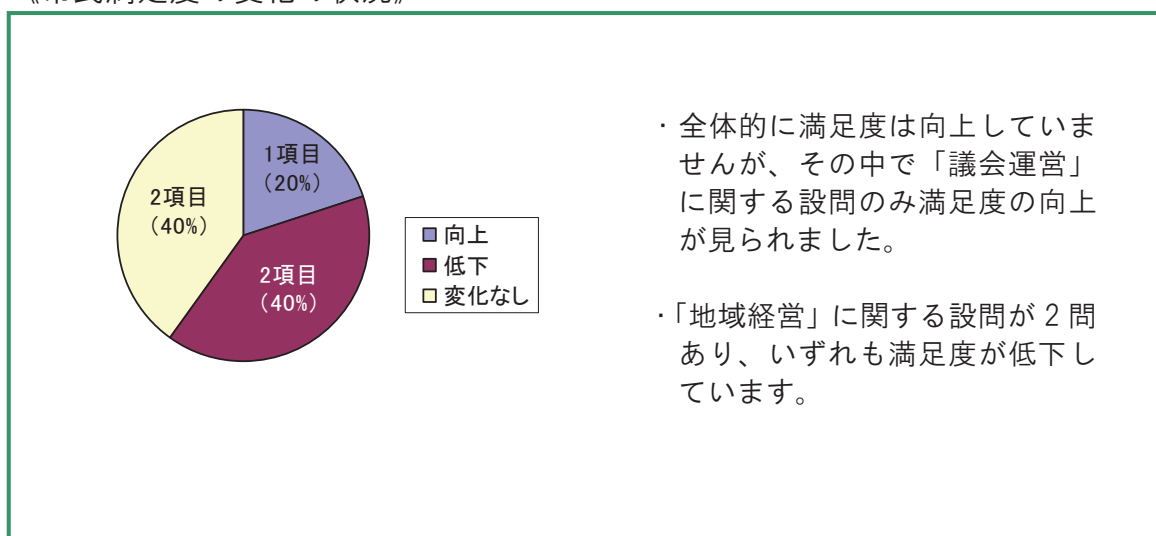
全体目標の平均目標達成率	101.0%
個別目標の平均目標達成率	94.3%
柱1 地域経営	84.5%
柱2 行政経営	96.2%
柱3 課税・収納	78.4%
柱4 行政事務管理	101.2%
柱5 議会運営への支援	150.5%

※ 柱別の平均達成率は個別目標のみ集計

全体目標の平均目標達成率は、101.0%で概ね目標達成している状況といえます。個別目標の平均目標達成率は94.3%で、その内訳は「柱1 **地域経営**」関係が84.5%、「柱2 **行政経営**」関係が96.2%、「柱3 **課税・収納**」関係が78.4%、「柱4 **行政事務管理**」関係が101.2%、「柱5 **議会運営への支援**」関係が150.5%でした。

活発な議会運営や効率的・円滑な事務管理が行われている状態にあるものの、地域経営、課税・収納の柱は、90%には満たない達成状況であり、市民や市役所の今後の取り組みが必要です。

《市民満足度の変化の状況》



柱 1 地域協働の推進

◆主な取り組み

[個別目標①] 市民が地域社会の担い手になっている

(市民)

- ・地域活動や市民活動に地域情報を積極的に活用しました。
- ・地縁団体の設立に積極的に協力し、区有財産の管理など安定的・活発な自治会運営を行いました。

(市役所)

- ・「NPO・ボランティアガイド」を更新して各団体を紹介するとともに、市民・協働ステーションで情報チラシを置くことにより、ボランティア、NPOなどの参画・協働が必要な分野、業務の情報提供に努めました。
- ・区・町内会が進んで地縁団体の設立ができるよう相談体制を充実するとともに、区からの相談に対応し、必要な情報を提供しました。
- ・アダプト制度の啓発やアダプト団体の活動紹介などの情報提供や、団体の懇談会を開催することにより、アダプト活動の充実に努めました。アダプト制度の登録者は減ってしまいました。

[個別目標②] 地域内の情報を共有し、市政に理解と関心を深めている

(市民)

- ・ホームページにアクセスすることにより、ボランティア団体、NPOの活動内容などの地域情報を共有しました。
- ・市政に対して関心をもつとともに、要望や提案などの意見を述べました。

(市役所)

- ・見やすくわかりやすいホームページの作成に努めました。
- ・「市長への手紙」やEメールによる市民の要望や提案等に回答し、市民の市政への理解を深めるとともに、市民ニーズの把握や事務改善の参考としました。

◆主な成果

- ・NPO・ボランティア団体数について、少しずつではあるが着実に増加していること。

◆主な今後の課題

- ・公募型協働支援補助事業の採択数を伸ばすため、事業のPR方法や活動団体間の連携について考慮する必要があること。
- ・平成23年4月1日に施行した江南市市民自治によるまちづくり基本条例の啓発及び推進並びに関連条例の研究の必要があること。

柱2 戦略的な行政経営の推進

◆主な取り組み

[個別目標①] 市役所の簡素化・効率化が図られ、市民ニーズに応じている

(市民)

- ・(仮称)江南市市民自治によるまちづくり基本条例(素案)などに対するパブリックコメントで計128件の意見を提出しました。
- ・市内10小学校区で開催された「江南市戦略計画に関する住民説明会」に参加し、計画の見直しの内容に対する意見や質問をしました。
- ・まちづくり会議でまちづくり評価を実施し、まちづくりの進行状況を明らかにした「江南市戦略計画達成状況報告書」を作成しました。
- ・尾張北部広域行政圏協議会主催の文化財めぐり、親善体育大会に参加しました。

(市役所)

- ・市役所全体のサービスの底上げを図り、市民の皆様の満足度の向上を目指すため、江南市職員としての信条や志を掲げたクレドカードを作成しました。
- ・意思決定のスピードアップ、組織の生産力の向上、多様化するニーズ・変化するニーズに対応した業務執行体制、複数の職員での協業体制を、課長の裁量で、柔軟かつ適時にとることができるようにしたグループ制を平成20年より導入しましたが、そのメリットを組織全体に浸透させることができませんでした。
- ・住民説明会及びパブリックコメントなど市民の意見を聞く場を設け、地域住民との情報共有を図りました。
- ・各事業の共同化など、広域的に実施することが適切・効果的なものについて、近隣市町と広域化を図るなど、事務の効率化を図りました。

[個別目標②] 計画的で健全な財政運営が行われている

(市民)

- ・市の財政状況の理解が高まるよう市長への手紙などにより15件の意見を提出しました。

(市役所)

- ・予算の枠配分を行い、各課が事業の選択と集中により事業を展開する意識を持つよう努めました。
- ・市の保有する施設の維持管理に必要な経費を配分しました。
- ・市債残高を抑制するため、市債の発行基準を示し、実質公債費比率の目標値を下回るよう努めました。
- ・健全な財政運営をするため、歳出削減及び歳入の確保に努めましたが、財政力指数の向上につながりませんでした。

[個別目標③] 職員自ら資質の向上を図り、政策形成とマネジメント能力をもった職員が育っている

(市民)

- ・市民調査や窓口利用者アンケート調査、市長への手紙等により、職員の資質・対応について意見を提出しました。

(市役所)

- ・人材育成基本方針に基づき、多種多様な研修を実施し、職員の能力開発を図りましたが、実施年度の研修メニューによっては、習得者の普及等により受講対象者数の減少が生じました。
- ・通信教育や各種資格取得などによる自己啓発を行い、資質の向上に努める職員の割合が増えました。
- ・適材適所の職員配置に努め、人材活用と組織力の向上を図りました。
- ・人事考課制度を有効に活用することで、成果目標を意識して仕事に取り組むという職員の意識改革や効果的な人材育成に努めました。
- ・行財政構造改革「集中改革プラン」を計画的に推進し、平成17年度から平成21年度までの5年間で110人の職員削減を達成しました。

◆主な成果

- ・行財政構造改革「集中改革プラン」により、大きな経費削減と職員の削減ができたこと。
- ・江南市戦略計画に基づく新しい行政経営を行うことにより、的確なマネジメントを行うしくみが構築できたこと。
- ・予算の枠配分を行い、限られた経営資源の中で、選択と集中により効果的で効率的な施策を実施できたこと。

◆主な今後の課題

- ・スリム化した市役所が市民によりよいサービスを提供できるよう、これまでの経費削減型の行政改革から、経営改革プランに掲げた「職員と組織の強化」「経営資源の有効な利活用」「多様な主体との適切な連携と分担」の3つの視点に基づく取り組みにより、経営の質を高める行政改革にシフトしていく必要があること。
- ・グループ制のメリットを生かすことができるよう、グループ制の運用方法や時間外勤務を減らすことができるような協業体制の促進に対する理解を深めるため、説明会や研修の充実を図る必要があること。
- ・健全な財政運営を推進するため、今後も歳出削減と歳入確保に努め、国県に頼らない自立可能な行財政基盤の確立を図る必要があること。

柱3 公平かつ適正な課税・収納

◆主な取り組み

[個別目標①] 市民は、公平かつ適正な課税がされていると感じている

(市民)

- ・税に関する申告を行いました。
- ・自らの納税通知書の課税内容を確認しました。

(市役所)

- ・課税客体の的確な把握に努め、公平かつ適正な課税を行いました。
- ・税に関する証明書を正確・迅速に発行しました。
- ・市県民税等の賦課において、データの転記誤り等があり、「返戻納付書の件数」について目標に達することができませんでした。

[個別目標②] 公平かつ適正な税負担を感じ、自主的に納税を行っている

(市民)

- ・市民は税の目的やしくみを理解し、期限内に自主納税しました。

(市役所)

- ・納税者の利便を図るため、休日でも納税相談や納付できる日曜市役所を実施しました。
- ・滞納管理システムの活用により、徴収事務の効率化を図り、滞納整理を強化しました。
- ・口座振替制度を推進するとともに、コンビニ収納をPRし、収納率の向上を図りました。

◆主な成果

- ・市税について、コンビニ収納を導入したことにより、市民の納付機会の拡大を図ることができたこと。

◆主な今後の課題

- ・納税意識向上のための市民への啓発、及び滞納処分の手法の調査・研究などにより、収納率向上を図る必要があること。

柱4 効率的かつ円滑な事務管理の推進

◆主な取り組み

[個別目標①] 効率的かつ円滑に業務が実施され、わかりやすい情報の提供により開かれた市政が行われている

(市民)

- ・情報公開請求を行いました。
- ・個人情報適切に行われているか監視しました。
- ・インターネットを活用して電子申請・届出や施設予約などを行いました。

(市役所)

- ・積極的に情報公開制度の普及に努めるとともに市民に情報の提供を図りました。
- ・情報セキュリティ対策、個人情報保護の徹底を図りました。

[個別目標②] 資産が適正に管理・運用され、有効に活用されている

(市民)

- ・地域で有効利用できる土地(普通財産)について、行政を窓口として、地元管理で分別ごみ集積場所として有効利用しました。

(市役所)

- ・未利用地について、売却できるよう努めましたが、売却できた未利用地はありませんでした。
- ・経済・市場動向を把握し、柔軟な対応をすることで、安全かつより有利な資産運用を図りました。
- ・適正な出納審査を行いました。

[個別目標③] 各種行政委員会の事務が適正に行われ、市民の信頼が得られている

(市民)

- ・政治(行政)に関心をもち、選挙に参加しました。

(市役所)

- ・各種行政委員会の事務局と連携し、適切な事務を行いました。
- ・監査委員からの意見等指摘件数が減少するように努めましたが、達成できませんでした。
- ・専門的知識を有する者を活用するなどして、監査の充実を図りました。

◆主な成果

- ・情報公開制度、個人情報保護制度について、効率的かつ円滑に業務が実施されたこと。

◆主な今後の課題

- ・行政に関心を持っていただけるよう、様々な機会を捉えて、啓発活動に努めること。
- ・監査委員からの意見等指摘件数が減少するよう、指摘、指導の強化に努める必要があること。

柱5 より開かれた適切な議会運営への支援

◆主な取り組み

[全体目標] より開かれた議会の実現とわかりやすく親しまれる議会運営が行われている

(市民)

- ・議会活動に対して常に関心をもつように努めました。

(市役所)

- ・議会の議事運営が適切な手続きで行われるよう支援しました。
- ・議員活動に必要な情報の提供を行い、議員活動の充実が図られるよう支援しました。
- ・議会事務局の職員の専門性を高め、議会からの要請などに対する的確に対応できる体制づくりに努めました。
- ・ホームページなどを活用し、積極的に議会情報等を提供することにより、議会及び議員の活動に対する市民の関心を高めました。

◆主な成果

- ・市広報やインターネットを通じて議会に関する情報発信を積極的に行ったことにより、議会活動がわかりやすく説明されていると感じる市民の割合が大きく向上したこと。

◆主な今後の課題

- ・議会が、市民にとって身近な存在となり、誰にも透明で、わかりやすく、より開かれた議会の実現をめざす必要があること。

まちづくり評価シート

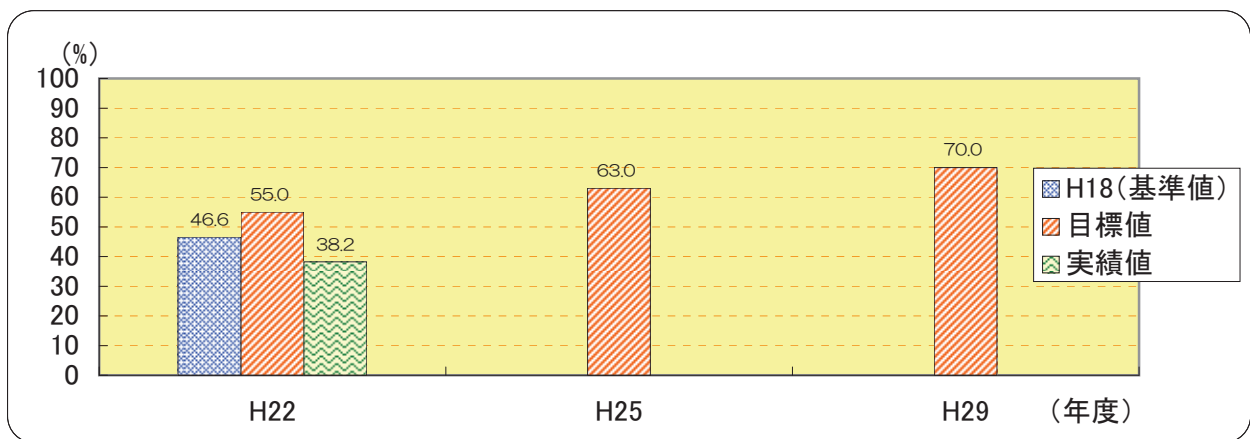
経営企画部【担う分野: V 経営、企画分野】

地域協働課【担う柱: 1 地域協働の推進】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 地域全体で将来の目標を共有し、協働で取り組むことにより、地域の価値が向上している

指標名	ボランティア活動や地域活動への参加意思のある人の割合			
	単位	H18 (基準値)	H22	実績値の分析 ボランティア活動や地域活動は、その育成・支援が協働型社会の構築に重要であるとの認識をもつ人は増えてきているが、依然として、多くの市民の関心度や理解度が深まった環境になっていない。
目標値	%	—	55.0	
実績値	%	46.6	38.2	
達成率	%	—	69.5	
達成状況	—	—	↑	



全体目標に対するまちづくり評価

NPO・ボランティア団体やアダプト団体は、その育成・支援が協働型社会の構築に必要なことから、まちづくりに参加される人材を増やすため、引き続きNPOなどの団体やアダプト制度のPRをお願いしたい。

地縁団体は、その育成・支援が協働型社会の構築にとって重要なことから、地域の自治やまちづくりなどへの理解や、まちづくりに参加される人材を増やすための研究をお願いしたい。

公募型協働支援補助事業は、協働を進める重要な事業であるが、団体間における連携の困難性も見極めながら、市民活動団体等へのPRをお願いしたい。

個別目標① 市民が地域社会の担い手になっている

指標名		ボランティア団体及びNPOの数				
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	団体	—	120	135	150	・NPO・ボランティア活動推進事業
実績値	団体	105	117	136	139	
達成率	%	—	97.5	100.7	92.7	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	地域活動や市民活動に地域情報を積極的に活用した。 地域課題を解決するための公益的活動を行うNPOやコミュニティビジネスを立ち上げに努力した。					
市役所	「NPO・ボランティアガイド」を更新して各団体を紹介するとともに、市民・協働ステーションで情報チラシを置くことにより、ボランティア、NPOなどの参画・協働が必要な分野、業務の情報提供に努めた。 事業型NPO支援講座を開催し、経営型のNPO育成に努めた。					

指標名		アダプト制度の登録割合				
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	1.15	1.55	2.00	・NPO・ボランティア活動推進事業
実績値	%	0.67	0.69	0.66	0.44	
達成率	%	—	60.0	42.6	22.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	地域課題を解決するための公益的活動として、地域の公園・道路・河川などに愛着をもち、積極的にアダプト活動に参加した。					
市役所	広報で、アダプト団体や活動の紹介を行うことにより、地域の公園・道路・河川などに愛着をもたせ、環境美化に対する意識の高揚を図るとともにアダプト活動の支援に努めた。					

指標名		地縁団体の組織数				
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	—	—	35	38	41	・地域団体支援事業
実績値	—	33	36	36	37	
達成率	%	—	102.9	94.7	90.2	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	地縁団体の設立に積極的に協力し、区有財産の管理など安定的・活発な自治会運営を行った。					
市役所	区・町内会が進んで地縁団体の設立ができるよう相談体制を充実するとともに、区からの相談に対応し、必要な情報を提供した。					

指標名	公募型協働支援補助事業採択団体数					主な事務事業
	単位	(基準値)	H20	H21	H22	
目標値	団体	—	5	10	10	・公募型協働支援補助事業
実績値	団体	—	3	5	4	
達成率	%	—	60.0	50.0	40.0	
達成状況	—	—	↑	↑	↑	

取り組みの状況	
市民	地域活動やボランティア活動に積極的に参加することにより、市民協働のグループ立ち上げや活動を行った。
市役所	市民協働のグループ立ち上げや活動を支援するため、二つ以上の団体が連携して行う公益的な活動に対して、公募型補助事業「地域まちづくり補助事業」を実施した。


目標達成のための今後の展開方針
NPO・ボランティア団体やアダプト団体は、その育成・支援が協働型社会の構築に必要なことから、市民活動団体(NPO、ボランティア団体等)に係る情報発信を強化する。 地縁団体(区・町内会)は地域経営の重要な構成員であり、育成・支援が協働型社会の構築にとって重要なことから、地域の自治、並びにまちづくりなどへの関心・理解を深めるため、江南市市民自治によるまちづくり基本条例の啓発に努める。 公募型協働支援補助事業は、協働を進める重要な事業で、平成22年度までは複数の団体の協働を促す仕組みになっていたが、単独団体でも利用可能な事業とし、充実を図る。




個別目標に対するまちづくり評価
NPO・ボランティアの参加者を増やすため、引き続き団体情報やアダプト制度のPRをお願いしたい。また、地域のまちづくりの中心となる担い手を期待されるのは区・町内会であることから、開かれた組織及びまちづくりなどに対する理解、並びに区・町内会に参加する人材を増やすための研究をお願いしたい。 一方、「市民の役割」としては、ボランティア活動、区・町内会活動などのまちづくりに積極的に参加すべきである。公募型協働支援補助事業は、協働を進める重要な事業であり、平成23年度からは制度をより充実させた結果、応募も9件あった。今後も市民活動団体等へのPRをお願いしたい。

個別目標② 地域内の情報を共有し、市政に理解と関心を深めている

指標名	市ホームページのアクセス件数					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	件	—	319,000	330,000	340,000	・ホームページ運営事業
実績値	件	309,105	463,184	550,575	585,824	
達成率	%	—	145.2	166.8	172.3	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	

取り組みの状況	
市民	ホームページにアクセスすることにより、ボランティア団体、NPOの活動内容などの地域情報を共有した。
市役所	見やすくわかりやすいホームページの作成に努めた。 市民団体の活動内容を紹介するなど、積極的な情報提供に努めた。

指標名 広報を読んでいる市民の割合						
	単位	H19 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	87.0	87.5	88.0	・広報紙発行事業
実績値	%	86.3	—	—	83.4	
達成率	%	—	—	—	94.8	
達成状況	—	—	—	—		
取り組みの状況						
市民	日ごろから広報を読むことにより、行政情報を把握するとともに、市民団体の活動内容などの地域情報を共有した。					
市役所	読みやすく、親しみやすい紙面づくりに努力し、広報紙を年12回、広報配布拠点(各区長・町総代宅)へ配送し、住民組織を活用して各世帯に配布した。					

指標名 「市長への手紙」「市政へのアイデア・提案」の投書件数						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	件	—	300	350	400	・広聴事業
実績値	件	268	337	343	317	
達成率	%	—	112.3	98.0	79.3	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市政に対して関心をもつとともに、要望や提案などの意見を述べた。					
市役所	市長への手紙やEメールによる市民の要望や提案等に回答し、市民の市政への理解を深めるとともに、市民ニーズの把握や事務改善の参考とした。					

目標達成のための今後の展開方針						
<p>広報紙の紙面デザインやレイアウトなどを考え、さらに読みやすく、見やすい紙面になるよう努力する。インターネットの各種サービスを利用した情報発信の方法を調査・研究するとともに、ホームページをより良くするための調査・研究を行う。</p>						

個別目標に対するまちづくり評価						
<p>広報は、レイアウトなどを考えさらに読みやすく、見やすい紙面になるように努力をお願いしたい。ホームページは、インターネットの活用方法を調査・研究するなど、より良くするための努力をお願いしたい。</p>						

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

NPO・ボランティア団体数については、NPO法人も含め少しずつでも着実にふえており、今後も逡増する見込みである。
アダプトについては、登録団体数は大きく変動ないと思われるが、登録者数が多い団体の登録、脱退に左右されるため伸び悩んだ。
地縁団体については、複数の団体から事前の相談もあることから、今後は多少増える見込みである。
公募型協働支援補助事業については、団体の連携が予想以上に困難なようで、採択事業件数が目標に達しなかった。

◆柱全体の今後の課題

東日本大震災でのNPO・ボランティアの活動が大きく取り上げられていることや、団塊世代の増加などで、ボランティア活動への関心は、今後も増加すると思われるので、NPO・ボランティア団体やアダプト制度について、着実にPRなどの情報提供をし、連携のための方策を考えていくことが課題となっている。
地縁団体については、地域がまちづくりの母体であり、区や自治会などは地域経営の重要な構成員であることから、地縁団体の認可のみならず、地域自治のしくみづくりなど、地域の自治力の向上が課題となっている。
公募型協働支援補助事業については、事業のPR方法や、制度の狙いでもある活動団体の連携が課題となっている。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

NPO・ボランティア団体やアダプト団体は、その育成・支援が協働型社会の構築に必要なことから、市民活動団体(NPO、ボランティア団体等)に係る情報発信を強化する。
地縁団体(区・町内会)は地域経営の重要な構成員であり、育成・支援が協働型社会の構築にとって重要なことから、地域の自治、並びにまちづくりなどへの関心・理解を深めるため、江南市市民自治によるまちづくり基本条例の啓発に努める。
公募型協働支援補助事業は、協働を進める重要な事業で、平成22年度までは複数の団体の協働を促す仕組みになっていたが、平成23年度からは単独団体でも利用可能な事業とし、充実を図る。
市政へのより深い理解と関心に応えるための情報発信・受信の手法や体制を充実を図る。

まちづくり評価シート

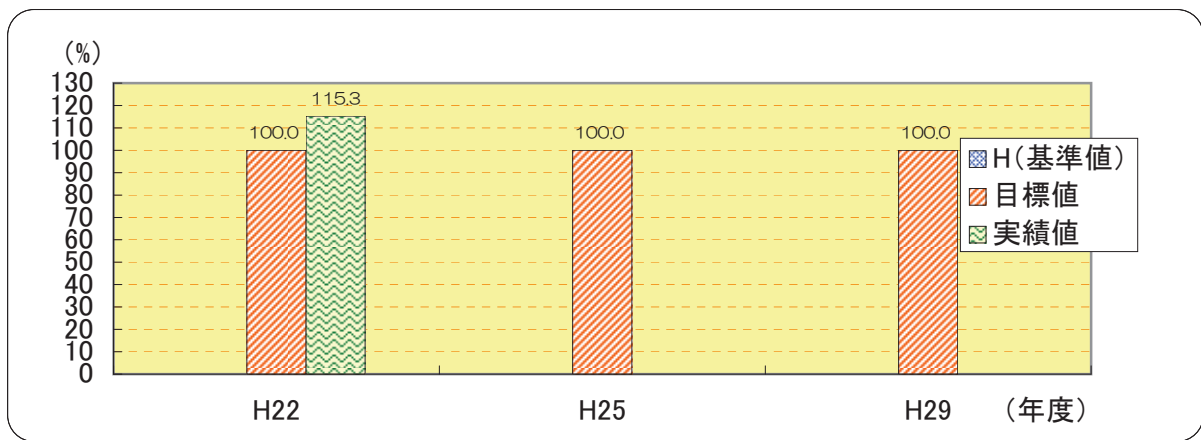
経営企画部【担う分野：V 経営、企画分野】

行政経営課【担う柱：2 戦略的な行政経営の推進】

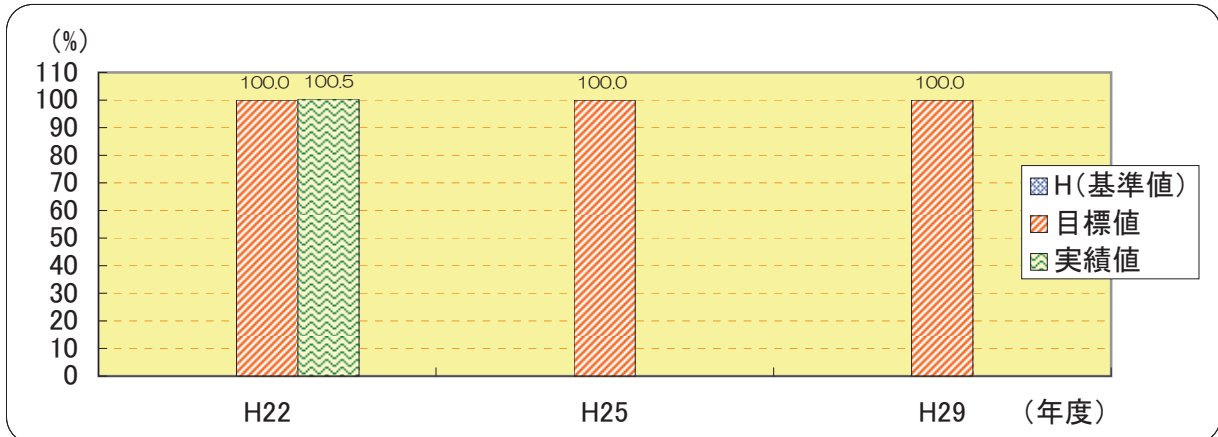
◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 限られた資源の選択と集中により、市民満足度の高い行財政運営が行われている

指標名	基本計画に掲げられた全体目標の平均達成率			
	単位	(基準値)	H22	実績値の分析 平成22年4月に実施した市民満足度調査結果により目標値の平均達成率が115.3%という結果になった。達成状況としては良い結果であり、全分野において100.0%を超える達成率であった。
目標値	%	—	100.0	
実績値	%	—	115.3	
達成率	%	—	115.3	
達成状況	—	—	☀	



指標名	基本計画に掲げられた個別目標の平均達成率			
	単位	(基準値)	H22	実績値の分析 平成22年4月に実施した市民満足度調査結果及び平成23年7月に実施した施策評価結果により目標値の平均達成率が100.5%で、目標を達成したといえる。分野別でみると、最も高かったのは生活環境、産業分野の108.4%、最も低かったのは経営企画分野の94.3%であった。
目標値	%	—	100.0	
実績値	%	—	100.5	
達成率	%	—	100.5	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

基本計画及び部門の戦略計画に掲げられた目標値100.0%の達成は、なかなか困難であると思うが、限られた資源の選択と集中により、さらに市民満足度を高める行政運営を行う必要がある。

個別目標① 市役所の簡素化・効率化が図られ、市民ニーズに応えている

指標名 事務事業が改善された割合						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	・行政経営システム推進事業 ・行政改革関連事業
実績値	%	65.2	83.6	84.8	85.2	
達成率	%	—	83.6	84.8	85.2	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	業務改善運動の優秀事例発表会に参加し、職員の取り組み状況を確認した。行政改革推進委員会で集中改革推進プランの進捗状況及び平成23年度からの江南市経営改革プランについて意見交換をした。まちづくり会議でまちづくり評価を実施し戦略計画の見直しについて意見交換をした。					
市役所	事務事業評価、施策評価を行い、今後の施策展開の方針・改善内容などを実行計画へ反映した。まちづくり評価を行い、戦略計画の中期基本計画の見直しを実施した。業務改善運動に取り組み、市民サービスの向上につながる改革改善、意識改革を図った。市役所全体のサービスの底上げを図り、市民の皆様の満足度の向上を目指すため、江南市独自のクレドカードを導入した。					

指標名 住民説明会の参加人数						
	単位	H17 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	1,500	1,550	1,600	・市民参画事業
実績値	人	1,456	—	—	1,241	
達成率	%	—	—	—	77.6	
達成状況	—	—	—	—		
取り組みの状況						
市民	住民説明会に参加し意見や提案を発言した。(10回開催、参加者1,241名)パブリックコメントで意見を提出した。(平成20年度は4事案21件、平成21年度は4事案27件、平成22年度は5事案80件)					
市役所	江南市戦略計画中期基本計画の見直しの内容を広く住民に説明し、意見や提案をいただくための住民説明会を各小学校区ごとに開催した。					

指標名 広域行政事業数						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	事業	—	8	9	10	・地域連携事業
実績値	事業	8	10	10	10	
達成率	%	—	125.0	111.1	100.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	尾張北部広域行政圏協議会主催の文化財めぐり、親善体育大会に参加した。なお、尾張北部広域行政圏協議会が平成22年度をもって解散されたため、平成22年度は尾張北部広域行政圏協議会主催の事業は開催されなかった。					
市役所	平成20年度から電子調達システム、後期高齢者医療制度事業が加わり、住民サービスの向上、事務の効率化を図ることができた。(広域事業:文化財めぐり、広域親善体育大会事業(尾張北部広域)、電子申請届出システム、施設予約システム(あいち電子自治体)、火葬場・し尿事業(愛北広域)、ごみ処理(江南丹羽)、農業共済(尾張北部共済)、電子調達システム、後期高齢者医療事業、救急・救助事業、消防事業、通信事業)なお、平成22年度をもって尾張北部広域行政圏協議会は解散した。					




指標名	マネジメント・グループ制が適切に機能していると感じる組織の数					
	単位	H20 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	課	—	11	17	23	・行政経営システム推進事業 ・行政改革関連事業
実績値	課	8	8	10	12	
達成率	%	—	72.7	58.8	52.2	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民						
市役所	平成20年度は職員アンケートを実施し、またグループ制やマネジメントに対する理解を深め、意識を高めることを目的に、グループ制研修を行った。平成21年度はグループリーダー及びグループ員のそれぞれの役割について理解を深めるため、実践グループ制研修を行った。平成22年度は幹部職員の経営能力向上を図るため、経営幹部職員研修を行った。					




目標達成のための今後の展開方針	
<p>限られた経営資源の中で、市民の目線に立った成果を重視した施策を継続的・戦略的に展開することができ、また、より効果的なマネジメントを行うため、事務事業、施策の現状を評価・分析した結果をPDCAのマネジメントサイクルにより、次の計画立案へとつなげる。</p> <p>市民の関心が高くなるような住民説明会の開催方法について検討する。</p> <p>尾張北部広域行政圏協議会解散後の各市町との情報交換の場や連携のあり方などについて調査・研究する。</p> <p>組織の目標を積極的に達成する体制への転換に向け、職務に応じた役割と責任を認識させるため、マネジメント能力を向上するための研修を実施する。</p> <p>平成23年度からの江南市戦略計画中期計画の進行管理を着実に実行するとともに、江南市経営改革プランを確実に推進し「経営の質を高める」行政改革を図る。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>事務事業評価及び業務改善運動を通し、事務の簡素化・効率化を図る努力は評価できる。市民のニーズを住民説明会等を定期的開催するなどして的確に把握し、市民の声を取り入れた行政経営をお願いしたい。また、市役所がどのような行政経営を推進しているかについての行政情報をわかりやすく、デジタルデバインドなどの情報格差に考慮し、提供をお願いしたい。</p>	

個別目標② 計画的で健全な財政運営が行われている

指標名	経常収支比率(単年度)					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	85.0	84.0	83.0	・予算編成事業 ・決算関係調査事業
実績値	%	86.0	86.3	86.2	82.2	
達成率	%	—	98.5	97.4	101.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市の財政運営について、「市長への手紙」「各課へのメール照会」を通して15件の意見を提出した。					
市役所	平成23年度から平成25年度の財政見通しにより、各部課への枠配分額にシーリングを実施し、歳出の一層の削減を図り、効率的で効果的な行財政運営を目指して予算を編成した。					

指標名	実質公債費比率(前3年度平均)					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	10.1	10.0	10.0	・予算編成事業 ・決算関係調査事業
実績値	%	10.1	6.6	6.2	5.9	
達成率	%	—	153.0	161.3	169.5	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市の財政運営について、「市長への手紙」「各課へのメール照会」を通して15件の意見を提出した。					
市役所	公債費は平成22年度から平成23年度にかけて増加したが、臨時財政対策債の発行の増加によるものであり、建設地方債の発行については、後年度の財政負担を考慮し、適切な額に抑制した。					

指標名	財政力指数(単年度)					主な事務事業
	単位	H19 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	—	—	0.91	0.92	0.92	・予算編成事業 ・決算関係調査事業
実績値	—	0.91	0.90	0.89	0.82	
達成率	%	—	98.9	96.7	89.1	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市の財政運営について、「市長への手紙」「各課へのメール照会」を通して15件の意見を提出した。					
市役所	財政力指数は、本市の努力の及ばない国の施策や財政措置にも左右される。こうした中、健全な財政運営を推進するとともに、今後なお一層の歳出削減と税収の確保に努め、国県に頼らない自立可能な行財政基盤の確立を目指す。					

目標達成のための今後の展開方針
<p>経常収支比率は、義務的経費の増加及び景気低迷による税収の減が予想される中で、経常収支比率の目標達成に向け、引き続き歳出削減と税収確保に努める。</p> <p>実質公債費比率は、今後、多大な費用を要する布袋駅付近鉄道高架化整備事業が平成21年度から始まったことを考慮し、健全化判断比率(25.0%)以内を維持することを目標とする。</p> <p>財政力指数は、当市の努力の及ばない国の施策等にも左右されるが、健全な財政運営を推進するとともに、今後なお一層の歳出削減と税収確保に努め、国県に頼らない自立可能な行財政基盤の確立を目指す。</p>

個別目標に対するまちづくり評価
<p>江南市行財政構造改革「集中改革プラン」を推進し、5年間で約40億円の経費削減に努めたことは評価できる。今後は、受益者負担のあり方、新たな自主財源を確保できる仕組みづくりを検討し、財源確保に努めていただきたい。</p>

個別目標③ 職員自ら資質の向上を図り、政策形成とマネジメント能力をもった職員が育っている

指標名 政策形成とマネジメント能力をもった職員を育てる研修などの職員1人当たり平均受講回数						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	回	—	0.93	0.96	1.0	・人材育成事業
実績値	回	0.9	1.4	1.6	0.8	
達成率	%	—	150.5	166.7	80.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市民調査や窓口利用者アンケート調査、市長への手紙等により、職員の資質・対応について回答した。					
市役所	人材育成方針に基づき、マネジメント研修や経営幹部職員研修等を68コース実施し、延べ525人が受講した。研修受講報告書においても政策形成とマネジメント能力の向上が重要と意識している職員の割合も多い。					

指標名 自己啓発をしている職員の割合						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	35.6	37.8	40.0	・人材育成事業
実績値	%	33.6	39.1	38.2	46.4	
達成率	%	—	109.8	101.1	116.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市民調査や窓口利用者アンケート調査、市長への手紙等により、職員の資質・対応について回答した。					
市役所	通信教育や各種資格取得に対する補助を有効に活用し自己啓発するよう広く職員に案内をした。統計では、299人の職員が自己啓発しており、資質の向上に努めている。					

指標名 成果目標を意識して、仕事に取り組んだり、業務の改善を心がけている職員の割合						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	72.5	76.0	80.0	・人材育成事業
実績値	%	69.0	72.2	71.5	72.7	
達成率	%	—	99.6	94.1	90.9	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市民調査や窓口利用者アンケート調査、市長への手紙等により、職員の資質・対応について回答した。					
市役所	年度当初に目標設定シートに設定した目標を達成できるような職場の風土づくりに努めた。職員アンケート(回答数417人)では、303人が成果目標を意識して業務を遂行している。					

目標達成のための今後の展開方針

勤務時間外でも人材育成ができるものとして、自己啓発によるものに重点を置かなければならない。今後は自己啓発の支援を充実させることも視野に入れた研修体系を検討する。
通信教育メニューの充実や資格取得の補助対象の拡大を検討する。
人材育成を進め、これまで以上に職員が意欲と誇りを持って職務遂行ができるよう、人事考課制度の改正を検討する。

個別目標に対するまちづくり評価

各指標の達成状況から職員自ら資質の向上を図り、政策形成とマネジメント能力をもった職員が育っている状況が見受けられる。江南市行財政構造改革「集中改革プラン」を推進し、5年間で110人の職員削減に努めたことは評価できる。しかし、職員削減により職員の業務負担が大きくなり、市民サービスが低下することのないよう、今後は「江南市経営改革プラン」に規定されている、量から質への改革を推進し、引き続き、市民の立場に立った目線で、職員の資質向上に努めて欲しい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

平成21年度までの集中改革プランの実行により、大きな経費削減と職員の削減をすることができた。また、江南市戦略計画に基づく新しい行政経営を行うことにより、目的・成果を明確にした業務執行を行うことができ、的確なマネジメントを行うしくみを構築することができた。

予算の枠配分を行い、各部課が責任を持って、限られた経営資源の中で、選択と集中により効果的で効率的な施策を実施することができた。

アウトソーシングの推進により正規の職員数が減少する中で、職員の能力と意欲を高めることができた。

◆柱全体の今後の課題

将来にわたって持続可能な行財政運営を維持するために、堅固な財政基盤の確立と、効率的な行政経営の推進が引き続き求められる。同時に、これまでの行財政改革の取り組みによりスリム化した市役所が、いかに行政サービスの質を高め、新しい時代の要請に応えられるかが大きな課題となる。新しい行政経営のしくみを定着させ、自己決定と自己責任による政策展開、持続可能な財政基盤を確保し、能力とリーダーシップを兼ね備えた人材育成をするとともに、あらゆる視点から改革に挑戦する職員の意識づくりが求められる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

市役所の各組織が、展望や目標を共有し、使命を明確にして、与えられた経営資源を活用して最大の効果をあげる経営のしくみの運用に力を入れ、それを実現できる経営能力とリーダーシップを兼ね備えた人材を育成するとともに「やる気」を喚起する人事システムを構築する。

また、集中改革プランのような経費削減型の行政経営から経営の質を高める経営改革へシフトし、市民により良いサービスを提供する。

住民説明会やパブリックコメントなど市民の声を聞く機会を充実させ、施策の展開や資源配分に反映させる。

まちづくり評価シート

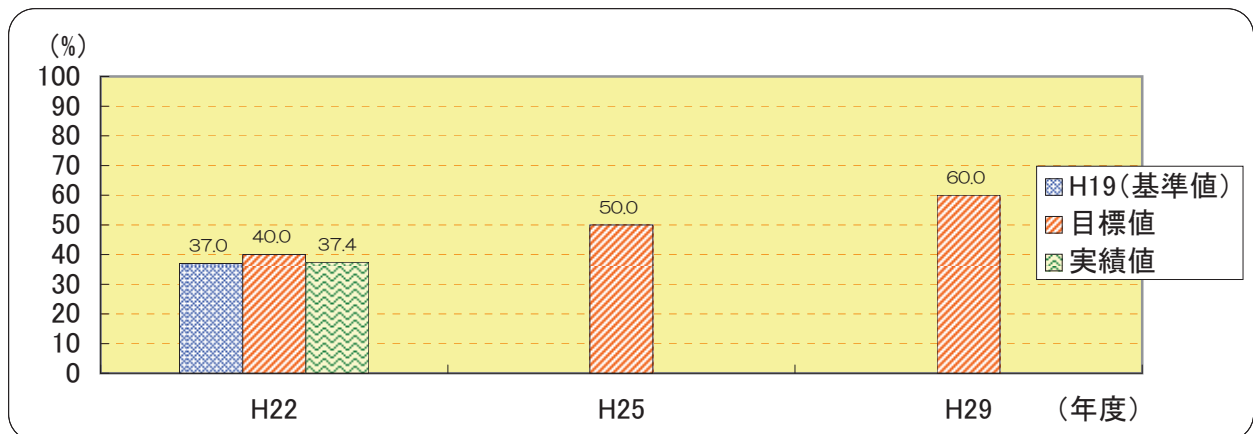
経営企画部【担う分野: V 経営、企画分野】

税務課【担う柱: 3 公平かつ適正な課税・収納】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 市民は納税意識が高く、税負担が公平かつ適正であると感じている

指標名	税が公平・適正に課税・収納されていると感じている市民の割合			
	単位	H19 (基準値)	H22	実績値の分析 個人市民税を始めとする市税については、景気の低迷が続くなか、税源移譲を始め、頻繁に行われた税改正に対して広報やホームページで周知がされている。また、コンビニ収納ができる環境整備や口座振替の加入促進を図る取り組みを行った。こうしたことから市民の税に対する理解が得られ、税が公平・適正に課税・収納されていると感じている市民の割合の増加につながったと推測される。
目標値	%	—	40.0	
実績値	%	37.0	37.4	
達成率	%	—	93.5	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

景気の低迷が続く、雇用環境の悪化が深刻な中、税の負担が重く感じたり、税の有効利用を望む市民の声があることから、税の目的やしきみをわかりやすく説明し、一層の納税意識を高める必要があるため、職員の資質、税務能力の向上と説明責任が果たせる態勢が望まれる。

税負担の公平性を保つため、滞納処分の強化を図る必要がある。

市税の適正な賦課と確実な徴収に努め、市税収入の確保を図る必要がある。

個別目標① 市民は、公平かつ適正な課税がされていると感じている

指標名		返戻納付書の件数				
	単位	H19 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	件	—	8	6	4	・軽自動車税の賦課事業 ・個人賦課事業 ・法人賦課事業 ・家屋賦課事業 ・土地賦課事業
実績値	件	10	9	15	11	
達成率	%	—	88.9	40.0	36.4	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	税関係の申告を行った。 自らの課税内容を確認した。					
市役所	申告書及び税通等を的確に処理するとともに、地方税法や条例等に基づき公平、適正な課税に努めた。 9月の市町村職員地方税研修(民税、土地・家屋)等に参加した。 住民税のしおり、固定資産税のしおり等の冊子やパンフレット等を活用し、わかりやすい説明をするよう心がけた。 正確・迅速に各種証明書を発行した。 各種証明書の電話予約を実施するとともに、月2回の日曜市役所を開設した。 各支所で課税所得証明書(現年度分のみ)の交付をした。					

目標達成のための今後の展開方針




課税資料、課税客体の正確な把握に努め、事務の効率化、チェック機能の充実を図るなど、公平かつ適正な課税事務を行い、返戻納付書の減少につなげることで税に対する市民への信頼度を高める。

個別目標に対するまちづくり評価

市税の課税事務にあたっては、より一層のチェック体制を整え、賦課誤り等による課税の修正がなくなるよう努めてほしい。
市税に関する問い合わせに対しては、わかりやすい説明をお願いし、税制の改正が行われた際は、改正のポイントなどわかりやすく広報などで知らせてほしい。

個別目標② 公平かつ適正な税負担を感じ、自主的に納税を行っている

指標名		収納率(市税現年度課税分)				
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	↑	↑	↑	・滞納処分事業
実績値	%	98.4	97.9	97.7	98.0	
達成率	%	—	99.5	99.3	99.6	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	コンビニ収納や日曜市役所など、拡大された納付機会を利用することにより、自主的に納期限内に納付した。					
市役所	納税意識の乏しい滞納者には、税負担の公平性を保つため、様々な滞納処分の手法を調査、検討をして、実施に向けしきみを整える。					

指標名	口座振替加入率					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	35.4	35.7	36.0	・納税推進事業
実績値	%	35.2	35.0	35.9	35.7	
達成率	%	—	98.9	100.6	99.2	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	口座振替を利用して、市税を納付した。 口座振替を利用していない人は、口座振替の利便性を理解し、口座振替の手続を行った。
市役所	便利で安全・確実な口座振替の利用を広報やホームページ、窓口封筒等で啓発し、促進を図った。 市税の当初納付書に市税等口座振替依頼書を綴込み、加入促進に努めた。

目標達成のための今後の展開方針

税負担の公平性を保つため、あらゆる滞納処分の手法を調査、検討し、より効率的に実施していく。
納期限内納付向上、納税機会の拡大と利便性向上のため、コンビニ収納の利用や口座振替の加入を広報やホームページ等で啓発し、納税意識の向上に努める。

個別目標に対するまちづくり評価

税負担の公平性を保つため、納税意識の乏しい滞納者に対し、積極的に納税義務を果たすことのできるよう努めてほしい。
納期限内納付向上のため、納税機会の拡大と利便性向上のため、コンビニ収納の利用や口座振替の加入を広報やホームページ等で啓発し、納税意識の向上に努めてほしい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

平成20年5月から軽自動車税について、コンビニでも納付できる環境を整え、市民の納付機会を増やすことができた。
また、コンビニでも納付できる環境を他の税目にも広げ、固定資産・都市計画税は平成21年4月から、市・県民税は同年6月から整備することができ、さらなる納付機会の拡大を図ることができた。

◆柱全体の今後の課題

市民にとっても厳しい家計の中、税負担を行うものであり、説明責任の徹底、公平・適正な課税及び滞納者への厳格な対応が重要である。
また、自主財源の最も基幹となる市税の確保を図ることは、安定した行政運営を進めるために必要であることから、適正な課税事務の推進と収納率向上対策の推進を図るとともに、市民の納税意識の高揚に努めていかなければならない。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

積極的に研修等に参加し、職員の資質と税務能力を高め、説明責任を果たせるよう、より信頼度の高い税務事務を推進する。
税制の改正を含め、税のしくみや目的を広報活動の充実により広く市民に知らせ、市民の納税意識を高める。
自主納税意識の高揚による期限内納付の促進や公平・公正な滞納整理に積極的に取り組み、市税等自主財源の一層の確保に努める。

まちづくり評価シート

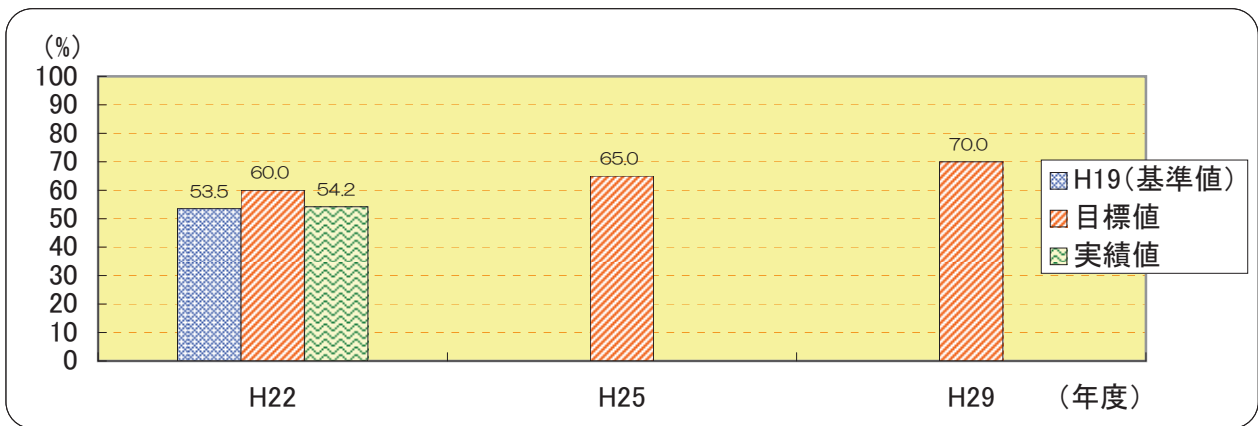
経営企画部・会計室・監査委員事務局【担う分野：V 経営、企画分野】

総務課・会計室・監査委員事務局【担う柱：4 効率的かつ円滑な事務管理の推進】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 適正な事務管理及び資産の管理・運用により、市民は市役所を信頼している

指標名	市役所の事務が、効率的かつ適切に行われていると感じる市民の割合			
	単位	H19 (基準値)	H22	実績値の分析
目標値	%	—	60.0	市役所の事務が、効率的かつ適切に行われていると感じる市民の割合は50.0%を超えており、概ね達成している。これは職員が公平かつ適正な事務を心がけた結果と考えられる。今後は適正な事務管理をさらに進め、目標値を達成できるようにする。
実績値	%	53.5	54.2	
達成率	%	—	90.3	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

市有財産は適正に管理されているなかで、普通財産をより有効活用されたい。情報公開制度などは、適切に処理され、電算システムも安定稼動しており、より適正な維持管理に努められたい。公金については、適正な管理・運用に努められたい。

個別目標① 効率的かつ円滑に業務が実施され、わかりやすい情報の提供により開かれた市政が行われている

指標名	情報公開制度に基づく不服申立て件数					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	件	—	0	0	0	・情報公開事業
実績値	件	0	0	0	0	
達成率	%	—	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	

取り組みの状況

市民	情報公開請求を22件した。
市役所	文書不存在のため不開示とした4件を除き18件の情報開示を行った。

指標名 個人情報の漏洩件数						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	件	—	0	0	0	・個人情報保護事業
実績値	件	0	0	0	0	
達成率	%	—	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民						
市役所	個人情報の管理を徹底した。					




指標名 電算化した業務数						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	件	—	↑	↑	↑	・情報システム管理運営事業
実績値	件	54	58	60	61	
達成率	%	—	107.4	111.1	113.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民						
市役所	安定した電算システムの運用・保守に努め、事務効率化のため新規電算システム導入を行った。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>情報公開制度及び個人情報保護制度については基本的に現状維持により運用する。 電算システムは安定して稼働しており、この水準を維持しつつ基幹系システム再構築事業を実施し業務刷新化を通してより効率的なシステム化に努める。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>情報公開制度及び個人情報保護制度については、より適正な運用に努められたい。 また電算システムについても、より安定した稼働に努められたい。</p>	

個別目標② 資産が適正に管理・運用され、有効に活用されている

指標名 普通財産に占める未利用地の割合						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	8.3	8.3	8.3	・市有財産管理事業
実績値	%	9.2	6.7	11.0	11.0	
達成率	%	—	123.9	75.5	75.5	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	地域で有効利用できる土地(普通財産)について、行政を窓口として、地元管理で分別ごみ集積場所として有効利用した。					
市役所	未利用地について、売却するよう努めたが、売却できた未利用地はなかった。					

指標名	歳計現金の有利子運用の割合					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	↑	↑	↑	・公金管理運用事業
実績値	%	32.0	75.0	67.0	70.0	
達成率	%	—	234.3	209.4	218.8	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民						
市役所	歳計現金(市の歳入・歳出に属する現金)の有利子運用について適切に資金需要を把握し、余裕金については安全性を重視しながらも積極的に運用を行っている。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>市有財産を適正に管理するとともに、未利用地の有効活用を図る。 歳計現金については、今後も短期による債権運用を実施していく。また基金については、退職手当基金を始めとして次第に取崩しが増えてくるため、今後、基金残額は減少していく。基金が必要な時期に必要な額を用意できるよう、計画的に安全かつ有利な運用を実施する。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>普通財産に占める未利用地の割合が上昇しており、より市有財産を有効活用されたい。 低金利が続くと思われるが、適正かつ積極的な運用に努められたい。</p>	

個別目標③ 各種行政委員会の事務が適正に行われ、市民の信頼が得られている

指標名	市長・市議会議員選挙投票率【市長】					
	単位	H19 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	—	—	—	・選挙管理執行事業
実績値	%	60.2	—	—	—	
達成率	%	—	—	—	—	
達成状況	—	—	—	—	—	
取り組みの状況						
市民	政治(行政)に関心をもち、選挙に参加した。					
市役所	各選挙ににおいて、有効的な啓発活動を実施した。					

指標名		市長・市議会議員選挙投票率【市議】				
	単位	H19 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	—	—	—	・選挙管理執行事業
実績値	%	60.2	—	—	—	
達成率	%	—	—	—	—	
達成状況	—	—	—	—	—	
取り組みの状況						
市民	政治(行政)に関心をもち、選挙に参加した。					
市役所	各選挙において、有効的な啓発活動を実施した。					

指標名		決算審査における意見等指摘件数				
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	件	—	4	2	0	・監査・審査・検査事業
実績値	件	6	6	6	10	
達成率	%	—	66.7	33.3	0.0	
達成状況	—	—	↑	↑	↑	
取り組みの状況						
市民						
市役所	監査などを適切に実施し、透明性の高い行政運営に向け、指摘にとどまらず指導に重点をおき、事務執行が適正に行われるようにした。技術的専門知識を必要とする工事監査では、専門的知識を有する者に委託し、その助言を得ながら実施するなど監査の充実を図った。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>市長・市議会議員選挙については、いろいろな機会を捉えて啓発を図る。</p> <p>財政健全化法の施行に伴い、監査においても、健全化判断比率等の審査が加わり、これまで以上にその重要性が増加する状況であり、市の自主性・自律性が拡大する中で、市民の信頼の下に行政の適正な運営を確保していくためには、監査委員の独立性の強化や透明性の確保が必要であり、一層の能力向上が求められている。</p> <p>事務局においては、監査・検査・審査資料を委員が求める内容で、正確かつ解りやすいものにし、その審査結果をすみやかに公表することが必要である。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>市長・市議会議員選挙については、投票率が向上されるよう、啓発を推進されたい。</p> <p>監査委員からの指摘事項が目標件数を超えているが、今後、指摘事項が減少するよう、指摘、指導の強化に努めていただきたい。</p>	

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

市有財産を適正に管理できた。また、情報公開制度及び個人情報保護制度については、現状維持で運用する。電算システムは安定稼動しており、これを維持する。
歳計現金について、年間の収支状況を把握し、積極的に運用を図った。

◆柱全体の今後の課題

効率的かつ円滑な事務管理を推進するとともに、電子自治体の実現を図る。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

政策法務などの専門知識を持った職員を育成し、情報公開をすすめて、行政の透明性を高め、公平かつ適正な事務執行を徹底するとともに個人情報保護などの安全対策を図る。

まちづくり評価シート

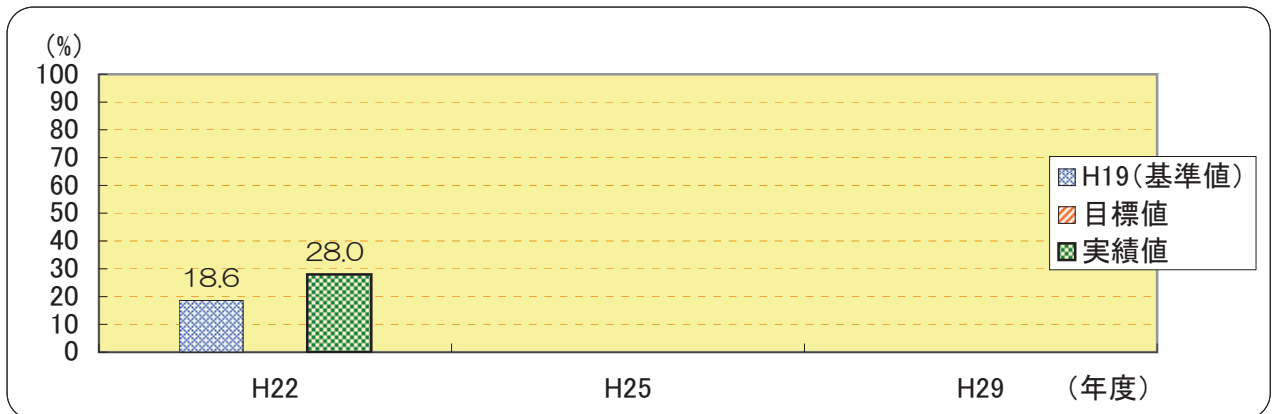
議会事務局【担う分野：V 経営、企画分野】

議事課【担う柱：5 より開かれた適切な議会運営への支援】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 より開かれた議会の実現とわかりやすく親しまれる議会運営が行われている

指標名	議会活動が市民にわかりやすく説明されていると感じる市民の割合			
	単位	H19 (基準値)	H22	実績値の分析
目標値	%	—	↑	議会活動が市民にわかりやすく説明されていると感じる市民の割合が、平成19年度基準の18.6%から平成22年度実績値28.0%に大きく伸びた。定例会及び臨時会の会議録については、会議録検索システムを導入し、議会のホームページから閲覧できるようにしているが、さらに議会活動の情報提供を進めていくものとして、平成20年8月号の市広報から、定例会と臨時会の開会内容の掲載を行っており、定例会は、審議結果、一般質問要旨、常任委員会での主な質疑・答弁を年4回、臨時会は審議結果を随時に掲載している。また、平成21年6月議会からは、議会映像システムを導入し、定例会の一般質問の録画中継をインターネットで配信している。また、議員活動として、議員個人や会派単位で市政報告や市民との懇談会等で、市議会の情報を発信するとともに、直接市民から意見を聴取する機会を設けており、これらの取組みの結果、議会活動が分かり易く説明されていると感じる市民の割合の増加に繋がったものと考えられる。
実績値	%	18.6	28.0	
達成率	%	—	150.5	
達成状況	—	—	☀	




全体目標に対するまちづくり評価

本会議での傍聴機会を増やすためのインターネットによる録画中継や、手軽に会議録の閲覧を可能とする会議録検索システムの導入、また、市広報による議会運営の紹介や、議員、会派での市政報告、市民からの意見聴取、市政相談などの議員活動は、より開かれた議会の実現とわかりやすく親しまれる議会運営に向けての取組みとして評価できる。

今後も、公開性、公平性、透明性及び信頼性を確保し、市民に、より一層開かれた議会運営に努められたい。

個別目標① より開かれた議会の実現とわかりやすく親しまれる議会運営が行われている

指標名	議会活動が市民にわかりやすく説明されていると感じる市民の割合					
	単位	H19 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	↑	↑	↑	・議会広報事業
実績値	%	18.6	—	—	28.0	
達成率	%	—	—	—	150.5	
達成状況	—	—	—	—		
取り組みの状況						
市民	平成22年度は、182の方が議会(委員会も含む)を傍聴した。議会ホームページは約21,200件、会議録検索システムは約8,970件、議会映像システムには約8,100件のアクセスがあった。市広報で定例会・臨時会の結果(一般質問要旨、委員会での主な質疑・答弁など)を知ることができた。					
市役所	市広報に、本会議・委員会の審議内容を、ホームページに議会活動全般の情報を掲載した。本会議の様子を開会から閉会まで、本庁舎内で中継した。本会議の会議録データを会議録検索システムに追加・更新した。議会映像(本会議一般質問)の録画をインターネット上で配信した。一般質問の通告要旨をロビーへ掲示した。					

目標達成のための今後の展開方針

市議会議員は、年に4回開催される定例会や必要に応じ随時開催される臨時会において、提案された議案等の審議又は一般質問を行い、さらには、これらの本会議・委員会以外に、随時に開催される各委員協議会において、様々な市政に関する案件に対し審議し、市政運営状況のチェックをしている。また、日頃より市政に関する調査・研究、報告及び相談といった議員活動も行っている。今後は、より一層開かれた議会の実現に向け、これらの活動内容の積極的な発信を図ると共に、市民の意見を的確に把握し、市政に反映していくための議会運営に努める。

個別目標に対するまちづくり評価

議員の地域における継続的な活動や、議会事務局の議会広報活動などの努力は評価でき、それが市民満足度の結果に反映されたと考える。今後も、市民代表の機関である市議会が、市民にとって身近な存在となり、誰にも透明で、開かれた議会を目指されたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

議会活動が市民にわかりやすく説明されていると感じる市民の割合が、平成19年度基準の18.6%から平成22年度実績値28.0%に大きく伸びた。定例会及び臨時会の会議録については、会議録検索システムを導入し、議会のホームページから閲覧できるようにしているが、さらに議会活動の情報提供を進めていくものとして、平成20年8月号の市広報から、定例会と臨時会の開会内容の掲載を行っており、定例会は、審議結果、一般質問要旨、常任委員会での主な質疑・答弁を年4回、臨時会は審議結果を随時に掲載している。また、平成21年6月議会からは、議会映像システムを導入し、定例会の一般質問の録画中継をインターネットで配信している。また、議員活動として、議員個人や会派単位で市政報告や市民との懇談会等で、市議会の情報を発信するとともに、直接市民から意見を聴取する機会を設けており、これらの取組みの結果、議会活動が分かり易く説明されていると感じる市民の割合の増加に繋がったものと考ええる。

◆柱全体の今後の課題

第29次地方制度調査会「今後の基礎自治体及び監査・議会制度のあり方に関する答申」では、議会活動の透明化の見直しを求めており、「本会議のみならず、委員会等の活動も含め、住民にわかりやすいような形で情報公開に努めるべきである。この点については、議案に対する議員の賛否等の議論の経過や議案の情報について、インターネット等も活用していくことが求められる」としている。今後も引き続き、会議録検索システム、議会映像配信事業を実施すると共に、議会ホームページや市広報の「議会のようす」のさらなる充実を図る必要がある。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

市議会議員は、年に4回開催される定例会や必要に応じ随時開催される臨時会において、提案された議案等の審議又は一般質問を行い、さらには、これらの本会議・委員会以外に、随時に開催される各委員協議会において、様々な市政に関する案件に対し審議し、市政運営状況のチェックをしている。また、日頃より市政に関する調査・研究、報告及び相談といった議員活動も行っている。今後は、より一層開かれた議会の実現に向け、これらの活動内容の積極的な発信を図ると共に、市民の意見を的確に把握し、市政に反映していくための議会運営に努める。

<分野別会議 第5分科会>



卷末資料

- 1 成果目標一覧
- 2 江南市まちづくり会議の開催経緯
- 3 江南市まちづくり会議設置要綱
- 4 江南市まちづくり会議の構成（委員名簿）
- 5 まちづくり評価シートの見方
- 6 達成率及び達成状況の算出方法

1 成果目標一覽

※平成22年度の実績値が本書発行時に未確定の指標については、その時点で把握できている最新の値を参考値として表示(カッコ内は測定年度)

I 生活環境、産業分野

柱	目標番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載ページ	
					H22	H25	H29		
1 防災・地域防犯・交通安全	全体	犯罪や災害への不安が少ないと感じる市民の割合	%	45.1 (H19)	50.0	65.0	70.0	P-19	
					62.4	***	***		
	個別①	非常持ち出し品や食糧などを準備している市民の割合	%	14.4 (H18)	30.0	45.0	50.0		P-20
					41.4	***	***		
	個別①	防災用資機材助成の申請率	%	83.8 (H18)	90.0	95.0	100.0	P-21	
					77.9	***	***		
	個別①	危機管理体制が整い、安心して暮らしていると感じる市民の割合	%	25.4 (H19)	30.0	40.0	50.0		P-22
					36.7	***	***		
	個別②	犯罪発生件数	件	1,850 (H18)	1,600	1,410	1,160	P-23	
					1,621	***	***		
	個別②	地域安全パトロール実施率	%	59.2 (H18)	80.0	94.1	100.0		P-24
					91.1	***	***		
個別③	交通事故発生件数(人身事故)	件	698 (H18)	640	580	500	P-25		
				670	***	***			
2 消防・救急	全体	火事や事故などの災害発生時には、迅速に消火・救急・救助活動が行われ、安心して暮らしていると感じる市民の割合	%	42.1 (H18)	45.0	69.5		73.5	P-26
					66.5	***		***	
	個別①	消防団員(水防団員)の充足率	%	100.0 (H18)	100.0	100.0	100.0	P-27	
					100.0	***	***		
	個別①	消防水利の充足率	%	82.2 (H18)	84.1	85.5	87.4		P-28
					83.1	***	***		
	個別①	救急救命士有資格者数	人	13 (H18)	16	21	22	P-29	
					18	***	***		
	個別②	防火管理者の選任率	%	66.4 (H18)	73.1	85.1	86.9		P-30
					84.7	***	***		
	個別②	危険物施設の立入検査改善施設指示率	%	24.9 (H18)	20.0	15.0	0.0	P-31	
					14.3	***	***		
	個別②	住宅用火災警報器の設置率	%	20.9 (H19)	50.0	60.0	70.0		P-32
					59.6	***	***		
	個別③	応急手当講習の受講者数	人	4,817 (H18)	5,300	5,600	6,100	P-33	
					5,577	***	***		
	個別③	薬剤投与救急救命士運用者数	人	1 (H18)	11	16	19		P-34
					12	***	***		
	個別③	心拍再開率	%	13.0 (H18)	17.0	27.0	30.0	P-35	
					24.6	***	***		
個別③	火災現場到着所要時間	分	7.9 (H18)	7.7	7.5	7.3	P-36		
				7.6	***	***			

柱	目標番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載ページ
					H22	H25	H29	
3 市民生活	全体	迅速かつ適切に行政サービスを受けていると感じる市民の割合	%	26.3 (H18)	40.0	60.0	80.0	P-28
					46.5	***	***	
	個別①	消費生活講座の受講者数	人	166 (H18)	200	230	240	P-29
					198	***	***	
		相談を受けて、悩みごとが解消した割合(消費者相談)	%	75.0 (H19)	80.0	85.0	90.0	P-29
					70.0 (H21)	***	***	
		相談を受けて、悩みごとが解消した割合(弁護士などの専門家による相談)	%	66.7 (H19)	70.0	75.0	80.0	P-29
					63.2 (H21)	***	***	
	消費者生活相談の件数	%	67 (H19)	75	***	***	P-30	
				75	***	***		
	個別②	弁護士など専門家による相談の件数	件	576 (H19)	600	***	***	P-30
					587	***	***	
	戸籍訂正の件数	件	87 (H18)	80	60	50	P-31	
				63	***	***		
	正確で早くて便利な窓口サービスを受けていると感じる市民の割合	%	94.5 (H19)	95.0	96.0	97.0	P-31	
				91.1	***	***		
誰もが公共交通により市内の必要な場所に行くことができ、便利に暮らしていると感じる市民の割合	%	19.5 (H18)	25.0	30.0	35.0	P-31		
			24.6	***	***			
個別③	いこまいCAR定期便の利用率	人	0.73 (H20)	1.00	1.00	***	P-32	
				0.69	***	***		
	いこまいCAR予約便の利用便数	便	1,120 (H20)	1,850	3,750	***	P-32	
3,350				***	***			
4 産業振興・雇 就労	全体	生活産業が活性化し、住みよいまちであると感じる市民の割合	%	47.4 (H19)	48.0	49.0	50.0	P-34
					45.8	***	***	
	市内に雇用の場があり、活力あふれるまちであると感じる市民の割合	%	16.6 (H19)	20.0	24.0	30.0	P-34	
				15.4	***	***		
	個別①	魅力ある商店街が形成されており、便利に買い物できると感じる市民の割合	%	21.8 (H18)	23.0	25.0	28.0	P-35
					23.8	***	***	
		商品販売額	億円	1,802 (H16)	1,802	1,802	1,802	P-35
					1,452 (H19)	***	***	
	製造品出荷額	億円	1,602 (H17)	1,602	1,602	1,602	P-35	
				1,180 (H21)	***	***		
	売上DI値	%	△19.4 (H18)	△16.0	△12.0	△8.0	P-36	
				△49.1	***	***		
	個別②	コミュニティビジネスを展開している事業所数	所	不明 (H19)	↗	↗	↗	P-36
					***	***	***	
	起業者からの相談件数	件	0 (H18)	10	20	30	P-37	
				2	***	***		
	職業紹介による就職者数	人	258 (H18)	350	890	900	P-37	
				870	***	***		
	個別③	地域に雇用の場が確保され、十分な状態であると感じる市民の割合	%	7.2 (H18)	10.0	15.0	20.0	P-38
					8.3	***	***	
	すいとびあ江南利用者数	人	146,263 (H18)	160,000	174,000	188,000	P-38	
				144,117	***	***		
	個別④	畑地かんがい用水などの修理事件数	件	255 (H18)	240	240	240	P-39
					138	***	***	
		認定農業者数	人	45 (H18)	50	53	57	P-39
					42	***	***	
耕作放棄地の面積	ha	208 (H17)	190	170	150	P-39		
			217	***	***			
JA出荷額	千円	312,000 (H18)	312,000	312,000	312,000	P-40		
			263,000	***	***			

柱	目標番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載ページ
					H22	H25	H29	
4 産業振興・雇 就労	個別⑤	多くの観光客で賑わい、観光の振興が十分な状態であると感じる市民の割合	%	27.3 (H18)	28.0	33.0	34.0	P-40
					32.3	***	***	
		観光客数	人	931,000 (H18)	937,000	1,340,000	1,347,000	P-41
					1,331,861	***	***	
イベントボランティア参加者数	人	440 (H18)	480	500	550			
			330	***	***			
5 環境保全	全体	日ごろから省エネや省資源など環境に配慮して生活している市民の割合	%	49.3 (H18)	51.7	80.0	82.0	P-43
					77.8	***	***	
		水質汚濁・騒音・悪臭など公害のない快適な環境で生活していると感じる市民の割合	%	51.5 (H18)	52.6	63.0	65.0	
					60.6	***	***	
	個別①	環境保全活動を行っている市民の割合	%	64.1 (H19)	66.0	68.0	70.0	P-44
					54.4	***	***	
		市民1人当たりの二酸化炭素排出量(炭素換算)	t.c/ 人・年	1.60 (H17)	1.32	1.32	1.32	
					1.49 (H21)	***	***	
	合併処理浄化槽設置数	基	4,200 (H18)	5,600	6,700	8,100		
				5,590	***	***		
	個別②	公害苦情件数	件	310 (H18)	263	244	218	P-45
					489	***	***	
河川水質の環境基準達成項目数(PH(水素イオン濃度)BOD(生物学的酸素要求量)SS(浮遊物質)DO(溶存酸素量))		項目	木曾川 全項目 日光川 3項目 (H18)	全項目	全項目	全項目	P-45 ~ P-46	
				全項目 3項目	***	***		
大気中の窒素酸化物の量	ppm	二酸化窒 素0.027 (H18)	→	→	→	P-46		
			0.027	***	***			
6 ごみ減量・処理	全体	ごみの減量やリサイクルに取り組んでいる市民の割合	%	64.0 (H18)	66.0	78.0	80.0	P-48
					75.8	***	***	
	個別①	市民1人1日当たりの家庭系可燃ごみ排出量	g	419 (H18)	396	394	394	P-49
					402	***	***	
		1事業所1年当たりの事業系可燃ごみ排出量	t	9.4 (H18)	7.5	7.4	7.4	
					8.4	***	***	
	リサイクル率	%	33.6 (H18)	35.0	36.0	36.0		
				32.4	***	***		
	個別②	ボランティア分別指導員の数	人	136 (H18)	246	336	456	P-50
					215	***	***	
特定家庭用機器などの不法投棄台数		台	60 (H18)	56	33	30		
				18	***	***		
ごみ・し尿を速やかに収集、処理することで、衛生的に暮らしていると感じる市民の割合	%	82.2 (H19)	83.3	84.5	86.0			
			83.4	***	***			

II 健康、福祉分野

柱	目標番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載ページ
					H22	H25	H29	
1 高齢者福祉	全体	高齢者が、生きがいをもち、自立して暮らしていると感じる市民の割合	%	21.2 (H18)	30.0	40.0	50.0	P-63
					38.1	***	***	
	個別①	高齢者人口に占める要介護者の割合	%	13.0 (H18)	15.0	16.3	17.6	
					12.6	***	***	
	個別②	介護保険サービスを利用している割合	%	77.2 (H18)	80.0	82.0	85.0	P-64
					80.3	***	***	
	個別③	高齢者の在宅生活のための福祉サービスが充実していると感じる市民の割合	%	28.5 (H19)	30.0	40.0	50.0	P-65
					34.5	***	***	
	個別③	シルバー人材センターの登録者数	人	491 (H18)	631	721	811	
					372	***	***	
個別③	老人クラブの会員数	人	6,866 (H19)	8,302	8,651	9,000		
				5,938	***	***		
2 子育て	全体	延長保育などの保育サービスを受け、安心して子育てしていると感じる市民の割合	%	18.8 (H18)	25.0	40.0	50.0	P-67
					38.0	***	***	
	個別①	学童保育や子育て相談・育児教室などの子育て支援を受け、楽しく子育てしていると感じる市民の割合	%	17.0 (H18)	25.0	40.0	50.0	
					36.4	***	***	
	個別①	保育園入園待機児童数	人	0 (H18)	0	0	0	P-68
					0	***	***	
					100	150	200	
	個別①	ファミリー・サポート・センター援助員数	人	85 (H18)	108	***	***	
					108	***	***	
	個別①	学童保育受入待機児童数	人	0 (H18)	0	0	0	
					0	***	***	
	個別②	子育て支援センター(子育てサロン)の利用者数	人	7,632 (H18)	8,700	10,500	11,000	P-69
					11,927	***	***	
	個別②	児童虐待発生件数	件	6 (H18)	27	***	***	
					27	***	***	
	個別③	児童館活動への延べ参加利用者数	人	132,393 (H18)	140,000	140,000	140,000	
					112,944	***	***	
	個別④	子どもフェスティバル来場者数	人	20,000 (H18)	30,000	30,000	30,000	P-70
					23,000	***	***	
	個別④	ひとり親家庭の自立人数	人	83 (H18)	90	90	90	
					89	***	***	
	個別④	母子家庭が自立するための就労への教育支援件数	件	6 (H18)	20	30	40	
					1	***	***	
個別⑤	市の母子通園施設への受入待機児童数	人	0 (H18)	0	0	0	P-71	
				0	***	***		
個別⑤	保育園の障害児受入待機児童数	人	0 (H18)	0	0	0		
				0	***	***		

柱	目標番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載ページ
					H22	H25	H29	
3 障害者福祉	全体	福祉サービスが整っており、障害のある人が、作業所への通所やホームヘルパー、デイサービスなどの利用により、地域でいきいきと生活していると感じる市民の割合	%	20.8 (H18)	31.3	39.3	50.0	P-73
					33.9	***	***	
	個別①	障害者の雇用率	%	1.46 (H18)	1.80	1.80	1.80	P-74
					1.56	***	***	
	個別①	公共施設のバリアフリー化率	%	60.1 (H18)	↗	↗	↗	P-74
					69.8	***	***	
	個別②	就労継続支援及び就労移行支援サービスの利用人数	人	不明 (H18)	73	97	121	P-75
					21	***	***	
	個別②	施設入所支援サービスの利用人数	人	94 (H18)	87	87	87	P-75
					92	***	***	
個別②	訪問系サービス(ホームヘルプ等)の利用人数	人	77 (H18)	89	94	100	P-75	
				67	***	***		
4 健康づくり	全体	健康づくりに取り組み、健康に暮らしていると感じる市民の割合	%	72.4 (H19)	75.0	77.5	80.0	P-76
					73.1	***	***	
	個別①	健康診査受診率	%	67.7 (H19)	70.0	72.5	75.0	P-77
					65.5	***	***	
	個別①	運動習慣のある市民の割合	%	男 16.4 女 14.0 (H14)	男 27.0 女 24.0	男 32.0 女 29.0	男 37.0 女 34.0	P-77
					***	***	***	
	個別②	健康フェスティバル参加者数	人	1,600 (H18)	2,000	3,500	3,500	P-78
					3,332	***	***	
	個別②	予防接種(三種混合)接種率	%	89.4 (H18)	100.0	100.0	100.0	P-78
					100.0	***	***	
	個別②	予防接種(BCG)接種率	%	98.1 (H18)	100.0	100.0	100.0	P-78
					99.6	***	***	
	個別②	狂犬病予防注射接種率	%	83.6 (H18)	100.0	100.0	100.0	P-78
					84.4	***	***	
	個別③	妊婦健康診査の受診率	%	95.3 (H18)	100.0	100.0	100.0	P-79
					95.4	***	***	
	個別③	乳幼児健康診査(4か月児健康診査)の受診率	%	98.5 (H18)	100.0	100.0	100.0	P-79
					97.8	***	***	
	個別④	かかりつけ医をもっている市民の割合	%	56.2 (H19)	60.0	65.0	70.0	P-80
					56.8	***	***	
病院等の医療体制が整い、安心して暮らしていると感じる市民の割合		%	49.3 (H18)	53.0	73.0	75.0		
				71.7	***	***		
休日急病診療所の受診者数		人	2,138 (H20)	2,200	2,200	2,200		
				2,197	***	***		
救急搬送件数	件	4,000 (H20)	4,000	4,000	4,000			
			4,399	***	***			

柱	目標番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載ページ
					H22	H25	H29	
5 保険年金	全体	保険年金制度により安心して暮らしていると感じる市民の割合	%	56.1 (H18)	60.0	65.0	65.0	P-82
					60.0	***	***	
	個別①	国民健康保険給付実施率	%	100.0 (H18)	100.0	100.0	100.0	P-83
					100.0	***	***	
		特定健康診査実施率	%	-	50.0	65.0	65.0	
					46.2	***	***	
		福祉医療費助成実施率	%	100.0 (H18)	100.0	100.0	100.0	
					100.0	***	***	
	後期高齢者医療給付実施率	%	-	100.0	100.0	100.0		
				100.0	***	***		
国民健康保険税収納率(現年分)	%	91.7 (H18)	↗	↗	↗	P-84		
			90.1	***	***			
後期高齢者医療保険料納付率	%	98.9 (H20)	↗	↗	↗			
			99.1	***	***			
個別②	国民年金保険料納付率	%	69.4 (H18)	↗	↗	↗		
				62.9	***	***		
6 生活支援・福祉活動	全体	必要なときに地域で支え合う体制が整っていると感じる市民の割合	%	33.4 (H19)	38.4	43.4	50.0	P-86
					40.4	***	***	
	個別①	生活保護世帯の自立した割合	%	13.5 (H18)	→	→	→	P-87
					19.2	***	***	
	個別②	社会福祉関係の団体数、参加人数	団体人	19 760 (H18)	21	25	25	P-88
					790	800	800	
		市内の福祉関係のNPO団体数	団体	3 (H18)	5	6	8	
					6	***	***	
	個別③	民生委員の相談支援件数	件	2,103 (H18)	↗	↗	↗	
					2,193	***	***	
個別④	市の学習等供用施設の利用者数	人	121,286 (H18)	125,000	135,000	135,000		
				128,762	***	***		

Ⅲ 都市生活基盤分野

柱	目標番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載ページ
					H22	H25	H29	
1 市街地整備	全体	秩序ある、美しいまちなみが形成されていると感じる市民の割合	%	21.3 (H18)	26.0	37.0	40.0	P-99
					36.7	***	***	
	個別①	都市計画道路の整備率	%	64.5 (H18)	65.1	65.7	71.7	P-100
					65.8	***	***	
	個別②	駅前や市街地が整備され、人々が集い賑わっていると感じる市民の割合	%	8.8 (H18)	13.0	16.0	20.0	P-101
					15.0	***	***	
		江南駅・布袋駅の1日乗降客数	人	33,800 (H17)	33,800	34,200	34,600	
					32,566	***	***	
	江南駅前広場を通過する車両の台数	台	8,800 (H17)	6,000	5,000	4,000		
				6,544 (H21)	***	***		
個別③	土地区画整理事業の移転件数	件	126 (H19)	183	183	-		
				179	***	***		

柱	目標 番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載 ページ
					H22	H25	H29	
2 道路	全体	道路が整備され人や車が安全・快適に通行していると感じる市民の割合	%	35.5 (H18)	40.0	45.0	50.0	P-103
					40.4	***	***	
	個別①	市道のアダプト制度の登録者数	人	175 (H18)	583	1,166	1,750	P-104
					329	***	***	
	個別②	主要市道の歩道整備率	%	65.1 (H18)	69.0	72.0	75.0	P-105
					66.7	***	***	
個別③	道路案内標識設置数	基	55 (H18)	75	90	110	P-106	
				57	***	***		
3 公園緑地	全体	ゆとりとうるおいのある生活を送っていると感じる市民の割合	%	27.9 (H18)	42.1	49.2	56.2	P-107
					46.1	***	***	
	個別①	市民1人当たりの都市公園面積	㎡	2.52 (H18)	3.20	5.00	7.00	P-108
					3.65	***	***	
	個別②	花いっぱい運動実施箇所数	箇所	25 (H18)	27	33	34	P-109
					32	***	***	
個別③	地域で管理されている公園緑地などの数	箇所	28 (H18)	30	34	35	P-110	
				33	***	***		
4 下水道	全体	下水道普及率	%	18.5 (H18)	20.3	23.1	27.2	P-111
					21.6	***	***	
	個別①	下水道使用料の収納率(現年度)	%	98.9 (H18)	↗	↗	↗	P-112
					99.0	***	***	
	個別②	受益者負担金の収納率(現年度)	%	98.8 (H18)	↗	↗	↗	P-113
					97.8	***	***	
個別③	認可区域内の整備率	%	66.3 (H18)	79.0	86.2	95.7	P-114	
				80.2	***	***		
個別④	供用開始区域内の接続率	%	67.3 (H18)	83.0	89.0	93.0	P-115	
				80.4	***	***		
5 治水	全体	河川が整備され、安心して暮らしていると感じる市民の割合	%	46.2 (H18)	53.0	64.0	66.7	P-116
					61.9	***	***	
	個別①	準用河川般若川改修率	%	86.0 (H18)	92.0	100.0	100.0	P-117
					92.0 (H20)	***	***	
	個別②	雨水浸透柵設置率	%	12.2 (H18)	21.0	26.0	33.0	P-118
					7.0	***	***	
個別③	雨水浸透施設設置補助申請件数	件	45 (H21)	70	200	***	P-119	
				52	***	***		
6 住環境	全体	住環境が整備され、安心・安全な生活環境が確保されていると感じる市民の割合	%	47.9 (H18)	50.0	63.0	65.0	P-120
					61.3	***	***	
	個別①	開発許可や建築許可に対する指導件数	件	265 (H18)	260	260	260	P-121
					259	***	***	
	個別②	民間での建築確認割合	%	84.4 (H18)	90.0	93.0	95.0	P-122
					94.9	***	***	
個別③	耐震診断の診断実施済棟数	棟	798 (H18)	2,500	3,000	4,000	P-123	
				2,018	***	***		
個別④	適切に整備・維持管理がなされている市営住宅の住宅戸数	戸	153 (H18)	153	153	153	P-124	
				153	***	***		

柱	目標番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載ページ
					H22	H25	H29	
7 上水道	全体	安全な水が安定して供給されていると感じる市民の割合	%	78.8 (H18)	80.0	87.0	90.0	P-118
					86.4	***	***	
	個別①	水道料金の収納率(現年度)	%	98.4 (H18)	99.1	***	***	P-119
					106.2	106.2	106.2	
		総収支比率	%	109.7 (H18)	116.0	***	***	
					89.2	89.2	91.8	
	水道普及率	%	88.8 (H18)	89.5	***	***		
				77.8	81.9	86.9		
	個別②	配水管改良整備率	%	72.1 (H18)	77.7	***	***	P-120
					98.0	98.0	98.0	
		地下水の許可揚水量活用率	%	93.8 (H18)	91.5	***	***	
					92.5	93.0	94.0	
有収率		%	91.4 (H18)	94.1	***	***		

IV 教育分野

柱	目標番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載ページ
					H22	H25	H29	
1 学校教育	全体	学校・家庭・地域の協力により、子ども一人ひとりに学力、体力、社会性、人間性が身につけていると感じる市民の割合	%	18.3 (H18)	20.1	39.4	41.3	P-129
					37.6	***	***	
	個別①	学校が好き、授業が楽しいと感じている児童・生徒の割合	%	85.0 (H18)	90.0	95.0	100.0	P-130
					81.5	***	***	
	個別②	特別支援学級等支援職員配置人数	人	8 (H19)	12	15	20	P-131 ~ P-132
					14	***	***	
		地域の人のあいさつする児童・生徒の割合	%	80.2 (H18)	87.0	94.0	100.0	
					79.2	***	***	
	職場体験学習生徒受け入れ延べ事業所数	事業所	273 (H18)	300	330	360		
				309	***	***		
	地域の行事に積極的に参加している児童・生徒の割合	%	69.5 (H18)	79.0	89.0	100.0	P-132	
				82.4	***	***		
	個別③	学校給食がおいしいと感じる児童・生徒の割合	%	小学校 98.3 中学校 95.7 (H18)	98.0	99.0	99.5	P-132
					小学校 89.1 中学校 77.6	***	***	
		朝食を食べない日がある児童・生徒の割合	%	小学校 7.3 中学校 13.8 (H18)	小学校 0.0 中学校 3.0	小学校 0.0 中学校 2.0	小学校 0.0 中学校 1.0	
					小学校 9.0 中学校 15.2	***	***	
		学校給食における地場産物の割合	%	20.0 (H18)	35.0	35.0	35.0	P-133
					28.5	***	***	
個別④	学校施設や設備が整備され、快適で安全な教育環境の中で、児童・生徒が学習していると思う市民の割合	%	28.3 (H18)	31.1	49.7	52.5		
				46.8	***	***		
学校施設の耐震化率	%	61.8 (H18)	72.7	100.0	100.0			
			96.4	***	***			

柱	目標番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載ページ
					H22	H25	H29	
2 教育環境	全体	青少年が健全に育成されていると感じる市民の割合	%	30.1 (H19)	31.6	40.2	42.2	P-135
					38.7	***	***	
	個別①	子どもから大人までの教育環境が整っていると感じる市民の割合	%	35.0 (H19)	36.5	38.0	40.0	
					35.9	***	***	
	個別②	不登校の児童・生徒数の割合	%	小学校 0.5 中学校 4.5 (H18)	小学校 0.3 中学校 2.7	小学校 0.2 中学校 2.0	小学校 0.1 中学校 1.5	P-136
					小学校 0.5 中学校 3.8	***	***	
	家庭・学校・地域が協力して子どもたちの健全育成のために取り組んでいると感じる市民の割合	%	51.5 (H19)	53.0	54.5	56.5		
				50.6	***	***		
3 生涯学習	全体	生涯学習活動に参加している市民の割合	%	19.9 (H19)	21.4	22.9	24.9	P-138
					16.6	***	***	
	個別①	生涯学習講師人材バンク登録者数	人	126 (H18)	150	165	185	
					130	***	***	
	個別①	愛知江南短期大学と連携した講座の受講者数	人	2,011 (H18)	2,100	2,190	2,310	P-139
					1,561	***	***	
	個別①	1人当たりの図書等の貸出点数	冊	3.3 (H18)	4.2	5.1	6.4	
					3.9	***	***	
	個別②	屋内のスポーツ施設の稼働率	%	84.1 (H18)	85.0	85.0	85.0	P-140
					90.6	***	***	
	個別②	屋外のスポーツ施設の稼働率	%	29.7 (H18)	33.0	36.3	39.6	
					36.6	***	***	
	個別②	コミュニティ・スポーツ祭の参加者数	人	5,289 (H18)	5,800	7,000	7,000	
					6,363	***	***	
	個別③	審議会などにおける女性委員の登用率	%	18.4 (H18)	25.0	30.0	35.0	P-141
					24.2	***	***	
個別③	男女共同参画講演会やセミナーなどへの参加割合	%	60.5 (H17)	70.0	70.0	70.0		
				88.3	***	***		
4 文化・交流	全体	文化活動や交流活動により、心豊かな生活を送っていると感じる市民の割合	%	21.5 (H19)	24.5	27.5	31.5	P-143
					20.8	***	***	
	個別①	文化芸術活動を行っている市民の割合	%	1.3 (H18)	1.4	1.5	1.7	
					1.1	***	***	
	個別①	市民文化会館の稼働率	%	47.8 (H18)	50.8	53.8	57.8	P-144 ~ P-145
					46.8	***	***	
	個別②	指定文化財の数【国・県・市】 登録有形文化財の数【登録】	件	国 5 県 9 市 92 登録 2 (H18)	国 5 県 9 市 92 登録 2	国 5 県 9 市 92 登録 3	国 5 県 9 市 92 登録 3	
					国 5 県 9 市 92 登録 3	***	***	
		文化財普及事業への参加者数	人	5,647 (H18)	5,800	5,950	6,150	P-145
					10,694	***	***	

柱	目標番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載ページ
					H22	H25	H29	
4 文化・交流	個別③	江南市国際交流協会の事業(多文化共生事業)に参加する外国人の数	人	220 (H18)	280	360	500	P-146
					370	***	***	
		江南市国際交流協会の事業(多文化共生事業)に参加する日本人の数	人	1,800 (H18)	2,000	5,600	5,700	
					6,870	***	***	
		世界平和を願うパネル展の来場者数	人	1,198 (H18)	1,300	1,400	1,500	
					903	***	***	

V 経営、企画分野

柱	目標番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載ページ
					H22	H25	H29	
1 地域経営	全体	ボランティア活動や地域活動への参加意思のある人の割合	%	46.6 (H18)	55.0	63.0	70.0	P-156
					38.2	***	***	
	個別①	ボランティア団体及びNPOの数	団体	105 (H18)	150	175	200	P-157
					139	***	***	
		アダプト制度の登録割合	%	0.67 (H18)	2.00	4.00	6.00	
					0.44	***	***	
		地縁団体の組織数	団体	33 (H18)	41	48	55	
					37	***	***	
	公募型協働支援補助事業採択団体数	団体	-	10	10	***		
				4	***	***		
	個別②	市ホームページのアクセス件数	件	309,105 (H18)	340,000	580,000	900,000	P-158
					585,824	***	***	
		広報を読んでいる市民の割合	%	86.3 (H19)	88.0	89.0	90.0	
					83.4	***	***	
	「市長への手紙」「市政へのアイデア・提案」の投書件数	件	268 (H18)	400	450	500	P-159	
317				***	***			
2 行政経営	全体	基本計画に掲げられた全体目標の平均達成率	%	-	100.0	100.0	100.0	P-161
					115.3	***	***	
	基本計画に掲げられた個別目標の平均達成率	%	-	100.0	100.0	100.0	100.0	
					100.5	***	***	
	個別①	事務事業が改善された割合	%	65.2 (H18)	100.0	100.0	100.0	P-162
					85.2	***	***	
		住民説明会の参加人数	人	1,456 (H17)	1,600	1,800	2,000	
					1,241	***	***	
	広域行政事業数	事業	8 (H18)	10	12	13		
				10	***	***		
	マネジメント・グループ制が適切に機能していると感じる組織の数	課	8 (H20)	23	19	***		
				12	***	***		
	個別②	経常収支比率(単年度)	%	86.0 (H18)	83.0	80.0	75.0	P-163
					82.2	***	***	
	個別②	実質公債費比率(前3年度平均)	%	10.1 (H18)	10.0	7.0	7.0	P-164
					5.9	***	***	
		財政力指数(単年度)	-	0.91 (H19)	0.92	0.95	1.00	
	0.82				***	***		
	個別③	政策形成とマネジメント能力をもった職員を育てる研修などの職員1人当たり平均受講回数	回	0.9 (H18)	1.0	1.0	1.0	P-165
					0.8	***	***	
		自己啓発をしている職員の割合	%	33.6 (H18)	40.0	50.0	60.0	
46.4					***	***		
成果目標を意識して、仕事に取り組んだり、業務の改善を心がけている職員の割合	%	69.0 (H18)	80.0	90.0	100.0			
			72.7	***	***			

柱	目標番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載ページ
					H22	H25	H29	
3 課税・収納	全体	税が公平・適正に課税・収納されていると感じている市民の割合	%	37.0 (H19)	40.0	50.0	60.0	P-167
					37.4	***	***	
	個別①	返戻納付書の件数	件	10 (H19)	4	2	0	P-168
					11	***	***	
	個別②	収納率(市税現年度課税分)	%	98.4 (H18)	↗	↗	↗	P-169
					98.0	***	***	
個別②	口座振替加入率	%	35.2 (H18)	36.0	38.0	40.0	P-169	
				35.7	***	***		
4 行政事務管理	全体	市役所の事務が、効率的かつ適切に行われていると感じる市民の割合	%	53.5 (H19)	60.0	65.0	70.0	P-170
					54.2	***	***	
	個別①	情報公開制度に基づく不服申立て件数	件	0 (H18)	0	0	0	P-171
					0	***	***	
	個別①	個人情報の漏洩件数	件	0 (H18)	0	0	0	P-171
					0	***	***	
	個別①	電算化した業務数	件	54 (H18)	↗	↗	↗	P-171
					61	***	***	
	個別②	普通財産に占める未利用地の割合	%	9.2 (H18)	8.3	7.9	7.9	P-172
					11.0	***	***	
	個別②	歳計現金の有利子運用の割合	%	32.0 (H18)	↗	↗	↗	P-172
					70.0	***	***	
個別③	市長・市議会議員選挙投票率	%	市長 60.2 市議 60.2 (H19)	-	(H23) 市長 65.0 市議 65.0	(H27) 市長 65.0 市議 65.0	P-172	
				-	***	***		
個別③	決算審査における意見等指摘件数	件	6 (H18)	0	0	0	P-173	
				10	***	***		
5 議会運営	全体	議会活動が市民にわかりやすく説明されていると感じる市民の割合	%	18.6 (H19)	↗	↗	↗	P-175
					28.0	***	***	

2 江南市まちづくり会議の開催経緯

年度	月 日	項 目
平成20年度	7月16日	(分野別会議) 江南市まちづくり会議の役割や江南市戦略計画について説明し、江南市まちづくり会議の分野別会議を行いました。
		【全体会議】 江南市まちづくり会議の役割や江南市戦略計画について説明し、江南市まちづくり会議の全体会議を行いました。
平成21年度	10月23日 ～ 11月12日	(分野別会議) 平成20年度施策評価結果について説明し、意見交換を行いました。 ○ 生活環境、産業分野(10/23,10/29,11/2) ○ 健康、福祉分野(10/23,10/29) ○ 都市生活基盤分野(10/23,11/4) ○ 教育分野(10/23,10/28,11/12) ○ 経営、企画分野(10/23,10/29)
	12月18日	【全体会議】 「平成20年度施策評価結果」について、分野別会議で意見交換した内容を説明し、分野を横断した課題について意見交換を行いました。
平成22年度	10月4日 ～ 10月12日	(分野別会議) まちづくり評価及び戦略計画見直しの内容について説明し、意見交換を行いました。 ○ 生活環境、産業分野(10/4,10/8,10/18) ○ 健康、福祉分野(10/4,10/13,10/21) ○ 都市生活基盤分野(10/4,10/13) ○ 教育分野(10/4,10/12) ○ 経営、企画分野(10/4,10/12)
	11月8日	【全体会議】 分野別会議で検討された「まちづくり評価及び戦略計画の見直し」の結果について説明し、意見交換を行いました。

年度	月 日	項 目
平成22年度	1月18日 ～ 2月1日	江南市まちづくり会議の各分野の分科会長は、各小学校区ごとに開催された住民説明会で各分野の成果と課題について報告をしました。
平成23年度	10月4日 ～ 10月21日	<p>（分野別会議）</p> <p>達成状況報告書の内容について説明し、意見交換を行い、報告書をまとめました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活環境、産業分野(10/4,10/12,10/18) ○ 健康、福祉分野(10/4,10/17) ○ 都市生活基盤分野(10/4,10/21) ○ 教育分野(10/4,10/13) ○ 経営、企画分野(10/4,10/19)
	11月4日	<p>【全体会議】</p> <p>分野別会議で検討された「達成状況報告書」の内容について説明し、意見交換を行い、報告書をまとめました。</p>



住民説明会の様子

3 江南市まちづくり会議設置要綱

(目的)

第1条 市民と市役所が協働で江南市戦略計画（以下「計画」という。）に基づくまちづくりの進捗状況を検証し、計画に掲げられた市民の役割を推進するための啓発を行い、計画の見直しを検討するため、江南市まちづくり会議（以下「会議」という。）を置く。

(組織)

第2条 会議は、全体会議及び分野別会議により構成する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 平成20年4月1日現在において満18歳以上の者で、市内に在住、在勤又は在学している者であって公募に応じた者
- (2) 各種団体の代表者
- (3) 学識経験者
- (4) 課長及びこれに相当する職の市職員

3 委員の任期は、委嘱の日から4年以内とする。

(全体会議)

第3条 全体会議の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 計画に基づくまちづくりの評価のとりまとめ
 - (2) 計画の達成状況報告書の作成
 - (3) 計画の市民の取り組みの意見交換
- 2 全体会議は次に掲げる者をもって組織し、定員を17人以内とする。
- (1) 次条に定める各分科会の会長、副会長及び市職員の代表者
 - (2) 学識経験者
- 3 全体会議に議長及び副議長各1人を置き、委員の互選により選出する。
- 4 議長は、全体会議を代表し、会務を総理する。
- 5 副議長は、議長を補佐し、議長に事故あるとき又は議長が欠けたときは、その職務を代理する。

(分野別会議)

第4条 分野別会議は次に掲げる分科会をもって構成し、各分科会の定員を15人以内とする。

- (1) 第1分科会（生活環境、産業分野）
- (2) 第2分科会（健康、福祉分野）

- (3) 第3分科会（都市生活基盤分野）
 - (4) 第4分科会（教育分野）
 - (5) 第5分科会（経営、企画分野）
- 2 分野別会議は、第2条第2項の会議の委員で組織する。
 - 3 分野別会議の所掌事務は、次のとおりとする。
 - (1) 各分野における計画の目標達成度の評価
 - (2) 各分野における計画の市民の取り組みの意見交換
 - 4 各分科会に会長及び副会長を各1人置き、委員の互選により選出する。
 - 5 会長は、分科会を総理し、会議の議長となる。
 - 6 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
- (庶務)
- 第5条 会議の庶務は、経営企画部行政経営課において処理する。
- (雑則)
- 第6条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

4 江南市まちづくり会議の構成（委員名簿）

（平成23年10月4日現在）

I 生活環境、産業分野

区分	氏名
公	馬場 紀久世
公	古田 清一
公	◎ 宮川 秀男
公	望月 晴夫
団	○ 岩井 喜美子
団	川瀬 正子
団	細川 幸子
団	前田 哲郎
職	永井 嘉信
職	小塚 昌宏
職	大藪 勝寛
職	伊藤 幸実
職	伊藤 吉弘
職	大森 幹根

II 健康、福祉分野

区分	氏名
公	伊藤 倫子
公	○ 小椋 雅江
公	沓名 珠子
公	福田 正義
団	◎ 平松 宏幸
団	松尾 昌之
団	水野 純子
団	渡部 敬俊
職	安藤 利継
職	佐藤 和弥
職	前田 明廣
職	箕浦 規師
職	菱田 幹生

III 都市生活基盤分野

区分	氏名
公	鈴木 輝親
公	能祖 優
公	藤田 泰雄
公	和田 政明
団	市川 七生
団	◎ 加藤 幸治
団	佐橋 浩昭
団	○ 柴田 広美
職	吉野 賢司
職	丹羽 鈇貢
職	小池 郁夫
職	沢田 富美夫
職	大森 淳一
職	鵜飼 俊彦

IV 教育分野

区分	氏名
公	伊神 良祐
公	加藤 和夫
公	◎ 柴田 熙
公	高崎 悟
団	○ 滝 滋
団	津田 喜代治
団	中川 昭人
団	丸井 ささぐ
職	鈴木 慎也
職	伊神 眞一

V 経営、企画分野

区分	氏名
公	太田 靖子
公	尾関 順久
公	高津 美佐子
公	早瀬 裕子
団	飯島 和代
団	○ 大前 温子
団	◎ 奥村 忠
団	脇坂 康彦
職	大竹 誠
職	武田 篤司
職	山田 敏彦
職	尾関 安巳
職	小岩 賢三
職	野村 和典
職	脇田 和美
職	岩田 高志
職	川瀬 和己

学識経験者

区分	氏名
-	中田 實
-	武長 脩行

敬称略

◎は会長

○は副会長

公・・・公募市民

団・・・各種団体の代表者

職・・・市職員

5 まちづくり評価シートの見方

まちづくり評価シートは、江南市戦略計画基本計画に掲げられた指標の実績値を明らかにし、その達成状況について、市民の委員の皆さんと協働で検証を行い、その結果を踏まえ、「得られた成果」と「今後の課題」を洗い出し、「今後の取り組みの方向性」を明らかにするためのものです。

まちづくり評価シート

生活産業部【担う分野: I 生活環境、産業分野】

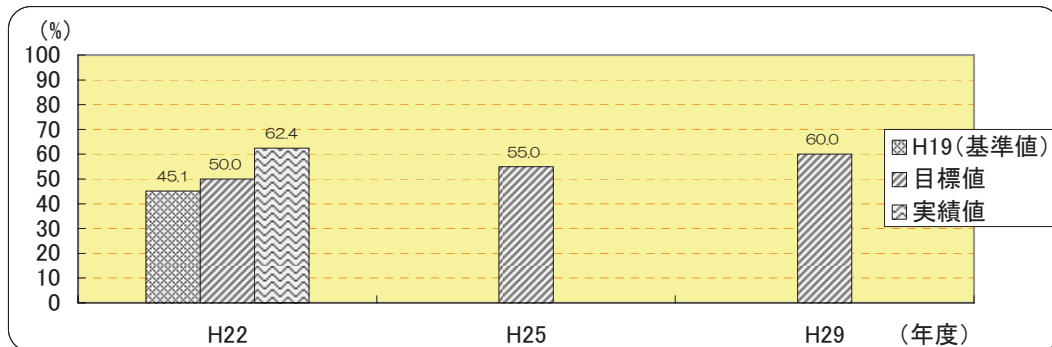
防災安全課(危機管理担当)【担う柱: 1 安心・安全な地域づくり】

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 犯罪や災害への不安が少なく、市民が安心・安全に暮らしている。

指標名	犯罪や災害への不安が少ないと感じる市民の割合			
	単位	H19 (基準値)	H22	実績値の分析
目標値	%	—	50.0	平成29年度の目標値60%をすでに達成しているが、これは校下別自主防災訓練の実施、防災資機材の助成、地域安全パトロール隊の活動、交通安全啓発等の継続によることも大きいと思われる。また市民調査時点では、社会的影響の大きい犯罪や大きな災害が発生していなかったこともその一因でこのような結果となった。
実績値	%	45.1	62.4	
達成率	%	—	124.8	
達成状況	—	—	☀	

■基本計画の「全体目標」に設定されている指標の実績値の分析結果になります。市民満足度調査により得られた実績値について目標値との比較分析をしたり、増減理由について、社会情勢や市民ニーズ等の変化や施策及び事務事業の貢献度を参考に分析しました。




全体目標に対するまちづくり評価

すでに平成29年度目標値に達成しているが、校下別自主防災訓練の実施、防災資機材の助成などは地域の防災力の向上につながると考えられます。また、犯罪や交通事故にあわないためには市民一人ひとりの意識・行動が大切であるが、地域安全パトロール活動や防犯・交通安全啓発などは、市民・地域の意識が高まることにつながると考えられるので、引き続き更なる支援をお願いしたい。

■基本計画の「全体目標」に設定されている指標の「実績値の分析」を基に、江南市まちづくり会議において市民の委員の皆さんと協働で評価の内容を精査してまとめました。

個別目標① 災害への備えが行われている

指標名 非常持ち出し品や食料などを準備している市民の割合						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	18.0	25.0	30.0	・自主防災組織運営事業 ・総合防災訓練事業
実績値	%	14.4	—	—	41.4	
達成率	%	—	—	—	138.0	
達成状況	—	—	—	—		

取り組みの状況

市民 総合防災訓練や自主防災訓練に継続的に取り組んだ。
5市町防災カレッジや各種研修会、講習会に参加し、災害は発生してからではなく、発生する前の
予防、準備や心構えが大切であることを学んだ。

市役所 自主防災会主催による防災訓練、総合防災訓練の準備、会場設営、運営等を支援した。
自主防災会会長会議を開催した。
愛知県や周辺自治体で開催された講習会、研修に参加した。

■基本計画の「個別目標」に設定されている指標の目標達成のために具体的に、どのような
ことに取り組んだのかを「市民」と「市役所」に分け記載しました。「市民」の取り組み
状況については、江南市まちづくり会議において市民の委員の皆さんと取り組みの内容に
ついて意見交換をしてみました。

目標達成のための今後の展開方針

自主防災会の運営、地域の指導者の育成等を支援するとともに、自分の命は自分で守る、自分たちの地域は自
分たちで守るといった自助、共助の精神と地域の自主性を育てていく必要がある。
同報系防災行政無線及び戸別受信機、あんしん・安全ネットメールを活用し、今まで以上に情報伝達に要する
時間を短縮することにより、被害を最小限に抑える。

■「個別目標」の目標達成のために、今後どのように取り組んでいくべきかを今後の展開方
針としてまとめました。

個別目標に対するまちづくり評価

東日本大震災での報道等を見聞きして、災害予測の難しさ、災害復旧の大変さがあらためて痛感することができ
た。
この地域でも過去の経緯からみて、近い将来必ず大きな地震が発生するのは確かなことから、予測可能な範囲
で、できる対策(マンパワー、モノ、財源など)は立てていただきたい。

■「個別目標」の達成状況を、江南市まちづくり会議において、市民の委員の皆さんと意見
交換を行い、「個別目標に対するまちづくり評価」としてまとめました。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

総合防災訓練及び校下別自主防災訓練の実施、防災資機材の助成などを継続的に実施したことにより、市民の防災意識、地域の防災力をある程度高めることができた。
防災行政無線(移動系)を整備することにより、市役所、各施設、関係機関との災害、非常時の連絡体制を確保することができた。
地域安全パトロール隊の活動、交通安全啓発等を通して、社会的影響の大きい犯罪や交通事故の減少・防止に寄与することができた。

■柱に掲げられた「個別目標」を実現するため、平成20年度から平成22年度までの取り組みによって得られた成果をまとめました。

◆柱全体の今後の課題

今後も事業を継続していく上で、コミュニティの高齢化・弱体化により地域の防犯・防災機能が徐々に低下していくことが考えられるため、市役所がいかに地域の自主的活動を支援していくかが大きな課題となる。市役所としてもマンパワー、財源という点で、今後大幅な増強は困難であると考えられるため、解決していかなければならない課題に、優先順位をつけて取り組んでいく必要が求められる。

■柱に掲げられた「個別目標」を実現するため、平成20年度から平成22年度までの取り組み内容を踏まえ、柱の全体目標及び個別目標を実現するにあたっての課題を社会情勢や市民ニーズの変化、施策や事務事業の貢献度等を参考にまとめました。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

犯罪や災害から市民を守り、安心・安全な市民生活を確保するため、市民と市役所が協力して地域の防犯・防災力を強化する。
コミュニティの中でのまとめ役、市役所とのパイプ役を担い、かつ、継続して活動することができるリーダーを養成する。
防災行政無線システムやあんしん・安全ネットメールを活用し、市民にいち早く情報を伝達、共有することにより、災害・犯罪を最小限にとどめる。

■柱全体の今後の課題を解決するために今後どのような取り組みをすべきかを柱を構成する全個別目標の展開方針を踏まえまとめました。

6 達成率及び達成状況の算出方法

まちづくり評価シートの各指標の達成率及び達成状況の算出方法は次のとおりです。

1) 指標の達成率

次の区分により達成率を算出しました。

区 分		算出方法
①	目標値が上昇していく指標	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
②	目標値が減少していく指標	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$
③	目標値が上昇していく指標 【目標値の表示が↑】	$\frac{\text{実績値}}{\text{基準値}} \times 100 (\%)$
④	目標値が減少していく指標 【目標値の表示が↓】	$\frac{\text{基準値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$

(小数点第2位四捨五入)

2) 指標の達成状況

算出された達成率を次の基準で評価しました。

区 分	説 明	判定の基準
	90%以上達成した	達成率が90%以上
	70%以上達成した	達成率が70%以上 90%未満
	達成していない	達成率が70%未満

おわりに

江南市では、平成20年度に、向こう10年間で江南市がめざすまちづくりの目標と、その実現方策を示す江南市戦略計画を策定し、市民と市役所が一丸となってまちづくりを進めてきました。

平成20年度から平成22年度までの前期計画期間を終え、各分野で一定の成果をあげることができましたが、まだ重要な課題が残る分野もあります。

また、少子高齢化の急速な進行、長引く経済の低迷、国・地方を通じた財政状況のさらなる悪化、地域が主役の新しいまちづくりの機運の高まりなど、依然として、社会経済環境の変化は目まぐるしい状況にあります。

このような状況を受け、平成20年度に策定した計画内容を見直し、平成23年度からの中期・後期計画期間における、江南市のまちづくりの目標と方針を明らかにするために、平成23年3月に江南市戦略計画第一次改定基本計画を策定しました。

また、計画策定後には、東日本大震災やゲリラ豪雨による浸水被害の発生などによる市民の防災意識の高まりや原子力事故に端を発したエネルギー問題など、新たな課題も発生しています。

今後は、こうした新たな環境変化へ対応するとともに、市民ニーズを的確に把握し、前期計画期間で残された課題を、平成29年度までに計画的かつ確実に対応できるよう施策を進める必要があります。

施策の推進にあたっては、これからも、まちづくりの担い手である市民や事業者等、市が一層強い協働の関係を築き、地域の総力を結集する仕組みを構築し、効果的・効率的な行政運営を図りながら、市の将来像である「豊かで暮らしやすい生活都市」の実現に向け取り組んでまいります。



<全体会議>

江南市戦略計画達成状況報告書

前期計画期間（平成20年度～平成22年度）

平成24年3月発行

江南市まちづくり会議

事務局 江南市役所 経営企画部行政経営課
483-8701 愛知県江南市赤童子町大堀90番地
電話 (0587) 54-1111(代)